

9 区第11号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
575-10 204-2	竹 篋	欠損あり	竹 長・11.7	上方は旧時欠損。表皮残存。	尖部に削目あり。尖部の平面片切状、横断面も外面側を削り込む片切状。	
575-11 204-2	竹 篋	欠損あり	竹 長・13.8	欠損は旧時か不明。表皮残存。	尖部は黒色変あり、削目不明瞭。裏面下方にも削り目および。	
575-12 204-2	竹 篋	完存	竹 長・16.1	ほとんど旧態とどめる。表皮残存。	天尖部は削りによる。下尖部は尖るが黒色変あり、削目不明瞭。裏面にも削目あり。	
575-13 204-2	竹 篋	近完存	竹 長・17.2	外皮残存。	尖部は削りによる。側部は面取り。全体に薄い。	
575-14 204-2	竹 篋	完存	竹 長・14.6	欠損ほとんどなく、表皮とどめる。	両端部・両側部に削り目あり。上・下方に黒づむ色変あり。	
575-15 204-2	竹製 篋状	完存	竹 長・14.7	表皮残存。	下部尖部と側部裏側に削目、下方の平面は丸いが断面尖る。黒づむ色変。	
575-16 204-2	竹 棒状		竹 長・20.2	両小口とも旧時欠損。下方の表皮少しはかれる。	割りの側部なめらかで道具として使用か。表皮に編状痕なし。	
575-17 204-2	竹 棒状	欠損あり	竹 長・22.3+ α	上方旧時欠損。節1カ所、表皮残存。	先端に削り目。中程より上方に使用摩耗の消耗と表皮欠損あり。内面節は割れのまま。	
575-18 204-11	木製品 棒状	欠損あり	ヤマウルシ 長・22.9	上方欠損、新古欠損か不明。	下小口は切断面。摩耗か消耗があり切断法不明。下小口中央に芯の空部あり、自然。	
575-19 203-5	竹 加工材	完存	竹 長・54.4	表皮残存。	丸尖部の先端は色変黒づむ。片尖部に削目。側部は削り込み後面取り。道具か。	
576-1 204-7-1-2	木製品 板状	欠損あり	スギ 長・15.6	旧時欠損大。裏面も消耗大。	厚さのみかろうじてわかる。側部と下方小口は旧材の一部。	
576-2 204-3-1-2	木製品 板	欠損大	スギ 長・11.7	全体消耗大と旧時欠損。全体に木目浮き立つ。	左側部残存。右側部欠。木取り柁。平面右上に節あり。	
576-3 204-4-1-2	木製品 鴨居転用		アカマツ 幅・11.0	全体消耗あり。木理少し浮き出す。角部少し摩耗か。	工作台上に転用か。裏面に小穴あり。裏面は凸凹顕著。両小口鋸挽目あり。	
576-4 204-9-1-2	木製品 加工木	欠損あり	スギ 長・17.25	全体に消耗大。両小口とも旧時より多大に消耗。	木理浮き立つ。側部も旧状を残すか不明。平面柁目、断面も近柁目。	
576-5 204-10-1-2	木製品 半截木	欠損あり	スギ 長・20.6	上方小口欠損は新古か不明。下小口も不明。表皮なし。	半截は割り木による。両小口旧存か不明であり、消耗している。	
577-1 205-3-1-2	木製品 板材	欠損大	クリ 長・37.7	旧時欠損多。消耗大。	欠損消耗側に炭化部あり。片側部のみ明瞭で他方は消耗。年輪粗。	
577-2 204-6-1-2	木製品 杭か	埋土 旧欠あり	ヒノキ属 長・8.5	上方と右側部は旧欠であり、大きき不明。	左側部と先端に削目あり。先端尖るため杭か。節部もあり、材質不明瞭。	
577-3 205-1-1-2	木製品 根株板	近完存	ヒノキ? 長・19.1	根株至近を思わせる節状態。材質硬そうで消耗少。	大きな節穴あり。片面は鋸挽を思わせる。使用の痕跡薄い。	
578-1 205-2-1-2	木製品 板	欠損あり	ヒノキ 長・29.2	全体に消耗大。裏面顕著。	平面木目流れる。下方に小孔を設け、鋸目は見えないが小口鋸挽か。	
578-2 205-4	木製品 杭	近完存	ヒノキ 長・40.4	斜体に旧状をとどめる。節多い。	尖部にころうじて削目見えるが消耗多く弱い。尖部最端部小欠。	
578-3 205-5	木製品 転用杭か	欠損あり	ヒノキ 長・45.2	表皮なし。全体に消耗大。	先端斜に切断、鋸か不明。2カ所に柄受あり、未完通。上方に受けの削り込みあり。	

9 区第12号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
579-1	土師器 甕	破片	口・(18.2)	酸化。並。橙5YR7/6。並。軽。褐粒多、他鉾物少、シルト質。	口縁部の内・外面に横撫あり。体部外面篋削。内面に接合面と篋撫あり。	
579-2	土師器 甕	口縁部片	口・(25.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。並。軽。褐粒多、他少。	口縁部内・外面横撫。外面篋削。内面撫と篋撫。内・外面に少し熨しかかる。	シルト質
579-3 206-1	土師器 甕	埋土 口縁部3/4	口・(19.8)	酸化。並。橙7.5YR6/6。	口縁部に粘土帯2条。器外面は篋削り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合7片

9 区第14号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
580-1 206-2	土師質土器 皿	埋土 1/3	口・(8.6) 高・1.3	還元。硬。灰黄2.5YR7/2。並。やや重。白色粒微、鉾物微。	口縁部周辺横撫。内面撫。底指圧痕。成形は手びねりか部分型作。底面に凹凸多い。	13Cか粘

9区第15号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
581-1	軟質陶器 擂鉢	埋土 1/6	口・(28.0)	酸～中。並。灰黄褐10YR5/2。 並。白・褐粒含、鉍物少。	小形である。外面に接合面2つあり。内面に 8条1単位の卸目、小ハゼあり。焼5層気味。	接合2片
581-2	軟質陶器 内耳焙烙	埋土 破片	口・(28.0)	還元。並。黒5YR1.7。並。軽。 白・褐粒含、鉍物微。	内耳付く外面粘土帯接合面、横撫、下方に型 膚様。焼成は外面燻で5層気味。外面燻。	17・18C 小泉焼か
581-3 206-5	施釉陶器 境	埋土 底部片	底・(5.6)	還元。締。釉黒褐(鉄釉)。胎土 淡灰白。	外面下半以下を除き施釉され、天目釉。露胎 部右回転斲削。高台削り出ししか。	18C 瀬戸美濃
581-4 206-4	施釉陶器 皿	埋土 底部片	底・(4.6)	還元。締。釉緑(銅釉か)、透明 調。胎土灰	外面に透明調、内面に緑色釉。内面蛇目。高 台は削り出ししか。外面下方斲削。	18C前 唐津系
581-5 206-3	施釉陶器 境	埋土 1/2	口・(12.6) 高・4.5	中性。締。釉淡黄透明調、黒。 胎土白。	内面に鉄絵に上り風景文あり。外面露胎部を 除き透明釉調施す。	18C 京焼系
582-1	軟質陶器 内耳焙烙	埋土 破片	口・(39.6) 底・(36.2)	還元。並。黄灰2.5Y6/1。並。 軽。白・黒粒、他鉍物含。	底から体部外面下方に型膚。体部外面に粘土 帯接合面、ハゼ。焼成燻は弱く、単一気味。	接合2片 小泉焼か
582-2	瓦 女瓦	埋土 破片	縦・(8.0) 横・(6.0)	還元。軟。灰5Y6/1。粗。軽。 雲母粒、シルト質。	表面に雲母粒見える。裏面に型様の膚と細砂 付着。焼成は燻黒色がかかり3層気味。	小泉か藤 岡
582-3	瓦 女瓦	埋土 破片	縦・8.1 横・8.5	還元。並。灰10Y5/1。並。やや 重。金雲母、灰円粒含、他少。	表面は滑らかで、裏面には斲整形痕あり。燻 わずかにかかる。割れ口旧欠。	深谷か
582-4	瓦 女瓦	埋土 1/4	縦・11.0 横・11.4	還元。並。黄灰2.5Y5/1。並。 やや重。雲母粒含、鉍物少。	表面に雲母粒見えるが銀瓦か不明。裏面に撫 と型痕らしき横あり。裏面のみ燻される。	深谷か
582-5	石器 砥石	埋土 完形	砥沢石 240g	遺存長・13.65 幅・3.6 厚・5.0	刃付砥で、使用主面は表1面で、他3面は削 り痕とその後の摩耗加わる。	
582-6	石器 砥石 荒砥	埋土 2/3	粗粒輝石安山岩 1250g	長・13.8	横断面六角柱の荒砥。研磨主体は、結晶鉍物 が削られ金属。小口は荒割面と旧欠面。	
582-7	石製品 穀白 下白	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 2050g	径・(31.4)	石質は重く、硬い。裏面の整形は大まか。側 部は整う。割れは旧欠。厚さの消耗は少。	
582-8	石製品 穀白 下白	埋土 1/4	粗粒輝石安山岩 5900g	径・(30.0)	石質は重く、硬質。挽目大まか。軸穴あり。 裏面の整形が最も荒く、他はやや整う。	

9区第16号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
583-1	埴輪 円筒	覆土内 破片	厚・1.4	酸化・硬。鈍黄橙10Y6/3。	外面縦刷毛後、横刷毛目。内面紐作痕と接合 面あり。割れ口に接合面、消耗少。	古様埴輪

9区第17号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
583-2	須恵器 坏か	覆土内 口縁部	厚・0.4	還元・硬。灰10Y5/1。密、 やや重。白粒含、他微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。割れ口消耗微。	笠・太田

9区第18号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
583-3 206-6	須恵器 坏	覆土内 底部片	底・(6.4)	還元・硬。灰7.5YR5/1。 密、やや重。白色微、鉍物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	笠・太田

9区第19号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
583-4	須恵器 坏か	覆土内 破片	厚・0.5	還元・軟。灰白5Y8/2。粗、 軽。白粒含、他鉍物少。	外面に轆轤目、判読不明墨字あり。内外面に 吸炭わずかあり。	墨書-139

9区第20号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
583-5	土師器 内黒坏	覆土内 破片	口・(14.0)	酸化・硬。明褐7.5YR5/6。 並、やや重。白・褐粒含、他微。	型作り。内面に研磨。外面に斲削。黒色化は 口縁部外面におよぶ。	

9区第21号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
583-6	土師器 坏	覆土内 口縁部	口・(12.0)	酸化・硬。橙7.5Y6/6。並、 やや重。金雲母含、他少。	口縁部は内湾気味。型作りか。底部篋削り。 口縁部・内面は横撫で整形。割れ口消耗大。	

9区第23号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
584-1 206-7	土師器 坏(平底)	覆土 1/3	口・(13.0) 高・4.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4。 粗、軽。褐・白色粒含。	体部〜口縁部に粘土帯。底部は篋削り、体部 に接合面を残し、口縁部・器内面は横撫で。	粘
584-2 206-8	土師器 台付甕	覆土 台部片	脚・8.6	酸化・並。明赤褐5YR5/6。 並。褐・白色粒微、鉍物粒微。	甕部は旧時欠損。脚部内面に赤色物質附着。 その割れ口は被熱色変。顔料の取り皿か。	赤色物質 附着
584-3 206-9	土師器 内黒坏	覆土 1/4	口・(12.4) 底・(5.2)	酸化・硬。鈍橙7.5YR6/4。 粗、軽。白色粒微。	型作り。器内面に研磨を施す。器外面・底面 には篋削りを残す。内面黒色処理。	粘
584-4 206-10	須恵器 碗	覆土 一部欠損	口・15.2 底・7.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	内面内黒と研磨あり。轆轤成形(右回転)。底部 は高台貼付後、篋と撫整形。体部外面に「申」 の墨字あり。内面未使用に近い。	墨書-140
584-5	土師器 内黒坏	覆土 破片	口・(12.5)	酸化・硬。鈍赤褐2.5YR5/4。 並、やや重。白・褐粒含。	型作り。内面に研磨。外面には型膚・指頭痕、 篋削りあり。内黒化は口縁部外面におよぶ。	接・2片
584-6 206-11	須恵器 坏	覆土 一部欠損	口・12.4 底・5.4	還元・硬。灰5Y6/1。並。 白色粒、鉍物粒多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。割れ口は旧時。	接・2片 粘
584-7	須恵器 内黒 坏	覆土 底部片	底・6.0	酸化・軟。橙7.5YR6/6。粗、 軽。赤褐粒含、鉍物微。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。底 部は回転糸切り。底面糸切りそこね痕。	粘
584-8 206-13	須恵器 高台付皿	覆土 1/4	口・12.8 底・(7.8)	還元・並。灰5Y6/1。並、 やや重。白色粒、鉍物粒含。	轆轤成形(右回転)。糸切り後、付け高台。口 縁部外傾。内面摩擦平滑。	粘
584-9	灰釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.3	還元・締。釉淡緑(灰釉)。 胎土灰。	外面施釉、釉溜り生ずる。内面無垢、轆轤目 あり。割れ口消耗微。	東海搬入
584-10	須恵器 瓶	覆土 頸部片	厚・0.6	還元・硬。灰7.5Y5/1。密、 重。白鉍物含、他鉍物微。	内・外面轆轤目、轆轤右回転。極めて薄作り。 割れ口消耗少。	西毛〜東 海

9区第23号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
584-11 206-12	灰釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.5	還元・締。釉薄緑(灰釉)。 胎土灰。	外面のみ灰釉あり。内面無釉、轆轤目。割れ 口消耗微。	東海搬入
584-12	灰釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.4	還元・締。釉淡黄緑(灰釉)。 胎土灰。	外面施釉。内面無釉、轆轤目あり。割れ口消 耕微。	東海搬入
584-13	灰釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.4	還元・締。釉淡灰緑(灰釉)。 胎土灰。	内外面轆轤目あり。外面施釉、内面無釉。割 れ口消耗微。	東海搬入
584-14	緑釉陶器 段皿	覆土 口縁片	口・(14.0)	酸〜中性・並。釉淡黄緑(緑釉、 銅釉)。胎土黄灰。	内面に段あり、内外面施釉、細かい研磨か削 りあり。回転か不明。割れ口消耗大。	
584-15	緑釉陶器 皿か	覆土 破片	厚・0.5	酸〜中性・並。釉淡黄緑(緑釉、 銅か)。胎土白黄。	胎土はチョーク状。内外面に手か回転か不明 ながら研磨あり。割れ口消耗大。	関西搬入
584-16	土製品 土錘	覆土 ほぼ完存	長・4.4 12.71g	酸化・並。鈍黄橙10Y5/3。 並、やや重。鉍物少。	外面滑らか。手前小口に小欠あり、旧欠。小 口は篋削。燻少しかかる。	
585-1 206-14-1~4	木製品 鎌柄	小欠損あり	クヌギ節 長・34.1	部分的に調査時欠損あり。やや 堅木のためか消耗少ない。	側部上方に鎌の挿入孔あり、削り抜き。削り 目は目立ず。全体に重量感あり。	
585-2 206-16	木製品 棒	欠損あり	アカメガシワ の根? 長・7.2	上方の欠損の新古不明。表皮の 遺存なし。消耗あり。	先端は削り目がわずか見える、その端部使用 摩擦あり。外面に放射状組織が見える。	
585-3 206-15-1・2	木製品 木端	欠損少	ナシ亜科 長・10.7	全体に消耗あり。表皮の残存な し。	両小口の切断面は消耗不明瞭。右側部は旧時 の割れの状態。	
585-4 206-17	樹皮	欠損少	針葉樹 長・4.7	全体の消耗少ない。	図平面が表側。松の樹皮に見える。厚さは6 mmと薄い。	
585-5 206-17	樹皮	欠損少	針葉樹 長・12.0	全体の消耗少ない。	松の樹皮に思える。厚さは9mmあり。図平面 は表側。	

9区第24号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
586-1 206-18	土師器 坏	埋土 1/2	口・(11.9)	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 白・褐粒含、鉍物少。	口縁部は外反気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合3片

9区第24号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
586-2	土師器 甕台付か	埋土 破片	口・(11.0)	酸化。硬。褐7.5Y4/3。並。 やや重。鈹物含。	回転シャープ。器外面は篋削り、器内面は篋 撫で、口縁部は横撫でを施す。内・外少し吸炭。	
586-3	土師器 甕	埋土 口縁部片	口・(15.2)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含、他微。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は篋削り、 内面は撫、口縁部は横撫、内・外に接合見え。	
586-4	土師器 甕台付	埋土 口縁部片	口・(19.0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR1/4。 並。やや重。金雲母・白色粒含。	「コ」の字状口縁。型作か。外面は篋削指圧 痕多。内面は撫、口縁部は横撫。内・外被熱。	少し吸炭
586-5 206-19	須恵器 坏	埋土 1/3	口・(12.8) 底・(6.6)	還元。軟。暗灰黄2.5Y5/2。並。 軽。白色粒、鈹物多。	轆轤成形。底部は手持ち篋撫で。口縁部周辺 は砂粒左回転を示す。内面にタール状付着。	粘
586-6 206-20	須恵器 坏	埋土 2/3	口・(13.0) 底・(6.4)	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 やや重。白色粒、鈹物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。口縁 部の内・外面、重焼色変。	笠懸か
586-7 206-21	須恵器 坏	埋土 1/2	口・(13.0) 底・(7.0)	還元。軟。灰7.5YR6/1。並。 軽。白色粒含、鈹物多。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。口縁 部重焼色変あり。	粘
586-8 206-22	須恵器 坏	埋土 破片	口・(13.6) 底・(8.0)	還元。締。灰10Y4/1。密。重。 黒粒少、鈹物微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。口縁 部周辺に被熱色変あり。	笠懸
586-9	須恵器 坏	埋土 1/4	底・(8.0)	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。 やや重。白・黒粒含、他少。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り後周辺を回転篋削り。	笠懸か
586-10	須恵器 瓶	埋土 口縁部片	口・(12.4)	還元。締。灰5Y4/1。密。重。 白鈹物含、他少。	紐作り後轆轤成形か。極めて薄作り。内・外 面に自然釉。割れ消耗微。	東海搬入
586-11 206-23	施釉陶器か 瓶	埋土 頸部片	最・(6.2)	還元。締。釉降灰か不明。胎土 灰～少し褐。	外面は少し燻がかり、降灰か不明の灰釉見え、 さらに酸化気味で原始灰釉を思わせる。	9・10C 東海搬入
587-1	木製 容器	埋土 破片	ひょうたん 径・(約7.0)	細片が多く、破片不足とて接合 は部分的しか行えなかった。	2穴1対の吊手穴が3か所あり、大穴1対、 小穴2対であり、小穴中に細残穴あり。	接合22片
587-2	木製 容器	埋土 破片	ひょうたん 径・(約7.5)	厚・0.6	小孔2穴あり。容器端部らしき個所見当たら ず。	
587-3	木製 容器	埋土 破片	ひょうたん 厚・0.4	厚・0.5	出土後の乾燥化により、小さくなる。	
587-4	容器 容器	埋土 破片	ふくべ	長・3.3	出土後の乾燥化により、小さくなる。小孔2 穴あり。容器端部らしき個所見当たらず。	
587-5	木製 曲物側板	埋土 欠欠多し	ヒノキ 幅3種	欠損は各々、調査時以降。器面 の自然消耗少。	-2~4とは、幅厚さに差があり、3・4個体 の側材としての可能性あり。4は底板か。	
587-6 207-3-1・2	木製 曲物側板	埋土 部分欠あり	ヒノキ 径・約18.0	両端部残存し、調査時以降の欠 損少ない。	蓋側材・同補強材に見えるが-2~4個体確認 不能。榫留は4方向。	
587-7 207-4	木製品 側板	埋土 欠損少	ヒノキ 測定困難	消耗ややあり。端部の少欠損を 除き旧態。	曲物側板、上方は旧時欠損か。割れ口不明瞭。 両端部も旧態。榫留め4カ所。木理つむ。	
587-8 207-5-1・2	木製品 薄板	埋土 欠損大	ヒノキ 長・5.1	調査時欠損大。	側部一部残存、面仕立てあり。浅い不明瞭な 平面削りあり。一連の曲物材と異なる。	

9区第25号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
588-1	土師器 甕	埋土 口縁部片	口・(20.0)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外反。外面は篋削り、内面は篋撫で、 口縁部は横撫で。内・外小ハゼ。割れ口消耗。	

9区第26号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
589-1	焼締陶器 大甕	埋土 口縁部片	厚・1.2	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白鈹物少、他少。	内・外自然釉?かかる。端部丸味おびる。割 れ口消耗微。	2片12C 渥美か
589-2	焼締陶器 大甕	埋土 口縁部片	厚・1.2	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白鈹物含、溶ける。	内・外面に自然釉かかる。割れ口に紐作痕見 える。割れ口消耗微。	12C 渥美
589-3	焼締陶器 大甕	埋土 胴部片	厚・1.6	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白鈹物含むが溶ける。	外面に厚い自然釉、斜格子叩きあり。内面に 紐作痕。割れ口消耗微。	12C 渥美
589-4	焼締陶器 大甕	埋土 胴部片	厚・1.0	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白鈹物含、他少。	外面に叩あり。さらに整形擦痕あり。内面に 自然釉と接合痕の高まり。割れ口消耗微。	常滑か
589-5	焼締陶器 大甕	埋土 胴部片	厚・1.0	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白鈹物含、他少。	外面に斜格子叩あり。内面に撫痕と自然釉。 割れ口消耗少。	渥美
589-6	焼締陶器 大甕	埋土 胴部片	厚・1.2	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白鈹物含、他少。	外面に斜格子と自然釉。内面に紐作痕、撫。 割れ口に紐作痕、割れ口消耗微。	12C 渥美

9区第27号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-1	土師器 台付甕か	埋土 脚部片	底・(8.4)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。黒鈹物多。他含。	台付甕脚部か。器面消耗大。内・外面被熱、 横撫あり。	
590-2	須恵器 坏か	埋土 破片	厚・0.4	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや軽。白色粒含。	口縁部周辺に重焼色変、内・外面に火襷様の 吸炭あり。割れ口消耗。	粘・陶 墨書-141
590-3	須恵器 埴	埋土 底部片	底・(6.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。鈹物少。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。高台は付 け高台。割れ口消耗大。	粘・陶
590-4	須恵器 埴	埋土 底部片	厚・1.0	酸化。軟。にぶい褐7.5YR5/4。 粗。軽。鈹物少。	高台は貼付。外面被熱吸炭し、内面酸化気味。 轆轤成形(右)。高台は欠損(付け高台)。	割れ口消 耗大

10区第1号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-5	土師器 坏	埋土 口縁部片	厚・0.4	酸。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。重。白・褐粒含、他微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	県外搬入 焼3層
590-6	石造品 穀臼(下)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 1253g	口・28.8 高・7.65 底・28.4	割れ口消耗。溝消耗目無し。安山岩中径1cm 石英礫2コ入る。供給孔らしき跡。質軟。軽。	中世か

10区第2号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-7	須恵器 埴	下層一括 底部片	底・(8.8)	酸。軟。にぶい黄橙10YR6/3。 並。やや重。黒・褐粒、他多。	轆轤成形(右回転)。高台は大平欠損する(付 高台)。割れ口、器面消耗大。	粘・陶
590-8	施釉陶器 鉢	下層一括 体部片	厚・1.3	中性。締。釉暗茶褐(光沢弱、 鉄釉)。胎土黄灰。	内・外面鉄釉、小ハゼあり。内面卸目、少し 摩耗。外面回転篋削。割れ口消耗微。	
590-9	軟質陶器 内耳焙烙	下層一括 口縁部片	厚・1.0	中性。並。黒褐10YR3/1。粗。 軽。黒粒、白色粒含、他少。	外面石目状の型膚、接合痕、横撫。内面横撫。 内・外面黒色燻。割れ口消耗微。	19C 小泉焼か
590-10	石製品 石臼	埋土 1/4	粗粒輝石安山岩 3199g	底・27.0 高・12.45	石質は重く硬い。整形は各面とも整う。供給 孔あり。溝は消耗。割れ口少し消耗。	
590-11	石製品 石鉢	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 740g	底・13.5 高・10.3	割れ口消耗少。外面下方整形が最も整い、底 面と外面上方がやや荒い。内面摩耗。	中世か
590-12 207-9-1・2	木製品 木端	欠損少	針葉樹 長・9.0	外面に樹皮部分的にあり。全体 に消耗少なく、残存良好。	上・下方切断面。側部・裏面とも割り木状態 の面。斧使用時の木端か。	

10区第4号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-13 207-6	軟質陶器 内耳	埋土 破片	厚・0.9	酸～中。硬。暗赤褐5YR3/2。 並。軽。褐粒含、鈹物少。	底面石目状の型膚あり。体部外面煤付着。内 面回転撫あり。焼成5層気味。	18・19C 小泉焼か

10区第3・5号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-14 207-7	土師質土器 皿	埋土 破片	底・(5.8)	酸。並。にぶい黄橙10YR7/4。 粗。軽。白・褐粒、鈹物少。	底部は右回転糸切り。底面に板状圧痕。内面 底に一方向の指撫。白色味強い。	中世 粘
590-15 207-8	土師質土器 皿	埋土 破片	底・(5.4)	酸。並。にぶい黄橙10YR7/4。 粗。軽。白・褐粒、鈹物少。	底部は右回転糸切り後、板状圧痕あり。内面 不定方向指撫。白色味強い。	中世 粘
590-16	軟質陶器 内耳焙烙	埋土 破片	厚・1.0	還元。硬。黒褐5YR3/1。並。 やや軽。白・褐粒含、他微。	内・外面に回転の撫痕あり。外面に指圧痕と、 煤付着。割れ口消耗微。	
590-17	軟質陶器 搦鉢	埋土 胴部片	厚・1.0	酸。並。にぶい黄橙10YR5/3。 粗。やや軽。白・褐粒含、他含。	内面に卸目状刻みあるものの摩耗なし。外面 轆轤目あり。割れ口の消耗少。	17Cか

10区第6号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-18 207-10-1・2	木製品 鎌柄	埋土 自然消耗大。	ヒノキ属 長・12.8+α	鎌先側は調査時欠損。柄部端は 自然消耗。	鎌茎残存。茎は鋸挽割込みを推定。責金一部 残存。目釘穴の小孔中に目釘なし。	

土坑遺物観察表

第1区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
596-1	縄文土器 深鉢	1-3覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/3 砂粒・細礫・赤褐色粒子	口縁部は内湾気味。LR 原体を横転施文する。	接・無し
596-2	縄文土器 深鉢	1-7覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	地紋に RL 原体を横転施文し、横位の平行沈 線文を2段に施す。	接・無し
596-3	縄文土器 深鉢	1-8覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。明赤褐5YR5/6 細砂粒・チャート	綾杉状に刷毛撫でを施し、3節・1節の貼付 文を施文する。	接・無し
596-4	縄文土器 深鉢	1-9覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 砂粒・白色鉱物・白色微粒子	口唇部は平坦。口唇部直下に半裁竹管の押引 文、沈線を介し三叉文・押引文を施す。	接・無し
596-5	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 含繊維・白色微粒子	LR 原体を横転施文する。	接・無し
596-6	縄文土器 深鉢	1-15覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黒褐7.5YR3/2 含繊維・白色微粒子	LR 原体を横転施文する。	接・無し
596-7	縄文土器 深鉢	1-16覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙2.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	文様は認められない。	接・無し
596-8	縄文土器 深鉢	1-20覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 金雲母・白色鉱物・粗粒砂	横位の隆帯を施し、隆帯上位下端に列点文を 施文する。	接・無し
596-9	縄文土器 深鉢	1-21覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 砂粒・赤褐色粒子	波状口縁。口唇部は肥厚し、口唇部直下に帯 縄文を施す。原体は LR。	接・無し
596-10	縄文土器 深鉢	1-25覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・シルト粒・白色微粒子	口縁部内湾気味で口唇部は丸い。口唇部直下 に横位の沈線を施し、下位に LR 原体を横転。	接・無し
596-11	石器 打製石斧	1-25覆土内 完存	ホルンフェルス 重・119	長・9.9。幅・5.1。厚・1.7 ホルンフェルス	短冊形。器面の風化顕著。礫面残し側部の加 は粗い。	
596-12	縄文土器 深鉢	1-26、No1 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 繊維・白色微粒・雲母石英片岩	LR 原体を横転施文する。	接・4点
596-13	縄文土器 深鉢	1-30覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 砂粒・白色微粒子	口縁部は内湾気味。RL 原体を横転施文する。	接・無し
596-14	縄文土器 深鉢	1-30、No29 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 砂粒・白色鉱物・白色微粒子	楕円沈線区画無いに LR 原体を充填施文す る。	接・無し
596-15	縄文土器 深鉢	1-30、No17 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6 砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位施文する。	接・無し
596-16	縄文土器 深鉢	1-30、覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 粗粒砂・白色鉱物・角粒粗粒砂	弧線が入り組み RL 原体を施文する。	接・無し
596-17	縄文土器 深鉢	1-30、No19 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 砂粒・細礫	口縁部は内湾し口唇部はやや尖り気味。口唇 直下に横位に沈線を施し、LR 原体を横転。	接・無し
596-18	縄文土器 深鉢	1-34、No25 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 角粒粗粒砂・白色鉱物・白色粒	地紋の LR 原体縦位に施し、4本位単位の半 裁竹管により横線を施文する。	
596-19	石器 擦石か	1-34、覆土内 破片	粗粒輝石安山岩 280	遺存長7.9。幅・5.5。 厚・4.3。粗粒輝石安山岩	扁平面が磨滅する。側部には、風化剝離面が 認められる。	
596-20	縄文土器 深鉢	No2+7+35+38 +69+76+79+88 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 角粒粗粒砂・白色鉱物・白色粒	地紋に RL 原体を横転施文し、条線を横位・斜 位に施文する。	接・22点 1-34坑
596-21	縄文土器 深鉢	1-34、No11 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子・砂粒	半裁竹管による沈線施文を、菱形構成に施す。	接・無し
596-22	石器 板状石皿か	1-34覆土内 細片	粗粒輝石安山岩 170	長・6.9。幅・6.3。厚・2.5 粗粒輝石安山岩	板状に剝離した一方の礫面が磨滅し、側部も	
596-23	石器 擦石	1-34覆土No59 完存	粗粒輝石安山岩 340	長・8.3。幅・6.2。厚・4.4 粗粒輝石安山岩	全体に磨滅が顕著で、表裏面に孔を穿つ。 磨滅する。	
597-1	縄文土器 深鉢	1-35覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 金雲母・白色鉱物多	文様の施文は認められない。	接・無し
597-2	縄文土器 深鉢	1-35覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 含繊維・白鉱物・雲母石英片岩	羽状縄文を施文する。	接・無し
597-3	縄文土器 深鉢	1-38覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。褐灰10YR5/1 白色微粒子	無節Lを横転施文する。	接・無し
597-4	縄文土器 深鉢	1-39覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 白色微粒子・褐色粒子	口唇部は肥厚する。口唇部直下に横線を施し、 下位に LR 原体を横転施文する。	接・無し
597-5	縄文土器 深鉢	1-43覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 砂粒・白色鉱物・角粒粗粒砂	横位の隆帯の直上に RL 原体を横転施文す る。	接・無し

第1区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
597-6	縄文土器 深鉢	1-43覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	半裁竹管により連弧文を施文する。 2595鈍褐	接・無し
597-7	縄文土器 深鉢	1-43覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は外傾し口唇部は尖る。口唇部から幅 広の竹管で山形文を施し、直下に連弧文施文。	接・5点
597-8	縄文土器 深鉢	1-44覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR4/6 砂粒・白色鉱物	横位の条線を施す。	接・無し
597-9	縄文土器 深鉢	1-45覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙5YR6/6 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横転施文する。	接・無し
597-10	縄文土器 深鉢	1-45覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	器面の風化顕著。LR(?) 原体の横転施文か。	接・無し
597-11	縄文土器 深鉢	1-49覆土内 把手片	厚・1.0	酸化・硬。鈍黄橙10YR7/2 白色鉱物粒子・赤褐色粒子	波状口縁部の把手部。山形状を呈し、器内面 側を環状に表出。	接・2点
597-12	縄文土器 深鉢	1-55覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙5YR6/6 砂粒・白色鉱物	RL 原体を縦転施文する。	接・無し
597-13	縄文土器 深鉢	1-56覆土内 破片	厚・1.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色鉱物・白色粒子	把手部の冠部と考えられる。	接・無し
597-14	縄文土器 深鉢	1-57覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。明赤褐5YR5/6 角粒粗粒砂・雲母石英片岩	文様は不鮮明。 多野地区からの搬入品。	接・無し
597-15	縄文土器 深鉢	1-60覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 砂粒・白色粒子	RL 原体を縦転施文する。	接・無し
597-16	縄文土器 深鉢	1-61覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 砂粒・白色微粒子	弧線沈線文を施す。	接・無し
597-17	石器 剥片石器	1-61覆土内 完存	黒色頁岩 重・26.92	長・6.7。幅・3.75。厚・1.1 黒色頁岩	縦長剥片の1側縁に刃部加工を施す。	
597-18	縄文土器 深鉢	1-62覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。明褐7.5YR3/3 含繊維・白色微粒子	地文に LR 原体を横転施文し、半裁竹管によ り縦・横・斜位に連続爪形文を施文する。	接・無し
597-19	縄文土器 深鉢	1-62、No 5 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	縦位の竹管条痕を施す。	接・無し
597-20	縄文土器 深鉢	1-63覆土内 把手片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄褐10YR6/3 粗粒砂・含繊維・白色微粒子	縦位の弧線文区画内に RL 原体を充填施文す る。	接・無し
597-21	縄文土器 深鉢	1-64覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 白色微粒子・白色鉱物	地文に LR 原体を横転施文し、横位に竹管条 線を施文する。	接・無し
597-22	縄文土器 深鉢	1-64、No 4 破片	厚・0.8	酸化・並。褐灰5YR4/1 繊維・白色微粒・雲母石英片岩	羽状縄文を施文し、半裁竹管による横位の沈 線文を施文する。	接・無し
597-23	縄文土器 深鉢	1-64、No 2 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	無節L 原体を横転施文する。	接・無し
597-24 208-3	縄文土器 深鉢	1-64覆土内 破片	底・9.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色粒子	1 原体を縦転施文する。	接・無し
597-25	縄文土器 深鉢	1-67覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 砂粒・白色鉱物	楕円区画隆帯を施文する。	接・無し
597-26	縄文土器 深鉢	No 1 + 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 繊維・白色微粒・雲母石英片岩	口縁部は緩やかに外反し口唇部は平坦。RL 原体を横転施文する。多野地区からの搬入品。	接・2点
597-27	縄文土器 深鉢	1-69覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 含繊維・白色微粒・夾雑物少	羽状縄文か。RL 原体の横転施文は明確。	接・無し
597-28	縄文土器 深鉢	1-70覆土内 把手片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色微粒子	弧線沈線文が入り組む。	接・無し
597-29	縄文土器 深鉢	1-70覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 砂粒・白色微粒子	口唇部は丸い。口唇部直下に横位の沈線を施 し、直下に RL (?) 原体を縦転施文する。	接・無し
597-30	縄文土器 深鉢	1-71、No 1 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、LR 原体を縦転施文する。	接・無し
597-31	縄文土器 深鉢	1-71、No 2 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・赤褐色粒・白色鉱物	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位施文する。	接・無し
597-32	縄文土器 深鉢	1-73覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	LR 原体を縦転施文する。	接・無し
598-1	縄文土器 深鉢	1-75、No 2 破片	厚・0.7	酸化・並。褐灰7.5YR4/1 含繊維・白色微粒子	無節R 原体を横転施文施文し、付加結節縄文 を施文する。	接・9点
598-2	縄文土器 深鉢	75、No 1 + 3 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維・雲母石英片岩	LR 原体を横転施文する。	接・無し

第1区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
598-3	縄文土器 深鉢	1-77覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 白色微粒子・白色鋳物	LR 原体を横転施文する。	接・無し
598-4	縄文土器 深鉢	1-78、No.2 把手片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	軸原体は不詳。L・Rを付加する原体を斜位 施文する。	接・3点
598-5	縄文土器 深鉢	1-83覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 粗粒砂・角粒粗粒砂・白色鋳物	口唇部は肥厚し丸い。弧線沈線を施し、RL 原 体を充填施文する。	接・無し
598-6	縄文土器 深鉢	1-87覆土内 把手片	厚・0.6	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 砂粒・チャート・白色粒子	細かい RL 原体を横位施文する。	接・無し
598-7	石器 擦石	1-88覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 440	長・8.8。幅・8.0。厚・4.7 粗粒輝石安山岩	扁平面の磨滅が顕著。両面の中央部に集中打 痕を残し、右側部にも顕著に敲打痕を残す。	
598-8	石器 擦石	1-88覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 225	長・9.5。幅・7.9。厚・2.8 粗粒輝石安山岩	扁平面の磨滅が顕著。表面に2孔を穿ち、裏 面に打痕。側部に敲きによる剥離がある。	
598-9	縄文土器 深鉢	1-93覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 細砂粒	楕円隆帯を施し、内側に押引文を施文する。	接・3点
598-10	縄文土器 深鉢	1-94覆土内 把手片	厚・0.8	酸化・並。灰白2.5Y8/2 粗粒砂・白色鋳物	柵状の沈線区画を施し、LR 原体を充填施文 する。	接・無し
598-11	縄文土器 深鉢	1-94覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 粗粒砂・白色鋳物	口縁部は外反し、口唇部は直立。沈線による 区画帯縄文を施文するが、原体は風化で不詳。	接・2点
598-12	縄文土器 深鉢	1-49覆土内 把手片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 白色粒子・角粒チャート・砂粒	上面は環状に表出し沈線施文を施す。器外面 は垂下する刻み隆帯・刺突文・沈線を施す。	接・無し
598-13	縄文土器 深鉢	1-97覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10YR8/1 粗粒砂・角粒粗粒砂・白色鋳物	RL 原体を充填施文する。	接・4点
598-14 208-5	縄文土器 深鉢	1-97覆土内 破片	底・(10.9)	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂・赤褐色粒子	外傾して立ち上がる。 文様は認められない。	接・3点
598-15 208-4	縄文土器 深鉢	1-97覆土内 破片	底・5.1	酸化・硬。橙5YR6/6 白色粒子・粗粒砂	括れを有し立ち上がる。器厚は薄い。 文様は認められない。	
598-16	縄文土器 深鉢	1-99覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 砂粒・白色粒子	弧線沈線内に RL 原体を充填施文する。	接・無し
598-17	縄文土器 深鉢	1-99覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 粗粒砂・白色鋳物	胴部下半部は丸味を帯、上半部内傾する。文 様は山形沈線文を配置する。	接・2点

第2区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
598-18	縄文土器 深鉢	2-4覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 角粒粗粒砂・白色鋳物	文様の施文は認められない。	接・無し
598-19	縄文土器 深鉢	2-5覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。赤褐5YR4/8 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
598-20	縄文土器 深鉢	2-8覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横位施文する。	接・無し
599-1	縄文土器 深鉢	2-11覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒多	LR 原体を縦転施文する。	接・無し

第2区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
599-2	縄文土器 深鉢	2-12覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗粒砂・白色粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
599-3	石器 石鏃	2-12覆土内 破片	チャート 重・0.35	遺存長1.1。残存幅・1.45 厚・0.35。チャート	有茎平根三角形式。	
599-4	縄文土器 深鉢	2-15覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR6/8 石英・砂粒多・細礫	RL 原体を縦位施文する。	
599-5	石器 擦石	2-15覆土No.1 完存	重・710	長・11.3。幅・8.5。厚・4.8 粗粒輝石安山岩	扁平面の磨滅が顕著で、両面の中央部に集中、 打痕を残し側部にも敲打痕を顕著に残す。	
599-6	縄文土器 深鉢	2-17覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・白色微粒子・褐粒	口縁部隆帯内は横位、隆帯下位は斜位に LR 原体を施文する。	接・無し
599-7	縄文土器 深鉢	2-20覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	無節 L 原体を横転施文する。	接・無し

第2区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
599-8	縄文土器 深鉢	2-17覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 白色鉱物・細礫・粗粒砂	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
599-9	縄文土器 深鉢	2-21覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。暗褐10YR3/3 含繊維・白色微粒子	無節R 原体を横転施文する。	接・無し
599-10	縄文土器 深鉢	2-22覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・白色微粒子	隆帯のみが残存する。	接・無し
599-11	縄文土器 深鉢	2-23覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。暗褐10YR3/3 含繊維・白色微粒子	無節L 原体を横転施文する。	接・無し
599-12	石器 石核	2-23覆土内 完存	チャート 重・95	長・5.9。幅・4.6。厚・3.4。 チャート	3面構成で、1面は自然面を残す。節理が多い ため、節理面での剥離が目立つ。	
599-13	縄文土器 深鉢	2-24覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 砂粒・赤褐色粒子	RL 原体を充填施文する。	
599-14	石器 剥片石器	覆土内 完存	ホルンフェルス 重・82	長・7.2。幅・5.8。厚・1.7 ホルンフェルス	剥片の1縁辺に剥離(加工か)が認められる。	
599-15	縄文土器 深鉢	2-25覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種LR+2Rの横転施文と考えら れる。	
599-16	縄文土器 深鉢	2-28覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒・白色微粒子	弧線帯状縄文を施す。原体はLR。	接・無し
599-17	縄文土器 深鉢	2-28覆土内 破片	厚・1.7	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 粗粒砂・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
599-18	縄文土器 深鉢	2-31覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	半裁竹管による平行沈線を菱形構成する様に 施文する。	接・無し
599-19	縄文土器 深鉢	2-31覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	無節R 原体を横転施文する。	接・無し
599-20	縄文土器 深鉢	2-31覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	無節L 原体を横転施文する。	接・無し
599-21	縄文土器 深鉢	2-32覆土内 把手片	厚・0.7	酸化・並。褐7.5YR4/4 白色鉱物粒子・白色粒子	刻みを伴う渦巻き状隆帯の縁辺に、連続爪形 文を施す。	接・無し
599-22	石器 剥片石器	2-28覆土内 完存	珪質頁岩 重・8.30	長・4.4。幅・2.8。厚・0.85 珪質頁岩	剥片の1側縁に刃部加工を施す。	
599-23	縄文土器 深鉢	2-33覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色粒子・砂粒	半裁竹管による押引文を施す。	接・無し
599-24	縄文土器 深鉢	2-34覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明黄褐10YR7/6 粗粒砂・白色鉱物	弧線平行沈線文を施し、列点文を施文する。	接・無し
599-25	縄文土器 深鉢	2-34覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 粗粒砂角粒砂・白色鉱物	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
599-26	縄文土器 深鉢	2-34覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂	弧線沈線区画文内にRL 原体を充填施文す る。	接・無し
599-27	土製品 円盤	2-34覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/8 白色微粒子・白色鉱物	深鉢の胴部片を転用する。文様はRL 原体を 施文する。	接・無し
599-28	土製品 円盤	2-34覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/8 砂粒	半裁竹管による平行沈線文が認められる。 深鉢の胴部片を転用する。	接・無し
600-1	縄文土器 深鉢	2-37覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・砂粒	RL 原体を横位施文する。	接・無し
600-2	縄文土器 深鉢	2-38覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	無節L 原体を横転施文する。	接・無し
600-3	縄文土器 深鉢	2-38覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	RL 原体を施文する。破片の縁辺を加工して 円盤にする。	接・無し
600-4	縄文土器 深鉢	2-43覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。赤褐5YR4/6 含繊維・白色微粒子	無節R 原体を横転施文する。	接・無し
600-5	縄文土器 深鉢	2-44覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	口唇部は尖り気味。RL 原体を横位施文する。	接・無し
600-6	縄文土器 深鉢	2-47覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 雲母石英片岩・白色微粒子	口縁部は外傾し、口唇部は短く外側に折れる。	接・無し
600-7	縄文土器 深鉢	2-45覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。黄橙10YR8/6 砂粒	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
600-8	縄文土器 深鉢	2-46覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 白色微粒子・細砂粒	縦位方向の研磨を施すが、文様の施文は認め られない。	接・無し

第2区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
600-9	縄文土器 深鉢	2-47覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させる。	接・無し
600-10	縄文土器 深鉢	2-48覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 粗粒砂・白色粒子	懸垂文と RL 原体による施文。	接・無し
600-11	土製品 円盤	2-54覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙5YR6/6 粗粒角粒砂・粗粒砂・白色粒	深鉢の胴部片を転用する。文様は7本1単位の 櫛歯条痕を施文する。	接・無し
600-12	縄文土器 深鉢	2-55覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 粗粒砂・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
600-13	縄文土器 深鉢	2-56覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・細礫・チャート	縦位・斜位の沈線区画内に RL 原体を縦位施 文する。	接・無し
600-14	縄文土器 深鉢	2-56覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙2.5Y6/8 砂粒・白色微粒子・白色粒子	篋撫等で削痕か。	接・無し
600-15	土製品 円盤	2-66覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・赤褐色粒子・白色微粒子	深鉢の胴部片を転用する。文様は縦位の楕円 隆帯と、RL 原体の施文が認められる。	接・無し
600-16	縄文土器 深鉢	2-66覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒	縦位の細い隆帯を垂下させ、5+α本の櫛歯 条痕を縦位に蛇行施文する。	接・無し
600-17	縄文土器 深鉢	2-66覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 細砂粒・白色鉱物	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位施文する。	接・無し
600-18	石器 擦石	2-25覆土No.1 完存	粗粒輝石安山岩 重・1160	長・16.5。幅・10.1。厚・5.7 粗粒輝石安山岩	表裏の扁平面が顕著に磨滅し、小口・中央寄 りに敲打痕が集中化する。	
600-19	縄文土器 深鉢	2-78覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 白色粒子・細砂粒	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚する。口唇部 直下に横線を施文する。	接・無し
600-20	縄文土器 深鉢	2-78覆土内 破片	厚・1.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色微粒子・砂粒・赤褐色粒	高台状に上げ底を表出。 文様の施文は認められない。	接・無し
600-21	縄文土器 深鉢	2-78覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 白色微粒子・細砂粒少	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
600-22	縄文土器 深鉢	2-83覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・白色微粒子	RL 原体を縦位施文する。	接・無し
600-23	須恵器 破片	2-83覆土 破片	厚・1.1	還元・締。灰5Y4/1。密、重。 白色鉱物、黒色粒、他少。	傾き不明。内外面自然釉あり。外面平行叩。 内面当て目見え、紐作痕。割れ口消耗少。	
600-24	縄文土器 深鉢	2-84覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・白色鉱物	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚する。口唇部 直下に楕円沈線文を施し、RL 原体を充填。	接・無し
600-25	縄文土器 深鉢	2-84覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・白色鉱物	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚する。地紋に RL 原体を施し、楕円沈線文を施す。	接・無し
600-26	縄文土器 深鉢	2-92覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR7/6 砂粒	懸垂文を垂下させ、RL 原体を充填施文する。	接・無し
600-27	縄文土器 深鉢	2-96覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR6/6 粗粒砂・赤褐色粒子・白色粒	縦位の沈線文が認められるのみ。	接・無し
600-28	縄文土器 深鉢	2-96覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 砂粒	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
600-29	土製品 円盤	2-95覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 白色鉱物・砂粒	深鉢の胴部片を転用する。文様の施文は認め られない。	接・無し
600-30	縄文土器 深鉢	2-97覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/8 含繊維・白色微粒子・砂粒	RL 原体を横位施文する。	接・無し
601-1	須恵器 甕	2-98覆土 破片	厚・0.7	還元・硬。灰 N5/0。密、重。 針状物質含、白色鉱物含。	傾き不明。内面素文当て目と撫削。外面平行 叩、割れ口少し消耗。	北埼玉
601-2	土製品 円盤	2-98覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 白色微粒子・細砂粒	深鉢の胴部片を転用する。文様は LR 原体を 縦転施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
601-3	縄文土器 深鉢	2-103覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。赤褐5YR4/6 白色鉱物・赤褐色粒子	横位に隆帯を施文し、上位に櫛目条痕を斜位 に施す。	接・無し
601-4	縄文土器 深鉢	2-104覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR4/4 白色鉱物・白色微粒子	15本1単位の櫛目条痕を縦位に施す。	接・無し
601-5	縄文土器 深鉢	2-105覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明黄褐10YR6/6 砂粒	胴部隆帯を施し、LR 原体を縦転施文する。	接・無し
601-6	瓦 棧瓦	2-106覆土	厚・1.7	還元・並。灰 N4/。粗、 やや重。白色・灰粒含。	裏面石目状の型膚。表面雲母状の光沢あり。 割れ口消耗あり。	深谷か
601-7	縄文土器 深鉢	2-108覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 砂粒・白色微粒子	擦消縄文。LR 原体を横転施文する。	接・無し

第2区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
601-8	土師質土器 皿	2-112覆土 口縁破片	厚・0.7	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗、軽。金雲母、白色、褐粒含。	轆轤成形（左回転か）。底部は回転糸切り。 内面に不定方向の撫。	中世
601-9	軟質陶器	2-112覆土 口縁破片	厚・1.0	還元・酸化、並。7.5YR5/6 粗、軽。白色・褐粒含、他含。	外面に横撫痕、石目状の型膚痕。内面撫痕。 割れ口消耗あり。焼成3層。	17~19C
601-10	縄文土器 深鉢	2-113覆土 破片	厚・1.4	酸化、並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・白色微粒子	無節1原体を縦位施文する	接・無し
601-11	縄文土器 深鉢	2-119覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒・赤褐色粒	無節L原体をを横転施文する。	接・無し
601-12	縄文土器 深鉢	2-120覆土内 破片	厚・1.4	酸化・並。黒褐10YR3/1 含繊維・白色微粒・白色鈹物	連続爪形文を3段に施す。	接・無し
601-13	縄文土器 深鉢	2-120覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。褐10YR4/6 含繊維・白色微粒子	口唇部直下に連続爪形文を2段施す。	接・無し
601-14	縄文土器 深鉢	2-125覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。土2.5Y6/4 粗粒砂・白色鈹物	弧線文沈線文を施し、LR原体を充填施文する。	接・無し
601-15	縄文土器 深鉢	2-129、No.1 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・白色鈹物・赤褐色粒	弧線沈線文を施し、RL原体を縦位施文する。	接・無し
601-16	縄文土器 深鉢	2-136覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。明黄褐10YR6/6 砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、LR原体を縦転施文する。	接・無し
601-17	石器 石皿	2-136覆土 一部欠損	粗粒輝石安山岩 3910g	遺存長・29.3。巾・17.85 厚・5.6	平坦面が摩滅する。	
601-18	縄文土器 深鉢	2-142覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明黄褐10YR6/6 金雲母・白色鈹物・白色微粒	隆帯を施文するが、欠損している。	接・無し

第3区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
601-19	土師器 甕	3-4覆土内 底部破片	底・7.5	酸化、並。橙7.5YR6/6 並、やや重。白色粒含、鈹物含	底面篋削。体部撫。内面篋撫、吸炭あり。割れ口少し消耗。	5~6C 初
601-20	縄文土器 深鉢	3-8覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 角粒粗粒砂・白色微粒子	9+α単位の刷毛状工具による縦位施文。	接・無し
601-21	須恵器 坏	3-26覆土 破片	厚・0.7	酸化、鈍橙7.5YR6/4。粗、軽。 褐粒含、他鈹物含。	内外面に回転撫あり。底面切り離し見えず。 割れ口消耗。	
601-22	軟質陶器 焙烙	3-27覆土 破片	厚・0.7	還元、並。灰黄2.5Y7/2。並、 軽。白色・黒・褐粒含、他含。	底面に石目状の型膚あり。内面に回転条痕あり。 割れ口少し消耗。	18~20C 小泉か
602-1	瓦 煉瓦	3-27 破片	厚・0.6	酸化、締。赤褐5YR4/6。 密、重。鈹物微。	三州瓦のような質で煉瓦かもしれない。曲率は低い。割れ口消耗微。	東海か 20C
602-2	土師質土器 皿	3-32 体部片	厚・0.4	酸化、並。鈍橙7.5YR6/4。	轆轤成形。内面に轆轤目あり。割れ口消耗あり。 黄色味強い。	15・16C
602-3	施釉陶器 壺	3-33覆土 体部片	厚・0.6	還元・酸化、締。釉灰黄褐10YR 4/2。胎土暗黒灰。	耳壺。外面上方に茶褐鉄釉、下方轆轤右回転 篋削。内面に轆轤目。国産か舶載か不明。	15~17C
602-4	土師器 甕	3-36覆土 口縁部片	口・(12.4)	酸化、並。鈍黄橙10YR6/4。 並、軽。褐粒含、他含。	口縁部のみで、下方は壺か。内外面横撫。焼 成芯黒3層気味。割れ口消耗。	
602-5	土師質土器 皿	3-37	口・(10.4)	酸化、並。鈍黄橙10YR7/4。 粗、軽。黒粒、鈹物含、他含。	轆轤成形（左回転）。内外焼成色変あり。割れ 口消耗少。	
602-6 208-7	土師質土器 皿	3-38覆土No.1 完形	口・12.7 底・6.5	酸化、並。鈍黄橙10YR7/4。 並。金雲母、褐粒含。	底部は左回転糸切り。全体の色調は肌色。 内面は轆轤目。	15Cか
602-7	須恵器 甕	3-41 破片	厚・0.7	還元、並。灰5Y4/1。密、 やや重。白色粒含、鈹物含。	内外面当て目、叩目は撫でられ不明。割れ口 消耗大。	笠・太田 か
602-8	須恵器 坏	3-66覆土 口縁部片	厚・0.2	還元、硬。灰N4/。密、重。 白色粒少、他微。	口縁部はやや肥厚。割れ口の消耗微。口作は 埼玉県北部を思わせるが東海かも。	埼玉北部 ~東海
602-9	土師器 甕か	3-80覆土	厚・0.7	酸化、並。明赤褐5YR5/6。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	器肉と破片の傾きは甕のようであるが誤かも もしれない。外面撫、内面篋撫。消耗あり。	
602-10	土師器 坏	3-81 破片	厚・0.4	酸化、並。鈍褐7.5YR5/4。	口縁部の内外面横撫。外面下方型膚。割れ口 消耗微。	
602-11	土師器 甕	3-83・84覆土 破片	厚・0.4	酸化、並。鈍橙7.5YR6/4。 並、やや軽。白色粒、鈹物含。	内外面横撫。割れ口少し消耗。外面被熱の吸 炭か少し黒ずむ。	
602-12	須恵器 碗	3-83・84 破片	厚・0.7	還元、軟。灰黄2.5Y6/2。 並、軽。白色粒少、他鈹物少。	内面に回転による轆轤目あり。底面は高台貼 付後、回転撫。割れ口の消耗大。	粘

第3区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
602-13	須恵器 坏	3-84 破片	厚・0.4	酸化・並。浅黄2.5Y7/3。並、 やや軽。白色粒含、他鉱物少。	内外面に轆轤による回転の横無あり。割れ口 の消耗少。	10・11C
602-14	石器 剥片石器か	3-313覆土内 不詳	ホルンフェルス 重・12.4	長・3.2。幅・4.1。厚・0.9 ホルンフェルス	打製石斧の破片とも考えられる。縁辺に刃部 加工とも考えられる剥離が認められる。	

第4区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
602-15	縄文土器 深鉢	4-2覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 粗粒砂・白色鉱物	「S」字状縄文の一部と考えられる。 LR 原体を充填施文する。	接・無し
602-16	縄文土器 深鉢	4-5覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 粗粒砂・白色鉱物	文様は認められない。	接・無し 中期
602-17	縄文土器 深鉢	4-8覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄2.5YR7/2 白色微粒・赤褐色粒・砂粒	縦位の帯縄文が残るLR 原体を縦位充填す る。	接・無し
602-18	土製品 円盤	4-8覆土内 完存	長・4.4 幅・4.2	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 赤褐色粒子・砂粒	文様は認められない。 土器片を転用する。	接・無し
602-19	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 粗粒砂・細礫	文様は認められない。	接・無し
602-20	縄文土器 深鉢	4-11覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR7/9 含繊維・夾雑物少	LR 原体を横転施文する。	接・無し
602-21	縄文土器 深鉢	4-15覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	器面の風化顕著。無節L 原体の横転施文と思 われる。	接・無し
602-22	縄文土器 深鉢	4-8覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明黄褐10YR7/6 シルト粒・白色粒子・砂粒	波状口縁の一部。縦位の区画縄文が残る。	接・無し
602-23	縄文土器 深鉢	4-17覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 白色鉱物・砂粒・白色微粒子	「S」字状縄文。RL 原体を充填施文する。 2766・2768と同一個体。	接・無し
602-24	縄文土器 深鉢	4-17覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 白色鉱物・砂粒・白色微粒子	口縁部は内湾し、口唇部直下に隆帯を巡らす。 沈線区画内に RL 原体を充填する。	接・無し
602-25	縄文土器 深鉢	4-17覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 白色鉱物・砂粒・白色微粒子	「S」字状縄文。RL 原体を充填施文する。 2767・2768と同一個体。	接・無し
602-26	縄文土器 深鉢	4-18覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 白色鉱物・粗粒砂	4本1 単位の条痕を縦位に施文する。	接・無し
603-1	縄文土器 深鉢	No.6 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種 RL+2L の施文と考えられる。	接・無し
603-2	縄文土器 深鉢	4-16、No.8 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 含繊維・白色微粒子	無節L 原体を横転施文する。	接・無し
603-3 208-8	縄文土器 深鉢	4-16覆土内 破片	最・37.4	酸・硬。鈍橙7.5YR7/3 含繊維・白色粒子・粗粒砂	口縁部は直立か。口縁部に半裁竹管による平行 行く沈線。胴部は RL 原体の疑似羽状縄文。	接・16点
603-4	縄文土器 深鉢	4-19、No.1+2 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 雲母石英片岩・チャート	RL 原体を羽状施文する。	接・2点
603-5	縄文土器 深鉢	4-19、No.3 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種 LR+2R 原体を横転施文する。	接・無し
603-6	縄文土器 深鉢	4-19、No.8 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色鉱物・白色微粒子	RL 原体を横転施文し、上位に半裁竹管による 平行条線を施文する。	接・無し
603-7 208-9	縄文土器 深鉢	4-24覆土内 破片	口・(27.0)	酸化・硬。鈍赤褐2.5YR5/4 山土・金雲母・円粒チャート	口縁部は「く」字状に屈曲刺口唇部は肥厚す る。口縁部に連続刺突文を5段に施文する。	接・16点
604-1	縄文土器 深鉢	4-25覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 金雲母・白色鉱物	作りは薄い。半裁竹管による3段の平行波状 文が施すされる。	接・無し
604-2	縄文土器 深鉢	4-26覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 金雲母・白色鉱物・チャート	円形状の隆帯区画の下端に押引文を施す。	接・無し
604-3	縄文土器 深鉢	4-27、No.7 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR7/6 シルト縞・白色微粒子	沈線による「S」字状区画および、縦位の沈 線区画内に列点刺突文を施す。	接・無し
604-4	石器 石鏃	4-27、No.10 完存	チャート 重・0.63	長・1.7。幅・1.4。厚・0.6	無茎長平根三角形抉式。	
604-5	石器 石匙	4-27覆土内 一部欠損	チャート 重・10.56	長・3.45。幅・4.3+ α 。	直刃を呈する。	
604-6	石器 石皿	4-27底面直上 完存	粗粒輝石安山岩 重・4700	長・27.2。幅・20.7。厚・6.5 粗粒輝石安山岩	形状は曖昧な状態。使用面も安定していない。	

第4区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
604-7	縄文土器 深鉢	4-28覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白10YR8/2 白色微粒子・細砂粒	沈線による「J」字乃至「S」字状文の一部 と考えられる。	接・無し
604-8	縄文土器 深鉢	4-28覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・石英・粗粒砂	沈線による「J」字乃至「S」字状文の一部 と考えられる。	接・無し
604-9	石器 石核	4-28覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・200	長・9.15。幅・3.65。 厚・4.85。粗粒輝石安山岩	小口の両端からの剥離が行われ、側部にも剥 離が行われている。	
604-10	石器 敲石	4-28覆土内 完存	黒色頁岩 重・1150	長・12.5。幅・10.5。厚・5.7 黒色頁岩	表面中央部・裏面小口寄り・側部に集中打痕 を残す。	
604-11	縄文土器 深鉢	4-32覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒他・白色粒子	弧線帯縄文にLR原体を充填施文する。	接・無し
604-12	縄文土器 深鉢	4-33、No.1 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙7.5YR7/4 含繊維・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
604-13	縄文土器 深鉢	4-35覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒・白色粒・赤褐色粒	RL原体を横転施文する。	接・3点
604-14	縄文土器 深鉢	4-36覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・赤褐色粒子	文様は認められない。	接・無し
604-15	縄文土器 深鉢	4-37覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙7.5YR5/4 砂粒・白色微粒子	撚糸Rを縦位施文する。	接・無し
604-16	縄文土器 深鉢	4-37覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・赤褐色粒子	懸垂文を垂下させ、地紋にRL原体を縦位に 施文する。	接・無し
605-1	石器 擦石	4-38覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・342	長・6.6。幅・6.2。厚・4.9 粗粒輝石安山岩	器面全面が磨滅し、扁平面の磨滅は顕著。	
605-2	縄文土器 深鉢	4-39覆土内	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
605-3	縄文土器 深鉢	4-40覆土内	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/3 粗粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、LR原体を縦位充填する。 2796と同一個体。	接・無し
605-4	縄文土器 深鉢	4-40覆土内	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・白色粒子	口縁部は内湾し把手を備える。口唇部は丸い。 隆帯を施し隆帯上にもLR原体を施文する。	接・3点 2794同一
605-5	縄文土器 深鉢	4-40覆土内	厚・0.8	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 含繊維・白色粒子・砂粒	付加条第2種LR+2L原体を横転施文する。	接・無し
605-6	縄文土器 深鉢	4-42覆土内	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR7/4 粗粒砂	文様は認められない。	接・無し
605-7	土製品 円盤	4-42覆土内	長・3.7 残存幅・2.4	酸化・並。浅黄橙10YR8/4 砂粒	深鉢の胴部片を転用する。文様は認められな い。	接・無し
605-8	縄文土器 深鉢	4-43覆土内	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	波状口縁。連続爪形文を4条口縁に沿い施文 する。	接・無し
605-9	縄文土器 深鉢	4-44覆土内	厚・1.1	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 細礫・チャート・粗粒砂	縦位の沈線文が残存するのみ。	接・無し
605-10	縄文土器 深鉢	4-49覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 白色微粒子・細礫	縦位の沈線区画文と斜位の沈線文を施す。	接・無し
605-11	縄文土器 深鉢	4-51、No.3 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 細礫・白色微粒子	口縁部は無文帯を有し、直下に横位の刺突隆 帯を施す。	接・無し
605-12	縄文土器 深鉢	4-43・47覆土 破片	口・24.2	酸化・並。鈍黄橙7.5YR6/4 細礫・白色微粒子・軽石	キャリパー形の口縁に、LR多条原体を縦位 施文する。	接・2点
605-13	石器 叩石	4-52、覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・162	長・8.0。幅・4.2。厚・3.2 粗粒輝石安山岩	片側の小口に敲打痕が認められる。	
605-14	石器 擦石	4-52、覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・448	長・9.6。幅・6.9。厚・4.8 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、孔を施す。小口・ 側部に敲打痕が認められる。	
605-15	縄文土器 深鉢	4-52覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色粒子	波状口縁。口唇部直下に突起状の把手を備え、 把手の左右に微隆帯を施し、LR原体を施文。	接・無し
605-16	縄文土器 深鉢	4-53覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色微粒子	文様は認められない。	接・無し
605-17	石 スクレイパー	4-53覆土内 完形	ホルンフェルス 92g	長・5.9。幅・6.7。厚・1.7	片面に自然面を残し、周縁を加工する。	
606-1	縄文土器 深鉢	4-55覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 細礫（無繊維）	RL原体を横転施文する。 2809と同一個体。	接・16点
606-2	縄文土器 深鉢	4-58覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白2.5Y8/2 砂粒	口縁部は「く」字状に外反し、口唇部に刺突 文・刺突沈線文を加飾を施す。	接・無し

第4区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
606-3	縄文土器 深鉢	4-58覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 砂粒・白色粒子	口縁部は複合口縁を表出し、口唇部は平坦。 文様は認められない。	接・無し
606-4	縄文土器 深鉢	4-56、No.1 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 白色微粒子（無繊維）	RL原体を横転施文する。 2810と同一個体。	接・無し
606-5	縄文土器 深鉢	4-59覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子	口唇部は丸い。区画沈線文を施し、LR原体を 横転施文する。	接・無し
606-6	縄文土器 深鉢	4-60、No.15 破片	厚・1.3	酸化・並。把手7.5YR7/6 粗粒砂・白色微粒子	2815・2814と同一個体。	接・無し
606-7	縄文土器 深鉢	4-60、No.29 破片	厚・1.3	酸化・並。把手7.5YR7/6 粗粒砂・白色微粒子	2816・2814と同一個体。	接・無し
606-8	縄文土器 深鉢	4-60、No.2 破片	厚・1.3	酸化・並。把手7.5YR7/6 粗粒砂・白色微粒子	半裁竹管による縦位の条痕を施し、波状隆帯 を垂下させる。2816・2815と同一個体。	接・無し
606-9	縄文土器 深鉢	4-60、No.8 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 白色微粒子・砂粒・赤褐色粒	口縁部は内湾し把手を施す。渦巻き隆帯を施 し、懸垂文を垂下させ、LR原体を施文する。	接・無し
606-10	石器 擦石	4-60、No.30 完存	粗粒輝石安山岩 重・779	長・11.3。幅・9.9。厚・4.9 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を 残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
606-11	石器 擦石	4-60、No.24 完存	粗粒輝石安山岩 重・930	長・13.5。幅・9.3。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅する。裏面に被熱による 剥離が認められる。	
606-12	石器か	4-60、No.26	変質玄武岩 重・391	長・14.2。残存幅・4.5。 厚・3.7。変質玄武岩	被熱による剥離が認められる。石器として機 能は被熱による2次的なものと考えられる。	
606-13	石器 擦石	4-60、No.32 完存	溶結凝灰岩 重・1069	長・13.0。幅・12.1。厚・5.6 溶結凝灰岩	両面の扁平面が磨滅し、部分的に剥離が認め られる。被熱にひび割れも認められる。	
607-1	縄文土器 深鉢	4-61覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子	弧線帯縄文を施す。LR原体を充填施文する。	接・無し
607-2	縄文土器 深鉢	4-61覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 粗粒砂・白色粒子	横位の沈線文のみが認められる。	接・無し
607-3	縄文土器 深鉢	4-62覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・赤褐色粒子	弧線帯縄文を施す。LR原体を充填施文する。	接・無し
607-4	縄文土器 深鉢	4-62覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色粒子・粗粒砂	胴部の括れ部分。平行弧線内に列点刺突文を 施す。	接・無し
607-5	縄文土器 深鉢	4-62覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 砂粒・白色粒子・白色微粒子	口唇部に刺突突起を加飾し、突起の直下に垂 する刺突隆帯を施す。	接・無し
607-6	縄文土器 深鉢	4-62覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄2.5Y6/2 細砂粒・白色粒子	弧線帯縄文を施す。LR原体を充填施文する。	接・無し
607-7	縄文土器 深鉢	4-66、No.1 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 金雲母・白色微粒子・黒雲母	扇状把手。縁辺に刻みを施す。	接・無し
607-8	縄文土器 深鉢	4-64、No.8 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 白色微粒子微・夾雑物少	弧線帯縄文を施す。LR原体を充填施文する。	接・無し
607-9	縄文土器 深鉢	4-64、No.4 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 白色粒子・粗粒砂	上下2段に楕円区画沈線文を施す。	接・無し
607-10	縄文土器 深鉢	4-67、No.5 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子・白色粒子	「X」字状の沈線区画内にLR原体を充填施 文する。	接・無し
607-11	縄文土器 深鉢	4-72覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。黄褐10YR5/8 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
607-12	縄文土器 深鉢	4-73覆土No.2 破片	底・9.4	酸化・並。鈍赤褐5YR5/3 角粒粗粒砂・石英・赤褐色粒子	器外面は粗い横位の篋撫でを施す。 文様の施文は認められない。	接・無し
607-13	縄文土器 深鉢	4-75覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 細砂粒・夾雑物少。	口縁部は外反し口唇部は内側に短く折る。 「X」字状文を施文するが原体の施文は無。	接・無し
607-14	縄文土器 深鉢	4-73、No.1 破片	底・(8.9)	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 金雲母・白色微粒子・粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
607-15	縄文土器 深鉢	4-75覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・黒色微粒子・白色微粒子	口唇部は内側に折り曲げる。「X」乃至「S」 字状文の一部。LR原体を充填施文する。	接・無し
607-16	縄文土器 深鉢	4-76、No.5 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄2.5Y7/4 砂粒・白色微粒子	口唇部は丸い。横位の平行沈線内に列点刺突 を施す。	接・無し
607-17	縄文土器 深鉢	4-77覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒	弧線沈線文の内側にLR原体を充填施文す る。	接・無し
607-18	縄文土器 深鉢	4-75覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒・白色微粒子	口唇部は短く内側に折り、貼付文を施す。 「X」・「S」字状縄文を施す。原体はLR。	接・7点

第4区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
607-19	縄文土器 深鉢	4-78覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。褐10YR4/6 含繊維・白色微粒子・砂粒	付加条第2種 RL+2L 原体を横転施文する。 2842と同一個体。	接・無し
608-1	縄文土器 深鉢	4-79覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	無節原体を羽状施文する。	接・4点
608-2	縄文土器 深鉢	4-79覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。褐10YR4/6 含繊維・白色微粒子・砂粒	付加条第2種 RL+2L 原体を横転施文する。 2840と同一個体。	接・5点
608-3	縄文土器 深鉢	4-79覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	波状口縁。口唇部は沈線状の施文。口唇部直下 にループ文を施文し、無節原体の羽状施文。	接・7点
608-4	石器 打製石斧	4-85覆土内 完存	ホルンフェルス 重・270	長・15.0。幅・8.8。厚・2.2。 ホルンフェルス	撥形様の分銅形を呈し比較的扁平である。 使用痕は比較的顕著。	
608-5	縄文土器 深鉢	4-86覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。明赤褐5YR5/6 砂粒・白色鉱物	横位の隆帯を施文する。	接・無し
608-6	石器 多孔石	4-86、No.2 完存	粗粒輝石安山岩 重・10900	長・23.6。幅・20.8 厚・17.0。粗粒輝石安山岩	礫の表裏に孔が認められ、両小口に大きな孔 がそれぞれに認められる。	
608-7	石器 敲石	4-86覆土内 破片	雲母石英片岩 重・430	残存長・11.8・残存幅・5.1 雲母石英片岩	3面を欠損する。先端側に集中打痕を残す。	
608-8	縄文土器 深鉢	4-90覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。明褐7.5YR5/8 細砂粒・白色鉱物少	斜位の帯条縄文を施す。原体はLR。	接・無し
608-9	縄文土器 深鉢	4-92覆土内 深鉢	厚・1.2	酸化・並。明赤褐5YR5/8 砂粒・細白色鉱物	RL 原体を縦位施文する。	接・無し
608-10	縄文土器 深鉢	4-93覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黄灰2.5Y4/1 粗粒砂・白色鉱物	懸垂文を垂下させ、LR 原体を縦転施文する。	接・無し
608-11	縄文土器 深鉢	4-93覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。褐灰10YR4/1 細砂粒・白色微粒子	器面の風化顕著。LR 原体を縦転施文する。	接・無し
608-12	石器 敲石	4-97覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・250	長・6.3。幅・5.7。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	全体がすべすべしているが、加工に伴うとは 思われない。一部に打痕が認められる。	
608-13	縄文土器 深鉢	4-95覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	上げ底。無節原体を施文する。	接・無し
608-14	縄文土器 深鉢	4-96覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横位施文する。	接・無し
608-15	石器 スクレイパー	4-98覆土内 1/2	ホルンフェルス 重・43	長・7.8。残存幅・4.4。 ホルンフェルス	表面に礫面を残す。縁辺に刃部加工を施す。	
608-16	縄文土器 深鉢	4-98覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子・チャート	無節L 原体によるループ縄文を施文する。	接・無し
608-17	縄文土器 深鉢	4-99覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。赤褐5YR4/6 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施す。	接・無し
609-1	縄文土器 深鉢	4-82覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明褐7.5YR5/6 粗粒砂・白色鉱物・褐粒	無節L 原体を横転施文する。	接・無し
609-2 208-11	縄文土器 深鉢	4-82覆土下層 破片	口・(28)	酸化・軟。鈍赤褐5YR5/4 金雲母・白色鉱物・黒雲母	胴部下半部に「T」字状に隆帯を施し、口縁 部は楕円区画隆帯内に、連続押引文を施文。	接合34片
609-3 208-10	縄文土器 深鉢	4-82覆土下層 1/5	口・25.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 金雲母・白色鉱物・黒雲母	口縁に4単位の把手を施す。器面全体に斜位 の撫でを施す。	
610-1	縄文土器 深鉢	4-100覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・赤褐・白色粒子	縦位の沈線文が認められる。	接・2点
610-2	縄文土器 深鉢	4-102覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 細砂粒・透明鉱物	弧線帯条縄文を施す。原体はLR。	接・無し
610-3 208-12	縄文土器 深鉢	No1+4+5+8 口縁1/4	口・(32.9)	酸化・並。鈍橙5YR6/3 含繊維・白色微粒子・細砂粒	絡条体Lを縦位施文する。	接・15点
610-4	石器 擦石	4-103覆土内 破片	粗粒輝石安山岩 重・215	残存長・7.6。残存幅・7.0。 残存厚・3.0。粗粒輝石安山岩	礫面の扁平面を利用する。中央部に集中打痕 を残す。	
610-5	縄文土器 深鉢	4-107覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒	深鉢の底部。縄文中期(勝坂・阿玉台)。	接・無し
610-6	縄文土器 深鉢	4-109覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。褐7.5YR4/3 金雲母・白色鉱物	横位の隆帯を施し、刻み貼付文を施す。隆帯 の下位に縦位の押引文を施文する。	接・無し
610-7	縄文土器 深鉢	4-111覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/4 砂粒・赤褐色粒子・白色粒子	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
610-8	縄文土器 深鉢	4-112覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。明黄褐10YR7/6 砂粒・白色粒子	横位隆帯を施し、上位に連続刺突文を施す。	接・無し

第4区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
610-9	縄文土器 深鉢	4-119覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色粒子・白色鉱物	5本1単位の櫛歯条痕文を縦位施文する。	接・無し
610-10	縄文土器 深鉢	4-120覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/4 粗粒砂・細礫	文様の施文は認められない。	接・無し
610-11	縄文土器 深鉢	4-121覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR7/6 砂粒少	縦位・弧線帯縄文を施す。原体はRL原体を充填施文する。	接・無し
610-12	縄文土器 深鉢	4-122覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 粗粒砂・細礫	LR原体を縦転施文する。	接・無し
610-13	縄文土器 深鉢	4-126覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄2.5Y3/8 砂粒・赤褐色粒子	LR原体を縦転施文する。	接・無し
610-14	縄文土器 深鉢	4-130覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 細砂粒・白色微粒子	口縁部は内湾し、口唇部横撫でに把手を具備する。把手部の左に弧状に押し文を施文する。	接・無し
610-15	縄文土器 深鉢	4-132覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/4 粗粒砂・赤褐色粒子	横位隆帯施し、口唇部から縦位に「8」の字貼付文を施す。下位はLR原体を縦転施文。	接・無し
610-16	縄文土器 深鉢	4-133覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種の羽状施文する。	接・無し
610-17	縄文土器 深鉢	4-134覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。5YR7/6 粗粒砂・赤褐色粒・白色粒	波状口縁。波頂部を欠損する。文様の施文は認められない。	接・無し
610-18	縄文土器 深鉢	4-135覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒・白色鉱物	口縁部隆帯区画の部分と考えられる。RL原体を充填施文する。	接・無し
610-19	縄文土器 深鉢	4-137覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	口唇部は平坦。RL原体を横位施文する。	接・無し
610-20	縄文土器 深鉢	4-139覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色粒子	微隆帯区画内にRL原体を充填施文する。	接・無し
610-21	縄文土器 深鉢	4-143覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 砂粒多	RL原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
611-1	縄文土器 深鉢	4-147覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。赤褐5YR4/6 含繊維・白色微粒子	付加条第2種の横転施文か。	接・無し
611-2	石器 敲石	4-147覆土 1/2	溶結凝灰岩 重・335	残存長・6.6。幅・7.7。 厚・5.0。溶結凝灰岩	小口に敲打痕を顕著に残す。礫面の扁平面を擦石としても利用。両面中央部に集中打痕。	
611-3	縄文土器 深鉢	4-153覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子少	竹管の菱形構成とRL原体を横位施文する。	接・無し
611-4	縄文土器 深鉢	4-188覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄橙10YR8/4 含繊維・白色微粒子・砂粒	器面の風化顕著。無節原体の横転施文だが、風化のため原体の詳細は不詳。	接・無し
611-5	縄文土器 深鉢	4-192覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 雲母石英片岩	地紋にRL原体を横位に施文し、円管刺突文を施す。	接・無し
611-6	縄文土器 深鉢	4-193覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 細砂粒・白色微粒子	隆帯を施し、RL原体を充填施文する。	接・無し
611-7	縄文土器 深鉢	4-212覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR7/6 砂粒・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
611-8	縄文土器 深鉢	4-214覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	RL原体を横位施文する。	接・無し
611-9	縄文土器 深鉢	4-216覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐2.5YR5/8 粗粒砂・細礫	微隆帯を施し、LR原体を縦転施文する。	接・無し
611-10	縄文土器 深鉢	4-217覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 粗粒砂多	LR原体を縦転施文する。	接・無し
611-11	縄文土器 深鉢	4-222覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙5YR6/6 粗粒砂・細礫	RL原体を横位施文する。	接・無し
611-12	縄文土器 深鉢	4-224覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙5YR7/6 含繊維・白色微粒子	RL原体を横位施文する。	接・無し
611-13	縄文土器 深鉢	4-225覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 粗粒砂・赤褐色粒・白色粒子	口縁部は外反する。幅広の弧線状の沈線区画内にLR原体を充填施文する。	接・無し
611-14	縄文土器 深鉢	4-225覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黄橙10YR7/3 白色粒子・砂粒	弧線帯縄文を施す。LR原体を施文する。	接・無し
611-15	縄文土器 深鉢	4-225覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂・角粒粗粒砂	弧線帯縄文を施す。RL原体を施文する。	接・無し
611-16	縄文土器 深鉢	4-225覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂・角粒粗粒砂	弧線帯縄文を施す。RL原体を施文する。	接・無し
611-17	縄文土器 深鉢	4-225覆土内 完存	—	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 細砂粒・白色粒子	4単位の波状口縁の把手部。冠部を「S」字状に隆帯加飾し、沈線文を施す。	接・無し

第4区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
611-18	縄文土器 深鉢	4-238覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄2.5Y7/2。 砂粒多、白色粒・角粒粗粒砂。	LR 原体を縦転施文する。	接・無し
611-19	縄文土器 深鉢	4-241覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄2.5Y8/3。 粗粒砂・赤褐色粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
611-20	縄文土器 深鉢	4-233覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。オリーブ黒5Y2/2 含繊維・白色微粒子	粗い LR 原体を縦転施文する。	接・無し
611-21	石器 剥片石器	4-236覆土内 破片	珪質頁岩 重・32	長・6.5。幅・4.5。厚・1.3 珪質頁岩	剥片の1側縁に微細な剝離が認められる。	
611-22	縄文土器 深鉢	4-243覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR7/6 粗粒砂・細礫・粗粒赤褐色粒子	器面の風化顕著。口唇部を肥厚様にする。下に燃糸と思われる圧痕が認められる。	接・無し 早期燃糸系
611-23	縄文土器 深鉢	4-245覆土内 把手片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色粒子・赤褐色粒子	表裏・上下に孔を穿ち、中空状になっている。	接・無し
611-24	縄文土器 深鉢	4-250覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 粗粒砂・細礫	「J」字状文等を施す。原体は LR を施文する。	接・無し
612-1	縄文土器 深鉢	4-259覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂多・細白色鈹物	文様の施文は認められない。 縦位の撫で整形を施している。	接・無し
612-2	縄文土器 深鉢	4-260覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色鈹物・粗粒砂	LR 原体を縦転施文する。	接・無し
612-3	縄文土器 深鉢	4-266覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 金雲母・白色鈹物	小把手を具備し、口唇部の左側に刻みを施す。文様の施文は認められない。	接・無し 2906同一
612-4	縄文土器 深鉢	4-268覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR4/3 金雲母・白色鈹物	文様の施文は認められない。 612-3 と同一個体。	接・2点
612-5	縄文土器 深鉢	4-271覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
612-6	縄文土器 深鉢	4-272覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 細砂粒・白色微粒子	縦位の沈線間に LR 原体を縦位充填する。	節・2点
612-7	縄文土器 深鉢	4-269覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 細砂粒・白色微粒子	器面の風化顕著。文様が山形押形文とも組紐 原体の施文とも見られる。	接・無し
612-8	縄文土器 深鉢	4-273覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細白色鈹物	RL 原体を横位施文する。	接・無し
612-9	縄文土器 深鉢	4-274覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明褐7.5YR5/6 白色粒子・砂粒	三叉状隆帯を中心に縦横に隆帯を施す。隆帯下は半裁竹管の平行沈線文と連続刺突を施す。	接・無し
612-10	縄文土器 深鉢	4-275覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。5YR4/6 金雲母・白色鈹物・粗粒砂	波状口縁。波頂部に刻みを施す「8」の字貼付文を施し、口唇部を肥厚させ刻みを施す。	接・無し
612-11	縄文土器 深鉢	4-280覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色微粒子・白色鈹物・砂粒	把手部の破片。キャクピラ文を横位、逆「U」字状に施文する。	接・無し
612-12	石器 敲石	4-282覆土内 先端欠損	粗粒輝石安山岩 重・510	残存長・8.7。幅・7.5。 厚・5.1。粗粒輝石安山岩	礫面の扁平面の両面中央部に集中打痕を残す。	
612-13	縄文土器 深鉢	4-288覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
612-14	縄文土器 深鉢	4-286覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・赤褐色粒子	口縁部隆帯。RL 原体を充填施文する。	接・2点
612-15	縄文土器 深鉢	4-296覆土内 把手片	—	酸化・並。灰白2.5Y8/2 白色粒子	冠状の中空把手。3方を窓状でブリッチに表出。上部に腕状の小把手を施す。	接・無し
612-16	縄文土器 深鉢	4-302覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒・白色微粒子	LR 原体を縦転施文する。	接・2点
612-17	土製品 円盤	4-288覆土内 破片	長・4.5 幅・4.3	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	深鉢の胴部片を転用する。 0段多条 LR 原体を横転施文する。	接・無し
612-18	縄文土器 深鉢	4-306覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黒褐色10YR3/1 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文し、半裁竹管によるループ文を施す。	接・無し
612-19	縄文土器 深鉢	4-307覆土内 破片	底・(12.0) 厚・0.9	酸化・並。赤褐5YR4/8 粗粒砂・細礫・白色粒子	口縁部の立ち上がり部に、波状隆帯を施文する。	接・無し
612-20	縄文土器 深鉢	4-308覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位施文する。	接・無し
612-21	縄文土器 深鉢	4-309覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。坑7.5YR4/4 白色微粒子・砂粒	口縁部は外傾し、口唇部は平坦で短く外に折れる。文様の施文は認められない。	接・無し
612-22	縄文土器 深鉢	4-310覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 砂粒・細白色鈹物	「X」字状文か。RL 原体を充填施文する。	接・無し

第4区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
612-23	縄文土器 深鉢	4-311覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR7/4 粗粒砂・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・2点
612-24	縄文土器 深鉢	4-313覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。坑7.5YR4/3 粗粒砂・白色鈹物	文様の施文は認められない。	接・無し
612-25	縄文土器 深鉢	4-315覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 金雲母・白色鈹物	押引文による文様構成。	接・無し
612-26	石器 打製石斧か	4-315覆土内 部分欠損か	黒色頁岩 25g	長・7.5、幅・3.15、厚・1.0	側縁に加工を施す。	
613-1	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 含繊維・白色微粒子	0段多条原体による羽状施文。	接・無し
613-2	縄文土器 深鉢	4-318覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 細砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、LR 原体を縦転施文する。	接・2点
613-3	縄文土器 深鉢	4-318覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 砂粒・白色微粒子・	「X」字状文か。帯状縄文による文様構成。 原体はLR。	接・3点
613-4	石器 打製石斧	4-318覆土内 破片	ホルンフェルス 重・65	残存長・7.6。幅・4.6。 厚・1.8。ホルンフェルス	両端を欠損する。基部刻込みの浅い分銅形を 呈すると考えられる。	
613-5	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黒褐2.5Y3/1 含繊維・白色微粒子	無節L 原体を横転施文する。	接・無し
613-6	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR5/4 細砂粒・細白色鈹物少	横位の連続爪形文を施文する。 2927・2937・2941同一	接・2点
613-7	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色微粒子・砂粒	連続爪形文を施文する。 2927・2935・2937同一	接・2点
613-8	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 砂粒・白色微粒子	口唇部は肥厚し丸く外に折れる。横位の連続 爪形文を施文する。2935・2937・2941同一	接・2点
613-9	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 細砂粒・白色微粒子	口唇部は丸く外側に折れる。連続爪形文を横 位に施文する。2927・2937・2941同一	接・無し
613-10	縄文土器 深鉢	4-320覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色粒子	LR 原体を縦転施文する。	接・無し
613-11 209-2	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 5/1	底・7.8	酸化・硬。鈍橙7.5YR7/4 白色粒子・白色鈹物粒子	筒形状を呈する。上位に横位、下位に波状に 上半側に刻みを施す隆帯を施文する。	接・12点
613-12	土製品 円盤	4-321覆土内 破片	長・4.6 幅・4.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色微粒子	LR 原体を横転施文する。 深鉢の胴部片を転用する。	接・無し
613-13	縄文土器 深鉢	4-322覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。明黄褐10YR7/6 含繊維・白色微粒子	器面の風化顕著。文様は不詳。	接・無し
613-14	縄文土器 深鉢	4-326覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄2.5Y6/2 粗粒砂・白色鈹物	LR 原体を横転施文する。	接・無し
613-15	縄文土器 深鉢	4-328覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 粗粒砂・白色微粒子	LR 原体を横転施文する。	接・無し
613-16	縄文土器 深鉢	4-332覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。褐10YR4/4 含繊維・白色微粒子	口唇部は平坦。RL 原体を横位施文する。	接・2点
613-17	縄文土器 深鉢	4-334覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 赤褐色粒・角粒粗粒砂	波状口縁。文様の施文は認められない。	接・無し
613-18	縄文土器 深鉢	4-335覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 白色鈹物少・夾雑物少	キャタピラ文を弧状に施文する。	接・無し
613-19	縄文土器 深鉢	4-335覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒多	弧線沈線文が認められるのみ。	接・無し
613-20	縄文土器 深鉢	4-336覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 角粒粗粒砂・細礫・粗粒砂	縦位の沈線文が認められるのみ。	接・無し
613-21	縄文土器 深鉢	4-337覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。黄橙10YR6/3 角粒粗粒砂	LR 原体を縦転施文する。	接・無し
613-22	土師器 甕か	4-339覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化・並。橙7.5YR6/6。並。 軽。白色・褐粒含、他多。	内外、断面ともに消耗大。小片のため器種不 明瞭。	
613-23	縄文土器 深鉢	4-340覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 砂粒・赤褐色粒子・白色鈹物	縦位の帯状縄文及び弧線沈線文を施文する。 原体はLR。	接・無し
613-24	縄文土器 深鉢	4-340覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰5Y5/1 粗粒砂	帯状の弧状区画内に連続刺突文を施す。	接・無し
613-25	縄文土器 深鉢	4-342覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄2.5Y6/2 粗粒砂・細粒白色鈹物	RL 原体を横転施文する。	接・無し 加曽利E4か

第4区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
613-26	縄文土器 深鉢	4-343覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/8 含繊維・白色微粒子	無節L原体を横転施文する。	接・無し
613-27	縄文土器 深鉢	4-344覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍赤褐2.5YR4/3 白色鉱物・白色微粒子	横位の隆帯を施し、LR原体を充填させる。	接・無し
614-1	縄文土器 深鉢	4-345覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白7.5Y7/2 粗粒砂・白色微粒子	LR原体を充填させる。	接・無し
614-2	縄文土器 深鉢	4-347覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/8 含繊維・白色微粒子	無節L原体を横転施文する。	接・無し
614-3	縄文土器 深鉢	4-348覆土内 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 細砂粒	口縁部隆帯区画内にLR原体を充填させる。	接・無し
614-4	縄文土器 深鉢	4-353覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は「く」の字状に外傾する。針状の繊維を含む。内面は強い横撫で乃至粗い条痕。	接・無し
614-5	縄文土器 深鉢	4-355、No.8 破片	厚・0.7	酸化・並。5YR6/8 セリサイト・白色鉱物	LR原体を斜位施文する。	接・無し
614-6	石器 砥石	4-355覆土No.4 完存	溶結凝灰岩 重・190	長・8.7。幅・7.3。厚・3.7。 溶結凝灰岩	5面を利用するが、1面以外の風化が顕著。各断面が湾曲するため磨製石斧用の砥石か。	接・無し
614-7	縄文土器 深鉢	4-356覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐5YR5/8 砂粒・白色粒子	文様は認められない。	接・無し
614-8	縄文土器 深鉢	4-358覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。黒褐10YR3/2 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	1単位6+α条の櫛歯による条痕施文。	接・2点
614-9	縄文土器 深鉢	4-359覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10Y7/1 細砂粒・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位充填する。	接・9点
614-10	縄文土器 深鉢	4-359覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/4 白色微粒子・細砂粒	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位充填する。	接・8点
614-11	縄文土器 深鉢	4-359覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 白色微粒子・細砂粒	底部片。懸垂文を垂下させるが縄文の施文認められない。	接・2点
614-12 209-1	土師質土器 皿	4-361覆土 1/2	口・9.1 底・5.8	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/3 並、軽。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。口縁部の内外に油煙痕あり。意斑あり。	接・2点 近世か
614-13	石器 打製石斧	4-361覆土内 破片	ホルンフェルス 重・30	遺存長・3.7。幅・5.0。 厚・1.6。ホルンフェルス	下端部のみの破片。両面共に磨滅する。	
614-14	石器 剥片石器	4-361覆土内 破片	チャート 重・2.78	遺存長1.4。残存幅・2.2+α 厚・0.7。チャート	剥片の2側縁に加工施す。	
614-15	縄文土器 深鉢	4-363覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 粗粒砂・白色鉱物	波状口縁か。口縁部は内湾する。口唇部は肥厚し、口唇部直下に連続刺突文を施す。	接・無し
614-16	縄文土器 深鉢	4-364、No.2 破片	厚・0.8	酸化・並。橙 YR6/6 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	無節RL原体を横転施文する。	接・無し
614-17	縄文土器 深鉢	4-363、No.16 破片	厚・0.9	酸化・並。橙5YR6/6 含繊維・白色微粒子	半裁竹管による連続爪形文を横位に施文する。	接・無し
614-18	縄文土器 深鉢	4-363、No.3 破片	厚・0.7	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子・細砂粒	無節LR原体を横転施文する。	接・無し
614-19	縄文土器 深鉢	4-363、No.7 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子・白色粒子	多条LR原体を横転施文する。	接・無し
614-20	縄文土器 深鉢	4-363、No.8 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子	LR原体を横転施文する。 破片の下端に補修孔が認められる。	接・無し
614-21 209-3	縄文土器 小型深鉢	4-363覆土内 1/4	口・(13.4)	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色粒子・細砂粒	口唇部は尖る。地紋原体はLR。原体は粗粒、まばらに押捺する。	接・16点
614-22	縄文土器 深鉢	4-363、No.9 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 含繊維・白色微粒子	多条原体を羽状施文する。	接・無し
614-23	縄文土器 深鉢	4-363、No.10 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	RL原体と、付加条第2種無節LR+L原体を施文する。	接・無し
614-24	縄文土器 深鉢	4-363、No.6 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	口縁部は外傾し口唇部は平坦。無節RL原体を横転施文する。	接・11点
615-1	縄文土器 深鉢	4-364覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 セリサイト・粗粒砂	縦位の押引文と横位の連続爪形文を施す。	接・無し
615-2	石器 打製石斧	4-364覆土内 完存	黒色頁岩 重・199	長・12.0。幅・4.6。厚・2.4 黒色頁岩	撥形。表面に礫面を残す。表面の先端側は磨滅が認められるが、裏面には認められない。	接・無し
615-3 209-4	縄文土器 深鉢	4-368覆土内 破片	底・(14.0)	酸・硬。鈍橙2.5YR6/4 金雲母・白色鉱物・白色粒子	胴部から浮線連鎖状文が垂下する。	接・10点

第4区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
615-4	縄文土器 深鉢	4-365覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。赤褐5YR4/6 セリサイト	横位の半裁竹管による平行沈線文を施し、半裁竹管の連続刺突文を施す。	接・無し
615-5	縄文土器 深鉢	4-369覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 白色微粒子	LR 原体を横転施文する。	接・無し
615-6	縄文土器 深鉢	4-370覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐 YR3/3 粗粒砂多・高温石英	口縁部は内湾する。横位の沈線文区画の帯縄文を施文する。原体はLR。	接・無し
615-7 208-13	縄文土器 浅鉢	4-371覆土内 5/1	底・(9.0)	酸化・並。鈍橙5YR6/4 白色粒子・砂粒	強く外傾して立ち上がる。無文。	接・13点
615-8	縄文土器 深鉢	4-377覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄5Y8/3 砂粒・白色鉱物	縦位の沈線文1条(懸垂文か)が認められる。	接・無し
615-9	縄文土器 深鉢	4-379覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒・白色鉱物	丸味の強い胴部がやや直立し外反して口縁部がたちあがる。無節原体の施文と考えられる。	接・無し
615-10	縄文土器 深鉢	4-384覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 含繊維・白色微粒子	付加条第2種原体を施文するが、軸原体は不明。付加原体は2L。	接・無し
615-11	縄文土器 深鉢	4-384覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。暗褐10YR3/3 含繊維・白色微粒子	付加条第2種L+2L 原体を横転施文する。	接・無し
615-12	縄文土器 深鉢	4-386覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色鉱物	文様は認められない。	接・無し
615-13	縄文土器 深鉢	4-383覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色微粒子	無節L 原体を横転施文施文する。	接・無し

第5区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
615-14	縄文土器 深鉢	5-4 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 細砂粒・白色粒子	沈線による文様表出を施すが、文様構成は不詳。称名寺式の文様構成が考えられる。	接・無し
615-15	縄文土器 深鉢	5-6 覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。橙7.5YR7/6 粗粒砂・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
615-16	縄文土器 深鉢	5-8、No1 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 雲母石英片岩	口縁部は外傾し、口縁部に半裁竹管による楕円状の区画内に、縦位に平行沈線文を施す。	接・無し
615-17	土師質土器 皿	5-10、No1 底部のみ	底・6.2	酸化。鈍黄橙10YR7/3	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。	
615-18	土製品 円盤	5-10覆土内 破片	長・3.3 幅・3.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/4 含繊維・夾雑物少	深鉢胴部片を転用する。文様はRL 原体の施文。	接・無し
615-19	縄文土器 深鉢	5-12覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。明黄褐10YR7/6 粗粒砂多	4+α 1単位の櫛歯条痕を施文する。	接・無し
615-20	縄文土器 深鉢	5-12覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。明黄褐10YR7/6 粗粒砂多	4+α 1単位の櫛歯条痕を施文する。 615-19と同一個体か。	接・無し
616-1	土師器 坏	5-13覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化・軟。橙5YR6/8。 粗、軽。鉱物多。	内外面、割れ口とも消耗大。口縁部周辺の横撫わずかに見える。	接・無し
616-2	石器 剥片石器	5-13覆土内 1/2か	黒色頁岩 重・57	遺存長7.3。残存幅・3.8。 厚・1.8。黒色頁岩	礫を扁平に打ち欠き側部に刃部加工を施す。	接・無し
616-3	施釉陶器 德利	5-17覆土 破片	厚・0.7	還元・締。釉オリーブ黄5Y6/4 (釉調)。胎土灰。	外面のみ釉調施釉。内面轆轤目。割れ口小欠、少し消耗あり。	18・19C 瀬戸美濃
616-4	縄文土器 深鉢	5-18覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 細礫・粗粒砂	横位の微隆帯を施し、LR 原体を縦転施文する。	接・無し
616-5	縄文土器 粗製深鉢	5-18、No2 底部片	底・8.2	酸化・硬。鈍褐7.5YR5/4 白色鉱物・角粒粗粒砂	縦位の篋無でを施す。	接・無し
616-6	縄文土器 粗製深鉢	No1+3+覆土 破片	口・(46.8)	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 角粒粗粒砂・黒色鉱物粒	複合口縁。器面は斜位の篋無で・篋削りを施す。	接・8点
616-7	縄文土器 深鉢	5-25覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 砂粒	RL 原体を横位施文する。	接・無し
616-8	縄文土器 深鉢	5-31、No1 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 砂粒・透明鉱物	0段3条(?) 多条縄文 RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
616-9	縄文土器 深鉢	5-32覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子	無節R 原体を縦位施文する。	接・無し
616-10	縄文土器 深鉢	5-34、No1 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚し丸い。口縁部隆帯を施し、RL 原体を充填施文する。	接・無し

第5区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
616-11	縄文土器 深鉢	5-35覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
616-12	縄文土器 深鉢	5-40覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。明褐色7.5YR5/6 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
616-13	縄文土器 深鉢	5-41覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種(?) RL(?) + 2L 原体を横転 施文する。	接・無し
616-14	縄文土器 深鉢	5-42覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR7/6 含繊維・白色微粒子・砂粒	羽状縄文を施文する。	接・無し
616-15	縄文土器 深鉢	5-43覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・細礫	文様の施文は認められない。	接・無し
617-1 209-5	縄文土器 深鉢	5-44覆土内 4/3	口・18.7	酸化・硬。明褐色7.5Y5/6 含繊維・赤褐色・チャート円粒	直立する口縁部の両端に平行沈線区画を施 し、区画内に菱形・渦巻文を配する。地文はL。	接・40点
617-2 209-6	縄文土器 深鉢	No 1 + 覆土 部分欠損	口・25.0 底・7.8	酸化・並。褐色 7.5YR4/3 含繊維・白色粒子・赤褐色粒子	口唇部は平ら。地文Rを横転する。	
618-1	縄文土器 深鉢か	5-47覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 角粒粗粒砂・白色微粒子	外面は横位の隆帯を施し研磨を施す。内面は 無でを施す。	接・無し
618-2	縄文土器 深鉢	5-47覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。赤褐色2.5YR4/6 白色微粒子・砂粒	口縁部は内湾し把手を施す。口唇部は無文で 沈線を介し LR 原体を充填施文させる。	接・2点
618-3	縄文土器 深鉢	5-49覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黄褐色10YR5/6 含繊維・白色微粒子	LR 原体を横転施文し、付加結節R 原体を施 文する。	接・無し
618-4	縄文土器 深鉢	5-50覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
618-5	縄文土器 深鉢	5-51、No 1 破片	厚・1.2	酸化・並。明赤褐色2.5Y5/6 粗粒砂	器面の風化顕著。RL 原体を縦位施文する。	接・無し
618-6	縄文土器 深鉢	5-52覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。5YR6/8 白色粒子	横位の竹管引き隆帯を2段施す。	接・無し
618-7	縄文土器 深鉢	5-55覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。5YR6/6 砂粒多	捺糸L 原体を縦位施文する。	接・無し
618-8	縄文土器 深鉢	5-55覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 含繊維・白色微粒子	付加条第2種無節L + 0段1 条原体を横転施 施文する。	接・無し
618-9	縄文土器 深鉢	5-57覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/4 砂粒・白色鉱物	11本1 単位の櫛歯条痕を縦位施文する。	接・無し
618-10	縄文土器 深鉢	5-59覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙5YR6/8 砂粒・細礫	懸垂文を垂下させる。	接・無し
618-11	縄文土器 深鉢	5-60覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐色2.5Y5/6 砂粒・白色鉱物	LR 原体を縦位施文する。	接・5点
618-12 209-8	縄文土器 深鉢	5-61覆土内 3/2	口・31.6 最・32.6	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 赤褐色粒子・砂粒	強く外傾して立ち上がる。口唇部は平坦で肥 厚する。無文。	接・42点
618-13	縄文土器 深鉢	5-63覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。暗褐色10YR3/3 含繊維・白色微粒子	横位の平行沈線を施す。	接・無し
618-14	縄文土器 深鉢	5-64覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。橙5YR6/8 粗粒砂・細白色鉱物	口縁部は内湾する。口唇部直下に横位の隆帯 を施し、10本1 単位の櫛歯条痕を弧線表出。	接・無し
618-15	縄文土器 深鉢	5-66覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙5YR6/6 粗粒砂多	文様の施文は認められない。	接・無し
618-16	縄文土器 深鉢	5-67覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 細砂粒	8本1 単位の条痕を縦位施文する。	接・無し
618-17	縄文土器 深鉢	5-68覆土内 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒	微隆帯の弧線区画内に RL 原体を充填施文す る。618-21と同一個体。	
618-18	縄文土器 深鉢	5-71覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。橙5YR6/6 粗粒砂	口縁部は内湾する。口唇部直下に横線を施し、 下位に RL 原体を横位施文する。	接・無し
618-19	縄文土器 深鉢	5-72覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂	口縁部は内湾する。口唇部直下に横線を施す。 弧線区画を施し、LR 原体を充填施文する。	接・無し
618-20	石器 打製石斧	5-72覆土内 完存	頁岩 重・69	長・10.8。幅・3.7。厚・1.5 頁岩	短冊形。裏面が主体に加工が施される。先端 刃部の磨滅が顕著。	
618-21	縄文土器 深鉢	5-68覆土内 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒	微隆帯の弧線区画内に RL 原体を充填施文す る。618-17と同一個体。	接・2点
619-1	縄文土器 深鉢	5-74覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 粗粒砂多	文様の施文は認められない。	接・無し

第5区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
619-2	縄文土器 深鉢	5-75覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/8 金雲母・白色鉱物	口唇部は内屈し平坦。文様の施文は認められない。	接・無し
619-3	縄文土器 深鉢	5-76覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。褐10YR4/4 砂粒・黒色鉱物粒	波状口縁。口唇部直下に押引文を施し、LR原体を縦転施文する。	接・無し
619-4	縄文土器 深鉢	5-78、No.? 破片	厚・0.9	酸化・並。明黄褐10YR6/6 含繊維・白色微粒子	付加条第2種乃至単軸絡条体。2無節Rを付加し、羽状施文する。	接・無し
619-5	縄文土器 深鉢	5-78、No.3 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	口唇部は尖る。無節1原体を横転施文する。	接・無し
619-6	縄文土器 深鉢	5-78、No.1 破片	厚・0.8	酸化・並。褐10YR4/6 含繊維・白色微粒子・粗粒砂	無節L原体を横転施文する。	接・無し
619-7	縄文土器 深鉢	5-79覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・白色鉱物	口縁部は内湾する。微隆帯区画を縦横に施し、LR原体を充填施文する。	接・無し
619-8	縄文土器 深鉢	5-80覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色鉱物・黒色鉱物粒	沈線区画内にLR原体を充填施文する。	接・無し
619-9	縄文土器 深鉢	5-82覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。赤褐5YR5/6 白色微粒子・細砂粒	RL原体に無節原体を付加結節(付加条第2種)した原体を横転施文する。	接・4点
619-10	縄文土器 深鉢	5-82覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 含繊維・白色微粒子・細砂粒	付加条第2種LR+2R原体を横転施文する。	接・無し
619-11	縄文土器 深鉢	5-82覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 含繊維・白色微粒子	疑似羽状縄文。原体はLR。	接・無し
619-12	土製品 円盤	5-82覆土内 破片	長・3.7 幅・3.4	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	深鉢の胴部片を転用する。文様は認められない。	接・無し
619-13	縄文土器 深鉢	5-83覆土内 破片	厚・1.6	酸化・並。淡黄2.5Y7/4 砂粒・白色微粒子	波状口縁乃至把手。口唇部は丸く直下に沈線を施す。	接・無し
619-14	縄文土器 深鉢	5-84覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	「S」字状縄文の一部か。区画内にLR原体を充填させ、更に内側に列点刺突文を施す。	接・無し
619-15	縄文土器 深鉢	5-84覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 白色粒子・粗粒砂	口縁部は外傾する。「X」字状縄文の一部か。区画内にRL原体を充填施文する。	接・無し
619-16	縄文土器 深鉢	5-84覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 白色粒子・細砂粒	沈線を楕円状に施す。4本+α1単位の条痕が認められる。	接・無し
619-17	縄文土器 深鉢	5-85覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。褐灰7.5YR6/1 砂粒・白色鉱物	縦位の沈線間に列点刺突文を施す。	接・無し
619-18	縄文土器 深鉢	5-87覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 含繊維・白色微粒子	半裁竹管による施文。	接・無し
619-19	縄文土器 深鉢	5-88覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰白10YR8/2 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	縦位帯縄文LRを施文する。	接・無し
619-20	縄文土器 深鉢	5-90覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子	半裁竹管の横位施文。	接・無し
619-21	縄文土器 深鉢	90~92覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。暗灰褐2.5Y5/2 白色微粒子・砂粒	懸垂文を垂下させ、LR原体を充填させる。	接・無し
619-22	縄文土器 深鉢	5-92覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 細砂粒・白色粒子	器面の風化顕著なため、文様不分明。	接・無し
619-23	縄文土器 深鉢	5-92覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/4 粗粒砂・白色鉱物	横位の隆帯を巡らし、直下に半裁竹管による押引文を施す。	接・無し
619-24	土製品 円盤	5-93覆土内 2/3	遺存長・2.9 幅・3.6	酸化・並。7.5YR7/6 砂粒・白色微粒子	文様は認められない。	接・無し
619-25	縄文土器 深鉢	5-94覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4	文様は認められない。	接・無し
619-26	縄文土器 深鉢	5-95覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。黄灰2.5Y4/1 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	横位の隆帯を施し、直下に縦位の条痕を施す。	接・無し
619-27	施釉陶器 碗	5-96覆土 体部破片	厚・0.4	中性・締。釉浅黄橙10YR8/4 (透明調)。胎土浅黄灰。	内外面施釉、細貫入あり。割れ口消耗少。使用傷らしき摩耗あり。	18C 京焼等
619-28	縄文土器 深鉢	5-100覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 砂粒・白色鉱物・白色粒子	RL原体を縦位に施文する。	接・無し
619-29	縄文土器 深鉢	5-101覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	沈線を弧線表出し、RL原体を充填施文する。	接・無し
619-30	縄文土器 深鉢	5-105覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 砂粒・白色鉱物	文様は認められない。	接・無し

第5区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
619-31	縄文土器 深鉢	5-109覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 粗粒砂・白色鉱物・細礫	縦位の帯条文を2条施す。原体はLR原体を 縦位充填する。	接・無し
619-32	縄文土器 深鉢	5-110覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。褐灰10YR6/1 砂粒	LR原体を横転施文する。	接・無し
619-33	縄文土器 深鉢	5-114覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
619-34	縄文土器 深鉢	5-111覆土内 破片	厚・1.3・3.2	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 粗粒砂・白色鉱物	口縁部の隆帯文と考えられる。	接・無し
619-35	縄文土器 深鉢	5-115、No1 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒。3071と同一個体	波頂部から板状に垂下する刻隆帯により三角 形状の区画をなし、蓮華・三叉文を施す。	接・無し
620-1	縄文土器 深鉢	5-122覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施す。	接・無し
620-2	縄文土器 深鉢	5-125覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	無節L原体を横転施文施文する。	接・2点
620-3	縄文土器 深鉢	5-127覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5Y5/6 含繊維・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
620-4	縄文土器 深鉢	131、No10+19 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 赤褐色粒子・白色粒子・砂粒	口縁部は内湾し、口唇部は広く平坦。口唇部 に横線2条を施し、直下に波状隆帯を施す。	接・4点
620-5	縄文土器 深鉢	5-129覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施す。	接・無し
620-6	縄文土器 深鉢	5-129覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
620-7	縄文土器 深鉢	5-129覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 含繊維・白色微粒子	RL原体を横転施文する。	接・無し
620-8	縄文土器 深鉢	131、No6+15 破片	厚・1.0	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒 3079と同一個体。	619-35と同一個体。	接・無し
620-9	石器 凹石	5-134、No1 一部欠損	粗粒輝石安山岩 重・418	残存長・10.7。幅・7.7 厚・3.8。粗粒輝石安山岩	表裏面の平坦面が磨滅する。小口・側部は敲 打により稜立っている。	
620-10	縄文土器 深鉢	5-136覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	口縁部は緩やかに外反する。縦位に燃糸Rを 施文する。	接・無し
620-11	縄文土器 深鉢	5-137覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 粗粒砂・白色鉱物・細礫	口縁部は内湾し口唇部は丸い。口唇部直下に 低い隆帯を施文。直下にLR原体を横転施文。	接・無し
620-12	縄文土器 深鉢	5-138覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色鉱物	文様は認められない。 中期勝坂・阿玉台	接・2点
620-13	縄文土器 深鉢	5-138覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 砂粒・白色粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
620-14	施釉陶器 破片	5-138覆土 破片	底・(6.2)	酸化・縮。釉濃青(染付)、 透明、茶褐。胎土黄灰。	内面にベロ藍に草文、透明釉。外面に茶褐釉 施釉。	19・20C 産不明
620-15	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は外反気味。口唇部直下にRL原体の ループ文を押捺する。	接・無し
620-16	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒・白色微粒子	器面の風化顕著。縦位に帯縄文を施す。原体 はLRか。	接・無し
620-17	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄2.5Y7/4 粗粒砂・細礫	縦位の弧線帯縄文を施す。原体はLR。	接・無し
620-18	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 粗粒砂・白色微粒子	波状口縁。口唇部は平坦。口唇部直下に押引 文を沿わせ、山形状の押引文を施す。	接・無し
620-19	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐10YR6/3 砂粒・白色微粒子・チャート	弧状平行沈線区画を施し、内側に列点刺突文 を施す。	接・無し
620-20	縄文土器 深鉢	5-139下層 破片	口・(15.4)	酸化・並。橙5YR6/6 含繊維・白色微粒子	胴部上半部でくびれ、口縁部は外傾して開く。 器面は、無節Lを充填する。	接・3点
620-21	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色微粒子・細礫・赤褐色粒子	LR原体を縦転施文する。	接・2点
620-22	石器 剥片石器	5-139覆土内 完存	チャート 重・6.6	長・3.5。幅・2.7。厚・0.9	菱形の剥片の上半部に刃部加工を施す。	
620-23	縄文土器 深鉢	5-140覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 含繊維・白色微粒子	粗いLR原体を横転施文する。	接・4点
621-1	縄文土器 深鉢	5-149覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色鉱物	LR原体を横転施文する。	接・無し

第5区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
621-2	縄文土器 深鉢	5-151覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色粒子・白色鉱物	文様は認められない。	接・無し
621-3	縄文土器 深鉢	5-152覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・シルト粒・細礫	懸垂文を垂下させ、LR原体を横転施文する。	接・無し
621-4	縄文土器 深鉢	5-135覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 細砂粒	細片のため不分明。	接・無し
621-5	陶器 碗	5-158覆土 1/2	口・(12.2) 底・(5.0)	中性・締。釉透明。胎土黄灰。	胎土は黄灰色でやや粗な土。高台を除き施釉。 内面に1ヶ所。製作地不明。	楽焼 18・19C
621-6	縄文土器 深鉢	5-164覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。灰黄2.5Y6/2 細砂粒・夾雑物少	LR原体を縦転施文する。	接・無し
621-7	縄文土器 深鉢	5-165覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	無節Rを横転施文する。	接・2点
621-8	縄文土器 深鉢	5-165覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	口縁部は外反し、口唇部は尖る。LR原体を横 転施文する。	接・3点
621-9	縄文土器 深鉢	5-165覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	RL原体を横転施文する。	接・無し
621-10	縄文土器 深鉢	5-165覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 含繊維・白色微粒子	波状口縁。口唇部は平坦。LR原体による疑似 羽状縄文を施文する。	接・8点
621-11	石器 擦石	5-165覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・400	長・8.4。幅・7.7。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	礫面の平坦面両面に集中打痕を残す。	
621-12	石器 擦石	5-165覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・590	長・9.9。幅・8.6。厚・5.4 粗粒輝石安山岩	礫面の平坦面両面に集中打痕を残し、磨滅す る。	
621-13	石器 石皿	5-165覆土内 1/4	粗粒輝石安山岩 重・2105	残存長・16.7。残存幅・14.3 高・8.3。厚・7.5	使用面は浅く皿状に窪む。	
621-14	石器 擦石	5-165覆土内 2/3	粗粒輝石安山岩 重・440	残存長・8.4。幅・8.8 厚・3.9。粗粒輝石安山岩	礫面の平坦面両面に集中打痕を残す。	
622-1	縄文土器 深鉢	5-166覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色微粒子・砂粒	口縁部は内湾する。口唇部直下に2条の平行 沈線を施す。地紋にRL原体を横位施文する。	接・無し
622-2	縄文土器 深鉢	5-166覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 砂粒・白色微粒子	波状口縁。带状把手を具備する。LR原体を施 文する。	接・無し
622-3	石器 擦石	5-166、No.1 1/2	溶結凝灰岩 重・455	長・9.2。幅・8.5。厚・4.2 溶結凝灰岩	表裏扁平面が磨滅し、敲打痕が認められる。	
622-4	石器 石皿	5-166、No.10 破片	粗粒輝石安山岩 重・420	残存長・7.7。残存幅・10.0。 厚・5.7。粗粒輝石安山岩	下端側の破片。搬出部の左側の残存。裏面は 多孔石として利用する。	
622-5	石器 擦石	5-166、No.2 完存	粗粒輝石安山岩 重・607	長・10.6。幅・8.0。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	扁平面が磨滅し、右側部に集中敲打痕が認め られる。	
622-6	石造品 水輪か	5-173覆土 完形	粗粒輝石安山岩 15500g	遺存長・25.5。幅・25.4。 厚・14.6	水輪の再加工か、図上面中央に小穴あり、側 部は極めて丁寧な仕上げ、上・下面少し粗。	
623-1 209-7	縄文土器 深鉢	5-174覆土内 1/8	口・(43.0)	酸化・。鈍褐7.5YR5/4 角粒粗砂	口縁は平縁。沈線による「X」字状区画を施 し、交互にLR原体を縦転施文する。	接・8点
623-2	縄文土器 深鉢	5-180、No.1 破片	厚・1.3	酸化・並。赤褐2.5YR4/8 シルト粒・粗粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、擦糸Lを縦位施文する。	接・無し
623-3	石器 不詳	1号集積 完形	粗粒輝石安山岩 厚・3.0	長・12.0。幅・6.7。厚・3.0	側縁、先端側を加工する。	
623-4	石器 擦り石	1号集積 完形	粗粒輝石安山岩 厚・5.6	長・10.7。幅・9.4。厚・5.5	表裏扁平面が磨滅し、敲打痕が認められる。	
623-5	石器 叩石	1号集積 完形	粗粒輝石安山岩 厚・4.7	長・14.0。幅・8.9。厚・4.5	表裏面の平坦面が磨滅する。小口・側部は敲 打により稜立っている。	
623-6	石器 叩石	1号集積 完形	粗粒輝石安山岩 厚・4.6	長・10.7。幅・6.8。厚・5.5	表裏面の平坦面が磨滅する。小口・側部は敲 打により稜立っている。	

第6区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
624-1	縄文土器 深鉢	6-7覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 シルト粒・粗粒砂	器面の風化顕著。RL原体を横転施文する。	接・無し
624-2	縄文土器 深鉢	6-15覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 細砂粒・白色微粒子	隆帯の一部が残存するのみで他の文様は認め られない。	接・無し

第6区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
624-3	軟質陶器 火入	6-19、No.9	長・14.3+ α	還元・並。灰N4/0。粗、やや軽。 白色粒、黒鉛物含、他少。	全体に消耗。底面ハゼ剥落。内面撫、外面下 方と底面に石目状型膚。焼成芯黒、外燻5層。	小泉か
624-4	軟質陶器 内耳埴	6-19、No.7 破片	口・(36.4) 底・(37.8)	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4。 粗、軽。黒鉛物含、他鉛物少。	底面に石目状の型膚あり、外面体部下方にお よぶ。底面にハゼ、被熱色変あり。	19・20C 小泉か
624-5	瓦 棧瓦	6-19覆土 破片	厚・1.3	還元・並。灰7.5YR5/1。 粗、軽。黒鉛物多、他少。	表面に石目状の光沢。裏面に型膚様痕跡と擦 痕。焼成は芯黒灰色、外撫で5層気味。	小泉か
624-6	瓦 鍔瓦	6-19、No.14 破片	厚・1.6	還元・硬。灰4/0。並、やや重。 黒鉛物多、他鉛物少。	外面に雲母状光沢と研磨状光沢あり。側面 取回数2、内面刺し子袋と型厚痕か。	藤岡か 小泉
624-7	縄文土器 深鉢	6-27覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒・シルト粒	口縁部は外傾し口唇部は平坦。文様は認めら れない。内外面横位の研磨を施す。	接・無し
624-8	軟質陶器 不明	6-25覆土 口縁部	厚・1.4	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3。 並、やや重。白・褐粒含、他含。	口縁玉線となる。外面回転撫。内面研磨あり。 割れ口消耗あり。	
625-1 209-9	軟質陶器 焙烙内耳	6-47覆土 1/4	口・(35.8) 底・(32.4)	酸～還元・並。褐灰10YR5/1。 並、重。白・褐粒含、鉛物少。	口縁部下粘土接合痕。底面から体部外面下 方まで石目状の型膚。焼成5層で外面煤と燻。	18・19C 小泉焼
625-2	陶器 甕か	6-47覆土 破片	厚・0.8	還～酸化・締。釉暗赤褐5YR 3/3。(鉄釉)密、重。鉛物粒微。	内面の約半分が露胎となるほか外面に鉄釉、 轆轤目あり。割れ口消耗微。	
625-3	施釉陶器 灯火皿	6-47覆土 1/3	口・(9.0) 底・(4.0)	還元・締。釉透明調。胎土灰。	内面と口縁部外面に施釉。灯芯の割り込みあ り。体部外面から底にかけ回転条痕重焼。	18・19C 産不明
626-1 209-10	土師器 甕	6-43覆土 1/2	口・(21.2)	酸化・硬。明赤褐2.5YR5/6。 並、重。鉛物含。	頸部内面に接合痕。胴部紐作。器内面は篋撫、 指圧痕を残し、胴部に煤付着。	接・15片
626-2	軟質陶器 火入	6-43覆土 火入	厚・1.2	還元・並。暗灰N3/。粗、 やや軽。鉛物少。	消耗。内外面に撫。焼成芯黒、表面煤を含め 5層気味。	小泉か
626-3	土師質土器 皿	6-48、No.4 3/1	口・(10.0)	酸化・硬。橙5YR6/6。粗、 軽。白粒、鉛物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切りらしい。 口縁部肥厚。胎土に二種粘土縹あり。	17・18C か
626-4 209-11	土師質土器 皿	6-48覆土No.2 1/2	口・10.0 底・6.2	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4。 粗、軽。白・褐粒、鉛物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 工具による轆轤目あり。割れ口消耗。	16C以降
626-5	陶器 香炉	6-48、No.12 口縁部片	口・(10.0)	中性・締。釉淡黄褐。胎土黄灰	外面に菊花様の印文らしき施文あり。内外と も下半が露胎となる。	18C前半 瀬戸美濃
626-6	陶器 碗	6-48覆土 3/1	口・(9.0) 底・(3.0)	還元・締。釉透明調。胎土灰。	体部外面下方から底面にかけ露胎で、それを 除き施釉。高台、器肉は削り出し。	18・19C 京焼系
626-7 209-12	軟質陶器 内耳	6-48覆土No.8 1/8	口・(38.0) 底・(35.0)	中性・並。灰褐10YR5/1。 並、軽。白・褐粒、鉛物含。	外面下方に石目状の型膚。口縁部の内外面横 撫。消耗少。	接・9片
626-8	軟質陶器 手焙か	6-48、No.2+15	口・(26.4)	還元・並。灰5Y4/1。並。 白色粒、黒鉛物含、他少。	内外面に研磨あり。黒色化は全面。内外ハゼ 多。口縁部摩耗。	接・3片 小泉か
627-1	瓦 本瓦、棧瓦?	6-53覆土 破片	6.8+ 7.0+	還元・硬。灰7.5Y4/1。粗、 軽。灰色粘土粒含、他少。	表面、雲母状光沢と研磨状光沢あり。裏面や や凹凸多い。焼成は表・裏煤かかる。	深谷か
627-2	磁器 小碗	6-53覆土 破片	口・(7.2) 底・(7.1)	還元・締。釉暗青(染付)、白磁 釉淡々青。胎土白。	外面に菊花文と花文間に格子文の染付あり。 内面に2条の圈線あり。	18C 伊万里系
627-3	瓦 十能瓦	6-53覆土 破片	厚・0.8	還元・並。黄灰2.5Y5/6。粗、 軽。白粒、黒鉛物含、他少。	表面に撫整形。裏面に石目状の型膚あり。側 部撫。焼成は表・裏の浅い燻、芯黒5層気味。	小泉か
627-4	石器 砥石	6-53覆土 破片	珪質片岩 19	長・4.9+ α 。幅・4.4。 幅・4.4	使用は上面のみ。合せの痕跡。極めて平ら。左 側部は鋸切断面。奥小口、右側部は旧節理面。	桐生の砥 石か
627-5	縄文土器 深鉢	6-58覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙5YR6/4 粗粒砂・白色鉛物	隆帯の一部が残存する	接・無し
627-6	石器 打製石斧	6-63覆土内 完存	ホルンフェルス 重・160	長・12.1。幅・5.4。厚・1.8 ホルンフェルス	片岩使用のため扁平。基部の削込みは強い。 使用痕は全体に認められ、刃部は再調整。	
627-7	須恵器 碗	6-66・67覆土 底部片	厚・0.4	還元・硬。灰白7.5Y8/2。並、 軽。黒・灰鉛物含、他含。	付け高台後撫整形、内面回転撫。底部は回転 糸切り。割れ口消耗。	粘
627-8	縄文土器 深鉢	6-75覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍橙5YR5/6 白色粒子・粗粒砂	把手の上半部。撫での整形痕が認められる。	接・無し
627-9	土師質土器 皿	6-76覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化・軟。鈍橙7.5YR7/4 粗、軽。白粒含、鉛物含。	小片で図は推奨できず。体部外面に轆轤目あ り。割れ口少し消耗。	15・16C
627-10	縄文土器 深鉢	6-19覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 白色鉛物・砂粒・黄褐粒	細片で文様は認められない。口縁部下端側の 破片と考えられる。	接・無し
627-11	石器 凹石	6-79、No.16 完存	粗粒輝石安山岩 重・3420	長・21.0。幅・12.4。厚・9.2 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側に孔が認められる。	
627-12	石器 多孔石	6-79、No.9 一部欠損	粗粒輝石安山岩 重・520	残存長・10.5。幅・9.5 厚・4.3。粗粒輝石安山岩	両面の中央が磨滅し、孔が認められる。縁辺 には敲打痕を顕著に残す。	

第6区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
627-13	石器 擦石	6-79、No13 完存	粗粒輝石安山岩 重・1270	長・11.9。幅・11.1。厚・7.8	上面側は多くの打痕が認められ摩滅する。 裏面は摩滅のみが認められる。	
628-1	土師器 甕	6-84覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。黒5Y2/1。並、 やや重。白色粒、他鉱物含。	器肉厚い。外面黒色燻もしくは吸炭。内面撫 整形。割れ口に接合面見え、消耗は微。	
628-2	土師器 高坏	6-84覆土 破片	厚・0.6	酸化・軟。橙7.5YR6/6。並、 軽。白色・褐粒含、他微。	外面に篋削、撫あり。内面に撫、篋無あり。 割れ口消耗大。	
628-3	土師器 壺	6-84覆土 口縁部片	厚・0.7	酸化・軟。橙7.5YR6/6。並、 軽。白色・褐粒含、他含。	内・外面ハゼ多い。割れ口消耗多い。内外面 横撫あり。	
628-4	土師器 坏	6-84覆土 口縁部片	口・13.0	酸化・並。暗赤褐2.5YR3/1。 並、やや軽。金雲母、褐粒含。	内・外面小ハゼ、口縁部周辺横撫あり。外面 下半撫整形。割れ口少し消耗。	
628-5	土師器 甕	6-84覆土 頸部片	頸・(15.2)	酸化・並。鈍橙5Y7/4。並、 やや軽。褐・白色粒含。	外面は篋削り、ハゼ多。内面は篋撫で小ハゼ。 口縁部は横撫で。割れ口消耗大。	
628-6	土師器 甕	6-84覆土 破片	口・(20.0)	酸化・硬。鈍橙5YR6/4。並、 やや軽。白色・褐粒含、他少。	口縁部の粘土接合が割れ口に見え。内面浅い 刷毛目様の撫。外面ハゼ。器面少し荒れる。	
628-7 209-13	土師器 1/3	6-84、No2覆土 1/3	口・(13.0) 底・6.0	酸化・軟。鈍赤褐5YR4/4。 並、軽。白色・褐粒少、鉱物含。	外面撫整形、ハゼ多い。内面上方紐痕4条以 上あり。さらに燻あり。底面少し凹み底。	21片
628-8 210-1	土師器 甕	6-84、No1 1/3	口・(15.4) 径・(23.6)	酸化・軟。鈍黄橙10YR7/4。 粗、やや軽。褐粒含。	底部は欠損。器厚は厚い。器内・外面全体に ハゼ。器外面に縦方向の篋削り。煤付着。	接・17片
628-9	土師器 甕	6-88覆土 破片	厚・0.8	酸化・軟。明赤褐5YR5/8。 並、軽。褐粒多、他鉱物含。	胴部片、器厚は厚い。外面は、縦方向の篋 削り、燻もしくは浅い吸炭あり。	
628-10	須恵器 坏	6-89覆土 底部片	底・(10.0)	還元・並。鈍黄2.5Y6/3。並、 やや重。白色・黒粒含、他少。	轆轤成形。底部は轆轤右回転篋削。割れ口消 耗あり。	笠か
628-11	土師器 甕	6-90覆土 口縁片	口・(19.4)	酸化・並。明赤褐5YR5/6。 並、やや重。褐粒多、他鉱物少。	内・外面にハゼ多い。外面は篋削り、内面は 篋撫と接合面。口縁部は横撫で。	接・4片
628-12	土師器 高坏	6-92、No2 底部片	底・(6.0)	酸化・軟。橙2.5YR6/8。並、 軽。白色粒微、暗褐粒、他少。	内外面に撫あり。割れ口消耗。外面の酸化味 強い。	
628-13	須恵器 坏	6-93覆土 破片	厚・0.5	還元・軟。灰10Y6/1。並、 やや軽。白色粒含、他微。	器肉薄く、9世紀前半頃の坏か。割れ口消耗 大。	8・9C粘
628-14	土師器 甕	6-94覆土 破片	厚・0.6	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6。 並、軽。白色・褐粒含、他少。	外面篋削。内面消耗大で整形不明。割れ口消 耗大。	
628-15	須恵器 坏	6-95覆土 破片	厚・0.4	還元・硬。灰N5/0。密、やや重。 白色・黒粒含、他鉱物微	轆轤成形。体部外面に轆轤目あり、内面は目 立ず。割れ口消耗微。	笠・太田
628-16	埴輪か 形象か	6-96覆土 破片	厚・1.2	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6。 並、やや重。白・褐粒含、他少。	土師器かもしれないが、器面消耗大のため不 明。割れ口に接合面明瞭で埴輪か。	
628-17	土師器 甕	6-97、No1 体部破片	厚・0.3	酸化・並。明赤褐5YR5/6。 並、やや軽。褐粒含、他含。	内面に撫痕、少し吸炭色変あり、被熱か。外 面に篋削目、焼成前の小粘土付着。	
628-18	須恵器 坏	6-101、No1 破片	口・(13.4)	還元・並。灰10N5/6。並。 褐粒多、白粒含、他鉱物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面底少し摩耗。	粘
628-19	土師質土器 皿	6-102覆土 破片	口・(12.6)	酸化・硬。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。白色・褐粒含。	轆轤成形。割れ口に消耗あり。器肉薄い。	中世か
629-1	土師器 甕か	6-115覆土 破片	厚・0.3	酸化・硬。鈍褐7.5YR5/4。 並、やや重。鉱物粒微。	外面に篋削目あり、内面に撫痕あり。割れ口 の消耗少ない。	
629-2	須恵器 坏	6-116覆土 破片	厚・0.5	還元・硬。灰オリーブ5Y6/2。 並、やや重。鉱物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形で内外面に轆轤 目あり。割れ口少し消耗。	粘・陶
629-3	土師器 甕か	6-120覆土 破片	厚・0.5	酸化・並。黒褐10YR3/1。 並、やや軽。白色・褐粒含。	小形台付甕の破片か。外面篋撫、撫痕。内面 接合痕。割れ口消耗あり。	
629-4	須恵器 蓋	6-121覆土 破片	口・(15.1)	中性・硬。鈍黄2.5Y6/3。並、 やや重。白色粒・黒鉱物多。	坏蓋。口縁端部やや丸い。割れ口少し消耗。	
629-5	土師器 脚	6-123、覆土 破片	厚・1.0	酸化・硬。橙7.5YR7/6。並、 やや重。白色粒含、鉱物少。	外面横撫あり、内面撫、接合痕あり。割れ口 の消耗大。	
629-6	須恵器 瓶	6-126覆土 破片	厚・0.8	還元・硬。灰オリーブ5Y5/2。 密、重。白色粒含、他少。	轆轤成形。外面回転条痕あり。内面に浅い轆 轤目あり。割れ口消耗。	
629-7 209-14	須恵器 坏	6-127覆土 2/3	口・(12.4) 底・(7.2)	還元・軟。灰黄2.5Y6/2。並、 やや重。白色粒、鉱物多、他微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面 に少し煤かかる。内面使用摩耗。	2片 粘・陶
629-8	須恵器 坏	6-128覆土 破片	底・(7.6)	還元・硬。灰黄2.5Y6/2。並、 やや重。白色・褐粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。切り離し不明。 割れ口消耗。	
629-9	土師質土器 皿	6-131覆土 破片	口・(8.7) 底・(5.4)	酸化・硬。浅黄橙10YR8/3。 粗、軽。黒鉱物含、他微。	轆轤成形。底部は回転糸切り。全体に茶色気 味。内外撫あり。割れ口消耗少。	

第6区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
629-10	軟質陶器 鍋	6-131覆土 口縁部片	厚・1.3	還元・硬。黒褐5YR2/1。 粗、やや軽。	口縁部周辺横撫。外面下方から底面に石目状 の型膚。焼成芯黒色、外面煤付着。	17~19C 小泉か
629-11	石器 擦石	6-133覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・230	長・8.7。幅・7.2。厚・3.0 粗粒輝石安山岩	片面中央部に集中打痕を残す。	
629-12	軟質陶器 植木鉢か	6-137覆土 底部片	底・(22.2)	還元・硬。暗灰 N3/0。並、 軽。白色・黒粒含、他鉱物少。	内外面に回転痕。外面少し研磨され光沢あり。 脚部は三足か。胎土やや緻密で非小泉焼。	産不明。 粘。
629-13	土師質土器 皿	6-141覆土 4/1	口・(7.2) 底・(4.0)	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。褐粒多、シルト質。	轆轤成形(右回転か)。底部は回転糸切り。口 縁部に油煙付着し、燈火皿。黄斑あり。	14~15C
629-14	軟質陶器 焙烙か	6-141覆土 破片	厚・1.3	中性・硬。鈍黄橙6/3。粗、 軽。褐粒含、他少。	外面石目状の膚後の撫あり。内面撫痕。焼成 芯黒、外面浅い撫で5層気味。消耗少。	県外か
629-15 209-15	土師質土器 皿	6-142覆土 一部欠損	口・(10.6) 底・(5.2)	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4。 粗、軽。白色粒含、鉱物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 に轆轤少し入る。作調少し粗雑。	近世か
629-16	石造品 石臼、上臼	6-142、No.1 破片	粗粒輝石安山岩 1450g	遺存長・(37.4)	石質は、やや軽く、軟らかそう。裏面に4+ α条の太い卸目あり。全体に消耗。	中世か
629-17	須恵器 坏	6-150覆土 破片	底・(7.3)	中~酸化・硬。明赤褐5YR5/6。 並、やや重。褐粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削。割れ口消耗あり。	笠か
629-18	軟質陶器 焙烙か	6-150覆土 口縁破片	厚・1.0	還元・硬。黒褐10YR3/1。 粗、軽。黒鉱物多、他少。	外面下方に石目状の型膚。口縁部の内外面横 撫。焼成芯黒、外撫で5層気味。消耗少。	18~19C 小泉か
629-19	軟質陶器 内耳焙烙	6-153覆土 破片	口・(31.2) 底・(25.8)	中~酸化・並。鈍黄橙10YR6/3。 粗、軽。黒鉱物含、他含。	外面に接合痕、横撫。内面轆轤目と撫で。割 れ口少し消耗。焼成芯黒3層気味。	17・18C
630-1	須恵器 甕か	6-156覆土 破片	厚・1.3	酸化・軟。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。褐粒、黒鉱物含、他少。	種不明。外面に波状文。内面の圧痕、回転痕 弱。割れ口接合痕。割れ口消耗少。	粘
630-2	須恵器 坏	6-157覆土 破片	厚・0.3	酸化・軟。鈍黄橙10YR7/3。 並、軽。褐粒含、他少。	外面に轆轤目あり。形状から9Cの坏か。割 れ口の消耗大。	粘
630-3	須恵器 碗	6-160覆土 底部片	底・7.5	還元・締。灰7.5YR5/1。密、 重。白色粒多、他鉱物少。	口縁部欠損。轆轤成形(右回転)。高台付け高 台。底部は回転撫整形。内面使用摩耗あり。	太田か
630-4	須恵器 碗	6-161覆土 破片	厚・0.7	還元・硬。灰5Y5/1。密、重。 白色鉱物含、他少。	轆轤成形。台部張付け。内・外面回転痕。割 れ口消耗少。	太田
630-5	土師器 器種不明	6-162覆土 破片	厚・0.7	酸~中性・硬。鈍黄橙10YR7/3。 並、やや重。黒鉱物多。	外面に撫あり、内面滑らか。焼成芯黒で3層 気味。割れ口消耗大。	粘
630-6	須恵器 甕	6-164覆土 破片	口・(26.0)	還元・硬。灰7.5YR4/1。密、 重。白色鉱物含、他微。	内外面轆轤回転条痕あり。割れ口消耗少。胎 土は陶質で良い。	西毛~埴 玉か
630-7	土師器 台付甕	6-165覆土 破片	厚・0.7	酸化・硬。明赤褐5YR5/8。 並、やや軽。白・褐粒少、他少。	内外面に横撫あり。割れ口消耗大。内外少し 被熱色変あり。	
630-8	陶器 甕	6-167覆土 破片	厚・1.2	酸化・締。 密、重。石英粒含、他少。	外面に茶褐の自然釉。内面横撫痕。割れ口紐 作痕。割れ口消耗少。	常滑

第7区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
630-9	土師質土器 皿	7-234耕作覆 口縁片	厚・0.5	酸化・硬。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。黒・褐粒含、他含。	轆轤成形。内外回転条痕。割れ口消耗大。	中世か
630-10	軟質陶器 不明	7-3覆土 破片	厚・0.6	酸化・軟。橙7.5Y6/6。粗、 軽。白色粒含、他鉱物少。	底面に石目状の型膚あり。内面の撫整形不明 瞭。割れ口消耗大。	
630-11	土師質土器 皿	7-5覆土 1/4	口・(7.9) 底・(5.1)	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。金雲母、褐粒含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。欠損 は旧時。内面底工具の轆轤目。割れ口旧欠。	15・16C
630-12	軟質陶器 焙烙	7-7覆土 口縁部片	厚・0.9	酸化・硬。黒2.5Y2/1。粗、 やや軽。鉱物少。	内外面横撫。全体に吸炭あり、割れ口の消耗 少ない。	小泉か
630-13	軟質陶器 焙烙か	7-8覆土 破片	厚・0.6	酸化・硬。黒褐2.5Y3/1。粗、 やや軽。金雲母含、他含。	内外面に撫痕あり。外面吸炭あり。割れ口消 耗大。	18~20C 小泉か
630-14	施釉陶器 碗	7-8覆土 口縁片	口・(11.6)	中~還元・締。施乳濁白灰(長 石釉か)。胎土黄灰。	内外面志野様の施釉があり、白天目様。施釉 厚く、貫入あり、割れ口少し消耗。	
630-15	軟質陶器 埴	7-9覆土 小片	厚・0.9	中性・軟。灰黄2.5YR6/2。 並。褐粒多、他鉱物含。	内外面ハゼ剥落多。外面燻、内・外の器面に 撫。割れ口の消耗大。	
630-16	土師質土器 皿	7-10覆土 口縁片	厚・0.4	酸化・硬。橙5Y6/6。並、やや軽。 白色・褐・黒粒含、他含。	轆轤成形。外面に左回転の轆轤目あり。割れ 口の消耗少。	
630-17	土師器 甕	7-16・17覆土 口縁片	厚・0.5	酸化・硬。橙5Y6/6。並、軽。 褐粒多、白色・黒粒少、他少。	「コ」の字状口縁。型作りか。口縁部は横撫 で。割れ口消耗微。	

第7区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
630-18	石器 石核	覆土内 完存	黒色安山岩 重・220	長・8.1。幅・6.5。厚・3.9。 黒色安山岩	小規模の薄片素材石器の石核。	
630-19	土師質土器 皿	7-18覆土 底部片	底・(5.4)	酸化・硬。橙7.5Y7/6。並、 やや重。金雲母、褐粒含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 に円形工具痕らしき凹みあり。消耗少。	中世。
630-20	土師質土器 皿	7-18覆土 口縁片	厚・0.4 厚・0.5	酸化・硬。鈍橙7.5Y7/4。並、 軽。白色粒、黒鉱物含、他少。	轆轤成形(左回転)。外面に轆轤目あり。内面 滑らか。割れ口消耗微。	中世
630-21	瓦塔か 部位不明	7-18覆土	厚・1.2	酸化・並。鈍橙7.5Y7/4。やや粗、 軽。褐粒含、他鉱物含。	外面に片切山形の隆部3条あり。内面に回転 条痕らしき無あり。割れ口の消耗大。	
631-1	土師質土器 皿	7-25覆土 口縁片	厚・0.4	酸化・並。鈍黄橙10Y6/4。 並、軽。褐粒含、他含。	轆轤成形(左回転)。外面に轆轤目あり。割れ 口の消耗大。	中世
631-2	石器 蓮台石	7-23覆土	粗粒輝石安山岩 1590 g	長・29.7+α	台座に複蓮弁を刻み精整形。内側は円形状に 削り込まれ、整形荒い。内側に燻かかる。	
632-1	石造品 五輪地輪	7-23、No 3 2/3	粗粒輝石安山岩 14400 g	長・21.5	石質は重く硬い。上面手前縁周辺に再用の研 磨痕らしき部分、裏面除き整形。部分煤。	
632-2	石造品 五輪地輪	7-23、No 4 ほぼ完形	粗粒輝石安山岩 17760 g	長・22.0	石質硬質、重い。部分的に煤付着。裏面を除 き精整形。上面に削り跡と再時の研磨痕。	
633-1	須恵器 蓋	7-29覆土 口縁片	厚・0.5	還元・並。灰オリーブ5Y6/2。 並、軽。白色・黒粒含、他少。	口縁部は折り返し。轆轤成形。底部欠損のた め切り離し技法不詳。割れ口消耗大。	粘
633-2	石造品 五輪地輪	7-29、No 3 ほぼ完形	粗粒輝石安山岩 14100 g	長・21.0。巾・20.8。厚・16.0	外面は被熱と煤付着。荒割りの痕跡があり、 裏面整形は甘い。転用か表・側面に研磨痕。	
633-3	石器 砥石	7-29、No 4 完形	粗粒輝石安山岩 6000 g	長・31.4。巾・15.65。厚・7.3	大形置砥で側部の使用磨耗が大きく、埋め込 みで使用か。両小口には河原石面が残される。	
633-4	石造品 基台石か	7-29、No 2	粗粒輝石安山岩 9200+α	長・20.5+α。高・12.5。 巾・26.0	上面に旧時の磨耗あり。整形は裏面が最も荒 いが丁寧。欠損旧欠。石質は重く硬い。	
634-1	須恵器 甕	7-30、No 4 破片	厚・1.1	還元・焼締。灰オリーブ5Y6/2。 密、重。黒粒多含、他少。	外面平行叩。内面当具不明、無あり。黒粒多 く秋間製より重い。割れ口消耗少。	産不明。
634-2	軟質陶器 破片	7-35覆土 破片	厚・0.9	中世・硬。黒10Y2/1。粗、軽。 金雲母、白・黒粒含、他含。	内外面に撫あり。焼成煤かかり、芯酸化気味 の3層。割れ口の消耗大。	
634-3	石造品 宝篋相輪	7-35、No 6 1/3	粗粒輝石安山岩 重・1490 g	幅・9.7。高・13.6。	九輪部旧欠。粗粒安山岩ながら硬質、やや重 い。花弁は少し浅く彫られ立体感少。	
634-4	石造品 敷石か	7-35、No 1 破片	粗粒輝石安山岩 重・4550 g	長・25.2+α。厚・6.5。	割れ口は旧欠。表・裏とも鉱物粒突出し、軟 質の物質による擦痕。側部は川原石面。	
634-5	軟質陶器 塀か?	7-39覆土 破片	厚・0.9	中性・並。灰白2.5Y8/2。粗、 軽。褐粒含、シルト質。	外面に撫痕。内面に指の圧痕らしき凹みあり。 割れ口の消耗大。焼成単一気味。	18~20C 小泉か
634-6	土師質土器 皿	7-43覆土 口縁片	厚・0.3	酸化・並。橙7.5Y7/6。粗、 軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。内外面回転撫。割れ口の消耗大の ため特徴見い出せず。	中世か
634-7	土製品 円盤	7-43覆土	厚・0.9	酸化・並。明褐7.5Y5/6。粗、 軽。金雲母、褐粒含、他含。	旧状は縄文土器か。側部は打ち欠き後、研磨 整形か。全体の消耗大。	
634-8	陶器 甕	7-44覆土 破片	厚・1.1	還元・焼締。灰7.5Y5/1。並、 やや軽。白色・灰鉱物含。	内外面撫痕あり。外面凹み多い。粗質な土で あるものの縞子。割れ口消耗少。	県内産か
634-9	軟質陶器 焙烙	7-45覆土 破片	厚・0.6	中性・軟。灰白5Y7/2。粗、 軽。白色・黒粒含、他少。	底面に石目状の型膚あり。内面撫痕あり。焼 成芯黒く外面中性気味の3層。消耗大。	18・19C 小泉か
634-10	軟質陶器 焙烙か	7-48覆土 破片	厚・0.6	酸化・硬。明黄褐10Y7/4。 粗、軽。褐粒含、他少。	底面に型膚状の跡あり。内面に撫痕。焼成は 単一気味。消耗少。	18~20C 小泉か
634-11	土師質土器 皿	7-59覆土 破片	厚・0.5	酸化・並。橙7.5Y6/6。並、 軽。白色粒多、他鉱物含。	轆轤成形(左回転)。内外に轆轤目あり。焼成 単一気味。割れ口消耗少。	中世か
634-12	石器 擦石	7-49覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 920 g	長・13.0。幅・9.3。厚・5.3	扁平面の片側が摩滅する。	
634-13 210-2	土師質土器 皿	7-62、No 1 ほぼ完形	口・8.7 底・5.4	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4。 粗、軽。白色粒含、鉱物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 轆轤目あり。荒斑あり。	16~19C
634-14	土師器 甕	7-63覆土 口縁片	厚・0.6	酸化・並。鈍橙7.5Y7/4。並、 重。白色・褐粒含、他含。	口縁部の内外面に横撫あり。焼成は芯と内面 の一部黒色吸炭。割れ口の消耗少。	
634-15	土師質土器 皿	7-65覆土 底部片	底・(7.6)	酸化・硬。橙5Y6/6。粗、軽。 褐・白色粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。焼成 単一気味。割れ口の消耗。	中・近世 か
634-16	施釉陶器 碗	7-67覆土 口縁片	厚・0.4	還元・締。釉淡青緑(青磁)。 胎土白。	内面に斜書様の劃文あり。口縁端部白い。釉 は小気泡多く透明感あり。消耗微。	18Cか 伊万里系
634-17	土師質土器 皿	7-67覆土 底部片	底・(7.0)	酸化・並。鈍橙7.5Y6/4。並、 やや重。白色・褐粒含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内外 回転撫あり。内面一方向撫。消耗あり。	中世

第7区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
635-1	軟質陶器 内耳埴	7-81覆土 破片	厚・0.8	還元・硬。灰5Y4/1。粗、軽。 白色粒含、他鉱物含。	内面撫痕。外面指圧痕と撫。内耳欠損跡。焼成芯黒、内外面で5層気味。	17・18C
635-2	磁器 皿	7-81覆土 底部片	底・(8.0)	還元・締。釉深乳青(染付)、青 白磁(淡青白)。胎土白。	端部鉄足状酸化。内面青色の青花、意匠不明。 高台外2条線。消耗微。内面擦痕微。	16C末。 景德鎮
635-3	石器 叩石	7-83覆土内 完存	溶結凝灰岩 293g	長・13.2、幅・4.0、厚・3.8	両端部に集中敲打痕が認められる。撫。焼成 黒、外燻で5層気味。消耗少。	
635-4 210-3	皿	7-92、No.1 2/3	口・(11.4) 底・(6.2)	酸化・並。褐7.5YR4/6。 粗、軽。白色粒多、鉱物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り後擦痕。 内面轆轤目あり。割れ口少し消耗。	中・近世
635-5	軟質陶器 焙烙	7-96覆土	厚・1.0	酸化・並。灰5Y4/1。粗、軽。 褐粒含、他鉱物少。	外面研磨光沢が部分的にあり。内面に撫あり。 割れ口の消耗大。	18・19C か
635-6	須恵器 坏	7-97覆土 破片	厚・0.4	中性・並。暗灰黄2.5Y5/2。 並、軽。白色・褐粒含、他含。	口縁部は欠損する。轆轤成形。切り離し技法 不詳。全体に燻。割れ口消耗少。	
635-7	磁器 碗	7-98覆土 口縁片	口・(9.0)	還元・締。釉淡青(染付)、白磁 釉(白)、胎土白。	外面に染付施文。白磁釉は内外面にあり。 割れ口消耗微。	19C 伊万里系
635-8	磁器 碗	7-106覆土 底部片	底・(4.4)	還元・締。釉淡々青緑(青磁釉)、 胎土純白。	釉は透明感強く、生掛け様に見えるので伊 万里系か。底厚く古様。割れ口消耗大。	伊万里系 か。18C
635-9	土師質か 皿。坏か	7-107覆土 底部片	底・(5.0)	酸化・硬。鈍黄褐10Y5/3。 粗、軽。金雲母、鉱物少。	須恵器の可能性も有。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面轆轤目立ず。割れ口消耗大。	
635-10	石製品 板碑	7-107覆土 1/4	緑色片岩 重・6900g	縦・44.3。横・30.5。高・3.2	断面浅いV字状で、キリークを刻み、他に2 条線、郭線あり。器面少し荒れる。	
635-11	軟質陶器 焙烙か	7-113覆土 破片	厚・0.5	酸化・並。明赤褐7.5Y7/2。 粗、軽。褐粒多、白粒含、他少。	消耗顕著で、整形不明。さらに器種不明瞭。 焼成酸化に傾き単一気味。	
635-12	土師質土器 皿	7-117覆土 底部片	底・(5.2)	酸化・硬。橙7.5Y7/6。粗、 軽。金雲母、褐粒含、他含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 回転撫痕。割れ口の消耗あり。	中世か
635-13	軟質陶器 内耳埴か	7-126覆土 破片	口・(29.0)	還元・並。黒7.5YR1.7/1。 粗、軽。褐粒、鉱物含。	内外回転撫整形。内外燻あり。中・近世か不 明。	
636-1	土師質土器 皿	7-130覆土 破片	口・(10.5) 底・(7.0)	酸化・並。橙5YR7/8。粗、 軽。白色・褐粒微、鉱物多。	轆轤成形(左回転か)。底部は回転糸切り。色 調赤味強い。	
636-2	軟質陶器 内耳埴か	7-132覆土 底部片	厚・0.8	酸化・硬。灰褐7.5Y4/2。粗、 軽。金雲母、褐粒含、他少。	内面に撫痕あり。外面も滑らか。焼成外面に 少し燻あり。割れ口少し消耗。	15・16C か
636-3 210-3	施釉陶器	7-132覆土? 1/2	口・(8.0) 底・(2.8)	中性・締。釉黒褐(鉄釉)。 胎土黄灰。	外面下方を除き施釉。露胎部に篋削目あり。 内面目2カ所+α。高台削出しか。	18Cか 美濃
636-4	土師質土器 皿	7-133覆土 底部片	底・(6.4)	酸化・硬。橙5Y6/6。	轆轤成形。底部は左回転糸切り。板状圧痕あ り。内面一方撫。被熱吸炭。消耗あり。	
636-5	軟質陶器 不明	7-135覆土	厚・1.4	還元・硬。灰7.5Y5/1。 粗、やや重。鉱物少。	全体の残存少なく器種不明。全体に燻と芯の 吸炭化進む。消耗大。	18~20C 小泉か
636-6	土師質土器 皿	7-136覆土 口縁片	口・(10.0)	酸化・並。鈍橙7.5Y7/4。粗、 軽。褐粒含、他鉱物含。	轆轤成形(回転不明)。底部は旧欠。内外面に 回転条痕。黄斑あり。割れ口消耗。	
636-7	施釉陶器 鉢	7-137覆土 破片	厚・0.8	酸~中性・締。施暗茶(鉄釉鈍 光沢)。胎土黄灰。	外面に回転条痕あり。内面不明瞭。釉は内外 にあり。割れ口少し消耗。	美濃 18・19C
636-8	土師質土器 皿	7-139覆土 底部片	厚・0.5	酸化・硬。橙7.5Y7/6。並。 褐粒、鉱物含。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内面底は回転 撫。割れ口の消耗大。	
636-9	軟質陶器 焙烙	7-139覆土 破片	厚・0.5	酸化・硬。鈍黄2.5Y6/3。並、 軽。褐・白色粒含、他少。	底面に石目状の型膚。内面に撫痕。焼成芯黒、 外面酸化気味で3層。割れ口消耗。	
636-10	焼締陶器 甕	7-141覆土 破片	厚・0.9	酸化・締。淡褐、胎土淡褐。 石英粒多く、他鉱物含。	内外撫擦痕あり。外面は酸化。割れ口の消耗 大。	中世か 常滑
636-11	石製品 穀臼、下臼	7-142、No.4 1/2	粗粒輝石安山岩 重・6900g	径・28.1	硬質、重い安山岩で角閃石含む。目無し白状 で目の条痕わずか。裏面荒蕪形のまま。	
636-12	石造品 破片	7-142、No.2 破片	溶結凝灰岩 重・4700g	長・22。厚・12.2。	全体に被熱、吸炭あり。各割れ口もろく、新 しそう。図表面に研きなどの摩耗あり。	
636-13	土師質土器 皿	7-143覆土 口縁片	口・(12.0)	酸化・硬。鈍黄橙10Y6/4。 粗、軽。白色・褐粒含、他含。	轆轤成形(回転不明)。内外に回転撫痕あり。 割れ口消耗あり。	中世か
636-14	軟質陶器 焙烙	7-146覆土 破片	厚・0.7	酸~還元・硬。鈍黄橙10Y6/3。 粗、軽。褐粒含、他含。	底面に石目状の型膚あり。内面撫痕あり。焼 成芯黒く、外面酸化気味の3層。消耗あり。	17~19C 小泉か

第8区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
636-15	須恵器 坏	8-2覆土 破片	口・(13.9)	還元・締。灰5Y5/1。密、重。 白色鋳物多、他少。	口縁部に重ね焼色変あり。薄作。外面に轆轤 目あり。割れ口消耗大。	2片 太田
636-16	土師器 坏	8-7覆土 破片	厚・0.5	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3。 粗、軽。白色・黒粒含、他多。	口縁部は外反する。外面は篋削り、内面は撫、 割れ口消耗少。	
636-17	縄文土器 深鉢	8-8覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙5YR6/4 角粒粗粒砂・白色鋳物	文様の施文は認められない。	接・無し
636-18	須恵器 坏	8-12覆土 破片	口・(12.4)	還元・軟。灰5Y6/1。並、 やや軽。白色粒含、他少。	内外面轆轤目あり。内面滑らか。割れ口消耗 あり。	笠か
636-19	縄文土器 深鉢	8-14覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。褐灰10YR5/1。 白色微粒子	縦位の隆帯を施し、LR原体を縦位施文する。	接・無し
637-1	縄文土器 深鉢	8-10覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 角粒粗粒砂・白色粒・チャート	横位の隆帯の直下に懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位施文する。	接・無し
637-2	縄文土器 深鉢	8-10覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。暗灰黄2.5YR5/2 粗粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位施文する。	接・無し
637-3	縄文土器 深鉢	8-10覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR6/6 角粒粗粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位施文する。	接・7点
637-4	須恵器 甕	8-20、No.3 破片	厚・1.2	還元・硬。灰5Y5/1。並、 やや重。白色鋳物含、他少。	外面は斜格子様叩き、内面当て具は素文。 割れ口消耗なし。	太田か
637-5	須恵器 甕	8-20、覆No.1 破片	厚・0.8	還元・並。灰白5Y1/2。密、 やや重。白色・黒粒含、他少。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩きを撫消し、 内面当具は格子状と下方篋削。	2片 太田か
638-1	須恵器 坏	8-22覆土 破片	底・(6.0)	還元・並・硬。灰5Y5/1。並、 やや重。白色粒多、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部回転篋削。 底部回転篋削。割れ口消耗あり。	笠か
638-2	土師器 甕	8-24覆土 破片	厚・0.3	酸化・並。褐10YR4/4。並、 やや重。白色粒含、他少。	外面篋撫。内面撫。内外全体吸炭あり。体部に 型膚。口縁部・器内面横撫整形。割口の消耗少。	
638-3	須恵器 坏	8-27覆土 底1/4	底・(6.8)	還元・並。灰白5Y4/1。並、 軽。白色粒、他鋳物含。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口消耗あり。	粘
638-4	須恵器 坏	8-30覆土 破片	底・(8.0)	還元・並。暗灰黄2.5Y5/2。 並、やや軽。白色粒、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転篋 削。全体吸炭。割れ口消耗。	粘
638-5	須恵器 碗	8-30覆土 破片	底・(10.0)	中性・軟。灰5Y4/1。並、軽。 白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。高台付け高台。 底部は回転篋削整形。割れ口消耗少。	笠か
638-6	須恵器 坏	8-31覆土 破片	底・(7.4)	還元・並。灰黄2.5Y6/2。並、 やや重。黒鋳物粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口消耗。	粘・陶
638-7	須恵器 坏	8-31覆土 底1/5	底・(7.2)	還元・並。灰7.5Y6/1。並、 軽。黒粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。割れ口消耗。	粘
638-8	土製品 土鍾	8-31覆土 完形	縦2.2・横0.9 2.63g	酸化・並。鈍橙5YR6/6。並、 やや重。鋳物微。	器面滑らか。使用摩擦少。消耗微。全体に吸 炭化微。	
638-9	埴輪 円筒	8-31覆土 破片	厚・1.5	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3。並、 やや重。白・黒粒含、他含。	外面刷毛目。内面紐作痕、撫あり。透あり。 割れ口消耗大。焼成単一気味。	
638-10	軟質陶器 不明	8-32覆土 体部片	厚・1.0	還元・並。黄灰2.5Y5/1。 並、軽。白色・褐粒含、他少。	焙烙か。内外面撫あり。全体に消耗大。焼成 芯黒、外面燻で黒色気味。	18・19C 小泉か
638-11	須恵器 坏か	8-34覆土 破片	厚・0.4	還元・密。灰5Y5/1。密、 やや重。白色粒含、他鋳物少。	轆轤成形。外面轆轤目。割れ口消耗。	笠か
638-12	須恵器 坏	8-35覆土 破片	厚・0.3	還元・軟。灰白5Y7/1。並、 やや軽。白色・黒鋳物含。	外面に轆轤目あり。轆轤成形。割れ口消耗大。	粘
638-13	須恵器 甕	8-35覆土 破片	厚・0.7	還元・硬。灰5Y6/1。並、 やや重。白色・黒鋳物含。	口縁部は小作り、小形甕か。内外回転撫。割 れ口消耗大。	笠か
638-14	土師器 坏	8-40覆土 破片	厚・0.3	酸化・並。灰褐5YR5/2。並、 やや軽。白色・褐粒含。	口縁部に横撫。型作りか。底部は篋削り、体 部に型膚。割れ口少し消耗。	
638-15	須恵器 長頸壺か	8-41覆土 破片	厚・0.7	還元・並。黄灰2.5YR5/1。並、 やや重。針状多、白含、鋳物少。	紐作り後叩き整形か、内外面は回転撫。割れ 口消耗少。	埼玉
638-16	須恵器 破片	8-43覆土 破片	厚・0.3	還元・並。灰黄2.5Y6/2。並、 やや重。白色鋳物含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内外に回転撫。 割れ口少し消耗。	2片 粘・陶
638-17	土師器 坏	8-44覆土 破片	厚・0.3	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3。 並、軽。鋳物微、シルト質。	型作りか。底部は篋削りか、体部に型膚。器 内面は横撫で整形。割れ消耗。	
638-18	須恵器 坏	8-45覆土 破片	底・(6.6)	還元・軟。灰黄2.5Y7/2。並、や や軽。白色粒含、他少。シルト質。	口縁部は欠損する。轆轤成形。外面に轆轤目。 底部は回転糸切り。割れ口消耗。	粘
638-19	須恵器 甕	8-45覆土 破片	厚・0.7	還元・締。灰N5/0。並、 やや重。白色鋳物含、他少。	紐作り後叩き整形。外面は格子叩き、内面当 具は青海波文。割れ口消耗。	太田

第8区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
638-20	須恵器 坏蓋	8-45覆土 破片	口・(19.0)	中性・並。鈍黄2.5Y6/3。密、 やや重。白色粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。下 方回転撫。割れ口消耗。	笠・太田 か
638-21	土師器 坏か	8-46覆土 破片	厚・0.3	酸化・並。鈍橙5YR6/4。並、 やや重。白色粒、他少。	脚端かもしれない。口縁部は外傾気味。口縁 部・内面は横撫で、割れ口消耗。	
638-22	須恵器 坏	8-47覆土 破片	底・(8.0)	酸化・並。灰白5Y7/1。並、 やや重。褐・黒粒含、シルト質。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口消耗大。	
638-23	須恵器 坏	8-50覆土 破片	厚・0.7	還元・並。灰黄2.5Y6/2。並、 やや重。白色鋳物、他少。	内面ハゼ大。底面糸切痕。割れ口他の消耗大。	笠か
638-24	須恵器 坏蓋	8-54覆土 破片	厚・0.4	還元・並。褐灰10YR6/1。並、 やや軽。白色鋳物含、他少。	轆轤成形。内外面に轆轤目。少し燻あり。 割れ口の消耗大。	
638-25	須恵器 坏	8-57覆土 破片	底・(7.0)	還元・並。黄灰2.5Y6/1。並、 やや重。白・黒・褐粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口消耗大。	粘
638-26	土製品 土錘	8-57覆土 ほぼ完形	縦4.3・横1.0 4.09g	酸化・並。浅黄2.5Y7/3。並、 やや重。鋳物少。	外面滑らか。使用摩擦あり。両小口旧時欠損。 吸炭少ない。	
638-27	須恵器 坏蓋	8-65覆土 破片	厚・0.7	還元・硬。灰黄2.5Y7/2。並、 やや重。鋳物少ない。	轆轤成形。上半部は回転篋削り。割れ口消耗 少。	笠か
638-28	須恵器 坏	8-67覆土 破片	底・(7.0)	還元・硬。暗灰黄2.5Y5/2。 並、やや軽。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切りらしい。割れ口消耗大。	粘
639-1	須恵器 坏	8-68覆土 破片	厚・0.3	還元・並。灰白5Y7/1。並、 やや軽。白色・黒粒含、他少。	口縁部は外傾気味。轆轤成形。外面に轆轤目。 割れ口消耗大。	粘
639-2	土師器 台付甕か	8-69覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。暗灰黄2.5Y4/2。 並、軽。白色粒含。	外面に吸炭の燻あり。外面は篋削り、下方に 撫。割れ口消耗あり。	
639-3	縄文土器 深鉢	8-71覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子	懸垂文(?)が認められる。	接・無し
639-4	縄文土器 深鉢	8-72覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。暗褐色7.5YR6/3 白色微粒子・細砂粒	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位施文する。	接・無し
639-5	縄文土器 深鉢	8-72覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 角粒粗粒砂・白色粒子	9本+α1単位の縦位の波状文を施文する。	接・無し
639-6	土師器 甕	8-74覆土 破片	厚・0.2	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4。 並、やや軽。白色粒含、他少。	体部外面に篋削。内面に撫あり。内外に被熱 の感弱い。割れ口消耗あり。	
639-7	須恵器 碗底	8-75覆土 1/3	底・(9.0)	還元・軟。灰白5Y7/2。並、軽。 白色粒含、他少、シルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。高台付け 高台。底部は回転篋撫整形。	粘
639-8	縄文土器 深鉢	8-78覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色鋳物	弧線沈線が認められる。	接・無し

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
640-1	土師器 坏	9-3 覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。褐粒多、他微。	底部の外面篋削。内面撫あり。割れ口少し消 耗。	県外搬入
640-2	須恵器 不明	9-5 覆土 破片	口・(30.0)	還元。硬。灰 N5/0。密。軽。 白粒、白鋳物含、他少。	不明種の脚部か。口縁部は付近に4mm幅の長 方形透。内・外面に回転糸痕。割れ口少し消耗。	粘
640-3	土師器 坏(平底)	9-6 覆土 口縁部片	口・(11.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。軽。褐粒含、他少。	口縁部は内・外面横撫。型作りか。体部に型 膚状あり。割れ口消耗少。	
640-4	須恵器 内黒 坏か	9-7 覆土	最大径・(7.0)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。	轆轤成形。器内面に研磨。外面にも研磨され ていたらしいが消耗。消耗少。底部回転糸切。	県外～西 国
640-5	須恵器 坏	9-9 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。灰白5Y7/1。粗。軽。 鋳物少。シルト質。	口縁部は外傾する。轆轤成形。口縁部外面に 重ね焼吸炭あり。割れ口消耗。	粘
640-6	須恵器 坏	9-10 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 粗。軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は消耗大 のため整形の回転糸痕不明瞭。	粘
640-7	土師器 坏	9-12 覆土 1/3	口・(12.0) 底・(7.2)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。	口縁部は外傾気味。底部は篋削り、体部にハ ゼ。口縁部・内面は横撫で。割れ口消耗。	接合2片
640-8	土師器 坏・甕	9-13 覆土 破片	厚・0.4	酸化。軟。橙5YR6/6。並。 軽。白・褐粒含、他少。	器種不明、薄作り。傾き不明。内面撫あり。 割れ口消耗。	
640-9	土師器 甕	9-15 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。硬。にぶい赤褐5YR4/6。	口縁部は外反。口縁部は内・外面横撫で。内 面に接合痕。割れ口少し消耗。	
640-10	須恵器 坏	9-17 No.4 1/4	口・(12.6) 底・(7.8)	還元。並。灰5Y6/1。並。やや軽。 白色粒含、鋳物少。	轆轤成形(右回転)。底部は手持篋削。重ね焼 色変あり。	接合3片 粘・陶

第9区土坑

採掘番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
640-11	須恵器 内黒 坏	9-17 覆土 底部片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。やや重。褐粒、鉍物少。	内面に研磨、黒色化あり。底面に轆轤右回転 の篋削さらに不明墨字あり。	墨書-142
640-12	須恵器 高坏	9-17 No.2 脚部片	最大径・(5.5)	還元。硬。灰白5Y7/1。粗。軽。 白・褐粒含、鉍物多。	内・外面轆轤目立ず。外面少し消耗。上方坏 部と下方は旧欠。	粘
640-13 210-6	須恵器 内黒 坏	9-17 No.5 一部欠損	口・14.5 底・8.7	酸化。並。黄橙7.5YR7/8。並。 やや重。白・褐粒含、他鉍物含。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨。底部は手持 と回転気味の篋削。	粘・陶 墨書-143
640-14 210-5	土師器 甕	9-17 No.3 1/2	底・4.6 高・(21.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。鉍物含。	器厚は薄い。器外面は縦位方向の篋削りを施 す。内面に接合部あり。煤付着、被熱色変。	接合34片
640-15	須恵器 坏	9-19 覆土 破片	口・(13.0)	還元。軟。黄灰2.5Y4/1。 並。軽。白粒。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転か)。底部欠 損のため切り離し技法不詳。外面少し燻。	接合2片 粘・陶
640-16	施釉陶器 皿	9-22 覆土 口縁部片	口・(12.0)	還元。締。釉灰白2.5Y7/1。 (灰釉)。胎土淡灰。	外面の口縁部付近。内面に灰釉施釉。器肉薄 い。割れ口消耗あり。	10C
641-1	須恵器 甕	9-23 覆土 口縁部片	口・(24.0)	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。 密。やや軽。白色粒含、他少。	内・外面横撫あり。内面に小ハゼあり。割れ 口に紐作痕あり。全体に消耗あり。	笠か
641-2	須恵器 坏蓋	9-24 覆土 口縁部片	厚・0.9	還元。硬。灰オリブ5Y6/2。 密。やや重。白色粒含、他少。	轆轤成形。内・外面回転撫。割れ口少し消耗。	笠か
641-3	土師器 甕	9-25 覆土 破片	厚・0.4	酸化。軟。橙7.5YR6/6。並。 軽。白・褐粒含、他少。	胴部片、傾き不明。器厚は薄い。外面は縦位 方向の篋削り。割れ口消耗少。	
641-4	須恵器 盤か	9-25 覆土	厚・0.7	還元。並。にぶい黄6/3。並。 軽。褐粒含、他少。	脚付盤か。割れ口消耗大。各面に撫整形あり。 脚部の長さ特徴的。	笠か
641-5	土師器 坏	9-26 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。軟。明赤褐5YR5/8。並。 軽。白色粒含、他少。	口縁部付近の破片。口縁部・器内面は横撫で。 割れ口消耗少。	
641-6	須恵器 坏	9-26 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。暗灰 N3/0。密。 やや重。白鉍物多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。口縁部外面に 重焼色変あり。割れ口消耗少。	太田
641-7	土師器 甕	9-28 覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや軽。白色粒、他鉍物含。	頸部片。器厚は薄い。外面は斜位方向の篋削 り。内面横撫。割れ口消耗あり。	
641-8	須恵器 碗か	9-28 覆土 口縁部片	口・(14.0)	還元。硬。灰オリブ5Y6/2。 並。やや重。白色粒含、他少。	内・外面に轆轤目あり。部分的に酸化斑あり。 割れ口の消耗あり。	笠か
641-9	土師器 甕・坏か	9-29 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや軽。白色粒含、鉍物含。	小片のため甕・坏不明。器厚は薄い。器外面 は斜位方向の篋削り。割れ口消耗あり。	
641-10	須恵器 内黒蓋・坏か	9-30 覆土 口縁部片	口・(14.0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/4。 並。硬。白・褐粒含、他少。	器種として坏か蓋か不明。轆轤成形。内面に 研磨を施す。外面に横撫。割れ消耗少。	粘
641-11	土師器 不明	9-31 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。軽。白・褐粒少、他少。	傾き不明。外面篋削。内面撫。割れ口の消耗 あり。	
641-12	須恵器 内黒 坏	9-34 覆土 破片	厚・0.7	酸化。並。にぶい黄褐10YR5/4。 並。軽。白色粒含、他少。	轆轤成形。外面轆轤目あり。器内面に研磨を 施す。割れ口の消耗少。	粘
641-13	須恵器 坏か	9-34 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。灰オリブ5Y5/2。 密。やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部付近少しなくなる。轆轤成形。口縁部 周辺外面に重焼色変。割れ口消耗少。	
641-14	土師器 皿	9-35 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/8。並。 軽。白・褐粒含、他少。	内・外面に撫で。割れ口消耗あり。部分的に 漂白化的な斑文あり。	
641-15	土師器 坏(平底)	9-36 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 軽。白・金雲母、褐粒含、他少。	体部外面に篋削、撫あり。口縁部・内面は横 撫で。割れ口の消耗大。	
641-16	土師器 坏	9-37 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。白、褐粒含、他少。	口縁部は内湾気味。体部外面は篋削り、内面 研磨少。口縁部・内面は横撫で。割れ口消耗。	
641-17	須恵器 釜か	9-39 覆土 口縁部片	厚・1.2	酸化。軟。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。軽。白色粒含、他少。	土師質で器種名称不明確。内・外面に回転撫 があり、割れ口に紐作痕。消耗少。	粘
641-18	須恵器 坏	9-40 覆土 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰オリブ5Y6/2。 密。重。白色粒多、他少。	口縁部は欠損。回転糸切。内面使用摩耗。円 盤加工か。割れ口打欠あり。割れ口少し消耗。	太田
641-19	須恵器 坏	9-52 覆土 破片	厚・0.6	還元。硬か。灰5Y6/1。並。軽。 白・黒粒含、他少。	轆轤成形。外面にわずか轆轤目あり。割れ口 消耗。	粘
641-20	須恵器 長瓶	9-54 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。硬。灰 N5/0。密。重。 白鉍物含、他少。	内・外面回転条痕、自然釉、薄作。口縁部下 に浅い凹み。消耗少。	太田か
641-21	須恵器 坏	9-55 覆土 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰7.5Y4/1。密。 やや重。白鉍物含。	口縁部は旧欠損。轆轤成形。底部は右回転糸 切り。割れ口消耗。	粘
641-22	須恵器 碗	9-56 覆土 底部片	底・(8.0)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧欠する。轆轤成形。高台付け高台。 割れ口の消耗顕著。	
641-23	石器 石鏃	9-56 覆土 先端欠損	黒色安山岩 重・1.64	遺存長・2.635+ α 。 幅・1.815。厚・0.455	無茎長平根三角形抉式。	

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
641-24	須恵器 坏	9-57 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y6/1。並。軽。 白色粒含、他少。	口縁部の内・外面に回転条痕あり。割れ口消 耗少。	
641-25	須恵器 坏	9-58 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。白・褐粒含、他少。	外面に轆轤目あり。内面滑らか。割れ口消耗 大。	笠か
641-26	施釉陶器 皿	9-59 覆土 口縁部片	厚・0.5	中性。軟チョコク状。釉淡黄緑 (銅釉、緑釉)。胎土黄灰。	内・外に施釉。外面に工具による轆轤の回転 削。内面の口縁部下に沈線一条、削耗あり。	西国搬入
641-27	土師器 坏か甕か	9-61 覆土 破片	厚・0.4	酸化。軟。にぶい赤褐2.5YR 5/4。並。軽。白色粒含、他少。	小片のため器種不明。薄作。外面に削目。内 面に撫あり。割れ口消耗あり。	
641-28	須恵器 坏	9-61 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。暗灰褐2.5Y4/2。	口縁部内・外面に轆轤の回転条痕あり。割れ 口摩耗。	
641-29	縄文土器 深鉢	9-61 覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 金雲母・白色鉱物	楕円隆帯区画を施し、隆帯端部に押引を施文 する。	接・無し
641-30	須恵器 坏	9-63 覆土 底部片	厚・0.4	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。並。 やや軽。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	笠か
641-31	須恵器 坏	9-64 覆土 口縁部片	口・(13.0)	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。並。 やや重。白・褐粒含。	外面に轆轤目。小ハゼあり。内面にもハゼあ り。割れ口消耗。	太田付近 か
641-32	土師器 坏	9-65 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。並。 軽。白・褐粒含、他少。	外面は消耗し、整形不明。内面撫。割れ口消 耗大。	
642-1	瓦 棧瓦	9-79 No29 小片	長・6.7+ α	還元。並。褐10YR4/4。並。 やや重。チャート含鉱物微。	表面は縦撫。裏面に木様の型痕。焼成は燻焼 のようであるが表面は燻されず二次被熱か。	19・20C 産不明
642-2	軟質陶器 火鉢	9-79 No28 破片	底・(39.0)	還元。硬。黒褐10YR3/1。並。 重。白・褐粒含、鉱物少。	外面下方轆轤右回転の篋削、内面轆轤目あり。 内・外面燻。	18・19C 小泉焼か
642-3	硝子 瓶か	9-79 覆土 破片	厚・0.4	ガラスで透明、無色。 酸化斑が各所にあり。	器面少しラスター生じ、酸化斑はルーベで雲 母状にみえる。小気泡を含み古色あり。	
642-4	石器 擦石	9-79 No2 完存	溶結凝灰岩 重・3730	長・13.1。幅・18.1。 厚・11.1	平坦面側を利用する。	
642-5	石製品 砥石	9-79 覆土内 破片	粗粒輝石安山岩 2050g	遺存長・9.0、遺存幅・6.8、 厚・4.0。	小口が平坦になる状態まで摩滅する。扁平面 も摩滅する。	
642-6	石器 砥石	9-79 覆土 破片	珪質粘板岩 20g	長・5.5+ α 幅・5.1+ α	側部に鋸挽目あり。表・裏の本来の面は剥落 し、現状はその面上を非金属の研磨磨あり。	桐生の砥 石
642-7	石器 砥石	9-79 No21 ≒1/2	砂岩 重・2050	残存長・14.9。幅・6.3 厚・6.8	礫面の平坦面と側部を砥面としている。	
643-1	石器 擦石	9-79 No3 ≒2/3	かこう斑岩 重・2400	長・20.7。幅・10.0。厚・7.4	平坦面の両面を利用する。所々に敲打痕が認め られる。	
643-2	石器 敲石	9-79 No21 完存	砂岩 重・730	長・18.0。幅・6.0。厚・4.9	両端の小口に特に多く集中打痕が認められ、 下半部側に打痕が多くが認められる。	
643-3	石器 擦石	9-79 No14 完存	粗粒輝石安山岩 重・1300	長・20.2。幅・8.0。厚・5.7	礫の平坦面側を使用する。	
643-4	石器 凹石	9-79 覆土内 1/2	粗粒輝石安山岩 6770g	遺存長・17.3、幅・19.7、 厚・13.0。	扁平面の両側が摩滅し、敲打痕が認められる。	
643-5	石造品 石敷材か	9-79 No7 破片	溶結凝灰岩 重・3650	残存長・21.0。幅・19.5 厚・6.3	石質は重く、硬い。上面は旧時の磨耗。上面 と図左側の側部に吸炭あり、被熱か。	
643-6	石器 擦石	9-79 No24 完存	溶結凝灰岩 重・690	長・25.3。幅・21.0。 厚・10.3	山石を大雑把に方形状に加工する。所々に小 単位に敲打痕が認められる。	
644-1	須恵器 坏か	9-67 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。密。 やや重。白色粒含、他微。	外面に轆轤目あり。内面は滑らか。割れ口の 消耗微。	笠か
644-2	須恵器 坏	9-69 覆土 底部片	底・(6.0)	還元。硬。灰N4/0。密。やや重。 白色粒、白鉱物含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。割れ口消耗少。	笠か
644-3	須恵器 坏か	9-71 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。白・黒粒含、他少。	外面に轆轤目あり、内面はやや滑らか。割れ 口消耗。	粘
644-4	軟質陶器 焙烙か	9-75 底部片	厚・0.5	酸化。並。明黄褐10YR6/6。 並。軽。白粒、黒鉱物含。他含。	底面に石目状の膚あり。内面撫痕あり。割れ 口消耗少。	18~19C 小泉焼か
644-5	施釉陶器 埴	9-75 破片	最大径・(12.6)	中性。締。釉黄灰と、白土地上 に灰色長石様釉。胎土黄灰	外面下方から高台裏を除いて施釉。外面中位 灰色釉。外面下方露胎部は轆轤右回転篋削。	18C 美濃
644-6	石器 砥石	9-75 一部欠損	砥沢石 90g	遺存長・9.5 幅・2.8 厚・2.3	刃付砥。使用は表・裏の2面。側部猫掻様の 整形痕。平面手前は調査時欠損。	18・19C
644-7	軟質陶器 焙烙	9-76覆土 破片	厚・1.1	酸化。並。明黄褐10YR6/6。 並。軽。白粒、黒鉱物含。他含。	底面に石目状の膚あり。内面撫痕あり。割れ 口消耗少。	

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
644-8	石器 砥石	9-77 覆土 破片	砥沢石 29g	長・2.2+ α	使用は表・裏、右側部、手前小口の4面。右側部に整形痕あり。左側部は旧欠面。	
644-9	軟質陶器 焙烙か	9-77 覆土 底部片	厚・0.9	酸化。硬。にぶい黄橙10YR6/3。並。やや軽。白・褐粒含。	内面に撫。外面に乾燥時の小ヒビあり。焼成単一気味。割れ口消耗。	
644-10	鉄釉陶器 広口甕	9-76 覆土 破片	口・(15.0)	中性。締。釉鉄錆色(鉄釉、光沢にぶい)。胎土黄灰。	内・外面釉あり。外面に沈線2条。口縁部外面側、使用摩耗、釉剥落あり。	18・19C 瀬戸美濃
644-11	軟質陶器 焙烙	9-78 口縁部片	厚・1.1	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。軽。白・褐粒含、黒鈳物含。	口縁部の内・外面に横撫あり。外面に煤付着。割れ口消耗大。	19・20C 小泉焼か
644-12	施釉陶器 鍋	9-78 覆土 破片	厚・0.5	酸～中。締。釉透明調淡黄橙。胎土淡黄橙。	内面と外面上方に施釉あり。外面下方は回転篋削。割れ口消耗あり。	19・20C 産不明
644-13	磁器 塊	9-80 覆土 破片	口・(10.0)	還元。締。釉淡青(染付)、白磁釉。胎土淡灰白。	外面に沢瀉と圏線を、内面に圏線を染付。白磁釉は青み強い。	18C 伊万里系
644-14	焼締陶器 揃鉢	9-80 No3・4 口縁部片	口・(33.2)	酸化。締。釉淡い鉄釉か自然釉か不明。胎土赤褐。	口縁部外面に3条の隆帯あり。内面に10本を1単位とする卸目。外面口縁付近微光沢。	17C 信楽か
644-15 210-7	磁器 小塊	9-80 No2 2/3	口・7.3 底・3.5	還元。締。染付青。白磁色淡青白。胎土白。	外面に梅花文と水梨文様の染付施文あり。高台端部を除き白磁釉。	19C 伊万里系
644-16	軟質陶器 羽釜	9-80 No1 破片	口・(29.1)	還元。並。暗灰N3/0。並。やや軽。白色粒含、鈳物微。	内・外ともハゼ剥落顕著。外面に燻、内面は被熱色変か。成形は紐作か、粘土挽目長い。	17～19C 小泉焼か
644-17	須恵器 坏	9-81 覆土 底部片	底・(9.0)	還元。軟。浅黄2.5Y7/3。粗。軽。白・黒粒含、他含、シルト。	底面に轆轤右回転の糸切痕あり。内・外面に回転痕あり。割れ口消耗。	粘
644-18	土師質土器 皿	9-83 覆土	底・5.8	酸化。硬。橙5YR6/6。並。やや重。白・褐粒含、他含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面一方向の指撫少し。割れ口消耗大。	中世
644-19	土師器 内黒塊	9-85 破片	底・(8.9)	酸。並。にぶい黄橙10YR7/3。並。軽。褐粒少、黒鈳物含。	高台裏に黒色化なし。器内面に研磨・内黒を施す。内・外面に回転撫痕。割れ口消耗少。	粘
644-20	施釉陶器 灯火皿	9-86 破片	口・(9.0)	中性。締。釉にぶい黄2.5Y6/4。(濃い胎調)。胎土灰。	内・外面に濃い胎調の施釉あり。油受けやや低い。外面回転篋削。消耗微。	18・19C 産不明
645-1	土師器 甕	9-87	底・(5.8)	酸化。並。灰褐7.5YR4/2。粗。軽。白・黒・茶褐粒含、他含。	消耗大。底面整形不明瞭。内面摩耗あり。全体に被熱色変大。	
645-2	石器 打製石斧	9-87 覆土内 下半部欠	黒色頁岩 重・66	遺存長・7.05。幅・4.2。厚・1.45	両面共に磨滅が認められるが、両面の削痕の方向が異なる。剥離は磨滅と新旧関係がある。	
645-3	須恵器 坏	9-88 覆土 破片	口・(14.0)	中性。並。浅黄5Y7/3。並。軽。白・黒粒含、他鈳物含。	内・外面に轆轤目あり。口縁部に重焼色変吸炭あり。割れ口消耗大。	接合2片 粘
645-4 210-8	施釉陶器 皿	9-88 覆土 2/3	口・(12.6)	還元・締。釉透明調と緑(銅釉か)。胎土白。	内面に蛇目釉剥ぎあり。外面釉透明調。内面緑釉。外面の釉は浸し掛け。	18C前
645-5	軟質陶器 火入	9-89 覆土 体部片	長・31.4+ α	還元。硬。5Y4/1。粗。重。白色粒含、他少。	内面撫、外面篋撫で平滑。底面わずか残存し、型腐あり。焼成芯黒、外燻で5層気味。	小泉焼か
645-6	施釉陶器 塊か	9-91 覆土 破片	厚・0.4	中性。締。釉浅黄2.5Y7/4。(透明調)。胎土淡黄灰。	内・外面に施釉、細貫入あり。小片のため器種不明。割れ口消耗少。	18。19C 美濃
645-7	須恵器 釜	9-92 覆土 破片	厚・0.9	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。やや重。白・褐粒多、他含。	外面縦方向篋削。内面回転撫。褐円粒多。割れ口少し消耗。	
645-8	土師器 甕	9-94 覆土 破片(頸部)	厚・0.7	酸化。並。浅黄橙10YR8/3。並。やや重。黒・褐粒含、他含。	頸部片。器厚はやや薄い。外面は上下方向の刷毛目を撫で消す。内面撫痕。割れ口消耗。	5Cか
645-9	石器 砥石	9-94 覆土 一部欠損	砥沢石 162g	遺存長・12.3 幅・4.0 厚・1.8	使用は表・裏、側部の4面で手前の小口は旧時の材料の面。側部に刃ならし傷あり。	
645-10	土師器 甕台付	9-98 覆土 破片	厚・0.7	酸化。並。橙7.5YR6/5。並。やや重。白・褐粒含、他鈳物含。	台部片。器厚はやや薄い。内・外面に撫あり。外面吸炭あり、割れ口の消耗大。	
645-11	土師器 甕	9-103 覆土 頸部片	厚・0.6	酸化。並。浅黄橙10YR8/4。並。軽。褐粒多、白粒少、他含。	頸部片。器厚はやや厚い。内・外面はほとんど剥落。少し漂白気味なのか白っぽい。	5～6C 初
645-12	土師質土器 皿	9-106 覆土 底部片	底・(5.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。粗。軽。白・褐粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面一方向の撫。割れ口消耗。	中世
645-13	石器 擦石	9-106 覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・285	長・9.0。幅・6.4。厚・3.9。	扁平面が磨滅する。	
645-14	軟質陶器 焙烙	9-109 覆土 底部片か	厚・0.7	軟。並。灰5Y5/1。粗。軽。鈳物微。	外面製作時のヒビ割れ、撫あり。内面に回転撫あり。割れ口消耗少。	17～19C
645-15	須恵器 坏	9-110 覆土 体部片	厚・0.4	中性。軟。にぶい黄2.5Y6/3。粗。軽。黒粒含、他鈳物少。	体部外面に轆轤目あり。内面ハゼ多い。焼成甘い。割れ口消耗少。轆轤成形(右回転)。	粘
646-1	須恵器 坏	9-114 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。灰10Y5/1。密。やや重。白色粒含、他鈳物少。	全体に薄作。外面に轆轤目1条。割れ口の消耗微。	笠か

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
646-2	土師器 甕	9-116 頸部片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/5。並。 やや重。鉍物少。	器厚は薄い。外面は斜位方向の篋削り。内面 撫。割れ口消耗少。	
646-3	石造品 紡錘車	9-118 完形	デイカイト質凝 灰岩か 27.42g	縦・4.3 横・4.3 厚・1.1	扁平で薄い。穿孔は直線的。側部は使用摩耗。 表面ざらつき。截頭側わずか摩耗。	
646-4	須恵器 環	9-119 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。締。灰5Y5/1。密。 やや重。白色粒多、他微。	内・外面に轆轤目あり。口縁部周辺に重焼色 変あり。消耗少。	笠か
646-5	土師器 甕台付か	9-119 覆土 体部片	厚・0.9	酸化。並。黒褐2.5Y8/2。並。 やや重。茶褐粒含、他少。	外面は斜位方向の篋削り、煤付着。内面に篋 撫痕。割れ口消耗少。	
646-6	須恵器 環	9-121 覆土 破片	口・(11.9) 底・(7.2)	還元。締。 密。やや重。白色粒多、他微。	轆轤成形。内・外面に轆轤目あり。口縁部周 辺に重焼色変あり。消耗少。	笠か
646-7	須恵器 環	9-126 覆土 底部片	底・5.0	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 粗。やや軽。白粒含、シルト質。	轆轤成形。底部は轆轤右回転糸切り。内面使 用摩耗。割れ口消耗大。	接合2片 粘
646-8	須恵器 塊	9-216 1/2	底・7.2	還元。並。黒褐10YR3/1。並。 やや軽。白・黒粒含、他少。	付け高台。底部は右回転糸切り。外面燻。内 面工具条痕。不明墨字。外面に「口大」墨字。	墨書-144 粘
646-9	土師器 甕	9-127 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/5。並。 白色粒多、黒粒含、他少。	外面ササラ状の削目あり。内面撫。割れ口消 耗少。	9Cか
646-10	土師器 甕か	9-128 覆土 体部片	厚・0.3	酸化。並。褐7.5YR4/3。並。 やや重。白・褐粒含、他含。	外面に篋削。内面に横撫。内・外面少し吸炭。 割れ口少し消耗。	
646-11	須恵器 環	9-128 覆土 口縁部片	厚・0.4	還～酸。並。にぶい黄橙10YR 7/4。粗。軽。白・褐粒含。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。割れ口消耗大。 少し酸化気味。	粘 シルト質
646-12	土師器 甕	9-131 覆土 頸部片	厚・0.5	酸化。並。褐7.5YR4/3。並。 やや重。金雲母、白色粒、他含。	外面に篋削目、横撫あり。内面横撫、少し吸 炭あり、割れ口消耗あり。	
646-13	須恵器 環	9-132 覆土 底部片	底・(6.0)	還元。並。灰7.5Y6/1。密。やや 重。白色粒含、白鉍物、他含。	轆轤成形。底面に糸切りあり。内・外面に轆轤 目あり。割れ口消耗。	笠か
646-14	土師器 環	9-133 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並。やや重。黒・褐粒含、他少。	外面に篋削目と少し吸炭。内面に撫跡。割れ 口消耗少。	9C
646-15	軟質陶器 鍋か火鉢	9-136 覆土 破片	厚・0.8	還。並。にぶい黄橙10YR6/3。 並。やや軽。黒粒含、他鉍物含。	内・外面回転に伴う撫あり。内面に少し吸炭 あり。外面に被熱色変あり。割れ口消耗少。	17～19C 小泉焼か
646-16	軟質陶器 器種不明	9-137 覆土 破片	厚・0.9	還元。軟。灰黄2.5YR6/2。粗。 やや軽。白・褐粒含、他少。	外面に燻、圧痕、撫痕。内面に撫あり。焼成 は外面のみ燻。割れ口消耗少。	17～19C 小泉か
646-17	須恵器 鉢か	9-139 覆土	厚・0.8	酸化。軟。橙7.5YR6/6。並。 軽。白色粒、黒鉍物含、他含。	器種不明瞭で鉢か。外面回転条痕。内面黒色 吸炭。吸炭外面一部およぶ。	粘 内黒
646-18	土師器 甕	9-142 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。軽。鉍物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は篋削り、 器内面は撫で、口縁部は横撫で。割れ口消耗。	
646-19	土師器 小形壺か	9-146 覆土 口縁部片	口・(7.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや軽。白色粒含、他少。	器厚はやや厚い。外面に撫痕。内面に紐作痕、 口縁部内・外面横撫。	
646-20	土師器 内黒	9-146 覆土 体部片	厚・0.6	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。褐粒含、他鉍物少。	器内面に研磨らしき痕跡、黒色化あり。外面 に篋削目あり。割れ口消耗あり。	
646-21	須恵器 環	9-148 覆土 底部片	厚・0.5	還元。並。暗灰黄2.5YR5/2。 並。やや重。鉍物少、シルト質。	轆轤成形。底部は轆轤右回転糸切り。内・外 面に轆轤目あり。割れ口消耗少。	笠か
646-22	須恵器 環	9-148 破片	口・(13.5)	中～還。並。にぶい黄橙7/3。 並。軽。白・褐粒含、他微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。外面に轆轤目あり。	接合2片
646-23	須恵器 環	9-149 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰オリープ5Y6/2。	口縁部は外傾。轆轤成形。外面に轆轤目。底 部欠損のため切り離し技法不詳。内面に摩耗。	割れ口消 耗 粘
646-24 210-9	施釉陶器 皿	9-150 覆土 2/3	口・(15.4) 底・7.8	還元。締。灰白5Y7/1。密。重。 鉍物見えず。	高台は削り出しか不明、小作で古様。内・外 面上方施釉。釉塊不明。底面削轆轤右回転。	
646-25 210-10	須恵器 環	9-150 覆土 2/3	口・14.0 底・7.0	還元。硬。灰白5Y7/1。密。重。 白色粒少、鉍物微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外 外面の轆轤目少。重焼色変あり。	太田か
647-1	土師器 甕か	9-152 覆土 体部片	厚・0.2	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並。やや軽。黒粒含、他含。	外面に篋削目あり。内面撫痕あり。割れ口消 耗微。	
647-2	須恵器 環	9-152 覆土 破片	厚・0.5	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 やや軽。黒粒含、他少。	口縁部は外反する。轆轤成形。内・外面に撫 痕あり。割れ口消耗大。	粘
647-3	土師器 甕・環	9-156 覆土 体部片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白色粒、黒鉍物、他少。	外面に篋削目あり。内面に撫ハゼあり。割れ 口消耗少。	
647-4	須恵器 環	9-157 覆土 破片	口・(13.2) 底・(8.2)	中～還。硬。にぶい褐7.5YR 5/4。並。やや重。白・褐粒含。	口縁部は外傾。轆轤成形。底部は回転糸切り。 内・外面大きくハゼている。	接合2片
647-5	土師器 甕	9-157 頸部片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5Y5/6。並。 やや軽。白色粒含、他鉍物少。	「コ」の字状口縁。内・外面に横撫。内面少 し燻される。割れ口消耗あり。	

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
647-6	土師質土器 皿	9-159 覆土 破片	口・(9.6)	酸化。硬。橙7.5YR7/6。並。 やや軽。褐粒微、黒鈹物微。	轆轤成形(左回転)。内・外面に横撫あり。 この種の皿としては重い。割れ口消耗少。	17C以降
647-7	土師質土器 皿	9-160 覆土 口縁部片	口・(12.6)	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並。軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。割れ口消耗大。 焼成色変あり。	
647-8	須恵器 坏か	9-161 No.3 破片	口・(12.8)	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。	器肉やや厚い。内・外面に轆轤目あり。割れ 口消耗大。外面使用摩耗あり。	笠か
647-9	磁器 香合	9-161 直上 蓋2/3 身完形	蓋最大径・5.35 身最大径・5.25	還元。締。釉淡青白(青白磁)。 胎土白。	図のように露胎と施釉部あり。身部底は無釉 型膚あり。蓋部上面に連文印花文。型作り。	12C 景德鎮
647-10	須恵器 坏	9-162 覆土 破片	口・(13.4)	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並。やや軽。白褐粒含、他少。	口縁部は外反する。轆轤成形。体部外面に轆 轤目あり。割れ口消耗あり。	粘
647-11	土製品 土錘	9-162 覆土 ほぼ完形	厚・0.6	還元。並。暗赤灰2.5YR3/1。 並。やや軽。鈹物少。	手前小口の半分ほど旧欠。全体に滑らか。穿 孔円形。全体に吸炭強く、黒色。	粘
647-12	須恵器 坏	9-165 覆土 破片	口・(12.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。 軽。金雲母含。他鈹物含。	口縁部は外反する。轆轤成形。轆轤目立ず。 全体に被熱色変。吸炭あり。消耗大。	粘
647-13	土師器 甕か	9-166 覆土 体部片	厚・0.4	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並。やや重。白・黒粒含、他少。	外面に篋削目あり。内面に細い工具様の撫で と撫あり。割れ口少し消耗。	
647-14	土師器 甕か	9-168 覆土 破片	厚・0.2	酸化。並。橙7.5YR6/5。並。 やや重。白色粒、小鈹物含。	外面に篋削あり。内面に撫小ハゼあり。割れ 口消耗大。	
647-15	土師器 甕	9-168 覆土 頸部片	厚・0.3	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや重。白・黒粒含、他少。	外面に撫、篋削。内面に撫あり、さらに吸炭 あり。割れ口消耗大。	
647-16	土師器 甕	9-169 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。硬。橙5YR6/6。並。やや 重。白色粒、黒粒含、他少。	口縁部の内・外面横撫。割れ口消耗あり。焼 成は芯側やや黄色気味の3層。	
647-17	須恵器 内黒 坏	9-169 覆土 底部2/3	底・13.0	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。	轆轤成形。器内面に研磨内黒を施し、内面底 に轆轤目。底部は不定方向の撫。割れ消耗大。	粘・陶
647-18	須恵器 広口甕	9-170 覆土 口縁部片	口・(25.3)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 密。やや重。白・褐粒含、他少。	轆轤成形。内・外面に回転条痕あり。内面の ハゼ大。割れ口消耗大。	近接果か
647-19	須恵器 坏	9-170~172 覆土 破片	口・(13.4)	還元。軟。浅黄2.5YR7/3。並。 軽。白・黒粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に浅 い轆轤目あり。割れ口消耗大。	粘
647-20	須恵器 坏	9-170~172 覆土 破片	口・(12.0)	還元。並。灰5Y5/1。並。 白色粒、白鈹物含、他少。	焼き歪、割れあり。口縁部は外傾する。轆轤 成形。内・外に浅い轆轤目。割れ口消耗あり。	粘
647-21	土師器 甕	9-171 体部片	厚・0.4	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白・黒粒含、他少。	外面篋削、研磨状の篋撫1条。内面撫。割れ 口の消耗少。	
647-22	須恵器 甕	9-171 破片	厚・1.0	還元。硬。灰5Y5/1。密。重。 針状物質多、白色粒含、他少。	紐作り。外面平行叩、回転篋撫、内面に素文 の当て目と撫整形と摩耗痕。割れ口少し消耗。	北埼玉
647-23	須恵器 甕	9-172 破片	厚・0.5	還元。締。赤黒10YR2/1。密。 やや重。白・黒鈹物含、他少。	内・外面に回転条痕。外面に黒色の自然釉。 割れ口の消耗少。	東海搬入
648-1	土師器 甕	9-175 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸。並。にぶい黄褐10YR5/3。 並。やや重。白色粒含、他少。	口縁部周辺横撫。外面斜め方向の撫が下地に あり。内面少し吸炭。割れ口消耗あり。	
648-2	須恵器 坏	9-175 覆土 破片	口・(13.2)	還元。並。灰5Y5/1。並。 やや軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面の轆 轤目立ず。外面吸炭あり。割れ口消耗少。	笠か
648-3	須恵器 坏	9-178 覆土 破片	口・(12.0)	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 やや軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。割れ口消耗大。	近接果か
648-4	土師器 甕	9-179 覆土 体部片	厚・0.6	酸化。並。橙5YR6/8。並。 やや軽。黒・白鈹物含、他少。	外面に篋削目あり。内面撫、篋撫あり。割れ 口の消耗少。	
648-5	須恵器 坏	9-179 覆土 破片	口・(11.6)	還元。並。灰7.5Y5/1。並。 やや重。白色粒含、鈹物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。底部欠損のため切り離し技法不詳。	笠か 割 口消耗少。
648-6	須恵器 甕	9-182 覆土 破片	厚・1.1	還元。硬。灰5Y6/1。密。やや重。 針状・白色粒含、他少。	紐作り後平行叩き整形。内面の当目は擦り消 す。破片側部に研磨跡。内面中央摩耗。	接合2片
648-7	須恵器 坏	9-183 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 密。やや重。白・黒鈹物含。	口縁部は付近に重焼色変。轆轤成形。体部外 面に轆轤目あり。割れ口消耗少。	太田か
648-8	土師器 内黒 坏	9-184 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 軽。白・褐粒含、他少。	内面に研磨内黒を施す。外面に撫痕。割れ口 消耗少。黒色化一部口縁におよぶ。	粘
648-9	須恵器 坏	9-185 覆土 破片	厚・0.4	還元。並。灰5Y6/1。並。軽。 白色粒、白鈹物含、他含。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。内面に回転撫 痕。割れ口消耗大。	粘
648-10	土師器 内黒 坏	9-186 No.3 1/2	口・(15.3) 底・5.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。鈹物少。	器内面に研磨を施す。器外面には指頭痕を多 く残す。口縁部の内・外面横撫。	接合3片
648-11	土師器 甕	9-186 覆土 体部片	厚・0.7	酸。並。にぶい黄褐10YR5/3。 並。やや重。白色粒含、他少。	甕下部の破片。外面に篋削。少し吸炭。内面 に横撫。全体に被熱色変あり。割れ口消耗少。	

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
648-12	土師器 高坏	9-186 No.2 脚部片	最・(8.4)	酸化。軟。橙5YR6/8。 並。軽。褐粒含、他鈹物微。	脚部は紐作り後指と篋削り成形。整形は篋撫 で後研磨。坏部は欠損。内・外面剥落気味。	接合3片
648-13	土師器 甕	9-186 No.1 破片	厚・1.0	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒多。	肩部片、器肉は厚い。外面に斜方向の撫跡。 内面に紐作り痕とハゼ剥落多。	
648-14	土師器 坏か	9-188 底部片	厚・0.7	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	外面被熱色変吸炭、篋削目。内面消耗大、撫 あり。割れ口消耗大。	
648-15	土師質土器 皿	9-189 覆土 破片	口・(8.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。軽。白・褐粒含、他少。	轆轤成形(左回転か)。灯火皿らしく、内・外 被熱吸炭少。外面小ハゼ剥落。割れ口消耗。	17C以降 灯火皿か
648-16	須恵器 坏	9-190 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 粗。軽。白色粒見え、他少。	口縁部は外反する。轆轤成形。内・外面に少 し轆轤目と被熱吸炭あり。割れ口消耗大。	粘
648-17	土師器 坏	9-191 覆土 破片	底・(5.0)	酸化。並。灰白10YR8/2。 粗。軽。白・黒・褐粒含。	質は中世土師質か。消耗大で内面の回転条痕 が見えるもの他は不明。色はピンク状。	12・13C か
648-18	石器 擦石	9-191 覆土 1/2	粗粒輝石安山岩 重・325	遺存長・8.75。幅・8.1。 厚・4.4。	扁平面が磨減する。	
648-19	軟質陶器 火入	9-194 覆土	口・(17.0)	還元。軟。灰5Y4/1。粗。軽。 白・黒粒含、他少。	内・外面に回転撫痕、小ハゼあり。焼成芯黒。 外面燻で5層気味。割れ口消耗少。	18~19C 小泉焼か
649-1	埴輪 円筒	9-195 覆土 円盤	厚・2.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白・黒粒含、他含。	円筒埴輪。内・外面に横刷毛。周囲を打ち欠 き、研磨せず。少し摩擦か。焼成灰で3層。	
649-2	須恵器 坏	9-196 覆土 底部片	厚・0.7	還元。灰オリーブ黒5Y3/1。 並。軽。白・黒粒含、他少。	底面内面側に轆轤目使用摩擦、外面側糸切痕。 割れ口消耗大。	粘
649-3	埴輪 円筒	9-197 覆土 円盤疑似	厚・2.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 白・褐・黒粒含、多鈹物多。	外面に刷毛目あり。内面に篋削目。割れ口に 紐作痕。割れ口は打ち欠きか。	
649-4	須恵器 瓶	9-197 覆土 破片	厚・0.7	還元。並。灰白5Y7/1。密。重。	轆轤成形。内・外面に轆轤目。外面に自然釉。 割れ口の消耗少。	西毛~埼玉
649-5	ガラス 瓶	9-201 覆土 胴部片	厚・0.3	透明。淡青緑。	吹きガラスを思わせる光沢で、気泡は少なく、 大正以降に見える色調。	
649-6	須恵器 坏	9-201 覆土 口縁部片	口・(11.8)	還元。硬。灰5Y4/1。密。 やや重。白色粒多、他鈹物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内面滑らか、 消耗少。	接合2片 近接県か
649-7	須恵器 坏	9-201 覆土 底部片	底・(7.2)	還元。硬。灰5Y4/1。密。 やや重。白・黒粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は轆轤右回転篋 削。割れ口消耗少。	太田か
649-8	施釉陶器 蓋	9-202 覆土 1/2	口・(7.2)	酸化。締。釉茶褐(鉄釉)。 胎土茶褐。	茶入れの蓋か。外面上方のみ施釉。鉄釉は、 にぶい光沢がある。	産不明 17~19C
649-9	磁器 小皿	9-202 覆土 完形	口・2.45 底・0.8	還元。締。釉透明調淡青白(白 磁釉)。胎土白。灰白10Y8/1。	型押施文か型作り。外面に鎬様の細弁文あり。 施釉は内面のみ。	19C 伊万里系
649-10	施釉陶器 塀	9-202 No.2 把手	—	酸化。締。釉暗褐(自然釉疑似 の鉄釉)。胎土淡褐。	行平。中空の把手で外面に自然釉にしては不 自然な鉄釉かかる。塀内面にも施釉あり。	産不明 19・20C
649-11	施釉陶器 壺	9-202 覆土 1/4	口・(8.2)	中性。締。釉淡黄灰(透明調)。 胎土淡黄灰。	内・外面に施釉、貫入あり。外面下方端がわ ずか露胎となる。外面下方に回転の削目あり。	18・19C 京焼系
649-12	軟質陶器 内耳	9-202 覆土 破片	口・(29.8) 底・(30.0)	還元。硬。オリーブ黒5Y2/2。 粗。軽。黒粒含、他少。	底面に石目状の型膚痕あり。口縁部周辺から 内面にかけて横撫。外面に接合痕。	17~19C 小泉焼か
649-13	軟質陶器 手焙り	9-202 覆土 破片	底・(16.1)	還元。並。灰7.5Y4/1。粗。 軽。黒粒含、他鈹物少。	内面に轆轤目あり。外面に絡状を思わせる施 文あり。焼成芯は黒で器面燻を含め5層気味。	小泉焼か 19・20C
649-14	石器 砥石	9-202 覆土 一部欠損	砥沢石 110g	遺存長・9.3 幅・3.25 厚・2.85	欠損旧欠。使用は表・裏、左側面の3面。奥 小口旧材面。手前は旧時欠損。表中央槌状。	
649-15	石器 敲石	9-202 覆土 完存	チャート 重・280	長・11.2。幅・4.5。 厚・2.95。	棒状を呈し、断面隅丸三角形を呈する。小口 の先端に片側からの打撃に伴う剥離がある。	
650-1 210-12	土師質土器 皿	9-203 No.1 ほぼ完形	口・9.8 底・5.7	酸化。硬。にぶい橙2.5YR6/4。 粗。やや重。褐粒含、鈹物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 に工具による轆轤目あり。	接合10片 16・17C
650-2	土師質土器 皿	9-206 覆土 底部片	底・(5.6)	酸化。並。浅黄2.5Y7/2。粗。 軽。褐粒、灰鈹物含。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内面に不定方 向らしき撫あり。割れ口消耗。	中世か
650-3	土師器 甕	9-210 覆土 底部片	底・(7.4)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒他、他少。	外面に篋撫、被熱色変あり。底面篋削・篋撫 あり。内面被熱剥落多。	接合4片
650-4	須恵器 甕	9-211 覆土 胴部片	厚・0.9	還元。締。黄灰2.5YR4/1。密。 重。白鈹物含、他少。	外面に平行叩、自然釉あり。内面に同心円当 目と撫あり。割れ口消耗少。	太田か
650-5	施釉陶器 播鉢	9-212 覆土 胴部片	厚・0.8	中性。締。釉錆(光沢弱)。 胎土浅黄2.5Y7/3。	内面に卸目、釉あり。外面に回転篋削、釉あ り。割れ口消耗あり。	17~19C 美濃
650-6	軟質陶器 焙烙	9-213 破片	口・(30.0) 底・(27.0)	中~還。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 粗。軽。黒粒含、他鈹物少。	内面に内耳あり。体部外面に接合痕あり。底 面に石目状の型膚あり。口縁部内・外面あり。	18C 小泉焼か

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
650-7	土師器 甕	9-215 覆土 口縁部片	厚・0.7	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並。軽。白・黒粒含、他微。	口縁部は外反する。口縁部は横撫でを施す。 割れ口の消耗少。	
650-8 210-13	須恵器 埴	9-216 覆土 1/2	底・7.2	還元。並。黒褐10YR3/1。並。 やや軽。白・黒粒含、他少。	付け高台。底部は右回転糸切り。外面燻。内 面工具条痕。不明墨字。外面に「口大」墨字。	3片 粘 3436同一
650-9 210-15	土師器 甕	9-222 Na1・2 破片	口・(19.8)	酸化。硬。にぶい黄2.5Y6/4。 並。白・褐粒、鉍物多。	口縁部は外反する。器外面は篋削り。器内面 は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合12片
651-1 210-17	須恵器 坏	9-231 覆土 3/4	口・12.8 底・5.4	還元。軟。浅黄2.5Y7/3。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面 に「百」か墨字あり。内面小ハゼ。	接合4片 墨書-145
651-2	須恵器 坏	9-234 覆土 底部片	底・(7.0)	還元。軟。暗灰黄2.5Y5/2。並。 やや重。白色粒含、他微。	轆轤成形。底部は回転糸切り。外面に轆轤目。 内面底使用摩耗。割れ口消耗大。	笠懸
651-3	須恵器 坏	9-234 覆土 破片	口・(14.0) 底・(9.5)	中～還。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 並。重。白・黒粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部の切り離 し、残存少く不明。	笠懸か
651-4	土師質土器 皿	9-246 覆土 底部片	底・(6.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。軽。白粒、黒鉍物含、他含。	轆轤成形。底部は回転糸切り。体部外面に轆 轤目あり。割れ口少し消耗。	
651-5	軟質陶器 不明	9-247 覆土 胴部片	厚・1.3	還元。軟。黄灰2.5Y5/1。 粗。軽。白色粒多、他少。	剥落と消耗顕著で、器種不明。焼成は芯黒で 5層気味。	
651-6	軟質陶器 不明	9-248 覆土 胴部片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。白色粒、黒鉍物含。	底面に石目状の膚あり。内面に撫の光沢あり。 割れ口の消耗少。焼成単一気味。	19Cか
651-7	軟質陶器 内面?焙烙	9-250 覆土 胴部片	厚・1.2	還元。並。黄灰2.5Y5/1。 並。軽。白・褐粒含、他少。	外面に手による斜め方向の撫。内面に轆轤目 あり。割れ口の消耗大。焼成は内・外面軽燻。	17～19C か
651-8	土師器 坏か	9-252 覆土 底部片?	厚・0.3	酸化。硬。赤褐5YR4/6。並。 やや重。白・黒粒含、他少。	型作りか。底部は篋削り、内面は横撫で。割 れ口消耗少。	
651-9	施釉陶器 德利	9-252 覆土 胴部片	厚・0.3	還元。締。釉青(染付)。透明調。 胎土灰白5Y7/1。	外面に透明調、呉須による施文、施釉あり。 内面無釉轆轤目。	19・20C 産不明
651-10	施釉陶器 塀	9-252 覆土 底部片	底・(7.2)	中～酸。締。釉茶褐(鉄釉)。 胎土淡黄灰。	内面に施釉。外面は上方のみ施釉。外面に煤 付着。外面付着部は露胎となる。	
651-11 210-18	施釉陶器 仏花瓶か	9-252 覆土 脚部片	脚端径・8.0	酸化。締。釉淡黄褐(胎釉)。 胎土淡黄。	仏花瓶か。欠損後、内面摩耗し、平滑。内面 脚端部を除き施釉。上面側摩耗。	18Cか 美濃か
651-12 210-16	磁器 坏	9-252 覆土 4/5	口・6.4 底・3.2	還元。締。釉染付濃青、白磁釉 白。胎土白。	外面に秋草文様施文あり。染付はペロ藍。白 磁釉は高台端部を除き釉掛。外面下半七面体。	19・20C 伊万里系
651-13	軟質陶器 鉢	9-252 覆土 破片	口・(30.3)	還元。並。灰10Y5/1。並。軽。 白・黒粒含、他鉍物少。	内面擦りおろし摩耗あり。内・外面少し燻か かる。外面に指圧痕と口縁周辺横撫。	14・15C 粘
651-14	軟質陶器 内耳焙烙	9-252 覆土 底部片	厚・0.5	酸化。並。黒褐10YR3/1。並。 やや重。白・黒粒含、他少。	底面に石目状の膚あり。内面に撫あり。焼成 は外面底のみ燻。割れ口消耗少。	18～19C 産不明
651-15	軟質陶器 内耳焙烙	9-252 覆土 底部片	厚・0.8	酸化。並。灰黄褐10YR4/2。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	底面に石目状の膚あり。内面内耳跡と撫あり。 割れ口消耗少。焼成は芯灰で3層気味。	17～19C 小泉焼か
651-16	石器 砥石	9-252 覆土 一部欠損	珪質粘板岩 285g	遺存長・10.6 幅・5.45 厚・2.0	表面剥落。両側部、小口面に研磨痕。上方小 口は節理面様。裏面わずかに研磨痕。	桐生の砥 石か
652-1	土師器 坏	9-254 覆土 胴部片	厚・0.3	酸化。並。赤褐5YR4/6。	図傾き不明。外面に篋削。内面に撫。割れ口 消耗少。	
652-2	軟質陶器 鉢	9-256 覆土 口縁部片	厚・1.1	還元。並。灰5Y5/1。粗。軽。 白・黒鉍物含、他少。	内・外面に横撫あり。外面下半に型膚様の粘 土よじれ縞あり。粘土の目筋逆。割れ口消耗。	
652-3	須恵器 坏	9-259 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。灰。灰5Y4/1。密。重。 白色粒含、他微。	口縁部は外反する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。割れ口消耗。	近接果
652-4	軟質陶器 不明	9-259 覆土 胴部片	厚・0.7	還元。並。黄灰2.5Y5/1。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	割れ口に底面接合の刻み目あり。粘土目筋逆。 内面回転条痕。外面篋撫。割れ口消耗大。	
652-5	須恵器 甕	9-263 覆土 胴部片	厚・0.9	還元。硬。灰5Y4/1。密。重。 白・褐粒含、他少。	外面に叩目、内面に当目、撫で消しあり。内 面の当て目は同心円か。割れ口消耗大。	太田
652-6	須恵器 内黒 坏か	9-265 覆土 胴部片	厚・0.6	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。軽。白・褐粒含。	轆轤成形。内・外面に研磨を施し、内黒吸炭。 質は土師器。穿孔あり。	粘
652-7	須恵器 坏	9-268 覆土 体部片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y4/1。密。やや軽。 白色粒、白鉍物含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。底面回転篋削。割れ口消耗少。	太田・笠 懸
652-8	土師器 胴部片	9-269 覆土 胴部片	厚・0.3	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。黒鉍物含。シルト質。	傾き不明。外面に篋削。内面に撫痕。割れ口 少し消耗。	
652-9	土師器 甕	9-269 覆土 頸部片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含。	外面に横撫痕あり。内面にも撫あるが方向不 定。内面少し吸炭。割れ口少し消耗。	
652-10	土師器 坏(平底)	9-270 覆土 底部片	厚・0.4	酸化。軟。明赤褐5YR5/6。並。 軽。白・黒粒含、他少。	底面に篋削目あり。内面に撫痕あり。割れ口 の消耗大。	

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
652-11	須恵器 坏	9-272 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。軟。暗灰黄2.5Y5/2。並。 軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部外面に轆 轤目あり。割れ口消耗大。	
652-12	須恵器 坏	9-273 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰オリブ5Y5/2。 並。軽。白・黒褐粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。切り離し技法 不詳。割れ口消耗。	粘
652-13	土師器 甕	9-274 覆土 胴部片	厚・0.4	酸。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。軽。白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面に篋削目あり。内面に撫整形 あり。割れ口の消耗大。	
652-14	土師器 小形甕	9-275 覆土？ 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白色粒含、他少。	台付甕か不明。口縁部は横撫で、割れ口消耗。	
652-15	土師器 小形甕	9-275 覆土	厚・0.5	酸化。硬。にぶい赤褐5YR4/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	台付甕様にくび箇所あり。外面に粘土附着、 竈材か。内面篋痕。割れ口消耗少。	接合4片 ？
652-16	須恵器 坏か	9-276 覆土 胴部片	厚・0.5	還元。軟。灰オリブ5Y6/2。 並。軽。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。割れ口消耗大。	粘
652-17	須恵器 坏	9-276 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。軟。灰オリブ5Y5/2。 並。軽。白粒・白鈹物多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に轆 轤目あり。割れ口の消耗大。	接合2片 笠懸か
652-18	土師器 坏	9-277 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。鈹物微、シルト質。	口縁部は直口気味。型作り。体部に型膚。口 縁部・内面は横撫で整形。消耗少。	
652-19	須恵器 坏	9-277 覆土 底部片	底・(6.8)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 重。白・黒褐粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。	笠懸か
652-20	須恵器 坏	9-280 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。白・黒粒含、他少。	口縁部はわずかに外反する。轆轤成形。体部外 面に轆轤目あり。割れ口消耗大。	
652-21	土師器 甕	9-282 覆土 胴部片	厚・0.3	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。白・黒粒含、他少。	傾き不明。外面篋削。内面横撫あり。割れ口 消耗少。	
652-22	土製品 土錘	9-282 覆土 1/2	幅・(1.9)	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 並。重。鈹物微。	半截で割れる。手前の小口は旧状、奥小口は 旧欠。穿孔は禾木への巻き込みか。消耗少。	
652-23	須恵器 坏	9-284 覆土 1/4	口・(12.5) 底・(7.6)	還元。硬。灰5Y5/1。密。 やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転篋調整。	接合3片 笠懸
652-24	須恵器 坏	9-284 覆土 底部片	底・(7.0)	還元。軟。灰オリブ5Y6/2。 並。軽。白粒・黒鈹物少。他微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。割れ口消耗大。	粘
652-25	須恵器 甕	9-284 覆土 胴部片	厚・1.1	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 密。やや重。縞状見え、他少。	傾き不明。外面に平行叩、内面に同心円文当 て目、撫あり。割れ口消耗。	周辺県か
652-26	須恵器 坏	9-286 覆土 破片	底・(7.2)	中性。硬。灰黄2.5Y7/2。並。 軽。白・黒褐粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。内面底少し摩耗。	粘
652-27	須恵器 坏	9-286 №1 底部片	底・6.8	還元。硬。灰オリブ5Y6/2。 密。重。白・黒粒含、他含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り、不詳 墨字。体部外面にも不明墨字。	笠懸 墨書-146
652-28	須恵器 坏	9-286 №3 底部片	底・(8.0)	還元。軟。灰白5Y7/2。並。 やや重。白色粒含、他鈹物少。	底面は切り離し後篋削。篋削は手持ちか。内 面少し使用摩耗。底面に不詳墨字あり。	笠懸 墨書-147
652-29	須恵器 坏	9-286 №4 破片	底・(7.4)	中～還元・並。鈍黄橙10YR6/4。 並。軽。白・褐粒含、他鈹物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	粘
652-30	須恵器 坏	9-286 №2 破片	口・(15.9) 底・(8.8)	還元。軟。灰オリブ5Y6/2。 並。軽。白・黒粒含、他鈹物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。回転方向不明。 底部は回転篋整形。器面消耗。	粘
652-31	須恵器 坏	9-291 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。密。重。 白色粒・白鈹物、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部外面に轆 轤目あり、内面にもあり。割れ口少し消耗。	笠か
653-1	須恵器 坏	9-294 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。密。やや重。 白色粒・黒鈹物多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部内・外面 に轆轤目。切り離し技法不詳。割れ口消耗。	
653-2	須恵器 坏	9-297 覆土 胴部片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y4/1。密。やや重。 白色粒、白鈹物含、他微。	口縁部は欠損する。轆轤成形。体部外面に轆 轤目あり。割れ口消耗。	太田か
653-3	土師器 甕小形	9-298 覆土 体部片	厚・0.4	酸化。硬。暗褐7.5YR3/4。並。 やや重。白・黒鈹物含、他少。	傾き不明。器厚は薄い。外面は斜位方向の篋 削、撫、少し吸炭。内面に撫。割れ口消耗微。	接合3片
653-4	須恵器 坏	9-299 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。軟。灰オリブ5Y6/2。 並。やや軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。切り離し技法不詳。割れ口少し消耗。	粘か
653-5	軟質陶器 焙烙か	9-300 覆土 口縁部片	厚・0.7	酸。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	割れ口、器面消耗大。内・外面撫らしき痕跡 少しあり。焼成芯黒灰で3層気味。	17～19C
653-6	須恵器 坏	9-301 覆土 破片	底・(6.6)	中～還元。硬。にぶい黄褐10YR 5/4。並。やや重。鈹物含。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。	粘
653-7	須恵器 坏	9-301 覆土 破片	口・(13.0)	中～還元・硬。鈍黄褐10YR5/3。 並。やや重。黒褐粒含、他少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 欠損のため切り離し技法不詳。	粘
653-8	須恵器 坏	9-301 覆土 破片	口・(14.0)	還元。並。浅黄2.5Y7/3。並。 やや軽。鈹物少。	内面滑らか、外面轆轤目と不明墨字あり。割 れ口消耗。口縁部付近外面・内面少し燻あり。	粘 墨書-148

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
653-9	須恵器 瓶	9-301 覆土 破片(口~体)	口・(18.2)	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。並。 白色粒、灰色鋳物含、他少。	紐作り後轆轤成形(右回転)。内面ハゼ少しあり。部分的に被熱による吸炭あり。	接合6片 粘・陶
653-10	須恵器 小瓶か	9-308 覆土 破片	底・(6.3)	還元。締。褐灰10YR6/1。密。 重。白色鋳物含、他少。	灰釉か須恵器か不明。轆轤成形(右回転)痕あり。高台貼付。白鋳物が多い点は須恵器か。	東海搬入
653-11	須恵器 壺	9-308 覆土 破片	口・(20.0)	還元。硬。オリープ黒5Y3/1。 並。軽。白色粒含、鋳物含。	口縁部は肥厚する。轆轤成形。高台部は欠損する。内・外面黒色化。	粘
653-12	須恵器 坏	9-309 覆土 破片	口・(12.0)	還元。軟。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。黒鋳物微、他微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に不明墨字あり。割れ口少し消耗。	墨書-149
653-13	須恵器 坏	9-309 覆土 破片	口・(14.2)	還元。並。黒褐10YR3/1。並。 軽。白色粒、灰色鋳物、他微。	口縁部は外傾。轆轤成形。底部切り離し不詳。内・外面とも燻強く黒色気味。	接合2片
653-14	須恵器 坏	9-309 覆土 破片	口・(12.0)	還元。硬。黒褐10YR3/1。並。 軽。白色粒含、他少。	口縁部は外反する。轆轤成形。切り離し不詳。内・外面燻強くかかるが黄斑もあり。	接合2片 粘
653-15	須恵器 坏	9-309 覆土 破片	底・(7.0)	還元。並。にぶい黄褐10YR5/4。 並。軽。黒粒含、他鋳物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面不明墨字あり。	粘 墨書-150
653-16	土師質土器 皿	9-310 覆土 底部片	底・(5.5)	中~酸。軟。にぶい黄橙10YR 7/3。粗。軽。鋳物微、シルト質。	轆轤成形。底部は回転糸切りか。内面回転による凹凸あり。割れ口消耗大。	14~16C
653-17	土師器 甕	9-310 覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒少、他微。	外面に撫痕と指圧痕。内面に撫痕あり。割れ口消耗あり。	
653-18	須恵器 壺か	9-310 覆土 口縁部片	口・(11.4)	還元。硬。黒7.5YR1.7/1。 並。軽。鋳物含。	内・外面黒色吸炭。回転糸痕あり。割れ口の消耗少。	粘
653-19	須恵器 壺	9-311 覆土 底部片	底・(9.2)	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 白色粒多、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形(右回転)。高台貼付後寛無、寛削あり。割れ口消耗大。	笠懸か
653-20	須恵器 坏	9-312 覆土 1/3	底・(6.0)	還元。並。灰黄褐10YR6/2。 並。重。鋳物少。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面いく分慰撫される。	
653-21	土師器 甕、円盤か	9-315 覆土 底部片	底・3.6	酸化。並。橙2.5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	側部に打欠き面取り整形痕があり、円盤。	
653-22	須恵器 坏か	9-316 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。鋳物少、シルト質。	外面に轆轤目あり。内面は平滑。割れ口消耗。	
653-23	須恵器 高坏	9-316 覆土 脚部片	厚・0.7	還元。硬。灰白7.5Y7/1。密。 重。鋳物見えず。	紐作り後轆轤成形か。内・外面に浅い轆轤目あり。割れ口消耗微。	東海搬入
654-1	須恵器 壺	9-317 覆土 底部片	底・(7.8)	中性。並。橙2.5YR7/6。並。 やや重。黒鋳物含、他含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。高台貼付け後整形あり。変熱色変りありか。	粘・陶
654-2	須恵器 坏	9-318 覆土 1/3	底・(8.0)	還元。並。灰7.5YR6/1。並。 やや軽。白色粒含、鋳物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転撫整形。	粘
654-3	土師器 内黒坏	9-320 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。金雲母、他少。	器肉薄い。底面中央に砂付着、周囲寛削と撫。割れ口消耗少。	
654-4	土師器 坏	9-323 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。浅黄橙10YR8/3。 並。やや重。鋳物少。	口縁部の内・外面に横撫。外面下方寛削。その上方型膚痕。割れ口消耗少。白味あり。	東海搬入 か
654-5	須恵器 坏	9-325 覆土 底部片	底・(8.0)	還元。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 密。やや重。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。底部は轆轤右回転寛削。内面轆轤目。割れ口消耗。	笠懸
654-6	須恵器 坏	9-326 覆土 底部片	底・(5.0)	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。粗。 軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は回転糸切り。割れ口消耗大。	粘
654-7	須恵器 坏	9-327 覆土 底部片	底・(6.7)	還元。硬。褐灰10YR6/1。密。 重。鋳物微。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。割れ口の消耗大。	市付近か
654-8	須恵器 坏	9-328 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰5Y5/1。並。軽。 白色粒多、他少。	内・外面に回転糸痕あり。胎土極めて軽い。割れ口の消耗大。	粘
654-9	須恵器 瓶	9-328 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。密。 重。鋳物微。ガラス質強。	外面轆轤目、自然釉。内面轆轤目。割れ口の消耗少。	東海搬入
654-10	須恵器 坏か	9-331 覆土 口縁部片	口・(14.4)	還元。硬。灰N6/0。密。重。 黒粒、白鋳物含、他少。	内・外面に轆轤目あり。口縁部付近に重焼色変りあり。割れ口消耗少。	太田か
654-11	土師器 坏	9-331 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。硬。橙2.5YR6/8。並。 やや重。白・褐粒含、他微。	外面下方に寛削。内・外面に横撫あり。赤味の強い焼成。割れ口消耗少。	
654-12 210-20	須恵器 坏	9-332 No.4 底部片	底・9.0	還元。軟。暗灰黄2.5Y4/2。並。 やや重。白色粒、他鋳物含。	底面に轆轤右回転の糸切目、その周辺を回転寛、中央に不明墨字。割れ口消耗。	笠懸か 墨書-151
654-13 210-19	須恵器 坏	9-332 No.3 一部欠損	口・13.4 底・8.5	還元。軟。灰白5Y7/1。並。 やや重。白色粒含、他含。	底部は回転糸切り後轆轤左回転寛削。さらに不明墨字あり。内面底使用摩耗。	笠懸か 墨書-152
654-14 211-1	土師器 坏	9-332 覆土 3/4	口・13.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。金雲母、赤褐粒含。	口縁部は丸味気味。型作り。底部は寛削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合13片

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
654-15	須恵器 埴	9-333 覆土 底部片	底・(9.8)	還元。硬。灰5Y6/1。密。 やや重。白色粒含、他含。	口縁部は旧時欠損する。高台貼付後、周囲を 撫でる。内面少し使用摩耗。割れ口消耗あり。	笠懸か
654-16	磁器 埴	9-334 覆土 破片	厚・0.3	還元。締。釉淡青(染付)、白磁 釉淡々青。胎土白。	外面に染付施文、内・外面に白磁釉。割れ口 少し消耗。	18C 伊万里系
654-17	須恵器 坏	9-335 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並。軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に浅 い轆轤目あり。割れ口消耗大。	粘
654-18	須恵器 坏か	9-336 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。密。 重。鉍物少。	口縁部は大きく外反する。轆轤成形。内・外 に回転条痕あり。割れ口少し消耗。	北埼玉か
654-19	陶器 播鉢	9-338 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。にぶい橙2.5YR6/4。 密。重。白鉍物多、他微。	内面に卸目あり、使用摩耗少ない。外面に回 転条痕あり。割れ口の消耗少。	信楽か
654-20	土師器 坏	9-339 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。 並。やや重。白・褐粒含。	口縁部は外傾気味。体部に型膚。口縁部・内 面は横撫で。割れ口消耗少。	
654-21	土師器 坏	9-341 覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/8。並。 やや軽。黒鉍物含、他少。	内面は撫で。底部は篋削り、体部に撫で。割 れ口消耗。	
654-22	須恵器 坏	9-342 覆土 体部片	厚・0.4	酸化。軟。橙7.5YR6/6。粗。 軽。白色粒多、シルト質。	外面ハゼ剥落多く、わずかに轆轤目あり。内面 にも轆轤目。割れ口消耗大。	10Cか 粘
654-23	土師器 甕	9-343 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。硬。赤褐2.5YR4/6。並。 重。鉍物少。	口縁部は外傾気味。外面に接合痕あり。口縁 部・内面は横撫で。割れ口消耗大。	
654-24	土製品 土錘	9-348 覆土 完形	13.46 g	酸化。硬。黄灰2.5Y4/1。並。 やや重。鉍物微。	全体に滑らか、細かな削りと撫あり。全体に 燻かかる。穿孔は正円形。少し重い。	
654-25	土師器 坏	9-349 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。白・褐粒含。	口縁部は内湾気味。底部は篋削り、体部に型 膚。口縁部・内面は横撫で。消耗少。	
654-26	須恵器 碇	9-349 覆土 底部片	口・(12.1)	還元。硬。灰N5/0。並。 やや重。白色粒、白鉍物含。	内面摩耗微。脚部透し1カ所7.5mm幅見え。 側、底に回転条痕あり。割れ口消耗少。	笠懸
655-1	土師器 甕	9-355 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。	小形台付甕か。外面に撫、小ハゼ、工具によ る撫。内面横撫あり。割れ口消耗少。	
655-2	須恵器 瓶	9-356 覆土 破片	厚・1.0	還元。硬。灰5Y5/1。密。 やや重。白・黒粒含、他少。	外面回転撫。内面横撫あり。割れ口消耗少。	市付近か
655-3	須恵器 坏か	9-357 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。灰N5/0。密。重。 黒鉍物入、他微。	口縁部は少し肉厚。轆轤成形。内・外面回転 条痕あり。割れ口消耗微。	市付近か
655-4	須恵器 坏	9-363 覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y6/1。並。軽。 鉍物少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。内・外面 回転条痕。割れ口消耗。	粘
655-5	須恵器 瓶	9-363 覆土 破片	厚・0.9	還元。締。オリーブ灰10Y5/2。 密。重。鉍物少。	頸部3段接合か。内・外面に回転条痕あり。 外面に自然釉。割れ口消耗大。	東海搬入
655-6	須恵器 坏	9-363 覆土 底部片	底・(5.9)	還元。並。灰白5Y7/1。並。 やや軽。白・黒粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口消耗大。	粘
655-7	須恵器 坏	9-363 覆土 底部片	底・(7.0)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 締。並。白色粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形(右回転)。 底部は回転篋削。消耗大。	笠懸・太 田
655-8	軟質陶器 焙烙か	9-366 覆土 破片	厚・0.9	還元。硬。灰白10Y7/1。並。 軽。白色粒、黒鉍物含。	焙烙内耳体部片の破片か。外面横撫あり、内 面不明。割れ口消耗大。	
655-9	須恵器 坏蓋	9-368 覆土 破片	厚・0.5	還元。並。灰白5Y7/2。並。軽。 白・黒粒微、少しシルト質。	轆轤成形。外面回転条。口縁部外面に重ね焼 吸炭あり。消耗少しあり。	
655-10	須恵器 羽釜	9-371 覆土 破片	口・(18.2)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。褐粒含、他少。	轆轤成形。突帯の貼付接合面あり。内・外面 横撫。消耗微。	
655-11	土師器 坏	9-372 覆土 破片	口・(13.1)	酸化。並。灰黄褐10YR5/2。 並。軽。褐粒、鉍物少。	口縁部の内・外面横撫。外面下方指撫。内・ 面は若干燻される。	
655-12	土師器 甕	9-372 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。にぶい黄橙10YR6/3。 並。軽。鉍物少。	胴部片、器厚は薄い。器外面は縦位方向の篋 削りを施す。消耗あり。	
655-13	軟質陶器 不明	9-372 覆土 口縁部片	厚・1.0	還元。硬。暗赤灰2.5YR3/1。 並。軽。白色粒含、他少。	塀か。口縁部の内・外に横撫、燻の吸炭あり。 割れ口の消耗少。	
655-14	土師器 坏	9-374 覆土 破片	厚・0.3	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 軽。鉍物少。	外面に篋削り、内面に撫。消耗微。	
655-15	灰釉陶器 埴	9-373 覆土 口縁部片	口・(15.5)	還元。締。釉透明調(灰釉)。 胎土灰。	内・外面施釉、回転条痕あり。口縁部内面下 に浅い凹み一条あり。消耗。	
655-16	須恵器 羽釜	9-373 覆土 破片	厚・0.8	酸化。硬。にぶい赤褐2.5YR 4/4。並。やや重。鉍物少。	轆轤成形。外面に横方向の工具撫痕、その下 地に篋削目あり。消耗少。	粘
655-17	土師器 甕	9-376 覆土 破片	厚・0.2	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含。	胴部片、器厚は薄い。外面は縦位方向の篋削 を施す。内面撫。消耗少しあり。	

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
655-18	陶器 瓶	9-377 覆土 破片	厚・0.5	還元。締。釉透明調 (灰釉)。 胎土灰。	外面に施釉と回転篋削。内面轆轤目あり。割れ口消耗あり。	東海搬入
655-19	須恵器 坏か	9-380 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に回転条痕、消耗あり。	粘
655-20	土師器 甕台付か	9-381 覆土 破片	厚・0.8	酸化。硬。褐灰5YR4/1。並。 やや重。褐粒含、他少。	台付甕の台部至近の甕側から外面に篋削。内面に不定方向の撫。割れ口に少し消耗あり。	
655-21	陶器 蓋か	9-390 覆土 破片	厚・0.6	還元。締。釉透明調と白土調。 胎土黄灰。	内面側に白土と透明様の施釉。外面側は無釉で回転条痕あり。消耗微。	18・19C 産不明
655-22	須恵器 坏	9-390 覆土 底部片	底・(7.5)	還元。硬。灰5Y5/1。密。やや重。 白色粒多、黒粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は轆轤右回転糸切り。内面轆轤目。割れ口消耗あり。	笠懸
655-23	軟質陶器 焙烙か	9-392 覆土 破片	厚・0.9	還元。硬。黒褐10YR3/1。並。 やや重。褐・黒粒含。	内・外面に横撫。外面下方に篋削目あり。内・外燻かかり、芯黒で5層気味。割れ口消耗。	17・18C
655-24	土師器 坏(平底)	9-393 覆土 破片	厚・0.3	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は篋削り、口縁部・内面は横撫で。消耗少。	墨書-153
655-25	須恵器 甕	9-393 覆土 破片	厚・1.0	還元。硬。灰7.5Y4/1。密。重。 白色粒多、他少。	内・外面に回転の横撫あり。割れ口に接合面見え、消耗少。	太田
655-26	須恵器 坏蓋	9-395 覆土 口縁部片	口・(4.55)	還元。硬。灰5Y5/1。並。やや重。 白色粒多、黒粒含、他少。	内・外面に回転痕あり。端部の尖り少なく新様、消耗大。	笠懸か
655-27	須恵器 坏	9-395 覆土 底部片	底・(8.0)	還元。硬。褐灰5YR4/1。密。 やや重。白色粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り後、周囲右回転篋削り、消耗少。	笠懸
655-28	土師器 坏	9-397 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。黒粒多、他含。	底面に篋削あり。内面に撫あり。割れ口の消耗大。	
655-29	土師器 坏	9-399 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。褐7.5YR4/3。並。 軽。鈹物少。	口縁部は外傾気味。体部に型膚。口縁部・内面は横撫で、消耗あり。	
655-30	土師器 甕	9-400 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。褐粒含、他少。	口縁部は外反する。口縁部は横撫で。外面下方指圧痕。割れ口消耗あり。	
655-31	焼締陶器	9-400 覆土	厚・1.1	還元。締。灰7.5Y4/1。密。重。 鈹物微。	外面自然釉あり。内面に撫痕あり。割れ口に紐作痕あり。割れ口消耗。	渥美か中世
656-1	須恵器 坏	9-401 覆土 底部片	底・(6.5)	還元。並。明オリーブ灰2.5GY 7/1。並。やや重。白粒多、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口は消耗あり。	粘
656-2	施釉陶器 段皿	9-401 覆土 底部片	高台・(6.9)	還元。締。釉淡緑 (灰釉)。 胎土灰。	内面に段部と灰釉施釉あり。高台小作りで古様。底面回転の篋撫。割れ口消耗少。	9Cか 東海搬入
656-3	須恵器 釜か	9-401 覆土 破片	厚・0.7	還元。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。鈹物多。	外面に回転の工具条痕。内面に横撫。割れ口に紐作痕、さらに消耗少。	粘・陶
656-4	須恵器 坏	9-404 覆土 底部片	底・(6.5)	還元。並。にぶい黄橙2.5Y6/3。 並。やや軽。鈹物微。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口の消耗少しあり。	粘
656-5	須恵器 坏か	9-404 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸。軟。にぶい黄橙10YR6/4。 並。軽。白・褐粒含、他鈹物少。	口縁部は少し外反する。轆轤成形。底部欠損のため切り離し不詳。割れ口消耗。	粘
656-6	須恵器 坏	9-404 覆土 底部片	底・(6.2)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 密。やや重。白色粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口の消耗大。	笠懸か
656-7	須恵器 坏	9-404 覆土 底部片	底・(6.4)	還元。並。灰白10Y7/1。並。 やや軽。白黒粒少、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切りがかすかに見える。消耗大。	粘
656-8	須恵器 塊	9-405 覆土 底部片	底・(8.1)	還元。硬。にぶい黄橙10YR6/3。 並。軽。鈹物少。	口縁部は旧時欠損する。底部は轆轤右回転糸切り。割れ口の消耗少しあり。	粘
656-9	土師器 甕か	9-406 覆土 破片	厚・0.4	酸～還。硬。赤黒2.5YR1.7/1。 並。軽。鈹物少。	外面黒色吸炭。撫。内面横撫あり。酸化。割れ口消耗微。	
656-10 211-2	須恵器 坏	9-407 覆土 1/3	口・(12.6) 底・(4.9)	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 軽。鈹物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面に重焼らしき色変あり。	粘
656-11	須恵器 坏	9-407 覆土 1/5	口・(14.0)	還元。並。黄褐2.5YR5/3。並。 軽。鈹物微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部は欠損。体部に轆轤目多い。	
656-12	土師器 甕	9-408 覆土 口縁部片	厚・0.6	酸化。硬。橙2.5YR6/6。並。 軽。鈹物少。シルト質。	口縁部は外反する。口縁部は横撫で。割れ口の消耗あり。	
656-13	須恵器 坏か	9-412 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。並。 やや軽。白色粒多、他少。	轆轤成形。内・外面に轆轤目あり。割れ口消耗あり。	粘
656-14 211-3	須恵器 内黒 坏	9-412 覆土 底部片	厚・0.5	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/3。 並。やや軽。シルト質。	轆轤成形。器内面に研磨を施す。底部は回転糸切り。割れ口の消耗あり。	粘
656-15	土師器 坏	9-413 覆土 底部片	厚・0.5	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	底部は篋削り、内面に撫あり。割れ口の消耗軽微。	

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
656-16	須恵器 坏	9-413 覆土 1/2	口・(12.4) 底・6.0	還元。軟。灰5Y7/1。並。 やや軽。白色粒、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切。轆轤目多い。割れ口少し消耗。	粘
656-17	土師器 坏	9-413 覆土 口縁部片	口・(12.6)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。金雲母含、他少。	口縁部は外傾気味。型作りか。体部に指圧痕。 口縁部・器内面は横撫で、消耗あり。	
656-18	軟質陶器 焙烙	9-414 覆土 口縁部片	厚・0.8	還元。硬。灰7.5Y5/1。粗。軽。 褐粒含。他少。少しシルト質。	外面黒色燻、回転条痕。内面横撫。割れ口の 消耗大きくあり。	17・18C
656-19	土師器 甕	9-415 覆土 頸部片	厚・0.6	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや軽。鉍物少。	口縁部は外反する。内・外面に横撫で、割れ 口消耗あり。	
656-20	軟質陶器 鉢	9-415・417覆土 底部片	厚・1.0	還元。硬。灰7.5Y6/1。並。粗。 黒粒含、他少。	内面に使用摩耗大。外面大きく剝落、底面高 台様の跡、体部側斜撫。消耗少しあり。	16~18C 県外か
656-21	須恵器 坏	9-416 覆土 口縁部片	口・(12.0)	還元。硬。灰7.5Y6/1。密。重。 白色粒、白鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。口縁部下外面 に重焼色変あり。消耗微。	太田か
656-22	須恵器 坏	9-416 覆土 1/5	底・(7.8)	還元。並。黄灰2.5YR6/1。並。 軽。黒粒、鉍物少。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り後周辺を回転篋削。全体に消耗。	
656-23	施釉陶器 皿	9-417 覆土 底部片	底・(5.0)	還元。締。釉茶褐(鉄釉)。 胎土灰。	外面轆轤右回転篋削目あり。内面施釉あり。 割れ口消耗大。	灯火皿 18・19C
656-24	須恵器 坏	9-418 覆土 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰5Y5/1。並。 やや重。白鉍物含、他少。	内面回転条痕。底部は回転糸切り。割れ口消 耗少。	粘
656-25	土師器 坏	9-421 覆土 破片	底・(8.4)	酸化。硬。橙2.5YR6/8。並。 やや軽。褐粒含、他含。	口縁部は旧時欠損。底部は篋削り、体部に型 膚を残し、口縁部・内面は横撫で。消耗あり。	
656-26	土師器 甕	9-422 覆土 体部片	厚・0.5	酸化。並。明赤褐5YR3/6。並。 やや重。黒褐粒含、他少。	傾き不明。外面に篋削、吸炭少しあり。内面 撫あり。割れ口の消耗少しあり。	
656-27	須恵器 坏か	9-424 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。灰10Y5/1。並。 やや重。白色粒含、白鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面回転 痕。割れ口消耗あり。	笠懸
656-28	須恵器 坏	9-425 覆土 破片	底・(7.1)	還元。硬。灰10Y6/1。並。やや 重。白色粒・白鉍物含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。外面下方 に篋削目。割れ口の消耗少。	笠懸か
656-29	須恵器 坏	9-426 覆土 底部片	底・(6.1)	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並。軽。白色粒少、他微。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口消耗大。	笠懸か
656-30	施釉陶器 德利	9-429 覆土 頸部片	頸径・(3.0)	中性。締。釉黄灰。胎土黄灰。	外面に施釉あり。内面に轆轤による紋目あり。 割れ口消耗少。	18・19C 産不明
657-1	須恵器 坏	9-430 覆土 底部片	底・(7.9)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや軽。少しシルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口の消耗少しあり。	粘
657-2	須恵器 内黒 坏	9-432 覆土 1/4	底・(5.8)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含、鉍物少。	口縁部欠損。轆轤成形(右回転)。器内面に研 磨を施す。	
657-3	須恵器 坏	9-432 覆土 破片	口・(13.0)	還元。並。灰白5Y7/2。並。やや 重。白色粒、灰鉍物含、他少。	外面に不明墨字あり。割れ口消耗。内・外面 の轆轤目立ず。	墨書-154
657-4	土師質土器 皿	9-433 覆土 1/3	底・(5.6)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。褐粒微、鉍物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。口縁 部欠損。内面底の轆轤目立ず。	中世
657-5	須恵器 瓶	9-434 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。密。 やや重。黒粒含、他少。	内・外面回転条痕あり。割れ口に紐作痕。割 れ口の消耗少。	市付近か
657-6	土師器 坏	9-437 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。橙2.5YR6/6。並。 やや軽。金雲母含	口縁部は外傾気味。体部に型膚篋削目。口縁 部・内面は横撫で。割れ口消耗あり。	
657-7	須恵器 坏	9-438 覆土 底部片	底・(8.7)	還元。軟。黒褐10YR3/1。並。 軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口の消耗あり。	粘
657-8	須恵器 壺	9-439 覆土 底部片	底・(6.5)	還元。軟。灰白5Y7/2。並。 軽。鉍物少、シルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。高台付け 高台。底部は回転撫。割れ口消耗あり。	粘
657-9	須恵器 坏	9-441 覆土 底部片	底・(8.0)	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。並。 軽。白色粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り後轆轤右回転篋削。割れ口消耗あり。	笠懸か
657-10	須恵器 広口甕	9-444 覆土 破片	口・(32.0)	還。硬。オリーブ灰2.5GY6/1。 密。重。白・褐粒含、鉍物微。	内・外面に撫跡。割れ口に紐作痕。割れ口は 少し消耗。轆轤回転方向不明。	太田か
657-11	須恵器 坏	9-447 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。並。灰白5Y7/2。並。軽。 黒・褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。割れ 口に消耗あり。	粘
657-12	須恵器 坏	9-448 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。軟。浅黄2.5Y7/3。並。 軽。鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に回 転条痕。割れ口の消耗あり。	粘
657-13	須恵器 坏蓋	9-449 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。灰白5Y7/1。並。 やや重。黒・褐粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。上半部は轆轤右回転篋削 り。割れ口の消耗大。	粘・陶
657-14	須恵器 坏	9-452 覆土 底部片	底・(7.7)	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。黒粒・灰鉍物含。シルト質。	口縁部は欠損する。底部は轆轤右回転糸切り 後周辺を回転篋削。消耗少。	笠懸か

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
657-15	須恵器 坏	9-452 覆土 破片	口・(13.0)	中性。硬。黒褐5YR3/1。並。 やや重。褐粒多、他少。	轆轤成形。内・外面轆轤目あり。底部は回転 篋削。全体に吸炭あり。割れ口消耗。	粘
657-16	土製品 土錘	9-452 覆土	重・3.57g	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。鈹物少。	手前小口は旧欠。全体に撫。穿孔小円形。割 れ口の消耗あり。	
657-17	土師器 坏(平底)	9-455 覆土 破片		酸化。硬。橙5YR6/6。並。軽。 鈹物少。シルト質。	薄作り。外面篋撫。内面撫。割れ口消耗大。 焼成赤味強い。	
657-18	須恵器 坏	9-455 覆土 破片	底・(6.0)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。白・黒粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。内・外面に轆 轤目あり。底部は回転糸切り。割れ口消耗。	粘
657-19	須恵器 坏	9-455 覆土 破片	底・(7.9)	中性。軟。黄褐2.5Y5/3。並。 軽。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転篋 削。割れ口消耗。	粘
657-20	土製品 土錘	9-455 覆土	重・1.54g	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/3。 並。やや重。鈹物少。	手前小口は旧欠。外面は滑らか。少し燻かか る。穿孔小円形。	
657-21	須恵器 坏	9-455 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。並。 重。白・褐粒含、他少。	轆轤成形。内・外面に轆轤目あり。底部は欠 損。割れ口消耗少。	粘
657-22	土師器 坏	9-456 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。橙5YR6/8。	口縁部は少し外反。底部は篋削り、体部に型 膚。口縁部・内面は横撫で。少し消耗。	
657-23	土師器 坏(平底)	9-456 覆土 破片	底・(6.4)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。底部は篋削り、体部に篋 削。割れ口消耗少。	
657-24	軟質陶器 コンロ中置	9-459 覆土 破片	厚・1.0	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 金雲母、褐粒含、他少。	凹面は型らしく滑らか。上面篋削あり。割れ 口消耗あり。	20C
657-25	陶器 塊	9-459	厚・0.3	還元。締。釉透明調(灰釉)。 胎土灰。	内面上方、外面に灰釉施釉。内・外面回転撫。 割れ口消耗少。	10Cか 東海搬入
657-26	土師器 体部片	9-460 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。黒褐10YR3/2。並。 軽。鈹物少。	外面篋削。燻かかる。内面撫。割れ口消耗少。	
657-27	土師器 坏	9-461 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。暗赤褐5YR3/2。並。 やや軽。金雲母含、他少。	口縁部は外傾気味。体部に指圧痕、篋削。口 縁部・内面は横撫で。消耗少。	
658-1	須恵器 坏か	9-462 覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。浅黄2.5Y7/3。並。 軽。鈹物少。	内・外面に回転条痕。外面吸炭斑あり。割れ 口消耗大。	笠懸か 粘
658-2	土師器 甕	9-462 覆土 破片	厚・0.3	酸化。硬。褐灰5YR4/1。並。 やや重。褐粒多、他少。	外面に篋削あり。外面に篋削目、少し吸炭あ り。内面に篋撫、撫あり。割れ口消耗少。	
658-3	土師器 甕	9-462 覆土 破片	厚・0.7	酸。硬。にぶい黄橙10YR6/4。 並。やや重。褐粒含、他少。	口縁部は外反。口縁部は横撫でを施す。割れ 口少し消耗。全体に被熱色変。	
658-4	須恵器 塊	9-462 覆土 破片	厚・0.7	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。褐粒多。	口縁部は旧時欠損。外面にハゼ多い。底部は 高台貼付後、回転撫。	粘
658-5	須恵器 瓶	9-462 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。密。 重。黒・褐粒含、他少。	内・外面に轆轤目、部分的に自然釉かかる。 割れ口の消耗少。	西毛〜埴 玉
658-6	須恵器 坏か	9-464 覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。並。重。 白色粒多、他少。	外面に轆轤目あり。内面滑らか。割れ口消耗 大。	笠懸か
658-7	須恵器 坏	9-464 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	底面は回転糸切り後轆轤右回転の篋削。内面 少し使用摩耗。底面に「主」か墨字あり。	笠懸 墨書-155
658-8	土師器 甕	9-464 覆土 体部片	厚・0.3	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面篋削。内面撫。酸化赤味強い。 消耗少。	接合2片
658-9	須恵器 瓶	9-464 覆土 破片	厚・0.5	中性。締。灰黄2.5Y7/2。密。 重。白鈹物、他少。	外面に自然釉。内面に轆轤目あり。割れ口消 耗あり。	東海搬入
658-10	須恵器 坏	9-464 覆土 破片	口・(13.2)	還元。硬。灰5Y5/1。密。重。 白色粒多、他少。	口縁部は内湾気味。外面に轆轤目あり。内面 は滑らか。割れ口消耗少。	笠懸か
658-11	須恵器 坏	9-466 覆土 破片	底・(8.0)	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。並。 やや重。白・褐粒入、他少。	口縁部は欠損。底部は回転篋削。内面使用摩 耗。割れ口消耗。	
658-12	須恵器 坏	9-467 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 軽。鈹物少、シルト質。	轆轤成形。内面に回転条痕。内面ハゼあり。 全体に被熱色変あり。底部回転糸切り。	粘 割れ 口消耗大。
658-13	土師器 坏	9-468 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや軽。白・黒粒含、他少。	口縁部は外反気味。体部に篋撫。口縁部・内 面は横撫で。割れ口消耗少。	
658-14	須恵器 塊	9-468 覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。暗褐10YR3/3。並。 やや重。褐粒、他少。	口縁部は旧欠損。轆轤成形。高台付け高台。 全体に吸炭。消耗大。	粘
658-15	陶器 瓶類	9-469 覆土 頸部片	厚・0.7	中〜還。締。釉透明調(灰釉)。 胎土淡黄灰。	内・外面に施釉あり。内・外面とも回転条痕 鋭い。割れ口少し消耗。	東海搬入
658-16	土師器 甕	9-469 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。橙5YR6/6。並。軽。 白・褐粒含、他少。	「コ」の字状口縁。内・外面は横撫で。割れ 口消耗大。	

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
658-17	須恵器 坏か	9-471 覆土 破片	厚・0.3	中。軟。にぶい黄橙10YR6/3。 並。やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部の外面に轆轤目。内面に回転条痕あり。 割れ口の消耗少。	粘
658-18	須恵器 釜	9-476 覆土 破片	厚・0.6	酸化。硬。赤褐5YR4/8。並。 やや重。鉍物微。	外面に工具による条痕。内面に回転条痕。内・ 外とも被熱色変あり。割れ口消耗微。	陶か 産不明
668-19	須恵器 坏	9-477 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰オリーブ5Y5/2。 密。やや重。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口少し消耗。	笠懸か
658-20	土師器 坏	9-477 覆土 破片	口・(12.2)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾。体部に型膚。口縁部・内面は 横撫で。割れ口少し消耗。	
658-21	土師器 台付甕	9-477 覆土 台部片	底・(9.0)	酸化。硬。橙5Y6/6。並。やや重。 白・褐・黒粒含、他少。	台部の内・外面横撫。台部内面最上部まで撫 が続く。内・外面に被熱色変あり。	
658-22	土師器 甕	9-479 覆土 破片	厚・0.2	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面篋削。内面撫。割れ口消耗大。 酸化味強い。	
658-23	須恵器 塊	9-482 覆土 底部片	底・(7.2)	還元。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 並。やや重。鉍物少。	内面回転条痕。轆轤成形。底部は高台貼付後 撫。割れ口消耗大。	笠懸・太 田
658-24	須恵器 坏	9-483 覆土 底部片	厚・0.4	還元。硬。灰オリーブ5Y5/2。 密。やや重。白鉍物多。	口縁部は旧欠損する。轆轤成形。底部は回転 糸切り。割れ口少し消耗。	太田
658-25	陶器 植木鉢か	9-484 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。釉茶褐(鉄釉)。密。 重。鉍物微。	外面に鉄釉、回転条痕あり。内面回転条痕あり。 割れ口少し消耗。	20C 産不明
658-26	須恵器 瓶	9-485 覆土 破片	口・(13.6)	還元。締。灰5Y1/4。密。重。 白色粒微、他鉍物微。	内・外面に自然釉および。胎土は酸化気味で 外面燻かかる。	東海
658-27	須恵器 坏蓋	9-485 覆土 坏蓋	口・(17.5)	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。 黒粒多、白色粒微、他鉍物少。	轆轤成形、回転方向不明瞭。上半部は回転篋 削り。内・外面轆轤目多い。	粘
658-28 211-4	土師器 内黒 坏	9-486 No.1 一部欠損	口・12.0 高・3.8	酸化。硬。橙5YR6/8。密。重。 鉍物含。	器内面に暗文内黒を施す。器外面に篋削り横 撫でを残す。底面中央砂付圧痕。	
659-1 211-5	土師質土器 皿	9-487 No.1 3/4	口・10.2 底・5.3	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。白色粒・鉍物微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面 に轆轤目あり。	粘
659-2 211-6	磁器 塊	9-488 覆土 3/4	口・7.2 高・6.2	還元。締。釉色絵上絵青・暗青 淡椀・黄、白磁釉。胎土白。	外面に菊花枝文。芯黄、花卉青、葉濃青と奥 側桃。高台端部を除き白磁釉。	「鳴海製 陶」製
659-3	軟質陶器 植木鉢	9-488 覆土 底部片	厚・0.8	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。 並。重。白・褐粒含、他少。	型押ししか外面にちぢれ様の膚あり。内面にも あり。焼締に近い焼成。土は素質。	20C
659-4	軟質陶器 植木鉢	9-488 覆土 口縁部片	口・(15.0)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。 並。重。金雲母含、他微。	内・外面に回転条痕あり。型目、不明瞭。端 部しっかりしている。割れ口消耗微。	接合2片
659-5	軟質陶器 植木鉢	9-488 覆土 口縁部片	口・(14.4)	酸化。硬。橙5YR6/8。並。 やや重。白・褐粒含、他含。	内・外面に回転条痕あり。外面に型痕見え ず。端部しっかりしている。割れ口消耗微。	接合3片
659-6	須恵器 坏か	9-490 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。重。白色粒含、他少。	口縁部は外傾。轆轤成形。外面に轆轤目、重 焼き吸炭あり。割れ口消耗少。	笠懸か
659-7	須恵器 坏	9-490 覆土 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰5Y5/1。並。 やや重。白・黒粒含、他少。	口縁部は旧欠損する。轆轤目内面にあり。底 部は回転糸切り。割れ口消耗少。	粘・陶
659-8	土師器 甕	9-493 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。白色粒含、他少。	口縁部の内・外面に横撫あり。割れ口の消耗 少。	
659-9	須恵器 坏か	9-494 覆土 破片	厚・0.6	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。並。 やや重。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。割れ口少し消耗。	笠懸か
659-10	須恵器 坏	9-501 覆土 1/4	口・(11.4)	酸化。硬。灰7.5Y4/1。並。 やや重。白色粒、黒灰鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。高台は欠損す る。(付け高台)。内・外面黒色燻。	接合2片 粘
659-11	土師質土器 皿	9-504 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。橙5YR6/8。並。 やや重。白色粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。赤褐色味強い。割れ口消 耗。	
659-12	土師器 甕	9-509 覆土 破片	厚・0.4	酸。硬。にぶい黄褐10YR5/4。 並。やや重。褐粒含、他含。	外面篋削。被熱色変。内面撫と篋撫、少し燻 あり。割れ口消耗少。	接合5片
659-13	土師器 甕	9-509 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。並。 やや重。白・褐粒含、他含。	外面に篋削。内面に撫、篋撫、被熱色変。割 れ口消耗少。	
659-14	土師器 甕	9-510 覆土 破片	厚・0.6	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。並。 やや重。鉍物少。	内・外面横撫あり。割れ口の消耗少。酸化味 強い。	
659-15	須恵器 坏	9-511 覆土 底部片	底・(10.0)	還元。並。灰7.5Y5/1。密。 やや重。鉍物微。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。付け高台。 底部は回転篋整形。内面重焼色変。	
659-16	土師器 甕	9-515 覆土 破片	厚・0.6	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや軽。褐粒含、他多。	外面撫あり。内面ハゼと消耗で消耗見え ず。割れ口消耗。	
659-17	須恵器 坏	9-517 覆土 破片	底・(7.1)	還元。並。灰白5Y8/1。並。やや 重。白色粒、灰鉍物含、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面 に「路」の墨字あり。割れ口摩耗。	太田か 墨書-156

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
659-18	須恵器 坏	9-521 覆土 1/3	口・(12.4) 底・6.7	還元。並。灰白5Y7/2。並。 白色粒・鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転篋整形。	接合2片 笠懸か
660-1 211-7	須恵器 坏	6-514 覆土 1/4	口・10.8 底・5.0	酸化。硬。灰黄橙10YR6/2。 並。やや重。白・褐粒、鉱物多。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り。少し燻かかる。作調粗雑。	接合3片 粘・陶
660-2	土師器 甕	9-514 底部片	底・(4.8)	酸化。並。灰黄褐10Y4/2。並。 軽。白・褐粒含、他少。	外面に篋削りと吸炭あり。内面に篋撫で。底 面に砂付着。	
660-3	土師器 甕	9-514 覆土 口縁部片	口・(16.0)	酸化。硬。にぶい褐7.5Y5/3。 並。やや重。角礫多。	口縁部は外傾する。外面は篋撫。内面は篋撫。 口縁部は横撫でを施す。欠損後被熱あり。	粘・陶
660-4	土師器 甕	9-514 覆土 口縁部片	口・(18.0)	酸。硬。にぶい黄橙10YR6/4。 並。やや軽。褐粒含、他少。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、黄内面 は篋撫で、口縁部は横撫で、外面被熱色変。	接合3片
660-5	土師器 甕	9-514 口~胴部	口・(20.2)	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。並。 金雲母含、白・褐粒少。	口縁部は外傾する。外面は無整形。内面は篋 撫でと撫。口縁部は横撫で。	接合2片
660-6	土師器 甕	9-514 覆土 口縁部片	口・(20.2)	酸化。並。橙5Y6/6。並。軽。 白・褐粒含、シルト質。	体部外面に紐作痕と粘土縞見える。外面は篋 削り、内面は篋撫で。口縁部は横撫で。	接合3片
660-7 211-9	須恵器 坏	9-522 覆土 3/4	口・12.0 底・5.4	還元。並。灰白5Y7/1。粗。軽。 鉱物なし。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。体部外面に轆轤目多い。	接合7片 粘
660-8 211-10	須恵器 坏	9-522 覆土 2/3	口・12.4 高・4.6	還元。軟。灰白5Y7/2。粗。軽。 黒粒含、鉱物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面 轆轤目多い。底面少し摩耗。	接合8片 粘
660-9 211-11	須恵器 坏	9-522 覆土 1/3	口・(12.8) 底・5.5	酸。並。にぶい黄橙10YR6/4。 密。重。鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。体部轆轤目多い。	接合2片 粘
660-10 211-12	土師質 埴	9-522 覆土 一部欠損	口・14.2 底・7.15	酸化。並。浅黄橙10YR8/4。 粗。軽。鉱物微。	口縁部は外傾する。篋削り整形。付け高台。 底部に回転撫整形。内面ハゼ多い。	接合4片
660-11	土師器 甕	9-522 覆土 破片	口・(18.0)	酸化。硬。暗灰黄2.5Y5/2。粗。 軽。白色粒含、鉱物少。	外面は篋削り篋撫。内面はハゼ多く、接合部 あり。口縁部は横撫でを施す。	
660-12	土師器 甕	9-522 覆土 口縁部片	口・(12.4)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。軽。 白・褐粒含、他微。	口縁部は外反する。型作りか。器外面は篋削 り、器内面は撫でとハゼ。口縁部は横撫でを施す。	接合2片
660-13	土師器 甕	9-522 覆土 破片	最大・(21.8)	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。	胴部片、器厚は薄い。外面は斜、縦位方向の 篋削り。内面に小ハゼと接合痕。	接合3片
661-1	土師器 坏	9-523 覆土 破片	口・(11.6)	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。並。 やや重。白・褐粒少、他微。	口縁部は外傾気味。型作りか。体部に撫で。 口縁部・器内面は横撫で整形。	
661-2	須恵器 坏	9-525 覆土 破片	厚・0.4	還。硬。オリープ灰2.5GY5/1。 並。やや軽。白色粒、白鉱物少。	口縁部の内・外面回転痕。轆轤成形。割れ口 消耗あり。	粘
661-3	土師器 甕	9-526 覆土 破片	口・(18.0)	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。軽。 白・褐粒少、他鉱物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削 り、器内面篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
661-4 211-13	須恵器 坏	9-526 覆土 底部片	底・6.2	酸化。並。橙5YR6/6。密。重。 鉱物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面轆轤目多い。	接合2片 笠・太田
661-5	土製品 土錘	9-523	重・8.60g	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白鉱物他含。	外面滑らか。燻はほとんどなし。欠損は旧時。 穿孔小円形。	
661-6	埴輪 形象	9-526 覆土 体部片	厚・1.7	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。並。 やや重。金雲母、他多。	外面に隆帯、刷毛目。内面刷毛目、撫、紐作 痕。種は馬・人物などか。割れ口の消耗少。	
662-1	土師器 高坏	9-527 覆土 破片	厚・0.7	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。並。 やや重。白・褐粒、他多。	外面に撫あり。内面に撫、ハゼあり。割れ口 消耗大。酸化の赤褐味強い。	
662-2	須恵器 坏	9-527 覆土 底部片	底・(7.5)	中性。軟。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。軽。褐粒多、白粒含、他少。	底面は轆轤右回転の篋削。内面消耗あり、使 用時不明。割れ口消耗。	粘 10C後半
662-3	土師器 坏	9-532 覆土 破片	口・(11.2)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。 鉱物含。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
662-4	須恵器 埴	9-532 覆土 破片	底・(6.8)	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。重。 白色粒多、黒粒微、他微。	口縁部は欠損。轆轤成形。高台付け高台。底 部は回転糸切り。	笠懸か
662-5	須恵器 坏	9-532 覆土 破片	底・(8.0)	酸化。並。にぶい黄橙10Y6/4。	轆轤成形。内面に密な研磨があるものの黒色 化なし。外面の轆轤目数多い。	
662-6	須恵器 蓋	9-532 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。灰白10YR7/1。密。 重。鉱物微。	内面轆轤目。外面轆轤右回転の篋削。破片中 央にブクあり。摘みは旧欠。	東海搬入
662-7	須恵器 坏	9-534 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰オリープ5Y6/2。 並。やや重。白色粒含、他少。	口縁部下の内・外面に轆轤目あり。割れ口消 耗あり。	粘
662-8	須恵器 坏	9-537 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰オリープ5Y5/2。 並。やや重。白色粒含、他少。	外面に轆轤目あり。内面滑らか。割れ口の消 耗少ない。	粘
662-9	須恵器 皿か	9-541 覆土 破片	底・(7.8)	還元。軟。灰白5Y7/2。並。 やや軽。白色粒含、他少。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。割れ口の消耗 大。	粘

第9区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
662-10	須恵器 坏	9-541 覆土 1/4	底・(8.0)	中性。軟。浅黄2.5Y7/4。並。 やや軽。白・黒粒含、鈳物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後その周辺を回転篋調整。	粘
662-11	土師器 甕	9-541 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	外面は篋削り、器内面は撫で。外面に煤付着 割れ口消耗少。	
662-12 211-14	須恵器 坏	9-542 №4 完形	口・12.5 底・5.0	還元。並。淡黄2.5Y8/3。密。 やや重。透明灰鈳物含、他少。	口縁部は外傾。底部は轆轤右回転糸切り。体 部外面に「百」墨字あり。	接合4片 墨書-157
662-13 211-15	須恵器 坏	9-542 №2 一部欠損	口・12.7 底・5.3	還～酸。並。橙7.5YR6/6。密。 重。白色粒微、透明鈳物含。	口縁部は外傾する。底部は回転糸切り。体部 外面に「百」墨字あり。	陶・産不明 墨書-158
662-14 211-16	須恵器 坏	9-542 №5 完形	口・13.0 底・5.0	還元。並。浅黄2.5Y7/3。粗。 軽。白色粒・鈳物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	接合4片 粘
662-15 211-17	須恵器 坏	9-542 №1 3/4	口・12.8 底・5.5	還元。並。灰白10Y7/1。粗。 軽。白色粒・鈳物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面口縁部に油煙付着。	接合3片 粘
662-16 211-18	須恵器 塊・硯	9-542 №2 ほぼ完形	口・14.4 底・7.6	還元。並。灰白5Y8/1。密。 やや重。白色粒、白鈳物多。	転用硯で外面底を利用、墨痕。口縁は至大で、 当初から不良品か。口縁擦り合せ痕が消耗。	粘・陶
663-1	須恵器 坏か	9-548 覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。密。重。 白色粒含、他少。	外面に轆轤目あり、割れ口の消耗少。形は8 ～9C前半の坏か。	笠懸か
663-2	石器 スクレイパー	9-548 覆土 完存	黒色頁岩 重・80	長・7.1。幅・5.2。厚・1.9	周辺加工後刃部整形を行う。方面に礫面を残 す。	
663-3	須恵器 坏	9-550 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。灰黄褐10YR6/2。 並。やや重。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。割れ口消耗少。	笠懸か
663-4	土師器 坏(平底)	9-551 覆土 破片	口・(11.6) 底・(7.2)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。軽。 白色粒微、鈳物微、シルト質。	内面に放射状研磨。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で。	
663-5	須恵器 坏	9-551 覆土 1/4	口・(12.2) 底・(7.5)	還元。締。灰N5/0。密。重。 白色粒含、他鈳物少。	口縁部は内湾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。歪む。内面使用摩耗。	太田か
663-6 211-20	須恵器 坏	9-551 №2 1/2	口・(12.35) 底・(7.2)	還元。硬。灰N4/0。密。重。 白色粒・鈳物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転篋整形。	接合3片 笠・太田
663-7 211-19	土師器 坏	9-551 覆土 1/2	口・8.8 底・5.35	酸化。硬。にぶい赤褐5/4。並。 軽。鈳物無、シルト質	口縁部は内湾気味。底部は篋削り、体部に圧 痕。口縁部・器内面は横撫で整形。	粘・シル ト質
663-8	須恵器 坏	9-551 覆土 底部片	厚・0.4	還元。締。灰7.5Y5/1。密。重。 白鈳物含、他少。	口縁部は欠損。底部は轆轤右回転糸切り後周辺 を回転篋削。内面使用摩耗。割れ口少し消耗。	太田
663-9 211-21	須恵器 坏	9-551 №4 1/4	口・(12.8) 底・(7.4)	還元。硬。灰白5Y7/1。並。 白・黒粒含、他鈳物少。	口縁部は外傾する。底部は轆轤右回転糸切り。 体部外面に不明墨字。内面底摩耗あり。	粘 墨書-159
663-10 211-22	須恵器 双耳塊	9-551 №1 3/4	口・13.4 底・9.0	還元。硬。明オリーブ灰2.5GY 7/1。粗。鈳物微。	口縁部に沈線一条。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り後篋整形。	粘
664-1	須恵器 坏	9-552 覆土 底部片	底・(7.2)	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。並。 やや重。鈳物微。	轆轤成形。底部は回転糸切り後周辺篋削。さ らに「主」墨字あり。燻少あり。	笠懸か 墨書-160
664-2	須恵器 塊	9-552 №1 1/4	底・(9.0)	中性。並。灰オリーブ5Y6/2。 密。重。黒粒含、鈳物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転篋整形。	粘・陶 県外か
664-3	須恵器 坏	9-553 覆土 破片	厚・0.5	中。軟。にぶい黄橙10YR6/3。 並。軽。白・褐粒微、他微。	外面に轆轤目、下に被熱吸炭。割れ口消耗大。 成形(右回転)。底部欠損のため切離技法不詳。	粘
664-4	須恵器 釜か	9-554 覆土 体部片	厚・1.0	酸化。並。 密。やや重。白・灰鈳物、他含。	外面に篋削後撫整形あり。紐作後轆轤成形か。 内面燻、外面も少し褐色。	陶、太田 ・笠懸か
664-5	須恵器 坏	9-554 覆土	厚・0.7	還元。軟。灰2.5Y7/1。粗。軽。 白色粒、鈳物少、シルト質。	轆轤成形。高台付け高台。底部は回転糸切り 後高台周辺は撫、消耗大。	粘
664-6	須恵器 坏	9-555 覆土 破片	厚・0.2	還元。硬。灰5Y5/1。密。やや重。 白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目。 割れ口消耗少。	太田か
664-7	土師器 甕	9-557 覆土 破片	厚・0.2	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並。軽。白色粒多。他少。	薄作り。器外面は篋削り、器内面は撫で、割 れ口消耗少。	
664-8	須恵器 坏	9-559 覆土 底1/4	底・(4.0)	還元。硬。灰N5/0。密。重。	口縁部は旧欠損する。轆轤成形。底部は回転 糸切り後周辺は回転篋削。割れ口消耗少。	太田か

第10区土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
664-9	須恵器 甕	10-3 覆土 破片	厚・0.9	還元。硬。灰10Y4/1。密。 やや重。白鈳物多。他微。	傾き不明。外面に平行叩あり。内面に素文の 当て目あり。割れ口消耗あり。	太田
664-10 211-23	須恵器 内黒坏	10-12・44 覆土 底部片	底・(5.9)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含、鈳物少。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。 底部は回転糸切り。外面底際回転篋削。	

第10区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
664-11	須恵器 羽釜か	10-13 覆土 破片	厚・1.0	酸化。硬。明褐7.5Y5/6。並。 軽。白・褐粒含、他含。	器形不明瞭。傾き不明。外面に撫らしき痕跡。 割れ口消耗。	粘
664-12 211-24	土師質土器 坏	10-18 覆土 底部片	底・(5.0)	酸化。硬。橙5YR5/8。並。 やや軽。白・褐粒含、鉍物少。	轆轤成形。底部繊維状圧痕。内面に焼成後の 旧時穿孔あり。底～外煤附着。	接合2片 中世
664-13 211-25	土師質土器 皿	10-23 No1 ほぼ完形	口・10.6 底・5.0	中性。並。灰白2.5Y8/2。粗。 軽。鉍物なしシルト質。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 に一方の撫であり。色の黄灰色は特徴的。	14C 粘
664-14	軟質陶器 焙烙か	10-24 覆土 破片	厚・0.9	酸化。硬。黒褐10Y3/2。並。 軽。白・黒粒含、他少。	内・外面に回転条痕。焼成芯黒。外面少し吸 炭し5層気味。割れ口消耗大。	
664-15 211-26	土師質土器 皿	10-25 覆土 底部片	底・4.5	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 白・褐粒。シルト質。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。黄斑 あり。内面一方の撫。	中世
664-16	軟質陶器 焙烙か	10-37 覆土 底部片	厚・1.1	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。軽。 白・黒粒含、他含。	器種不明瞭。外面滑らか。底面篋撫光沢あり。 割れ口消耗。焼成芯黒で3層気味。	近世か
664-17 211-27	土師質土器 皿	10-40 覆土 2/3	口・(12.0) 底・(6.0)	酸化。硬。橙2.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒、他鉍物多。	轆轤成形。底部は回転糸切り。外面篋撫、内 面轆轤目。全体に赤味強い。	接合12片 15C
664-18	軟質陶器 焙烙か	10-45 覆土 口縁部片	厚・0.8	還元。硬。黒褐2.5Y3/1。粗。 軽。黒粒多、白色粒含、他含。	内・外面横撫。内・外面燻あり。口縁端部尖 る。割れ口少し消耗。	17～19C 小泉焼か
664-19	軟質陶器 焙烙か	10-45 覆土 破片	厚・0.9	中性。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 並。軽。黒鉍物多、他含。	底面に型膚様の割れあり。内面消耗あり、使 用時か。割れ口消耗。	
664-20	土師質土器 皿	10-48 覆土 破片	厚・0.7	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。軽。 褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口の消耗 大。	15～18C か
664-21 211-28	土師質土器 皿	10-48 覆土 破片	底・(5.0)	酸化。並。橙5YR6/8。粗。軽。 金雲母・白色粒含、他少。	轆轤左回転。底部回転糸切り。内面底一方 指撫。底面板状圧痕。器面消耗微。	中世
664-22	軟質陶器 内耳埴か	10-49 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。黒褐10Y3/2。粗。 軽。黒・白・灰鉍物含、他含。	内面の割れ割かれはハゼ状。外面撫痕。外面 吸炭あり、被熱煤か。割れ口少し消耗。	15～18C
664-23 211-29	土師質土器 皿	10-49 覆土 底部片	底・(5.6)	酸化。硬。にぶい橙5YR7/4。 並。軽。白・褐粒含、鉍物少。	轆轤成形。底部は回転糸切りの失敗痕あり。 割れ口少し消耗。	中世
665-1	土師器 甕	10-51 覆土 破片	厚・0.2	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。並。 軽。褐粒含、他少。	傾き不明。外面ササラ状の篋削あり。内面撫 あり。割れ口少し消耗。	
665-2	軟質陶器 不明	10-53 覆土 破片	厚・1.2	酸化。硬。黒10Y2/1。並。軽。 白・黒鉍物、他含。	傾き不明。器種不明。外面に煤附着。割れ口 消耗少。	
665-3	土師質土器 皿	10-55 覆土 口縁部片	口・(10.4)	酸化。軟。にぶい黄橙10Y7/4。 粗。軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。体部外面に轆轤回転条痕あり。割 れ口の消耗大。	中世か
665-4	軟質陶器 内耳埴か	10-58 覆土 破片	厚・1.0	酸～還元。硬。黒褐2.5Y3/1。 粗。軽。黒鉍物多、他含。	外面に篋撫による光沢面、燻あり。内面に撫 痕あり。割れ口少し消耗。	
665-5	軟質陶器 内耳埴	10-58 覆土 破片	厚・0.9	酸～還元。並。黒褐10YR3/2。 並。軽。白・褐粒含、鉍物少。	外面上方横撫。その下方に石目状の型膚あり。 さらに煤様の燻。内面は横撫。	
665-6	軟質陶器 鉢	10-64 覆土 破片	厚・1.0	酸化。硬。にぶい褐7.5Y6/3。 並。軽。白・褐粒、黒鉍物含。	内面に6条の卸目、使用摩耗微。外面指撫か 篋撫か不明撫あり。焼成5層気味。消耗少。	16・17C
665-7	土師質土器 皿	10-66 覆土 破片	厚・0.7	酸化。硬。橙5Y6/6。並。軽。 白・褐粒含、他少。	轆轤成形。内・外面に回転痕あり。割れ口消 耗少。	15・16C か
665-8	軟質陶器 埴	10-69 覆土 口縁部片	厚・0.7	還元。硬。黒褐10Y3/1。並。 軽。白色粒、黒鉍物含。	内・外面横撫。外面ハゼ剥落煤附着。内面小 ハゼあり。消耗大。焼成芯黒、外面燻の5層。	15～17C
665-9	軟質陶器 内耳埴	10-71 覆土 破片	口・(32.0)	還～中。硬。にぶい黄橙10YR 7/2。並。軽。黒粒含、他鉍物少。	内・外面に回転条痕。口縁部内面に使用摩 耗痕。外面に煤附着。焼成芯黒、外面燻5層。	粘
665-10	土師器 不明	10-75 覆土 破片	厚・0.9	酸化。硬。橙5Y6/6。並。軽。 白・褐粒多、他少。	内・外面ハゼ多く、割れ口も消耗し、器種 不明ながら脚様の突起あり、高坏か。	
665-11	土師質土器 皿	10-78 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。硬。にぶい黄橙10Y7/3。 並。軽。褐粒、黒鉍物含。	轆轤成形。内・外面の消耗大。焼成少し黄斑 気味の個所あり。	15・16C か
665-12	陶器 埴	10-79 覆土 底部片	底・(5.4)	中。締。釉透明調。暗茶(鉄絵)。 胎土黄灰。	外面に鉄絵。内・外面透明調釉あり。欠損部 下方は、高台になるらしい。割れ口消耗微。	18・19C 京焼系
665-13 211-30	鉄釉陶器 片口	10-79 覆土 破片	底・(10.0)	中性。締。釉暗褐(鉛～鉄釉)。	外面に部分的に鉄釉あり。内面轆轤目あり。 外面回転篋削目あり、高台削出しか。	18Cか 美濃
665-14	軟質陶器 焙烙	10-79 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。粗。 軽。白色粒含、他含。	内面撫であり。外面型膚様の割れあり。内面 底被熱吸炭あり。	18・19C
665-15	軟質陶器 不明	10-79 覆土 底部片	厚・0.8	還～中。硬。灰黄褐10YR5/2。 粗。軽。白・褐粒含、他少。	底面に石目状の型膚あり。内面に刻み状の圧 痕らしき沈線。焼成芯黒で3層気味。	
665-16 211-31	軟質陶器 埴内耳	10-84 覆土 破片	底・20.6	中性。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。鉍物多。	底部外面に指圧痕。紐作痕。内面回転条痕。 底面型膚状痕跡。底面は粘土板か。焼成3層。	

第10区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
665-17	土師質土器 皿	10-87 覆土 口縁部片	口・(10.0)	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。軽。 白色粒、黒鉄物含。	轆轤成形(左回転)。内・外面に回転痕あり。 割れ口少し消耗。	17~19C か
665-18	土師質土器 皿小形	10-96 覆土 口縁部片	口・(9.4)	酸化。並。にぶい橙7.5Y7/4。 粗。軽。白・褐粒含、他少。	小形。轆轤成形(左回転)。内・外面に回転痕。 割れ口消耗あり。	15・16C か

第11区土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
665-19	須恵器 坏	11-1 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。軟。灰5Y6/1。並。やや軽。 白色粒多、他微。	内・外面轆轤目立ず。割れ口少し消耗あり。 形状から9C中〜後半頃の製作を思わせる。	粘
665-20	須恵器 坏	11-2 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 並。軽。白色粒多、他微。	内・外面に轆轤目あり。割れ口消耗あり。形 状から9C中頃の製作を思わせる。	粘
665-21	石器 擦石	11-2 覆土 1/2	重・570	残存長・6.7。幅・13.1。 厚・5.0	礫面の扁平面を利用する。小口側に敲打痕を 残す。	

ピット出土遺物

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
666-1	縄文土器 深鉢	1-1P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/8 砂粒・粗粒砂・白色鉄物	文様の施文は認められない。	接・2点
666-2	縄文土器 深鉢	1-22P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄2.5YR8/3 砂粒・白色鉄物	文様の施文は認められない。	接・無し
666-3	土製品 円盤	1-23P 覆土内 完存	長・2.5 幅・2.2	酸化・並。暗赤褐5YR3/3 砂粒・白色粒子・白色鉄物	深鉢の胴部片を転用する。文様は隆帯の一部 が残存する。	接・無し
666-4	縄文土器 深鉢	1-29P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 細砂粒・夾雑物少	綾杉状に浅い条痕を施し、2乃至3を1単位 とする半裁竹管による有節貼付文を施す。	接・無し 3889と同一
666-6	縄文土器 深鉢	1-47P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒	綾杉状に半裁竹管により沈線を施し、施文間 に横位の半裁竹管による平行条線を施す。	接・無し
666-7	縄文土器 深鉢	1-48P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
666-8	縄文土器 深鉢	1-49P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。暗灰黄2.5Y5/2 金雲母・白色粒子	口縁部波内湾しキャリパー状口縁を呈する。	接・無し
666-9	縄文土器 深鉢	1-49P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒・黒色鉄物粒	文様の施文は認められない。	接・無し
666-10	縄文土器 深鉢	1-59P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐5YR5/8 金雲母・白色鉄物	無節L原体を斜位施文する。	接・無し
666-11	縄文土器 深鉢	1-69P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒・細礫	RL原体を縦位施文する。	接・無し
666-12	縄文土器 深鉢	1-91P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 角粒粗粒砂・砂粒	平行の押引文を弧状に施文する。	接・無し
666-13	縄文土器 深鉢	1-92P 覆土内 破片	厚・0.4	酸化・並。黒2.5Y2/1 砂粒・夾雑物少	口縁部は強く内湾し、複合口縁状に強い稜を 有する。口唇部直下に刺突文を施す。	接・無し
666-14	縄文土器 深鉢	1-52P 覆土内 破片	厚・0.4	酸化・並。黒2.5Y2/1 砂粒・夾雑物少	口縁部は強く内湾し、複合口縁状に強い稜を 有する。口唇部直下に刺突文を施す。	接・無し
666-15	縄文土器 深鉢	2-8P 覆土内 破片	厚・0.4	酸化・並。黒2.5Y2/1 砂粒・夾雑物少	口縁部は強く内湾し、複合口縁状に強い稜を 有する。口唇部直下に刺突文を施す。	接・無し
666-16	縄文土器 深鉢	2-10P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 細砂粒	RL原体を横位施文する。	接・無し
666-17	縄文土器 深鉢	2-19P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/8 含繊維・白色微粒子	器面の風化顕著。無節R(?)原体によるか。	接・無し
666-18	縄文土器 深鉢	2-24P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・白色粒子	RL原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
666-19	縄文土器 深鉢	2-77P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 粗粒砂・細礫	横位に隆帯を施文する。	接・無し
666-20	縄文土器 深鉢	2-90P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 細砂粒	RL原体を縦位施文する。	接・無し
666-21	石器 擦石	2-102P 覆土内 完存	砂岩 重・310	長・12.0。幅・5.1。厚・4.3 砂岩	礫面の扁平面を利用する。	

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
666-22	石器 擦石	2-102P 覆土内 完存	溶結凝灰岩 重・320	長・11.2。幅・5.3。厚・3.7 溶結凝灰岩	礫面の扁平面を利用する。	
666-23	石器 砥石	2-102P 覆土内	砥沢石 90g	遺存長・7.9。幅・4.0 厚・3.2	大半を欠損する。手持砥。	
666-24	石器か 小円礫	2-115P 覆土内	チャート	長径1.67。短径・1.5	自然石か、類碁石か。	
666-25	縄文土器 深鉢	2-296P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。黄橙10YR8/6 砂粒・赤褐色粒子	RL 原体を縦位施文する。懸垂文を垂下させる。	接・無し
666-26	土師質土器 皿	3-76ピット 1/3	口・(11.0)	酸化。硬。浅黄橙7.5YR8/4。 並、やや重。白・褐粒、他含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り板状厚 痕。内面使用摩耗。割れ口消耗。	16・17C
666-27	縄文土器 深鉢	4-10P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。黒褐7.5YR3/2 角粒粗粒砂	楕円隆帯を施す。	接・無し
666-28	縄文土器 深鉢	4-27P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 含繊維・雲母石英片岩	無節R 原体を横転施文する。	接・無し
666-29	縄文土器 深鉢	4-32P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/3 角粒粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
666-30	縄文土器 深鉢	4-33P 覆土内 破片	厚・1.4	酸化・並。明褐7.5YR5/6 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
666-31	縄文土器 深鉢	4-35P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・角粒粗粒砂	羽状縄文を施文し、連続爪形文を2段に施文 する。	接・無し
667-1	縄文土器 深鉢	4-76P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 粗粒砂・赤褐色粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
667-2	縄文土器 深鉢	4-153P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 シルト質・微砂粒	文様の施文は認められない。	接・無し
667-3	縄文土器 深鉢	4-225P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。10YR7/3 含繊維・砂粒	無節R 原体を横転施文する。	接・無し
667-4	石器 スクレイパー	4-257P 覆土内 完存	砂岩 重・4.27	長・2.5。幅・2.4。厚・0.8 砂岩	剝片を不整形形状に刃部加工する。加工はピ エスに類似するがピエス石器と異なる。	
667-5	縄文土器 深鉢	4-257P 覆土内 破片	厚・0.7+ α	酸化・並。灰白2.5Y8/1 角粒粗粒砂・粗粒砂	器面の風化顕著。原体施文が有るも原体不詳。	接・無し
667-6	縄文土器 深鉢	4-291P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・赤褐色粒子	0段3条の多条 RL 縄文を縦転施文する。	接・無し
667-7	縄文土器 深鉢	4-292P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。暗灰黄2.5Y4/2 砂粒多	LR 原体を縦転施文する。	接・無し
667-8	縄文土器 深鉢	4-293P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y8/2 砂粒・赤褐色粒子	LR 原体を縦転施文する。	接・無し
667-9	縄文土器 深鉢	4-294P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR4/3 金雲母・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
667-10	縄文土器 深鉢	4-295P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明褐7.5YR5/8 含繊維・白色微粒子	口縁部は外反し口唇部は平坦。付加条第2種 RL+2R 原体を横転施文施文する。	接・無し
667-11	縄文土器 深鉢	4-295P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子・砂粒	羽状縄文を施文する。	接・無し
667-12	縄文土器 深鉢	4-297P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。赤褐5YR4/8 粗粒砂多	縄文原体を施文するが原体は不詳。	接・無し
667-13	土製品 勾玉か	4-370P 覆土内 破片	遺存長3.5 厚・1.3	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂	頭部を欠損する。頭部に「T」字状の方向に 穿孔を施す。	接・無し
667-14	縄文土器 深鉢	4-370P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 金雲母・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
667-15	縄文土器 深鉢	4-381P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 細粒白色鉱物少	半裁竹管による横位隆帯と縦位隆帯を施し、 区画内に連続爪形文を施す。	接・無し
667-16	縄文土器 深鉢	4-381P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 金雲母・白色鉱物	地文に撚糸Lを斜位に施文し、片流れの隆帯 を施し、波状沈線文を施す。	接・無し
667-17	縄文土器 深鉢	4-381P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 金雲母・白色鉱物	楕円区画刻隆帯を配置し、縄文原体・沈線文 により加飾を施す。原体は不詳。	接・無し
667-18	縄文土器 深鉢	4-381P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 金雲母・白色鉱物	楕円区画刻隆帯を配置し、縄文原体・沈線文 により加飾を施す。原体は不詳。	接・無し
667-19	縄文土器 深鉢	4-383P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黒10YR2/1 含繊維・砂粒	多条原体による羽状施文。	接・無し
667-20	縄文土器 深鉢	4-387P 覆土内 破片	底・(14.2) 厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
667-21	縄文土器 深鉢	4-467P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙5YR6/8 細砂粒	RL 原体を縦位施文する。	接・無し
667-22	縄文土器 深鉢	4-541P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色鉱物少・砂粒少	口縁部は短く外反し口唇部は平坦。横位隆帯を介し半裁竹管の区画文・山形押引文を施文。	接・無し
667-23	縄文土器 深鉢	4-520P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。褐10YR4/4 含繊維・白色微粒・細白色鉱物	羽状縄文を施文する。	接・無し
667-24	土製品 円盤	4-532P 覆土内 破片	長・2.7 幅・4.0	酸化・並。橙5YR6/8 砂粒	深鉢の胴部下半部の破片を転用する。文様はRL 原体を縦位施文。	接・無し
667-25	縄文土器 深鉢	4-533P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 砂粒	RL 原体を縦位施文する。	接・無し
667-26	縄文土器 深鉢	4-534P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 細砂粒多	縦位の帯条縄文を施す。原体は RL。	接・無し
667-27	縄文土器 深鉢	4-535P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y8/2 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
667-28	縄文土器 深鉢	4-536P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/8 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
668-1	縄文土器 深鉢	4-543P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 細礫・粗粒砂	「S」乃至「J」字状文の一部と考えられる。縄文の施文は認められない。	接・無し
668-2	縄文土器 深鉢	4-543P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 粗粒砂・白色鉱物	口縁部波内湾気味。口唇部は平坦。帯条縄文を施文する。原体は LR。	接・無し
668-3	縄文土器 深鉢	4-543P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 粗粒砂・細礫	無節L 原体を縦位施文する。	接・無し
668-4	縄文土器 深鉢	4-544P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 粗粒砂・白色鉱物	縦位の沈線間に LR 原体を縦転施文する。	接・無し
668-5	石器 剥片石器	4-544P 覆土内 完存	チャート 重・6.97	長・3.5。幅・2.5。厚・0.9	縦長剥片の1側縁に加工を施し、もう一方の側縁に微細刻離が認められる。	
668-6	縄文土器 深鉢	4-546P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂	縦位の弧線沈線文間に LR 原体を施文する。	接・無し
668-7	縄文土器 深鉢	4-546P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・白色鉱物	幅広の三叉状帯条縄文。原体は RL。	接・無し
668-8	縄文土器 深鉢	4-554P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 粗粒砂	口縁は内湾する。口唇部直下に RL 原体を横転施文し、直下に横線を施す。	接・無し
668-9	縄文土器 深鉢	4-558P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・砂粒	無節L (?) 原体を横転施文する。	接・無し
668-10	縄文土器 深鉢	4-561P 覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。橙7.5YR6/6 細砂粒・白色微粒子	横位の帯条縄文と弧線区画が認められる。胎土は当遺跡既出の晩期安行系の胎土に類似。	接・無し
668-11	縄文土器 深鉢	4-563P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。浅黄橙10YR8/4 白色鉱物・粗粒砂	弧線沈線文が施されるが原体の施文は認められない。	接・無し
668-12	縄文土器 深鉢	4-563P 覆土内 破片	底・6.0 厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR7/6 細砂粒・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
668-13	縄文土器 深鉢	4-568P 覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。橙7.5YR7/6 粗粒砂	RL 原体を横位施文し、無節Rの付加原体を横転施文する。繊維は含まれない。	接・無し 晩期か
668-14	縄文土器 深鉢	4-576P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 粗粒砂	縦位の弧線文が認められる。原体の施文は認められない。	接・無し
668-15	縄文土器 深鉢	4-577P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 砂粒	器面は皺状の状態が認められるが、文様は認められない。	接・無し
668-16	縄文土器 深鉢	4-578P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 粗粒砂	縦位の弧線文を施し、LR 原体を縦転施文する。	接・無し
668-17	縄文土器 深鉢	4-582P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
668-18	縄文土器 深鉢	4-不明P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 粗粒砂・細礫	懸垂文を垂下させ、LR 原体を縦転施文する。	接・無し
668-19	縄文土器 深鉢	5-146P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 細礫・白色微粒子・雲母片岩	文様の施文は認められない。	接・無し
668-20	縄文土器 深鉢	5-184P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。赤褐5YR4/6 砂粒・白色鉱物	0 段多条 LR 原体を横転施文する。	接・無し
668-21	縄文土器 深鉢	5-190P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。オリーブ黒5Y3/2 砂粒	縦位に隆帯を施し、下端を半裁竹管の平行沈線で加飾し、LR 原体を縦転施文する。	接・無し
668-22	土製品 円盤	5-191P 覆土内 破片	長・3.1 幅・3.2	酸化・並。褐7.5YR4/6 砂粒・黒色鉱物粒	深鉢の胴部片を転用する。文様は半裁竹管による平行沈線文が認められる。	接・無し

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
668-23	縄文土器 深鉢	5-197P 覆土内 破片	厚・0.8 底・(13.0)	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 砂粒	文様の施文は認められない。	接・無し
668-24	土製品 円盤	5-198P 覆土内 破片	長・3.3 幅・3.3	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒・細礫	無節L原体(?)を横転施文する。	接・無し
668-25	縄文土器 深鉢	5-206P 覆土内 破片	底・(7.0)	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 粗粒砂・赤褐色粒・白色微粒	文様の施文は認められない。	接・無し
668-26	土師器 甕	5-220ピット 口縁部片	口・(23.0)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。白・褐粒含、他含。	口縁部下外面に接合面。器外面は篋削り、器 内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
668-27	土師器 甕	5-220ピット 口縁片	口・(17.8)	酸化。軟。にぶい橙7.5YR6/4。 並、軽。褐粒多。他少。シルト質。	頸部に一条の沈線。内外に横撫あり。割れ口 消耗あり。	
669-1	土師器 甕	5-221ピット№1 破片	厚・0.9	酸化。並。褐7.5YR4/6。粗、軽。 褐粒多、他少、シルト質。	胴部片、器厚は厚い。器外面は縦位方向の篋 削りを施す。割れ口消耗。	
669-2	縄文土器 深鉢	5-225P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐2.5Y3/3 粗粒砂	LR 原体を横転施文する。	接・無し
669-3	土製品 円盤	5-232P 覆土内 破片	長・2.5 幅・2.5	酸化・並。鈍赤褐2.5YR4/3 砂粒	深鉢の胴部片を転用する。文様の施文は認め られない。	接・無し
669-4	縄文土器 深鉢	5-243P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒・白色微粒子	複節 LR 原体を縦転施文する。	接・無し
669-5	縄文土器 深鉢	5-265P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 白色微粒子・夾雑物少	蕨手文状の沈線文を施文する。	接・無し
669-6	縄文土器 深鉢	5-266P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。赤褐5YR4/6 粗粒砂・白色粒子	地紋に LR 原体を横転施文し、弧線沈線文を 施す。	接・無し
669-7	縄文土器 深鉢	5-290P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 砂粒・細礫	文様の施文は認められない。	接・無し
669-8	縄文土器 深鉢	5-294P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 金雲母・白色鉱物	楕円状隆帯の一部か。横位に平行沈線を施す。	接・無し
669-9	縄文土器 深鉢	5-298P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
669-10	須恵器 坏	5-409ピット 破片	底・(7.6)	酸化。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 並、軽。白・褐粒含、他少。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。底部は回転糸 切り。割れ口消耗。	
669-11	軟質陶器 不明	6-74ピット 破片	厚・0.7	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並、軽。褐粒含、他少。	小片、消耗大で、整形痕見えず。同時に種は 土師器、土師質とも、器種も不明。	
669-12 211-32	土師質土器 皿	6-209ピット№4 1/2	口・9.6 底・5.6	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/2。 粗、軽。鉱物粒少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内外面被熱色 変。器面少し消耗。	3片
669-13	軟質陶器 焙烙	6-209ピット№1 底部片	厚・0.8	還元。硬。灰オリーブ5Y4/2。 粗、軽。白・褐粒含、他含。	底面石目状の膚。内面に回転痕。体部外面煤 付着。割れ口消耗少。	18・19C 小泉か
669-14	軟質陶器 不明	6-220ピット 破片	厚・1.0	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並、軽。白・黒粒含、他少。	小片、消耗大のため焼物種不明。器種不明。 焼成芯黒色で3層気味。	
669-15	土師器 甕・壺か	(6区289P) 攪乱 破片	厚・0.5	酸化。硬。橙5Y6/6。並、軽。 褐粒含、他少。	傾き不明。外面に研磨状の工具擦痕。割れ口 消耗大。	
669-16	土師質土器 皿	6-366ピット 口縁部片	口・(7.0)	酸化。並。橙7.5YR7/6。粗、軽。 白・褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は欠損。内外面無痕。割れ口 消耗少。	15~17C か
669-17	瓦 十能瓦	6-369ピット 破片	厚・1.0	還元。並。オリーブ黒7.5Y3/2。 粗、軽。	片側に撫跡。他方に石目状の膚あり。焼成芯 黒、外面撫で5層気味。消耗あり。	20C 小泉焼き
669-18	縄文土器 深鉢	6-407P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。赤褐2.5Y4/8 白色微粒子	沈線文が認められる。	接・無し
669-19	土師器 坏か	6-423ピット 破片	厚・0.5	酸化。軟。明赤褐5YR5/6。 並、軽。褐粒含、他少。	内外面撫整形。割れ口の消耗大。外面少し黒 色み吸炭か。	
669-20	縄文土器 深鉢	6-716P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄2.5Y7/4 粗粒砂・角粒粗粒砂	LR 原体を横転施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
669-21	縄文土器 深鉢	6-937P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 白色微粒子・夾雑物少	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
669-22	縄文土器 深鉢	6-1148P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。暗褐色7.5YR5/4 砂粒・角粒粗粒砂・白色鉱物	横位帯状縄文を施文する。原体は LR 原体の 横転施文。	接・無し
669-23	須恵器 坏	6-1204ピット 破片	厚・0.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 粗、軽。黒・白粒含、シルト質。	薄作り。轆轤成形内外に回転条痕あり。割れ 口消耗あり。	粘
669-24	土師器 甕か	6-1207ピット 底部片	底・(7.0)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並、軽。鉱物少。	器外面は篋削り。内面は篋削り。内面は吸炭 気味。	5~6C 初
669-25	須恵器 坏	6-340G1207P 小片	口・(17.2)	還元。並。灰5Y6/1。並、軽。 白・黒粒含、鉱物少。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部欠損 底面技法不詳。内外轆轤目多い。	粘

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
669-26 211-33	須恵器 坏	6-1216ピット 1/3	口・(12.2) 底・(7.2)	還元。締。オリープ灰2.5GY 5/1。並、やや重。白粒多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面底に使用摩耗あり。	笠か
669-27	須恵器 坏	6-1218ピット 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰オリープ5Y4/2。 並、軽。白粒含、他少。	底面に糸切り。轆轤成形。内面に使用摩耗あり。 割れ口消耗あり。	粘
670-1	須恵器 坏	6-1124ピット 破片	厚・0.7	還元。並。灰オリープ5Y6/2。 並、軽。白粒含、他少。	外面、底面剥落大。内面回転条痕。割れ口の 消耗大。	粘
670-2	軟質陶器 焙烙か	6-1866ピット 破片	厚・0.9	酸化。並。灰黄2.5Y6/2。粗、軽。 白・褐粒含、他少。	外面に篋削目、撫痕。内面にも回転撫痕あり。 底面に石目状膚あり。割れ口消耗。	16~19C
670-3 211-34	軟質陶器 焙烙	6-311ピット 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰オリープ5Y4/2。 並、軽。褐粒、黒鈹物含、他少。	内面に撫痕。外面石目状膚。割れ口消耗少。 焼成外面に煤あり。	18~20C 小泉か
670-4	軟質陶器 内耳鍋、焙烙	6-311ピット 1/5	口・(37.0) 底・(34.8)	還元。並。灰褐7.5YR4/2。 並、軽。褐粒微、鈹物少。	内耳。外面上方横撫、接合面下方から底面に かけ石目状の型膚。外面に煤付着。焼単一。	3片 小泉焼か
671-1	軟質陶器 内耳鍋	6-311ピット 1/8	口・(36.6) 底・(34.2)	還~中性。並。黒褐2.5Y3/2。 並、軽。褐粒、鈹物含。	内耳2つあり。耳は扁平化している。外面に 接合面、型膚は底に至る。焼成3層。	2片
671-2	土師質土器 皿	7-52ピット 底部片	底・(4.6)	還元。並。オリープ黒5Y3/2。 並、やや重。白粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。内面に1方向の撫。底部は 回転糸切りと板状圧痕。煤かかる。割れ口消耗。	中世か
671-3	軟質陶器 焙烙か	7-52ピット 破片	厚・0.9	還元。硬。オリープ黒5Y3/2。 粗、軽。鈹物少。	外面に指圧痕。内面に回転撫痕あり。内外と も煤かかる。割れ口消耗。	16~19C 小泉か
671-4	軟質陶器 焙烙	7-94ピット 口縁部片	口・(31.0)	還元。軟。粗、軽。 褐粒含、他鈹物少。	内耳か。消耗顕著。焼成は内・外面に浅く、 煤かかり、芯まで灰色。	17~19C 小泉か
671-5	石器 擦石	7-70P 覆土内 4/5	粗粒輝石安山岩 重・245	長・8.8。残存幅・7.2。厚・3。 7粗粒輝石安山岩	礫面の扁平面を利用する。小口の縁辺に敲打 痕を残し、両面の中央部に集中打痕を残す。	
672-1	土師質土器 皿	7-138ピット 破片	底・(7.0)	酸化。並。橙7.5YR7/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内面に回転条 痕。割れ口消耗。	中世か
672-2	石器 敲石	7-138P 覆土内 完存	ホルンフェルス 重・310	長・11.7。幅・5.6。厚・2.9。 ホルンフェルス	小口の縁辺に敲打痕を残し、側縁の一部に剥 落が認められる。	
672-3	陶器 皿	7-147ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。釉灰白7.5Y7/1。 (灰釉)。胎土灰白。	内外面に浸し掛の灰釉あり。外面下方回転篋 削あり。割れ口消耗少。	東海搬入
672-4	土師質土器 皿、円盤か	7-147ピット	厚・1.1	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並、軽。褐粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。周辺 が打ち欠かれ、円盤か。消耗少。	中世か
672-5	土師質土器 皿	7-177ピット 破片	口・(10.5) 底・(7.2)	酸化。軟。橙5YR6/6。粗、軽。 白・褐粒含、他鈹物多。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内外面に回転 痕。割れ口の消耗大。	
672-6	須恵器 擂鉢	7-179ピット 口縁片	厚・1.4	還元。硬。灰5Y5/1。並、やや重。 鈹物少。	轆轤成形。口縁部周辺横撫あり。外面下方指 圧痕。割れ口消耗大。使用摩耗微。	粘
672-7	軟質陶器 焙烙か	7-187ピット 破片	厚・0.7	還元。硬。暗灰黄2.5Y4/2。 並、軽。鈹物少。	底面に石目状の膚あり。内面に使用摩耗あり、 整形見えず。焼成黒で3層気味。消耗あり。	18~20C 小泉か
672-8	施釉陶器 擂鉢	7-192ピット 体部片	厚・1.0	中性。締。釉暗褐(錆色、光沢 弱)。胎土黄灰。	内外面に施釉、轆轤目あり。内面に卸目あり。 内面摩耗微。割れ口消耗あり。	17・18C 美濃
672-9	土師質土器 皿	7-212ピット 破片	口・(9.0)	酸化。並。にぶい橙5Y7/8。 並、軽。褐粒含、鈹物少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内外面に回転 撫痕。割れ口消耗少。	17~19C
672-10	土師器 甕	7-216ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並、軽。鈹物少	頸部片。薄作。外面上方横撫、下方篋削。割 れ口消耗大。	
672-11	土師質土器 皿	7-240ピット 口縁片	厚・0.6	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並、軽。鈹物少。	轆轤成形。内外面に回転条痕あり。割れ口消 耗あり。酸化赤味強。	
672-12	軟質陶器 火鉢か	7-289ピット 破片	厚・0.9	還元。並。黒5Y2/1。並、軽。 鈹物含。	外面回転撫。内面不定方向撫。焼成外面煤黒 色化強く3層気味。消耗あり。	
672-13	土師質土器 皿	7-291ピット 破片	厚・0.6	酸化。軟。にぶい橙7.5YR7/4。 粗、軽。金雲母、褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り不明瞭。内面に の凹み痕。割れ口消耗大。	14~16C
672-14	土師質土器 皿	7-315ピット 破片	口・(12.0)	酸化。軟。にぶい黄橙10YR7/4。 並、軽。白・褐粒少、他少。	轆轤成形。内外面に回転条痕あり。割れ口の 消耗大。荒斑あり。	中世か
672-15	土師器 甕	7-322ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 鈹物少。	頸部片。小形甕か。割れ口消耗大。内外面の 整形不明瞭。	
672-16	施釉陶器 瓶か	7-331ピット 破片	厚・0.4	還元。焼締。締茶褐(鉄釉)。 胎土灰10Y5/1。	大きな徳利か。外面鉄釉。内面轆轤に伴う 挽工具の条痕。割れ口消耗少。	18~20C 産不明
672-17	土師質土器 皿	7-341ピット 破片	底・(4.8)	酸化。軟。にぶい黄橙10YR7/3。 粗、軽。白・褐粒含、他含。	轆轤成形。底部は回転糸切りか。内面に指撫。 割れ口消耗大。	15・16C
672-18	軟質陶器 不明	7-356ピット 破片	厚・0.8	還元。硬。オリープ黒5Y3/2。 並、軽。鈹物多。	内面撫痕。底面砂付着。内外面吸炭強い。割 れ口消耗。	
672-19	土師器 甕	7-368ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並、鈹物少。	割れ口消耗大。薄作り。外面に篋削。内面撫 らしき状態あり。	

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
672-20	土師器 甕か	7-383ピット 破片	厚・0.8	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並、 軽。褐粒含、他少。	甕か、胴部片か。割れ口の消耗大。表面篋削。 内面消耗整形不明瞭。	
672-21	軟質陶器 埴か	7-412ピット 破片	厚・0.9	還元。並。オリープ黒5Y3/1。並、 軽。雲母粒、鉍物含。	外面に指圧痕、煤付着あり。内面整形不明瞭。 割れ口消耗あり。	15~17C
672-22	土師器 壺か	7-437ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。並、 軽。褐粒含、他少。	外面に撫、ハゼあり。内面に撫あり。割れ口 の消耗大。外面に被熱色変あり。	
672-23	土師質土器 皿	7-438ピット 底部	底・(5.8)	酸化。硬。橙5YR7/6。粗、軽。 褐粒、金雲母粒含、他微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。体部 外面に工具圧痕。内面円形工具押圧。	中世か
672-24	埴輪か 不明	7-449ピット 破片	厚・1.9	酸化。並。赤褐2.5YR4/8。並、 やや軽。白・黒粒含、他少。	外面にわずか刷毛目らしき痕跡あり、内面旧 態遺存わずか。割れ口消耗顕著。	
672-25	土師質土器 皿か	7-468ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。灰黄2.5Y7/2。並、軽。 褐粒含、他少。	軟陶か不明。内面に回転撫あり。底面轆轤成 形は剥落多く切り離し不明。割れ口消耗大。	
672-26 211-35	土師質土器 皿	7-473ピット№1 完形	口・8.0 底・4.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗、軽。 白・褐粒含。鉍物多。	底面は糸切痕らしい痕跡あり。口縁部に油煙 あり、灯火黒。器面少し消耗。	
673-1	土師器 坏	7-475ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並、軽。褐粒多、他少。	外面に横撫痕。下方篋撫あり。内面横撫。焼 成芯黒で3層。割れ口消耗少。	
673-2	軟質陶器 火入	7-478ピット 破片	底・(18.0)	還元。硬。黄灰2.5Y4/1。粗、軽。	外面に施文あり、叩か格状か不明。内面に回 転篋削。内外吸炭。割れ口少し消耗。	19・20C 小泉か
673-3	陶器 甕	7-478ピット 破片	厚・0.9	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。密、重。 白鉍物多、他少。	外面自然釉あり、不定方向の撫。内面不定方 向の撫、吸炭あり。割れ口少し消耗。	
673-4	土師器か 甕か	7-479ピット 破片	厚・0.9	酸化。軟。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒多、他少。	割れ口消耗大で、焼物種、器種不明。外面篋 削目あり。	
673-5	石製品 穀臼、下臼	7-479ピット№1 1/2	粗粒輝石安山岩 6200g	径・(31.8)	表面に6分割の目溝あり。溝は再刻らしく、 別溝少し存。軸穴1。整形は裏面が荒い。	旧欠
673-6	土師質土器 口縁片	7-482ピット 口縁片	口・(11.0)	酸化。軟。浅黄橙10YR8/4。 並、軽。白・褐粒多、他多。	轆轤成形(左回転)。底部は欠損。割れ口消費 少。焼、荒味かがる。	中世か
673-7	須恵器 坏	7-482ピット 口縁部片	口・(12.0)	酸化。軟。にぶい橙7.5YR6/4。 粗、軽。白・褐粒含、他少。	外面に轆轤目、外面に浅い燻あり、割れ口消 耗少。	10末~11 C前半
673-8	軟質陶器 埴か	7-486ピット 口縁片	厚・0.8	酸化。並。にぶい黄褐10YR5/3。 並、軽。鉍物含。	内外面横撫あり。割れ口消耗少。口縁端部に 特徴あり。	16~18C
673-9	土師質土器 皿	7-507ピット 破片	底・(5.9)	酸化。軟。浅黄橙10YR8/4。 粗、軽。鉍物微、シルト質。	轆轤成形。消耗大。内外に回転糸痕あり。底 面は消耗のため切り離し不明。	14~16C 中世
673-10	軟質陶器 火鉢か	7-513ピット 口縁片	厚・1.2	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並、やや重。褐粒含、他少。	内・外面横撫あり。割れ口消耗大。焼成外面 燻、芯黒で5層気味。	18~19C
673-11 211-36	土師質土器 皿	7-523ピット№1 2/3	口・11.0 底・5.0	酸化。並。橙5YR6/6。粗、軽。 褐粒含、他鉍物少。	口縁は内湾気味。底部に板状圧痕。内面に一 方向の指の圧痕あり。	6片
673-12	土師質土器 皿	7-551ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形内外面横撫あり。割れ口消耗大。	
673-13	軟質陶器 焙烙か	7-564ピット 口縁片	厚・0.9	還元。並。オリープ黒5Y3/1。 並、軽。褐粒含、他少。	焼成は内外に煤がかかり3層気味。割れ口消 耗大。	18~19C 小泉か
673-14	土師質土器 皿	7-590ピット 1/4	口・(12.8)	中性。並。灰白 YR8/2。粗、軽。 褐粒多、白粒少、他鉍物微。	轆轤成形(左回転)。底部は旧時欠損。全体に 黄灰色。内側から外に穿孔。内面轆轤目。	14・15C 中世
673-15	石製品 穀臼、下臼	7-494ピット№2 1/4	粗粒輝石安山岩 2600g	径・(26.4)	石質は重く、硬い。目無し白。軸穴あり。 裏面の整形荒い。割れ口旧欠で消耗。	
673-16	土師器 甕	7-637ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。暗褐10YR3/3。	胴部片、器厚は薄い。外面は横方向の篋削り。 割れ口消耗少。内外燻かがる。	
673-17	須恵器 釜形か	7-664ピット	厚・0.9	酸化。並。褐7.5YR4/3。 並、やや重。白・褐色粒含。	轆轤整形。回転方向は右回転か。	
673-18	土師質土器 皿	7-689ピット 口縁片	厚・0.8	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並、軽。鉍物含。	轆轤成形。内外に回転撫あり。割れ口の消費 大。	16~19C
673-19	陶器 播鉢	7-690ピット 破片	厚・1.5	還元。締。釉暗褐(鉄錆調鉄釉)。 胎土灰白2.5Y8/1。	内外面錆釉。内面卸目あり。外面に轆轤目あ り。使用摩耗不明。割れ口消耗大。	17・18C 美濃
673-20	土師質土器 皿	7-696ピット 口縁片	口・(13.2)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 粗、軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。内外面に回転糸痕あり。割れ口消 耗大。	15~17C 中世
674-1	石器 擦石	7-698P 覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・420	長・11.8。幅・7.0。厚・3.7。 粗粒輝石安山岩	礫面の扁平面を利用する。	
674-2	石製品 五輪(水輪)	7-698ピット 完形	粗粒輝石安山岩 9000g	径・23.8。高・13.8	石質は重く硬め。上面、下面の平部の整形差 少で天地不明。整形丁寧。下面使用摩耗。	再用段階 あり
674-3	石器 磨石	7-698ピット№1 破片	粗粒輝石安山岩 3450g	遺存長・17.55 巾・12.65・厚さ・12.90	石質は、重く、硬い。2面に顕著な研磨(軟 質)の面あり、拓影図。割れは旧欠。	中世扱い

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
674-4	焼締陶器 鉢	7-715ピット 口縁片	厚・0.9	還元。締。灰5Y6/1。粗、やや軽。 白鉱物多、他少。	内側に自然釉らしき釉あり。胎土は特徴的に 軽い。内外面横撫。割れ口少し消耗。	東海搬入
674-5	軟質陶器 焙烙か	7-715ピット 底部片	厚・0.8	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。並、軽。 白・褐粒含、他少。	内面に研磨あり。底面に乾燥時の小ヒビあり。 外面被熱。割れ口消耗少。	17Cか
674-6	土師器 坏	8-2000ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並、軽。褐粒微、シルト質。	口縁部は外傾気味。型作りか。口縁部・器内 面は横撫で整形。割れ口消耗あり。	
674-7	須恵器 坏	8-2002ピット 破片	厚・0.4	還元。並。5Y 灰白7/1。並、軽。 白粒含、鉱物少。	底面に轆轤右回転の回転篋削り、不明墨字あり 、器面。割れ口消耗。	粘 墨書-161
674-8	土師器 甕	8-2003ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並、軽。白・褐粒含、他少。	外面ハゼ、被熱、吸炭、篋削。内面横撫あり。 割れ口消耗大。	
674-9	土師器 甕・口縁	8-2005ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他鉱物少。	外面に白土的な白灰色粘土付着。口縁部の内 外面に横撫あり。割れ口消耗。	9 Cか
674-10	須恵器 坏か	8-2005ピット 破片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y5/1。密、やや重。 白粒。白鉱物含、他少。	口縁部片。轆轤成形。内外に浅い轆轤目あり。 口縁部周辺に重焼らしき色変。割れ口消耗大。	笠か
674-11	須恵器 坏	8-2006ピット 体部片	厚・0.4	酸化。軟。灰白2.5Y8/2。粗、軽。 黒粒多、他鉱物。	内外に回転条痕あり。質は土師質に近い。割 れ口の消耗顕著。	10Cか 粘
674-12	土師器 坏	8-2006ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/2。 並、軽。白・褐粒含、他少。	口縁部至近片らしい。内外面は横撫で整形。 割れ口の消耗大。	
674-13	土師器 小形甕か	8-2013ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。灰褐7.5YR4/3。並、 軽。白・黒粒含、他少。	口縁部は外傾気味。内面は横撫で整形。割れ 口消耗少。	
674-14	土師器 坏か	8-2014ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、 やや軽。白・褐粒、シルト質。	坏体部片らしい。外面に接合痕、下方に篋削らしき 痕跡、内面に撫らしき痕跡。割れ口消耗大。	
674-15	土師器 甕	8-2015ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。灰褐7.5YR5/2。並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	頸部下方で、外面に接合面、被熱吸炭あり。 内面撫。割れ口少し消耗。	笠
674-16	須恵器 甕	8-2021ピット 破片	厚・0.4	還元。締。灰5Y5/1。密、重。 黒粒目立つ。他微。	外面平行叩き、内面当具は素文で撫か。内面 に工具傷らしきあり。少し消耗。	
674-17	土師器 甕	8-2024ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや重白・褐粒含、他少。	頸部破片、薄作。外面は撫痕。内面は撫で。 割れ口消耗あり。	
674-18	土師器 坏、甕	8-2028ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、やや重。白粒、他含。	細片のため種不詳。薄作。外面篋削。内面撫。 割れ消耗。	
674-19	土師器 坏・甕	8-2029ピット 破片	厚・0.2	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	細片のため器種不詳。外面篋削、内面撫。割 れ消耗あり。	
674-20	軟質陶器 不明	8-2030ピット 破片	厚・0.8	酸～還元。並。にぶい黄橙10YR 6/3。並、軽。白・褐粒含、他少。	裏面側剥落し、内面側のみ残存。胎土中の砂 粒多い。割れ口消耗。	
674-21	須恵器 坏	8-2033ピット 口縁部片	厚・0.4	中性。軟。にぶい黄橙10YR6/3。 並、軽。白・褐粒含、他微。	内外面に回転条痕。割れ口消耗大。砂状は9 C中頃～10Cか。	粘
674-22	土師器 甕か	8-2033ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。明褐7.5YR5/6。並、 やや重。白・褐粒含、他含。	外面に被熱の燻。篋削。内面に篋痕あり。割 れ口消耗あり。	2片
674-23	土師器 坏か	8-2034ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5Y6/4。 並、やや軽。白・褐粒含。	傾き不明。内面撫、外面篋削、被熱吸炭。割 れ口消耗。	
674-24	土師器 甕	8-2037ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。明褐7.5YR5/8。 並、やや重。白粒、他含。	頸部片。外面撫。内面撫。割れ口消耗大。	
675-1	土師器 甕小形	8-2042ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/3。 並、やや軽。白・褐粒微、他微。	内面撫。外面撫、篋削。全体に被熱吸炭あり。 割れ口消耗。	
675-2 211-37	須恵器 坏	8-2052ピット 1/2	口・(12.5) 底・(7.2)	還元。硬。灰5Y6/1。密、重。 白粒含、他鉱物少。	口縁に重ね焼色変あり。底部は右回転糸切り。 内面に轆轤目多い。	笠懸か
675-3	須恵器 坏	8-2053ピット 1/5	厚・0.3	還元。硬。灰7.5Y4/1。密、 やや重。白・灰鉱物含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口消耗。	太田か
675-4	須恵器 坏	8-2054ピット 底部片	厚・0.5	還元。硬。オリブ灰2.5GY5/1。 並、やや軽。白・黒粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口少し消耗。	粘
675-5	須恵器 坏	8-2055ピット 口縁部片	厚・0.3	還元。硬。灰 N5/0。密、やや重。 白粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。口縁部外面下 重ね焼色変。	太田か
675-6	須恵器 坏	8-2055ピット 口縁部片	厚・0.4	還元。軟。灰白10Y7/1。並、軽。 白・黒粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内外面轆轤目 あり。割れ口消耗大。	粘
675-7	須恵器 坏か	8-2189ピット 破片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y6/1。密、やや重。 白鉱物含、他少。	内外面に轆轤目あり。轆轤成形。割れ口少し 消耗。	
675-8	土師器 甕か	8-2193ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい褐色7.5YR6/3。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	割れ口消耗大のため器種不明。外面篋撫、 内面撫。	
675-9	須恵器 坏	8-2233ピット 破片	厚・0.5	還元。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 並、軽。白・黒粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り内面轆轤目。 割れ口消耗少。	粘

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
675-10	土師器 甕	8-2245ピット	厚・0.6	酸化。並。暗褐10YR3/4。並、 軽。白・褐粒含、他鉱物少。	口縁部は「コ」の字状。型作り。体部は篋削り。 口縁部・器内面は横撫で。外面少し燻される。	
675-11	須恵器 坏底	8-2262ピット 破片	厚・0.5	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。密、 やや重。白・鋳物含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口消耗大。	笠・太田
675-12	土師器 甕	8-2268ピット 破片	厚・0.2	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並、 やや重。白・黒粒含、他含。	傾き不明。器厚は薄い。器外面は縦位方向の 篋削り。割れ口消耗あり。	
675-13	土師器 甕	8-2277ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい黄橙10YR5/4。 並、やや重。白粒含、他含。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外面は縦位 方向の篋削り。外面被熱色変。割れ口少し消耗。	
675-14	土師器 甕か	8-2280ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並、 やや軽。白粒、灰鋳物含、他少。	傾き不明。外面斜方向の篋削り、内面撫あり。 割れ口少し消耗。	
675-15	須恵器 坏	9-5ピット 破片	底・(6.8)	酸化。軟。にぶい橙7.5YR6/4。 並、やや軽。白粒含、シルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口消耗大。	粘
675-16	土師器 坏	9-7ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。橙5YR7/6。	底部は篋削り、内面に撫。割れ口消耗あり。	
675-17	須恵器 坏	9-9ピット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰10Y6/1。密、軽。 黒・白粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。消耗あり。	粘
675-18	土師器 甕	9-10ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。赤褐5YK4/6。並、 やや軽。白粒多、他含。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。外面は斜位 方向の篋削り。割れ口消耗。	
675-19	須恵器 坏	9-11ピット 破片	底・(8.6)	還元。硬。灰7.5Y5/1。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形（右回転）。 底部は回転篋削り。消耗あり。	笠か
675-20	須恵器 坏か	9-12ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並、軽。白粒含、他少。	轆轤成形。内外に轆轤の回転条痕あり。消耗 あり。	粘
675-21	土師器 甕	9-14ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含。	口縁部は外傾気味。口縁部・内面は横撫で。 割れ口に消耗あり。	
675-22	土師器 坏	9-20ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含。	体部に型膚。口縁部・内面は横撫で割れ口は 少し消耗あり。	
675-23	土師器 坏	9-22ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 並、軽。白・褐粒含、他少。	口縁部・内面は横撫で。割れ口に消耗あり。	
675-24	土師器 坏	9-23ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR7/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	底部は篋撫気味。内面に撫。割れ口に消耗あ り。	
675-25	土師器 甕	9-24ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 鋳物少。	傾き不明。器厚は薄い。外面は篋削り。割れ 口消耗。	
675-26	土師器 甕	9-25ピット 破片	厚・0.2	酸化。並。橙7.5YR6/6。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。外面は縦位 方向の篋削り。割れ口消耗大。	
675-27	土師器 甕	9-25ピット 破片	厚・0.5	酸化。硬。黒褐7.5YR2/2。 並、軽。鋳物少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外面は縦 位方向の篋削り。割れ口少し消耗。	
675-28	土師器 甕	9-26ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外面は縦 位方向の篋削りを施す。消耗少しあり。	
675-29	須恵器 坏	9-31ピット 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並、やや軽。シルト質。	口縁部は外傾する。外面に回転条痕。内面研 磨あり。割れ口消耗大。	粘
675-30	須恵器 坏・碗	9-33ピット 破片	厚・0.6	還元。硬。灰5Y5/1。並、軽。 白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形（右回転）。 底部は高台の有無不明。割れ口の消耗あり。	
675-31	土師器 坏	9-34ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	体部に篋撫、型膚。内面横撫。割れ口消耗あ り。	
675-32	土師器 甕	9-35ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、 やや軽。鋳物含、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。外面は縦位 方向の篋削り内面撫。消耗あり。	
675-33	須恵器 碗・盤か	9-39ピット 底部片	厚・0.9	還元。並。灰白5Y7/1。やや軽。 白粒含、他少。	器肉厚く少し大形器種。底部は轆轤右回転篋 削り。割れ口消耗大。	粘
675-34	須恵器 坏	9-41ピット 破片	厚・0.7	酸化。軟。にぶい橙10YR7/3。 並、軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口の消耗 あり。	粘
675-35	須恵器 硯	9-42ピット 破片	厚・0.7	還元。硬。灰7.5Y6/1。密、 やや重。白・黒粒含、他少。	円面硯か。上面ハゼと少し摩耗痕。回面回転 条痕。割れ口の消耗あり。	市外か 陶
675-36	須恵器 坏	9-43ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。浅黄5Y7/3。並、軽。 白粒含、他少。	轆轤成形。内外面に回転条痕。割れ口に消耗 あり。	粘
675-37	須恵器 坏	9-44ピット 破片	高・(12.4)	還元。硬。灰白5Y7/1。並、軽。 白・黒粒含。	内外面に轆轤目あり。器肉の取り方に特徴あ り。割れ口に消耗あり。	粘
675-38	土師器 破片	9-46ピット 破片	厚・0.7	酸化。並。褐7.5YR4/3。並、 やや軽。金雲母粒含、他含。	口縁部は旧時欠損する。外面は篋削り内面は 篋撫で。割れ口に消耗あり。	
675-39	須恵器 坏	9-48ピット 破片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y5/1。密、やや軽。 黒粒含、他鋳物少。	口縁部外反。内外面ろくろ条痕あり。割れ口 の消耗あり。	市内

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
675-40	須恵器 坏か	9-53ピット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰7.5Y5/1。密、 やや重。白粒、白鈹物含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。 割れ口消耗あり。	笠か
676-1	軟質陶器 鉢	9-70ピットNo3 口縁部	厚・1.3	酸化。並。灰オリーブ5Y5/2。 並、重。褐粒含、他鈹物少。	口縁部の内外面に横撫。外面下方に轆轤目と 指などの撫痕。内面下方に摩耗。内外燻。	粘・陶 15C頃
676-2	焼締陶器 甕	9-70ピット 口縁部	厚・1.7	還～酸化。締。外面酸化暗褐と 自然釉。胎土灰。	内・外面自然釉。外面に紐作痕。内面に轆轤 目。口縁部の大部分破損。	常滑
676-3	軟質陶器 鉢	9-70ピットNo2 破片	口・(32.0)	還元。並。灰5Y6/1。並、やや重。 白粒含、鈹物微。	内面の縁部付近ハゼ。内面最下部少し使用摩 耗。外面ハゼ少。口縁部使用摩耗。	太田か
676-4	石造品 磨石	9-70ピット 完存	粗粒輝石安山岩 290g	長・8.5 巾・5.0 厚・4.8	平坦面が摩滅する。	
676-5	石器 擦石	9-70P 覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・260	長・10.0。幅・6.8。厚・4.2 粗粒輝石安山岩	表面の中央部全体が磨滅し、部分的に打痕が 認められる。	
676-6	石器 擦石	9-70P 覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・640	長・11.3。幅・7.2。厚・5.0。 粗粒輝石安山岩	表面の中央全体が磨滅し、裏面は下端右寄り が磨滅する。	
676-7	須恵器 碗か内黒	9-72ピット 破片	口・(15.1)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、重。白色粒微、鈹物微。	口縁部にも黒色およぶ。轆轤成形(右回転) か。内面研磨あり。	
676-8	土師器 甕・坏か	9-75ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。にぶい橙10YR5/3。 並、やや重。白粒含、他少。	口縁部は外反する。口縁部は横撫で。割れ口 消耗少しあり。	
676-9	須恵器 甕	9-74ピット 破片	厚・1.3	還元。硬。灰7.5Y1/6。密、 やや重。白鈹物多。	紐作り。外面は叩き擦り消し、内面当具は青 海波文状、さらに擦痕。消耗あり。	県外搬入
676-10	土師器 甕	9-82ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。にぶい黄橙10YR7/4。 並、やや軽。鈹物含。	傾き不明。胴部片。器厚は薄い。外面は縦位 方向の篋削り。割れ口消耗あり。	
676-11	須恵器 甕	9-84ピット 破片	厚・0.9	還元。並。灰白10Y7/1。密、 やや白。白粒、鈹物含。	紐作か。外面に撫、内面に撫と凹凸あり。 割れ口消耗。	笠・太田
676-12	土師器 坏	9-85ピット 破片	厚・0.5	酸化。硬。橙5YR6/6。並、 やや軽。黒・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損。外面篋削り目あり。内面 撫。割れ口消耗あり。	
677-1	須恵器 坏	9-99ピット 破片	厚・0.5	還元。並。灰5Y4/1。並、やや軽。 白・黒粒含、シルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。内面に回転 撫あり、摩耗。底部は回転糸切り。消耗あり。	
677-2	須恵器 坏	9-105ピット 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並、 やや重。鈹物微。	酸化味強い焼成。内外回転撫痕。割れ口消耗 少。	粘
677-3	須恵器 坏か	9-106ピット 破片	高・(11.8)	還元。硬。灰5Y5/1。密、やや重。 白粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。割れ口消耗あ り。	西毛～北 埼玉か
677-4	土師器 甕	9-108ピット 破片	厚・0.9	酸化。並。橙7.5YR7/6。並、軽。 褐粒多、他含。	胴部片、器厚は厚い。器外面は篋撫で。割れ 口消耗あり。	
677-5	須恵器 坏か	9-112ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。明オリーブ灰2.5GY 7/1。並、やや重い。白粒多、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部整形 不明。割れ口は消耗あり。	粘
677-6	軟質陶器 不明	9-121ピット 破片	厚・0.6	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並、やや軽。	須恵器、大形坏かもしれない。内面に回転撫。 外面整形不明瞭。割れ口の消耗少。	粘
677-7	須恵器 坏	9-124ピット 破片	底・(6.2)	還元。硬。灰N6/1。密、やや重。 白粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形(右回転)。 底部は回転糸切り。割れ口消耗あり。	笠か
677-8	須恵器 甕	9-125ピット 破片	厚・0.7	還元。硬。灰白N7/0。密、重。 白粒、白鈹物含。	紐作り後叩き整形か。外面は平行叩き、内面 当具は素文様。割れ口の消耗少。	太田か
677-9	土師器 甕	9-160ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並、やや軽。褐粒少、他少。	胴部片、器厚は薄い。器外面は縦位方向の篋 削り。割れ口少し消耗あり。	
677-10	土師器 甕口縁	9-193ピット 破片	口・(16.8)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 褐粒含、他鈹物少。	口縁部は「コ」の字状。器外面は篋削り。口 縁部は横撫でを施す。	
677-11	土師器か 不明	9-207ピット 破片	厚・0.8	酸化。並。明赤褐5YR5/8。並、 やや重。白粒含、他少。	軟陶か。器種不明の底部、大形品。消耗少あ り。	
677-12	須恵器 坏蓋	9-210ピット 破片	厚・0.6	還元。硬。灰5Y6/1。並、やや軽。 白粒多、他少。	轆轤成形(左回転)。上半部は回転篋削り。内 面回転撫あり。割れ口少し消耗あり。	笠か
677-13	土師器 坏か	9-217ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙2.5YR6/6。並、 やや軽。褐粒含、他少。	内外面横撫。部分的に黒色がかかる。消耗少し あり。	粘
677-14	須恵器 坏	9-221ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、やや重。褐粒少含。	轆轤成形か。内外に回転条痕あり。割れ口少し 消耗あり。	粘
677-15	土師器 甕	9-227ピット 破片	厚・0.2	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐粒含、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外面は縦 位方向の篋削り篋撫。割れ口少し消耗あり。	
677-16	土師器 坏	9-229ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。白褐粒含、他含。	型作りか。底部は篋削りと型膚。内面は横撫 整形。割れ口消耗あり。	
677-17	須恵器 碗	9-230ピットNo1 破片	厚・0.7	還元。硬。灰10Y6/1。並、 やや軽。白粒多、他含。	内面轆轤目あり摩耗。底面高台貼付後、轆轤 右回転篋削。割れ口の消耗あり。	笠

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
677-18	須恵器 坏	9-231ピット 1/3	底・6.3	還元。硬。灰N5/0。密、やや重。 白粒含、他含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形（右回転）。 底部は回転糸切り。割れ口消耗。	
677-19	土師器 甕	9-233ピット 破片	厚・0.7	酸化。並。におい赤褐5YR5/4。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	外面に篋削目あり。底面篋削。内面撫。割れ 口の消耗あり。	
677-20	土師器 坏	9-234ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。鉍物粒少。	口縁部はやや内湾気味。底部は篋削り、体部 に型膚。口縁部・内面は横撫で。消耗あり。	
677-21	須恵器 坏	9-616ピット 破片	厚・0.5	還元。並。灰白2.5Y8/2。並、 やや重。灰鉍物含、他少。	口縁部片。内外に回転条痕あり。外面に重ね 焼吸炭あり。割れ口消耗。	粘
677-22	須恵器 坏	9-663ピット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰N5/0。密、やや重。 白粒含、他少。	轆轤成形。内外に回転条痕。割れ口消耗少し あり。	笠か
677-23	土師器 坏	9-667ピット 1/4	口・(10.6) 底・(9.9)	酸化。並。灰7.5Y8/2。並、 やや重。褐粒含、他鉍物少。	手捏か。口縁部は内湾気味。底部指など圧痕。 口縁部・器内面は横撫で。消耗少。	13Cか
677-24	土師質土器 皿	9-688ピット	厚・0.7	酸化。並。橙5YR6/6。粗、軽。 白・褐粒含、他含。	轆轤成形(左回転)。内外面回転条痕あり。割 れ口消耗少ない。焼きは赤味強い。	
677-25	土師器 坏	9-693ピット 破片	厚・0.7	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損気味。底部は篋削り、体部 に篋撫。内面は横撫で。消耗あり。	
677-26	須恵器 坏蓋	9-708ピット 1/5	摘み・6.2 口・18.4	還元。硬。灰5Y6/1。密、重。 白粒多、鉍物含。	轆轤成形（右回転）。上半部は上方回転篋削、 下方轆轤目。内面平ら。肉厚。全体消耗。	太田か
677-27	土師質土器 皿	9-836ピット 破片	口・(14.5) 高・3.5	酸化。並。におい橙7.5YR7/4。 粗、軽。白・褐粒鉍物含。	轆轤成形方向不明。底部は回転糸切らしい。 内・外面轆轤目大まか。	16C以降
677-28	土師器 坏	9-842ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐粒多、他少。	口縁部は旧時欠損。底部は篋削り、体部に撫。 内面は横撫で。割れ口消耗あり。	
677-29	土師器 甕	9-853ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。淡黄2.5Y7/4。並、 やや軽。	器内厚く、外面篋削。内面撫。外面被熱色変 あり。割れ口消耗あり。	
677-30	縄文土器 深鉢	9-853P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰白7.5Y8/2 細砂粒・細白色鉍物	文様の施文は認められない。 土師器の可能性も有る。	接・無し
677-31	土師器 甕	9-862ピット 破片	厚・0.8	酸化。硬。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐粒含、他少。	胴部片、器厚は薄い。外面は横方向の篋削 り。割れ口消耗あり。	
677-32	施釉陶器 皿	9-868ピット 破片	厚・0.5	還元。締。釉黒茶褐（鉄釉）。 胎土灰。	内外面轆轤目と鉄釉あり。釉にやや光沢あり。 割れ口消費少しあり。	15・16C 瀬戸美濃
677-33	施釉陶器 水注か	9-878ピット	厚・0.7	還元。締。釉灰釉調。胎土黄灰。	瓶・水注か。外面に薄い施釉あり。内面紐作 後の挽目か回転遅い。割れ口消費少。	中世か 瀬戸美濃
677-34	土師器 甕	9-887ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR7/8。並、 やや重。褐粒多、他含。	厚手。外面に篋撫、被熱吸炭斑あり。内面撫 あり。割れ口消費あり。	
677-35	土師器 甕	9-920ピット 破片	厚・1.0	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/4。 並、やや重。褐粒含、他少。	傾き不明。外面に篋撫あり。内面撫あり。割 れ口の消耗あり。	
677-36	須恵器 坏	9-942ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。青灰5B5/1。密、重。 鉍物微。	口縁部は肥厚するため北埼玉産か。口縁部外 面に重ね焼色変あり、割れ口の消費少ない。	隣接県か
678-1	施釉陶器 鉢	9-952ピット	底・(15.0)	酸化。締。赤褐。密。白粒多、 他少。	内面に卸目あり強く摩耗。底面石目状の膚。 割れ口の消費少。	信楽か
678-2	施釉陶器 德利	9-952ピット 破片	底・(6.6)	還元。締。釉淡黄灰（透明調、 長石釉）、淡茶（鉄釉）。胎土灰。	内面と外面下方、底外面に鉄釉が外面に長石 釉あり。内面轆轤目と、外面削目あり。	19・20C 産不明
678-3	磁器 小碗	9-952ピット 破片	口・(12.0) 高・(3.0)	還元。締。釉淡青（染付）、透明。 胎土白。	外面に葉竹様、内面に口縁下加飾を染付。透 明釉は全面。	20Cか 伊万里系
678-4	須恵器 坏	9-954ピット 破片	厚・0.8	還元。並。灰白5Y7/1。並、 やや軽。白粒含、シルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形か、内面に 轆轤目一条。割れ口消費大。	粘
678-5	磁器 小碗	9-955ピット 口縁部	口・(9.0)	還元。締。釉淡青（染付）。 白磁釉淡々青。胎土白。	外面に竹葉の染付施文。内面口縁下に加飾の 施文あり。	伊万里系 19C
678-6	軟質陶器 焙烙	9-955ピット 破片	厚・0.7	還元。硬。におい黄橙10YR7/3。 並、やや重。褐粒含、他少。	底面に石目状の膚。内面に撫。割れ口の消費 あり。	19・20C 小泉か
678-7	土師器 坏	9-957ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。暗灰黄2.5Y4/2。並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧欠気味。底部は篋削り。内面は横 撫で。割れ口消費あり。	
678-8	磁器 碗	9-957ピット 破片	底・(4.5)	還元。締。釉濃紺（染付、ペロ 藍）、白磁釉白。胎土白。	柳茶碗様の染付施文。高台端部を除き白磁釉。 胎土の白味強い。	19・20C 伊万里系
678-9	陶器 德利	9-957ピット 体部片	厚・0.3	還元。締。釉淡黄緑（外面）、淡 茶褐（内面）。胎土灰。	極めて薄作り。外面に飛鉋施文あり。内面に 薄い鉄釉と口からおよんだ薄緑釉。消費微。	19C 産不明
678-10	磁器 碗	9-959ピット	厚・0.5	還元。締。釉淡青（染付）、白磁 釉白。胎土白。	外面にペロ藍様の染付施文。内外透明釉。割 れ口消費大。	19・20C 伊万里系
678-11	須恵器 碗	9-1070ピット 破片	底・(6.0)	酸化。並。橙2.5Y6/6。並、 やや重褐粒含。	轆轤成形。底面に糸切痕。外面に回転条痕。 割れ口消費あり。	隣接県か

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
678-12	縄文土器 深鉢	9-1076P 覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。褐7.5YR4/3 細砂粒	低い隆帯を縦位施文する。	接・無し
678-13	土師器 甕	9-1080ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外反する。口縁部は横撫でハゼ。内 面ハゼ。割れ口消耗あり。	
678-14	軟質陶器 大皿、盤	9-1098ピット 口縁部	口・(30.0)	中性。締。釉茶灰(透明調)。 胎土黄灰。	内外面施釉、透明感強い。外面回転篋削目、 轆轤目見える。口径から尺皿か。	美濃 18C
678-15	軟質陶器 火入か	9-1131ピット 破片	口・(15.9)	酸化。並。にぶい橙7.5YR5/4。 並、やや軽。金雲母含、他含。	内外面に回転条痕あり。全体に酸化味強い。 割れ口の消耗大。	18~19C
678-16	軟質陶器 鉢	9-1145ピット 破片	厚・1.0	還元。並。オリーブ黒7.5Y3/1。 並、やや軽。鈳物少。	外面に撫。内面に擦痕消耗大。割れ口の消耗 大。	
678-17	軟質陶器 内耳	9-1173ピット 口縁片	厚・1.0	酸化。硬。黒5Y2/1。並。 白粒含、他鈳物少。	内面に接合痕。口縁部の内外面横撫痕。外面 燻付着。	18・19C 小泉か
678-18	土師器 坏	9-1195ピット 破片	口・(15.0) 底・(8.6)	酸化。並。橙5YR8/6。並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	底部は篋削り、体部に篋撫。口縁部・器内面 は横撫で。割れ口少し消耗あり。	
678-19	土師器 甕	9-1217ピット 破片	底・(4.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/6。 並、やや軽。褐粒含、他少。	外面に篋削目あり。内面に撫あり。割れ口の 消耗大。	
678-20	土師質土器 皿	9-1125ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	轆轤成形。内・外面撫。割れ口消耗あり。	
678-21	須恵器 坏か	9-1236ピット 破片	厚・0.6	還元。並。灰10Y7/1。密、 やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。内外回転条痕。消耗 あり。	笠・太田
678-22	土師器 甕	9-1236ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐粒含、他含。	内外面に横撫あり。外面下方に工具による条 痕一条。割れ口の消耗少しあり。	
678-23	土師器 不明	9-1237ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐粒多、他少。	外面に篋削目、内面に撫あり。割れ口の消耗 あり。	
678-24	土師器 甕か	9-1238ピット 破片	厚・0.7	還元。並。にぶい黄褐10YR4/3。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面篋削形の痕跡あり、燻あり。 内面荒れあり。割れ口消耗大。	
678-25	須恵器 坏	9-1282ピット 破片	底・(5.8)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並、やや軽。白粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は回転糸切り。 割れ口羊毛あり。	笠か
678-26	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR7/6 粗粒砂・細礫・チャート	文様の施文は認められない。	接・無し
678-27	須恵器 瓶	9-1322ピット 頸部	厚・0.5	還元。締。灰オリーブ5Y6/2。 密、重。白鈳物少、他少。	内外面に炬久米あり。外面に自然釉。割れ口 の消耗少。	東海搬入
678-28	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰7.5Y5/1 砂粒・細白色鈳物	RL 原体を斜位施文する。	接・無し
678-29	須恵器 碗・鉢	9-1326ピット 底部片	厚・1.0	酸化。軟。橙5YR6/6。並。 白・褐粒多、他少。	胎土と焼成のしつは土師器に近い。底外面手 持篋削と回転擦痕。内面回転条痕。消耗少。	粘
678-30	土師器 坏	9-1332ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/8。並、軽。 鈳物少、シルト質。	底部は篋削りと型膚、内面横撫。割れ口の消 耗あり。	
678-31	須恵器 甕か	9-1338ピット 破片	厚・0.9	還元。硬。灰白5Y8/。密、 やや軽。白粒含、他少。	傾き不明。外面に擦痕。内面に格子様の当具 あり。割れ口消耗大。	粘
679-1	土師質土器 皿	9-1342ピット 破片	口・(7.6)	酸化。並。にぶい橙7.5Y6/4。 並、軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。内外に条痕あり。内面黒色。割れ 口消耗。	
679-2	須恵器 坏	9-1349ピッ 破片	底・(6.0)	還元。並。灰白5Y5/1。並、 やや重。白粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形、内外に回 転条痕あり。割れ口の消耗大。	
679-3	土師器 甕・円盤	9-1368ピット 破片	厚・0.7	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや重。褐粒含、他含。	外面に撫。内面にも撫。割れ口打ち欠きあり。 円盤か。割れ口の消耗少。	
679-4	土師器 甕	9-1386ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、 やや軽。白・褐粒含、他含。	外面に横撫、指圧痕、篋削あり。内面に刷毛 目痕。割れ口の消耗少。	
679-5	土師器 甕	9-1387ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外反する。口縁部は横撫で。割れ口 の消耗あり。	
679-6	須恵器 坏	9-1404ピット 破片	厚・0.6	還元。硬。灰7.5Y6/1。密、 やや重。白鈳物含、他含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は轆 轤右回転糸切り。消耗あり。	太田か
679-7	須恵器 釜か	9-1425ピット 破片	厚・0.8	酸化。並。橙5YR7/6。並、軽。 白・褐粒多、他含。	口縁部片で、羽釜か。轆轤成形。内外面横撫 痕。割れ口の消耗大。	粘
679-8	須恵器 坏か	9-1489ピット 破片	厚・0.5	還元。並。灰白7.5Y7/1。並、 やや軽。白粒多、他少。	口縁部は旧時に消耗。轆轤成形。割れ口の消 耗大。	粘
679-9	須恵器 皿	9-1535ピット 底部片	厚・0.8	還元。並。にぶい黄橙10YR6/3。 並、やや軽。褐粒含、他微。	内面轆轤目。底面糸切あり。割れ口の消耗あ り。少しシルト質。消耗あり。	粘
679-10	土師器 甕	9-1535ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、やや軽。褐粒多、他含。	傾き不明。外面は篋削り、内面は撫で。割れ 口少し消耗あり。	

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
679-11	須恵器 坏	9-1544ビット 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰白5Y7/1。並、 やや軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。内外に轆轤目あり。 割れ口消耗あり。	笠か粘
679-12	土師器 甕	9-1546ビット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並、やや重。褐粒含、他少。	外面にササラ状の篋削。内面撫。 割れ口の消耗少しあり。	
679-13	土師器 甕	9-1549ビット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 褐粒含、他含。	傾き不明。外面ササラ状の篋削。 内面撫。割れ口少し消耗あり。	
679-14	土師器 甕	9-4236ビット 破片	厚・0.5	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並、やや軽。褐・白粒含、他少。	内外面に横撫痕。外面にさらに指 圧痕、下方に篋撫あり。割れ口 の消耗あり。	
679-15	土師器 甕	9-1563ビット 破片	厚・0.4	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並、やや重。白・黒粒含、他少。	傾き不明。器厚は薄い。外面は 篋削あり。内面撫。割れ口の消 耗少。	
679-16	須恵器 坏か	9-1565ビット 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや重。鉍物粒微。	内・外面に回転による横撫痕 あり。酸化気味強い。割れ口消 耗微。	
679-17	土師器 甕か	9-1570ビット 破片	厚・0.5	酸化。硬。黒褐5YR3/1。並、 やや軽。鉍物含、他少。	傾き不明。薄作り。外面に篋削 様あり、吸炭あり。小片のため 良く判らず、消耗あり。	
679-18	須恵器 坏	9-1571ビット 破片	厚・0.6	還元。並。灰白5Y7/2。並、 やや軽。褐粒含、他少。	内外面に横撫見え、割れ口の 消耗大。	シルト質
679-19	須恵器 坏か	9-1579ビット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰7.5Y5/1。並、 やや重。白粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤 成形。内外に回転条痕あり。割 れ口の消耗あり。	
679-20	須恵器 釜	9-1588ビット 体部片	厚・0.8	酸化。並。橙2.5YR6/6。並、 やや重。白・褐粒含、他含。	外面に工具条痕あり。内面撫 篋形。割れ口消耗微。羽釜かは 不明。	粘・陶
679-21	土師器 坏	9-1593ビット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 鉍物含。	薄作。底面に篋削、型膚あり。 内面に撫。割れ口に消耗あり。	
679-22	須恵器 坏か	9-1600ビット 破片	厚・0.3	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。並、 やや重。白粒含、他少。	消耗少。外面に轆轤目あり。少 し薄作り。割れ口消耗少。	
679-23	須恵器 広口甕	9-1601ビット 口縁部破片	厚・0.6	還元。並。灰N5/0。密、やや重。 白鉍物含、他少。	特異な形状、稀少器形。内外 面回転条痕。割れ口消耗少。	太田か
679-24	土師器 不明	9-1604ビット 不明	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/8。 並、軽。鉍物少。	小片であること、消耗大である ことなど、器種、整形不明瞭。	
679-25	須恵器 坏か	9-1608ビット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。並、やや 軽。白粒含、他少。	割れ口少し消耗。内外面に回 転条痕あり。焼成少し燻される。	粘
679-26	土師器 甕か	9-1611ビット 破片	厚・0.6	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並、やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部片である。小片のため 器種不明瞭。割れ口消耗少ない。	
679-27	須恵器 瓶	9-1611ビット 破片	厚・0.7	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。密、 重。白・黒鉍物含、他少。	内外面に回転条痕あり。自然 軸外面に少しかかる。割れ口 の消耗大。	西毛～近 県か
679-28	須恵器 甕	9-1613ビット 体部破片	厚・0.8	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並、やや重。白鉍物含、他少。	割れ口消耗大。外面平行叩後、 撫。内面同心円当て目後撫。 割れ口消耗大。	太田か
679-29	土師器 甕か	9-1621ビット 頸部片か	厚・0.6	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並、軽。白・褐粒含、他少。	小片のため器種不明瞭。内・ 外面撫。割れ口消耗あり。	
679-30	須恵器 碗	9-1624ビット 破片	底・(6.6)	還元。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並、軽。白粒含、他含。	底面に糸切痕。内面轆轤目 あり。割れ口消耗大。色変あり 被熱ありか。	
679-31	土師器 甕	9-1625ビット 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	頸部下の破片。外面に篋削、 横撫あり。内面に撫あり。割 れ口少し消耗。	
679-32	土師器 台付甕か	9-1626ビット 破片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並、やや重。白・褐粒含、他少。	傾き不明。器種は台付甕の脚 部片に見える。外面に横撫 あり。内面不明瞭。消耗大。	
679-33	須恵器 坏か	9-1626ビット 破片	厚・0.3	還元。硬。灰5Y5/1。並、やや 重。白鉍物・粒含、他少。	内外面に回転条痕あり。器肉 やや薄い。割れ口消耗大。	
679-34	土師器 甕	9-1632ビット 体部破片	厚・0.2	酸化。並。灰黄褐10YR4/2。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	傾き不明。内面撫か、外面 篋削。外面被熱吸炭あり。割 れ口少し消耗。	
679-35	須恵器 坏	9-1633ビット 底部破片	底・(8.0)	還元。並。にぶい黄橙10YR6/3。 並、やや軽。白粒含、他少。	底面に糸切痕と回転篋削痕ら しき跡あり。割れ口の消耗 大。	粘
679-36	須恵器 坏	9-1637ビット 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰N6/0。密、やや 重。白鉍物含、他少。	内外面回転条痕あり。口縁部 付近に重ね焼色変あり。割 れ口消耗あり。	太田か
679-37	土師器 甕	9-1643ビット 破片	厚・0.3	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	体部片。外面に篋削。内面に 撫跡。割れ口消耗少。	接合2片
679-38	土師器 甕か	9-1648ビット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	傾き不明。割れ口の消耗大 きく、器種の不明瞭。外面 篋削。	
679-39	須恵器 坏	9-1656ビット 破片	厚・0.4	還元。並。黒褐10YR2/2。密、 やや重。白鉍物含、他少。	内外面に回転痕あり。被熱 色変あり。内外吸炭斑少し あり。割れ口消耗少しあり。	粘
680-1	土師器 甕	9-1653ビット 破片	厚・0.4	酸化。並。赤褐2.5YR4/6。 並、軽。白・褐粒含、他少。	小形甕の頸部で、内外面に 横撫。割れ口消耗大。外面 少し吸炭。	

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
680-2	石製品 砥石	9-1653ピット 完形	粗粒輝石安山岩 635	遺存長・9.6 幅・11.1 厚・5.8	欠損は各々旧時。部分的に金属も磨いたらしいが、他に軟質の主体を磨いたらしい。	
680-3	須恵器 坏蓋	9-1673ピット 1/3	蓋縁 (3.8)	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並、軽。 白・黒粒含、他少。	摘み端のみあり新線様。外面上方回転篋削。 内面回転条痕あり。割れ口消耗大。	粘
680-4	須恵器 碗	9-1675ピット 底部破片	底部 (9.2)	還元。並。灰白5Y7/1。並、軽。 白・黒粒含、鉍物少。	高台貼付。割れ口消耗大。内面底使用摩耗か。 割れ口消耗少。	粘
680-5	須恵器 坏か	9-1678ピット 口縁破片	厚・0.3	還元。硬。灰 N4/0。密、重。 白鉍物多含。	線少し内湾気味。内外回転条痕。割れ口消耗 少ない。	太田か
680-6	須恵器 坏	9-1680ピット 破片	厚・0.9	還元。硬。黄灰2.5Y7/2。並、軽。 黒粒含、他少。	器肉少しない。底面に糸切痕。内面轆轤目。 割れ口消耗あり。	粘
680-7	須恵器 坏	9-1688ピット 口縁部片	口・(13.0)	還元。並。灰7.5Y6/1。並、重。 白・黒粒含、他鉍物粒少。	口縁部は外傾する。轆轤成形 (右回転)。 底部欠損のため切り離し技法不詳。	粘・陶
680-8	土師器 甕	9-1700ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒多、他少。	傾き不明。外面篋削、撫あり。内面撫あり。 割れ口消耗。	
680-9	土師器 甕	9-1701ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並、やや重。白・褐粒含、他少。	頸部直下片か。外面篋削、撫。内面撫あり。 割れ口消耗大。	
680-10	土師器 甕	9-1706ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。灰褐5YR4/2。並、軽。 白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面篋削、内面撫あり。割れ口消 耗あり。	
680-11	須恵器 坏か	9-1716ピット 破片	厚・0.4	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並、 やや軽。白粒含、他少。	割れ口消耗あり。内外面回転条痕。	笠か
680-12	須恵器 坏か	9-1717ピット 破片	厚・0.4	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並、軽。 白粒多、他少。	全体に消耗大。内外に回転条痕あり。焼成は 極めて軟質。	粘
680-13	土師器 甕	9-1720ピット 頸部破片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐5YR3/2。 並、軽。鉍物少。	内外面に回転条痕あり。外面に煤附着。内面 横撫痕。割れ口少し消耗。	
680-14	須恵器 坏か	9-1721ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並、軽。鉍物少。	酸化味強い。内外面に轆轤目あり。割れ口消 耗大。	粘
680-15	土師器 甕	9-1723ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。黒褐5YR3/2。並、軽。 白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面篋削、煤附着。内面撫あり。 割れ口消耗。	
680-16	土師器 坏	9-1752ピット 破片	厚・0.2	酸化。並。にぶい褐7.5YR7/3。 並、軽。褐粒含、他少。	外面撫、内面撫整形。割れ口の消耗少。白黄 味があり県外製品か。	県外製品 か
680-17	須恵器 坏か	9-1731ピット 破片	厚・0.3	還元。並。緑黒10G2/1。並、軽。 白粒含、他少。シルト質。	割れ口消耗あり。内外面に回転条痕あり。外 面に重ね焼吸炭あり。	粘
680-18	須恵器 不明	9-1733ピット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y6/1。密、やや重。 白鉍物多含。	内面のみ旧部残存。内面使用摩耗。外底面剥 落。割れ口消耗少。	太田か
680-19	土師器 坏	9-1737ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5Y6/6。	体部外面にササラ状の篋削。内面に撫痕、割 れ口消耗大。	
680-20	土師器 甕	9-1737ピット 口縁部片	口・(11.0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並、軽。白、褐粒含、鉍物少。	口縁部の内外に接合面。外面は篋削り、内面 は撫で、口縁部は横撫でを施す。外面黒斑。	
680-21	土師器 甕	9-1743ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。灰褐5YR4/2。並、 やや重。金雲母、白粒含。	体部下半片か。外面篋削、被熱吸炭。内面撫。 割れ口消耗少。	
680-22	土師器 坏	9-1753ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、軽。 白粒多、他少。	傾き不明。薄作。外面撫、内面撫。割れ口消 耗大。	
680-23	須恵器 碗	9-1761ピット 底部1/2	底・(7.6)	還元。硬。灰5Y6/1。密、重。 灰色鉍物含、他微。	口縁部は欠損する。轆轤成形 (右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。胎土異風。	隣接県か
680-24	須恵器 坏	9-1761ピット 1/4	口・(12.6) 底・(6.0)	還元。軟。灰5Y6/1。粗、軽。 白粒含、他鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形 (右回転)。底部 は回転糸切り。内、外面に轆轤目。少し消耗	粘
680-25	土師器 甕	9-1771ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、軽。白・褐粒含。	傾き不明。外面篋削、撫あり。割れ口消耗大。 外面少し吸炭。	
680-26	須恵器 甕	9-1780ピット 破片	厚・0.6	還元。硬。灰 N6/0。密、重。 白鉍物、黒粒含、他少。	傾き不明。外面に平行叩。内面に撫痕と当て 目あり。割れ口少し消耗。	近接県か
680-27	土師器 坏	9-1780ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/8。並、軽。 白・褐粒含、他含。	薄作。外面底に篋撫。内面撫あり。割れ口消 耗あり。	
680-28	須恵器 坏	9-1784ピット 底部破片	厚・0.4	還元。硬。灰白5Y7/1。並、 やや軽白粒含、他少。	内外面に回転条痕あり。底面に糸切痕かすか。 割れ口消耗大。	粘。
680-29	須恵器 内黒、碗か	9-1785ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。赤褐7.5YR5/3。 並、軽。白粒多、他含。	轆轤成形。内面に研磨を施す。外面に手持篋 削。口縁付近横撫。割れ口消耗少。	
681-1	土師器 甕	9-1788ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	外面下方に篋削。口縁部の内外面横撫あり。 割れ口全体消耗大	
681-2	須恵器 坏	9-1788ピット 破片	厚・0.7	還元。硬。灰白7.5Y7/1。並、軽。 白粒多含、褐粒少。	内面に轆轤の回転条痕。底面に糸切痕。割れ 口の消耗大。	粘

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
681-3	土師器 坏	9-1795ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 鉾物少。	外面底側に篋削。外面上方に型腐。内面工具 条痕らしき凹みあり、不明瞭。	
681-4	須恵器 坏蓋	9-1808ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。灰5Y5/1。密、重。 白鉾物含、他少。	口縁端部やや丸い。轆轤成形。割れ口消耗大。	太田か
681-5	軟質陶器 焙烙か	9-1815ピット	厚・0.7	還元。硬。浅黄橙7.5YR8/4。 粗、やや軽。白・褐粒含、他少。	内面に撫、底面に石目状の膚と砂附着。割れ 口消耗大。	
681-6	軟質陶器 焙烙か	9-1815ピット	厚・0.7	還元。並。にぶい黄橙10YR6/3。 粗、軽。鉾物少。	内外面に回転条痕あり。割れ口の消耗大。焼 成外面酸化、内面吸炭。	
681-7	土師器 甕	9-1848ピット 体部破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/3。 並、軽。褐粒含、他鉾物少。	外面にササラ状の篋削目。内面撫。割れ口の 消耗少ない。	
681-8	土師器 甕	9-1850ピット 口縁部破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 褐粒少、他微、シルト質。	内外に横撫あり。割れ口の消耗、シルト質の ためか大。	
681-9	須恵器 甕	9-1873ピット 破片	厚・1.3	還元。硬。灰N6/0。密、重。 白鉾物少、他微。	外面に平行叩と撫あり。内面に素文の当て目 と撫あり。割れ口の消耗あり。	太田か近 接県
681-10	須恵器 坏	9-1876ピット 完形	口・11.1 底・7.0	還元。締。灰N6/0。密、重。 白・黒粒含、鉾物微。	口縁部は外傾する。底部は回転糸切り後周辺 を回転篋削。外面に重焼色変と火禿痕。	太・笠
681-11	須恵器 坏	9-1900ピット 破片	底部・(8.2)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、重。褐粒含、他少。	底部は回転か大まかな手持の篋削か不明の 削。内面小ハゼあり。	笠か
681-12	須恵器 坏	9-1901ピット 1/3	口・(13.2)	還元。並。灰黄2.5YR7/2。 並、やや重。褐粒含。	轆轤成形(右回転)。外面に小ハゼ。底部欠損。 口縁部周辺に重ね焼色変あり。	接合2片 粘・陶
681-13	須恵器 坏	9-1902ピット 底部片	底・(6.0)	還元。締。灰7.5Y5/1。密、重。 白粒・針状物質入る、他微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。胎土 中に多量に針状物質入る。少し消耗。	北埼玉
681-14	須恵器 釜か	9-1910ピット 破片	厚・0.7	酸化。並。浅黄橙10YR8/3。 並、軽。褐粒多、シルト質。	外面に篋削。内面に工具による撫あり。割れ 口の消耗大。	粘
681-15	施釉陶器 瓶類	9-1911ピット	厚・0.3	中性。締。釉透明調、鉄釉。 胎土灰。	外面に施釉、上方に鉄釉の小さな掛け流しあ り。内面轆轤目あり。割れ口消耗少。	18・19C 産不明
681-16	土師器 坏	9-1911ピット	厚・0.3	酸化。並。明赤褐5Y5/6。並、軽。 褐粒含、他少。	薄作り。表面に篋削。内面に撫。割れ口少し 消耗あり。	
681-17	土師器 甕	9-1911ピット 体部破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並、軽。褐粒含、他少。	傾き不明。外面篋削と少し吸炭。内面撫。割 れ口少し消耗。	
681-18	土師器 甕	9-1920ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。	頸部下片か。外面に篋削。内面に撫。割れ口 少し消耗。	
681-19	須恵器 坏	9-2047ピット 底部片	底・(6.6)	還～酸化。軟。浅黄7.5Y7/3。 粗、やや軽。白粒微、他微。	口縁部欠損。轆轤成形。底部糸切り。内面に不 明墨字あり。割れ口消耗。	墨書-162
681-20	石製品 穀白、下白	9-1972ピット 1/2	角閃石安山岩 5300g	径・(26.6)	目無し白。軸穴あり。整形は表面が荒く、側 部はやや整う。石質は重く硬い。欠損旧時。	
681-21	土師質土器 皿	10-17ピット 底部片	底・(4.6)	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/3。 粗、軽。鉾物少、シルト質。	轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口消耗あ り。	中世
681-22	土師器 甕	10-21ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい橙5YR6/6。 並、軽。鉾物含。	傾き不明。外面篋削。内面撫。割れ口消耗あ り。	
681-23	須恵器 坏	10-23ピット 口縁部片	厚・0.6	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 粗、軽。白・黒粒含、他少。	内外面轆轤目あり。割れ口の消耗大。胎土極 めて軽い。	粘
681-24	須恵器 坏	10-26ピット 破片	厚・0.5	還元。硬。灰10Y6/1。密、重。 褐・灰粒、鉾物少。	口縁部は旧欠損。轆轤成形。外面に轆轤目あ り。割れ口消耗大。	産不明近 接県か
681-25	土師器 甕か	10-38ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。橙2.5YR6/8。並、軽。 褐粒多、他含。	傾き不明。内外面表・裏面消耗し整形不明瞭。	
681-26	陶器 甕	10-85ピット 破片	重さ・6g	還～中性。締。色暗オリーブ灰2.5GY 4/1。密、やや重。白鉾物含、他極多。	備前焼様形態の甕の頸部であるが非備前胎 土。外面自然釉。内面紐作痕、指圧痕。	16～18C 産不明
681-27	土師質土器 皿	10-199ピット 底部片	底・(5.5)	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り回転方向不明。 割れ口消耗大。	中世か
681-28	土師質土器 皿	10-201ピット 口縁部片	厚・0.5	酸化。軟。灰白2.5Y8/2。並、軽。 白・褐粒含、他少。	轆轤成形。内外に回転痕あり。割れ口消耗大。	中世
681-29	硝子 ビー玉		長さ・1.5 巾・1.3	ガラス製。淡緑色白乳濁の縞と 淡緑透明のネリ合せ。	使用か小破あり。色調は明るく古様。小気泡 多。	
681-30	軟質陶器 埴か	10-204ピット 口縁部片	厚・0.9	酸化。並。灰褐5YR5/2。粗、軽。 褐粒含、他少。	埴か焙烙か不明。内外面に撫あり。口縁端部 特徴的。外面に煤附着。割れ口消耗少。	16～18C
682-1	土師質土器 皿	10-207ピット 破片	口・(10.9)	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/4。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内外 面に轆轤目、荒斑あり。	中世か
682-2	土師器 甕	10-211ピット 破片	厚・0.9	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並、やや重。白・褐粒含、他少。	小片のため傾き不明。外面吸炭。研磨状単位 2条、撫。内面、割れ口とも消耗大。	

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
682-3	土師器 高坏	10-240ピット 破片	口・(15.0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、やや重。白・褐粒含、他微。	外面に撫、篋撫、接合痕あり。内面に放射状 暗文あり。内外消耗。	
682-4	軟質陶器 鳩か	10-265ピット 破片	厚・0.8	酸化。並。暗色赤褐5YR3/2。 粗、軽。金雲母、褐粒含、他少。	外面煤、撫、意匠不明の押圧施文。内面撫。 割れ口消耗。	17~19C
682-5	須恵器 蓋	10-286ピット 破片	厚・0.7	還元。硬。灰5Y6/1。粗、軽。 白・黒・褐粒含、他含。	体部外面轆轤右回転の篋削あり。内面轆轤目 あり。割れ口消耗大。	粘
682-6	軟質陶器 鳩	10-328ピット 破片	厚・1.0	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 粗、やや重。鉍物多。	内外面吸炭。外面研磨様の光沢あり。焼成芯 黒、褐色、燻の5層気味。少し消耗。	16~19C
682-7	土師質土器 皿	10-466ピット 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。粗、軽。 白・褐・黒粒含、他少。	轆轤成形。割れ口に新、古あり。古い割れ口 は少し消耗。	16~19C
682-8	軟質陶器 鳩火鉢か	10-466ピット 底部片	厚・0.7	酸化。硬。にぶい黄橙10YR6/4。 並。白・褐粒含、他少。	内面に回転条痕。外面に底状の膚あり。割れ 口消耗少。	16~18C
682-9	土師質土器 皿	10-476ピット 口縁部片	口・(11.6)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	轆轤成形。内外に轆轤右回転条痕あり。割れ 口の消耗少。	15~17C
682-10	軟質陶器 搦鉢	10-476ピット 破片	厚・1.5	酸化。硬。灰7.5Y5/1。並、軽。 黒・褐粒含、他少。	内面下方の使用摩耗大。外面下方に篋削、上 方圧痕と撫。外面灰色燻、消耗少。	14~16C
682-11	石器 打製石斧	10-476ピット	ホルンフェルス			
682-12	土師器 甕	10-377ピット 破片	厚・0.7	酸化。硬。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐・黒粒含、他少。	厚手である。外面黒色燻、下半に篋削。内面 赤褐味強く、撫あり。割れ口消耗大。	6C
682-13	須恵器 坏か	11-3ピット 口縁部片	厚・0.3	還元。並。にぶい黄橙10YR6/3。 並、軽。褐粒含、他少。	口縁部の内外面に回転条痕。割れ口の消耗大。	9・10C

1号窯

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
683-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(12.4)	酸化・硬。明赤褐5YR5/6。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
683-2	土師器 坏・皿	覆土 破片	口・(13.7)	酸化・硬。橙5YR6/6。並。 雲母微、他微。	口縁部は内湾気味。型作りか。底部は篋撫、 口縁部・器内面は横撫で整形。	
683-3	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(19.0)	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6。 並。白色・褐粒含、他鉍物少。	口縁部下面に接合面。器外面は篋削り、器 内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
683-4	土師器 台付甕	No.3 脚部1/2	底・(18.8)	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3。 粗、軽。白・褐粒含、鉍物少。	外面被熱。内外横撫。割れ口は旧時欠損。甕 部との接点で割れている。	
683-5	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(7.4)	酸化・軟。鈍黄2.5Y6/4。並、 やや軽。黒粒・鉍物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転篋削り。焼成 甘い。内面は整い滑らか。	焼・陶
683-6	石造品 磨石	覆土 破片	砂岩 170g	幅・3.6+α	川原石を利用し、点描部は転石面。欠損旧時 摩耗状態は、研磨主体か軟らかい凹凸。	
683-7	焼土塊	破片	115g	酸化・軟。橙7.5YR6/6。粗、 軽。マンガン様小円粒多。	スサほか夾雑物見えず自然材か。マンガン粒 もしくは、鉄分小塊多く、橙色酸化。	
683-8	壁体使用 材か	No.1 破片	600g	酸化・軟。橙7.5YR6/6。粗、 軽。マンガン様小円粒多。	スサほか夾雑物見えず自然材か。表面、奥小 口、右側部に面整形の削部あり。	

1区土器溜

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
697-1	縄文土器 深鉢	土器溜No.842 破片	口・(27.3)	酸化・軟。褐7.5YR4/3 粗粒砂・白色鉍物・赤褐色粒子	4点の合成。 風化顕著。8単位の把手を具備し、波状口縁 になる。把手は、3種類が認められ、図中正 面を中心把手とし4715が対の位置に、4713が 他の6カ所の把手になると考えられる。口縁 文様は、把手から派生する三角形区画の隆帯 をモチーフとし内側に押し引文を施し、隆帯の 端は瘤状に膨れ、把手寄りには三叉文を施文。	
697-2	縄文土器 深鉢	土器溜No.842 破片	厚・0.7			
697-3	縄文土器 深鉢	土器溜22区 破片	厚・0.7			
697-4	縄文土器 深鉢	土器溜No.358 破片	厚・1.0			
697-5	縄文土器 深鉢	土器溜No.895 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐5YR5/6 金雲母・粗粒砂	横位隆帯間に三角形・楕円状に隆帯を施文し、 隆帯下端にキャタピラ文を施す。	接・無し
697-6	縄文土器 深鉢	土器溜No.520 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 金雲母・細粒角礫	波状口縁(単位数不詳)。口縁直下にキャタ ピラ文を配し、更に直下に連続三叉文を配す。	接・無し
697-7	縄文土器 深鉢	土器溜No.1 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 粗粒砂角粒多	横位隆帯区画内の内側に波状隆帯文を施し、 隆帯下端に連続刺突文を施す。	接・無し

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
697-8	縄文土器 深鉢	土器溜No1000 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 金雲母・白色鈹物・粗粒砂	楕円の隆帯区画をモチーフとし、楕円隆帯の 内側に押引文・竹管波状文を施す。	接・無し
697-9	縄文土器 深鉢	土器溜No1136 破片	厚・0.9	酸化・並。褐5YR4/4 白色鈹物・白色粒子・細砂粒	横位の隆帯楕円区画文を主文とし、隆帯の下 端に連続刺突文を施す。	接・無し
697-10	縄文土器 深鉢	土器溜No1061 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/4 金雲母・白色鈹物	大形個体。縦横の隆帯を施文し区画文とし、 隆帯下端に連続刺突文を施す。	接・無し
697-11	縄文土器 深鉢	土器溜No1312 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 白色微粒子・細砂粒	横位の隆帯楕円区画文を主文とし、隆帯の下 端に連続刺突文、区画内に波状文を施す。	接・無し
697-12	縄文土器 深鉢	土器溜一括 破片	厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR4/4 金雲母・細砂粒・白色鈹物	平行垂下する隆帯を配し、隆帯の下端に連続 刺突文を施す。	接・無し
697-13	縄文土器 深鉢	土器溜18区 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 金雲母・白色微粒子	横帯区画隆帯に重複させ楕円区画隆帯を施す。 楕円区画隆帯の内側に連続刺突文を施す。	接・無し
697-14	縄文土器 深鉢	土器溜No198 破片	厚・1.0	酸化・並。褐5YR4/4 金雲母・白色鈹物	大形個体。縦直線・弧線の隆帯を垂下させ、 隆帯の下端に連続刺突文を施す。	接・無し
697-15	縄文土器 深鉢	土器溜18区 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 金雲母・白色鈹物	大形個体。横位の隆帯を施文し、直下に弧線 隆帯を配する。	接・無し
698-1	縄文土器 深鉢	土器溜No881 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 金雲母・白色鈹物	大形個体。隆帯による縦横の区画文を構成す る。器面の風化顕著。	接・無し
698-2	縄文土器 深鉢	土器溜No442 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 角粒粗粒砂・白色鈹物	波状口縁の波頂部。冠部直下に孔を穿ち、直 下から隆帯を垂下させる。	接・無し
698-3	縄文土器 深鉢	土器溜No1440 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 金雲母・白色鈹物・粗粒砂	口唇部に刻みを施し、耳手の把手を貼付する。 口縁部は2条の押引文を施す。	接・無し
698-4	縄文土器 深鉢	土器溜No1407 破片	厚・1.0	酸化・並。灰褐7.5Y4/2 粗粒白色鈹物・粗粒砂・金雲母	横位の楕円状隆帯の両端が淡黄手状に表出 し内外に押引文を施す。	接・無し
698-5	縄文土器 深鉢	土器溜No383 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白10YR8/2 金雲母・白色鈹物	大形個体の破片。文様は認められない。	接・無し
698-6	縄文土器 深鉢	土器溜No629 破片	厚・0.6	酸化・軟。黄灰2.5Y4/1 金雲母・白色鈹物・粗粒砂	8単位の波状口縁。口縁に楕円隆帯区画文を 施し、直下に隆帯連弧文を施す。	接・無し
698-7	縄文土器 深鉢	土器溜No836 破片	厚・0.8	酸化・並。黒褐色 YR3/1 白色鈹物・白色粒子	4単位の波状口縁。波頂部に刻みを施す。口 唇部は幅が広く平坦。	
698-8	縄文土器 鉢類	土器溜No531 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 セリサイト・細粒角礫	浅鉢の可能性が有る。丸味を帯強く内傾する。 三角形の三叉文の左右に連続刺突文を施す。	接・無し
698-9	縄文土器 深鉢	土器溜No10 破片	厚・0.8+α	酸化・並。褐7.5YR4/3 細砂粒・白色微粒子・細粒角礫	横位の隆帯を楕円状に区画する。 4733と同一個体。	接・無し 五領ヶ台
698-10	縄文土器 浅鉢	土器溜No865 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙5YR6/3 角粒粗粒砂・白色微粒子	丸味を帯びた口縁が内傾する。口縁部に弧状 の陰刻文を施す。	接・無し
698-11	縄文土器 深鉢	土器溜一括 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 金雲母・白色鈹物・デイサイト	器面の風化が著しく、文様を欠損するが、部 分的に円形の刺突文が残存する。	接・無し
698-12	縄文土器 深鉢	土器溜No930 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 金雲母・白色鈹物	楕円区画隆帯間に細い紐状の隆帯を配す。	接・無し
698-13	縄文土器 深鉢	土器溜No.7 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 細砂粒・白色微粒子・細粒角礫	横位の隆帯を楕円状に区画し、直下に連弧文 を配し、間隙に三叉文を施す。	接・無し 五領ヶ台
698-14	縄文土器 深鉢	土器溜No236 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/3 金雲母・白色微粒子	連続刺突文により文様を構成する。	接・無し
698-15	縄文土器 深鉢	土器溜まり 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙5YR6/3 白色鈹物・白色粒子・砂粒	深鉢の把手。隆線により人面様の文様を表出。 内部は中空。	接・無し
698-16	縄文土器 有孔器付土器	土器溜No308 破片	口・(17.0)	酸化・並。鈍橙5YR6/4 角粒粗粒砂・白色鈹物	器形は壺形。胴部中に最大径を有すると考 られる。孔は推定15~17個と推定される。	接・無し
698-17	縄文土器 深鉢	土器溜18区 底部完存	底・9.2	酸化・並。鈍赤褐5YR5/3 金雲母・白色鈹物	文様は認められない。器内面に赤褐色顔料が 厚く全面に残る。	接・無し
698-18	土製品 円盤	土器溜No245 完存	径・3.0	酸化・並。赤褐5YR4/6 金雲母・白色鈹物	深鉢の胴部片を転用する。キャタピラ文乃至 連続爪形文が認められる。	接・無し
698-19	土製品 円盤	土器溜No256 完存	径・4.2	酸化・並。鈍橙5YR6/4 金雲母・白色鈹物・白色微粒子	深鉢の胴部片を転用する。文様は認められな い。	接・無し
699-1	石器 剥片石器	土器溜まり 完存	チャート 重・12.3	長・3.9。幅・4.45。厚・0.75 チャート	1側縁に刃部加工を施す。	
699-2	石器 剥片石器	土器溜まり 完存	チャート 重・23.52	長・5.15。幅・3.95。 チャート	1側縁に刃部加工を施す。	
699-3	石器 剥片石器	土器溜まり 完存	チャート 重・17.9	長・4.15。幅・2.7。厚・1.65 チャート	1側縁に刃部加工を施す。	

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
699-4	石器 剥片石器	土器溜まり 完存	チャート 重・20.89	長・3.6。幅・3.7。厚・1.6 チャート	ドリルか。2側縁に加工を施し、突出を表出している。	
699-5	石器 スクレイパー	土器溜覆土 完存	ホルンフェルス 重・81	長・4.9。幅・8.6。厚・1.6 ホルンフェルス	縦長剥片の片側に刃部加工を施す。片面に礫面を残す。	
699-6	石器 打製石斧	土器溜No385 完存	黒色頁岩 重・598	長・10.6。幅・7.6。厚・6.3 黒色頁岩	両側部側に顕著な打痕が認められ、先端側にも顕著に認められる。	
699-7	石器 スクレイパー	土器溜No883 完存	黒色頁岩 重・28	長・4.0。幅・6.2。厚・1.3 黒色頁岩	2側面に平坦面を有する。刃部加工は先端側に施す。	
699-8	石器 打製石斧	土器溜No608 完存	流紋岩 重・120	長・10.2。幅・5.6。厚・1.8 流紋岩	撥形。刃部・側部の片側に礫面を残す。側部加工は偏りが有る。	
699-9	石器 スクレイパー	No32 完存	黒色頁岩 重・70	長・9.2。幅・5.1。厚・1.7 黒色頁岩	頭部に平坦面を残す。刃部の丸い撥形状の形状を呈する。刃部は丸い。	
699-10	石器 スクレイパー	土器溜No.3 完存	黒色頁岩 重・29	長・5.9。幅・5.9。厚・1.2 黒色頁岩	三角形で、3辺の中途に刃部加工を施す。作りは粗雑。	
699-11	石器 打製石斧	土器溜No922 1/2	ホルンフェルス 重・348	長・12.0。幅・6.7。厚・3.2 ホルンフェルス	撥形基調。器厚が厚い。一部に礫面を残す。2側辺加工が顕著。刃部加工は少ない。	
699-12	石器 打製石斧	土器溜24区 完存	ホルンフェルス 重・113	長・9.7。幅・5.6。厚・1.7 ホルンフェルス	撥形。表裏面に顕著な剝離平坦面を残す。周辺加工は顕著で比較的薄い作り。	
699-13	石器 打製石斧	土器溜No321 完存	変質安山岩 重・115	残存長・8.4。幅・4.9 厚・2.0。変質安山岩	刃部側を欠損。短冊形基調か。表裏面に礫面を残す。加工は軽易。	
700-1	石器 打製石斧	土器溜No118 完存	ホルンフェルス 重・1093	長・19.1。幅・11.8。厚・3.9 ホルンフェルス	撥形。表裏面に礫面を残し、大雑把な成形が目立つ。側部調整は片側に偏る。	
700-2	石器 礫石器	土器溜No492 完存	粗粒輝石安山岩 重・157	長・8.5。幅・4.6。厚・3.4 粗粒輝石安山岩	上下両端が打ち叩く行為による欠損状態。石器工作のツールか。	
700-3	石器 擦石	土器溜No464 完存	粗粒輝石安山岩 重・335	長・10.0。幅・9.0。厚・2.8 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、敲打痕が認められる。小口は剝落が認められる。	
700-4	石器 敲石	土器溜No426 完存	ホルンフェルス 重・397	長・10.0幅・89.2。厚・3.2 ホルンフェルス	表裏面に礫面を残す。片面には1次剝離面が大きく残り、使用に伴う剝離が認められる。	
700-5	石器 石皿	土器溜 一部欠損	雲母石英片岩 重・5250	長・26.0。幅・29.4。厚・4.0 雲母石英岩	使用面の中央に敲打痕・集中打痕が認められる。裏面には孔が多く認められる。	
701-1	石器 擦石	土器溜28覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・200	長・6.7。幅・6.2。厚・3.5 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅する。	
701-2	石器 擦石	土器溜覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・87	長・5.4。幅・4.4。厚・3.3 粗粒輝石安山岩	顕著な使用痕は認められないが、形状は石器と考えられる。	
701-3	石器 擦石	土器溜No827 完存	粗粒輝石安山岩 重・252	長・7.8。幅・6.4。厚・4.3 粗粒輝石安山岩	裏面の中央部が磨滅する。	
701-4	石器 擦石	土器溜No105 完存	粗粒輝石安山岩 重・478	長・10.4。幅・8.2。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。側部にも敲打痕が認められる。	
701-5	石器 擦石	土器溜30覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・502	長・9.5。幅・8.5。厚・3.9 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、側部に打痕が認められる。	
701-6	石器 擦石	土器溜No670 完存	粗粒輝石安山岩 重・305	長・7.9。幅・7.1。厚・5.1 粗粒輝石安山岩	風化顕著。恐らく擦石と考えられる。	
701-7	石器 擦石	土器溜覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・401	長・9.9。幅・8.2。厚・3.5 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、孔を穿つ。小口には敲打に伴う剝離が認められる。	
701-8	石器 擦石	土器溜No432 完存	粗粒輝石安山岩 重・442	長・13.0。幅・5.4。厚・4.5 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、側部に磨滅した集中打痕が認められる。	
701-9	石器 擦石	土器溜10区 完存	粗粒輝石安山岩 重・543	長・11.0。幅・6.1。厚・5.3 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、裏面には被熱による焼きハゼが認められる。	
701-10	石器 擦石	土器溜No662 完存	粗粒輝石安山岩 重・307	長・10.6。幅・5.9。厚・3.1 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
701-11	石器 擦石	土器溜No345 完存	粗粒輝石安山岩 重・393	長・12.0。幅・5.5。厚・4.5 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、小口・側部にも敲打痕が認められる。	
701-12	石器 擦石	土器溜No.5 完存	粗粒輝石安山岩 重・544	長・10.5。幅・9.0。厚・4.3 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、孔を穿つ。側部には、顕著な敲打使用により潰れている。	
702-1	石器 擦石	土器溜No672 完存	粗粒輝石安山岩 重・1063	長・11.0。幅・9.7。厚・7.5 粗粒輝石安山岩	小口・側部に敲打痕が認められる。	
702-2	石器 擦石	土器溜No270 完存	粗粒輝石安山岩 重・192	長・7.8。幅・5.3。厚・3.0 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、小口・側部に打痕が認められる。	
702-3	石器 擦石	土器溜No247 完存	粗粒輝石安山岩 重・371	長・9.7。幅・7.3。厚・3.9 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、表面は2孔を穿ち、打痕が認められ、裏面も集中打痕が有る。	

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
702-4	石器 擦石	土器溜No974 完存	粗粒輝石安山岩 重・871	長・11.7。幅・10.0。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、側部に敲打痕が認められる。	
702-5	石器 擦石	土器溜No315 完存	粗粒輝石安山岩 重・357	長・8.9。幅・7.0。厚・4.2 粗粒輝石安山岩	表面の平坦面が磨滅し、両面の平坦面に集中 打痕が認められる。	
702-6	石器 擦石	土器溜No656 完存	粗粒輝石安山岩 重・157	長・7.0。幅・5.2。厚・3.6 粗粒輝石安山岩	顕著な使用痕は認められないが、形状は石器 と考えられる。	
702-7	石器 擦石	土器溜No949 完存	粗粒輝石安山岩 重・737	長・11.3。幅・10.5。厚・4.0 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、敲打痕が認められ、 側部・小口は集中打痕が密集する。	
702-8	石器 擦石	土器溜No39 完存	粗粒輝石安山岩 重・368	長・8.1。幅・7.1。厚・4.2 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、中央部に集中打痕 を残す。小口に敲打痕が認められる。	
702-9	石器 擦石	土器溜 完存	粗粒輝石安山岩 重・319	長・7.1。幅・7.5。厚・4.4 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、中央部に集中打痕 を残す。小口に敲打痕が僅かに認められる。	
702-10	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・412	長・9.0。幅・8.0。厚・4.8 粗粒輝石安山岩	表面平坦面側に孔を穿ち、両面の平坦面は磨 滅し、集中打痕が認められる。	
703-1	石器 擦石	土器溜7区覆 一部欠損	粗粒輝石安山岩 重・593	長・11.6。幅・9.0。厚・4.6 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、孔を施す。小口・ 側部は敲打痕が顕著に認められる。	
703-2	石器 擦石	土器溜No600 完存	粗粒輝石安山岩 重・847	長・12.7。幅・9.0。厚・4.8 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面中央部に集中打痕を残す。小口 には敲打痕・強い敲打痕に伴う剝離がある。	
703-3	石器 擦石	土器溜 完存	粗粒輝石安山岩 重・1450	長・17.7。幅・8.6。厚・6.5 粗粒輝石安山岩	堆積層の節理により硬度が異なる。両端は丸く 中央が直線的である。断面は鶏卵状を呈する。	
703-4	石器 叩石	土器溜No235 完存	粗粒輝石安山岩 重・938	長・17.6。幅・8.7。厚・6.0 粗粒輝石安山岩	片側部に集中打痕が帯状に認められ、表裏面 の中央部に孔が認められる。	

1区低地

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
704-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。黒褐10YR3/1 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。	接・無し
704-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	R原体を横転施文する。	接・無し
704-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。黒褐10YR3/1 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。補修孔を穿つ。	接・無し
704-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 含繊維・白色微粒子	L原体を横転施文する。	接・無し
704-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰黄2.5YR6/2 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。	接・無し
704-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.5	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。	接・無し
704-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。	接・無し
704-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	粗いL原体を横転施文する。	接・無し
704-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白5Y7/2 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。L+L原体を回転施文する。	接・無し
704-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。褐10YR4/4 含繊維・白色微粒子	粗いLR原体を横転施文する。	接・無し
704-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	第1種付加条。RL+2LとLR+2L原体の羽 状施文する。補修孔を穿つ。	接・無し
704-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄2.5Y6/3 含繊維・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
704-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。黒褐7.5YR3/1 白色鉱物	短く直立する口縁部。RL原体を横転施文し、 原体の末端を刺突押捺する。	接・無し 中期
704-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白5Y7/2 白色鉱物・角粒粗粒砂	LR原体を疑似羽状施文する。	接・無し 加曾利E4
704-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。LR+2L原体を施文する。	接・無し
704-16	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	2者のRL原体を横転施文する。	接・2点
704-17	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	LR原体を縦転施文する。	接・無し

1区低地

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
704-18	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 含繊維・白色微粒子・砂粒	RL 原体を横転施文する。	接・無し
704-19	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横転施文する。	接・無し
704-20	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 含繊維・白色微粒子	細片のため判断しかねるが、2条のRの押捺に見られる。	接・無し
704-21	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 含繊維・白色微粒子	LR 原体を疑似羽状施文する。	接・無し
704-22	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	粗いLR 原体を横転施文する。	接・無し
704-23	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。L+2L 原体を疑似羽状施文する。	接・無し
704-24	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。RL+2R 原体を疑似羽状施文する。	接・無し
704-25	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 含繊維・白色微粒子	LR 原体を疑似羽状施文する。	接・無し
704-26	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
704-27	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子・細礫	第2種付加条。LR+2L 原体を施文する。	接・無し
704-28	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	底部周辺の破片。 第2種付加条。RL+2R 原体を施文する。	接・無し
704-29	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子・細礫	第2種付加条乃至異条縄文。付加条の場合はL+2R。	接・無し
704-30	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。L+2R 原体を施文する。	接・無し
704-31	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。RL+2R 原体を施文する。	接・無し
704-32	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子・赤褐色粒子	第2種付加条。RL+2L 原体を施文する。	接・無し
704-33	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 含繊維・赤褐色粒・角粒粗粒砂	第2種付加条。軸原体はRだが、付加原体は磨滅により不詳。	接・無し
704-34	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。褐灰10YR5/1 含繊維・白色微粒子・金雲母	強く外傾する口縁部。R 原体のループ文を施文する。	接・無し
704-35	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	R 原体を疑似羽状施文する。	接・無し
704-36	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・砂粒	RL 原体を横転施文し、ループ文を2段+ α に施文する。	接・無し
704-37	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/8 含繊維・白色微粒子	第2種付加条R+2Rを横転施文する。	接・無し
704-38	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子・白色微粒子	軸長縄文は不詳。付加はR2条。	接・無し
705-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 含繊維・白色微粒・赤褐色粒	地紋に組紐を横転施文し、半裁竹管のループ文を施文する。	接・無し
705-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 含繊維・白色微粒・赤褐色粒	地紋に組紐を横転施文し、半裁竹管のループ文を施文する。4455と同一個体。	接・無し
705-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR6/8 含繊維・白色微粒・赤褐色粒	地紋に組紐を横転施文し、半裁竹管のループ文を施文する。4454と同一個体。	接・無し
705-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。明黄褐10YR7/6 含繊維・白色微粒・赤褐色粒	組紐を横転施文する。	接・無し
705-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子・細砂粒	4単位の波状口縁か。半裁竹管による平行沈線文を施す。	接・無し
705-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 金雲母・白色鉱物	4単位の波状口縁か。口唇部を肥厚気味にし、波頂部直下の瘤状の貼付文を施す。	接・無し
705-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/8 角粒粗粒砂多	短く外反する口縁部に半裁竹管による平行線文を施し、下位に隆帯を横走させる。	接・無し 浮島
705-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。明黄褐10YR7/6 含繊維・白色微粒子	口唇部は平坦。口唇部に平走する押引文を施文する。	接・無し

1 区低地

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
705-9	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・硬。鈍橙7.5YR7/4 含繊維・白色鈹物	口唇部に刻みを施し、平行沈線文を施し、波 頂部に向かい半裁竹管の連続刺突文を施す。	接・無し
705-10	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。褐10YR4/6 角粒粗粒砂・白色鈹物	波状口縁。地紋にLR原体を縦位に施文し、細 い半裁竹管により平行線文を表出する。	接・無し 諸磯B
705-11	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色鈹物・砂粒	半裁竹管による連鎖状爪形文を山形に施文す る。	接・無し
705-12	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。褐10YR4/4 白色鈹物・角粒粗粒砂	地紋原体はRL。横位の平行条線を施す。	接・無し
705-13	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。黒褐10YR3/2 含繊維・白色微粒子・細砂粒	半裁竹管による連鎖状爪形文を横位・斜位に 施文する。	接・無し 諸磯A
705-14	縄文土器 浅鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/8 角粒粗粒砂・細礫	大形の浅鉢形土器で、4単位の波状口縁。 文様は認められない。	接・無し
705-15	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 細礫・白色微粒子・赤褐色粒子	半裁竹管により押引文と細い平行沈線文を菱 形状に施す。	接・無し 浮島
705-16	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5YR8/1 白色粒子・細砂粒	半裁竹管により横走する平行線文により構成 する。地紋縄文は認められない。	接・無し 浮島
705-17	縄文土器 浅鉢	1 区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。褐灰10YR4/1 白色粒子・角粒粗粒砂	口縁部は強く内傾し、木の葉文を施す。	接・無し 諸磯A
705-18	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色鈹物・デイスait	横位の平行条線と縦位の平行条線を施す。	接・無し
705-19	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 白色鈹物・赤褐色粒子	綾杉状に平行条線を施し、縦位に平行条線を 施す。	接・無し
705-20	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 赤褐色粒子・セリサイト	「X」字状に平行条線を施し、釘状貼付文を 施す。	接・無し
705-21	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 赤褐色粒子・白色鈹物	縦位の平行条線・「X」字状平行条線を施文 し、釘状貼付文を施す。	接・無し
705-22	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 白色微粒・角粒粗砂・暗褐色粒	横位の平行条線を施文し付文を貼付する。	接・無し
705-23	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 デイスait・セリサイト	横位の平行条線を施文する。	接・無し
705-24	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 白色鈹物・角粒粗粒砂	地紋原体は不明。細い半裁竹管の押引文を 施す。	接・無し 諸磯B
705-25	縄文土器 不明	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 白色微粒子・白色鈹物	横位の平行条線を施文する。	接・無し 諸磯C
706-1	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 金雲母・白色鈹物	波状口縁の把手部。連続楕円隆帯文を施す。 4478と同一個体。	接・無し 阿玉台
706-2	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 金雲母・白色鈹物	波状口縁の把手部間。連続楕円隆帯文を施す。 4477と同一個体。	接・無し
706-3	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 金雲母・角粒粗粒砂・白色鈹物	波状口縁の把手部。冠部に刻みを施す。「Y」 「Y」字状刻隆帯を施し、押引文を施す。	接・無し
706-4	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。明灰褐7.5YR7/1 金雲母・角粒粗粒砂・細礫	内湾する口縁部の把手部。口唇部把手右側 に刻みを施す。把手直下に隆帯を貼付する。	接・無し
706-5	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 金雲母・白色鈹物・粗粒砂	環状の把手部片。口唇部は平坦で押引文の加 飾を施す。口縁部は押引文を楕円状に施文。	接・無し
706-6	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰褐7.5YR6/3 金雲母・白色鈹物	口唇部を欠損する。口唇部直下に山形状に結 節沈線を施し、口縁下位は楕円状突起に加飾。	接・無し
706-7	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄2.5Y6/4 金雲母・白色鈹物	鍵の手状の小突起破片で、隆帯に刻みを施す。 突起の口唇部は加飾を施す。	接・無し
706-8	縄文土器 浅鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白10YR8/1 金雲母・白色鈹物・角粒粗粒砂	口縁部は短く外反する。肩部に楕円隆帯を施 し、隆帯下端に半裁竹管による押引文を施文。	接・無し
706-9	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。暗褐10YR3/3 金雲母・白色鈹物・角粒粗粒砂	内湾する口縁部。楕円隆帯を施し、隆帯下端 に半裁竹管による押引文を施す。	接・無し
706-10	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・白色鈹物	大形個体の把手部片。把手部は不整形形状の 隆帯。口縁部は楕円区画隆帯を施す。	接・無し
706-11	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 金雲母・粗粒白色鈹物	扇状把手を施し、直下に方形区画の隆帯文。 口縁部は楕円隆帯区画文を施す。	接・無し
706-12	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐10YR4/6 金雲母・白色鈹物・白色粒子	隆帯直下に山形押引文を施し、下位に押引に よる連弧文を表出する。	接・無し

1区低地

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
706-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白10YR7/2 金雲母・白色微粒子・細礫	波状口縁か。口唇直下に細い隆帯を横走させ、更に楕円隆帯を施し、波状沈線文を施文。	接・無し
706-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 金雲母・白色粒子・白色鉱物	内湾気味の口縁部で口唇部は肥厚する。口唇直下に6本1単位の櫛歯連続刺突文を施す。	接・無し
706-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 金雲母・白色鉱物・細礫	2段に楕円区画隆帯を施す。下段は隆帯下端に押引文乃至平行沈線文を施す。	接・無し
707-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐10YR4/6 金雲母・白色鉱物・白色粒子	隆帯直下に山形押引文を施し、下位に押引による連弧文を表出する。	接・無し
707-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR 黒色6/6 金雲母・白色鉱物	「」字状隆帯を貼付し、縁辺に連続爪形文、更に外周を取り巻く平行沈線文を施す。	接・無し
707-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 白色鉱物・白色微粒子	横位の2条の隆帯を施す。上位は刻隆帯。隆間に楕円区画刻隆帯を施し、山形文を施文。	接・無し
707-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 金雲母・白色鉱物	波状口縁乃至把手部の破片。連続刺突文を3段に施し、半裁竹管の波状文を施文する。	接・無し
707-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 ダイヤサイト・白雲母・白色鉱物	把手部片。頭部が二股に分かれたれ、中央部に橋状把手を配し、周辺に押引文を施す。	接・無し
707-6	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。明褐7.5YR5/6 金雲母・白色鉱物	短く立ち上がる口縁部に、連続刺突文により弧線文を表出する。	接・無し
707-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。褐7.5YR4/6 金雲母・白色鉱物	胴部片。天地観が不分明。連続押引により文様を表出する。貼付文の痕跡が認められる。	接・無し
707-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 角粒粗粒砂・白色鉱物	口縁部片か。内湾部に波状隆帯を貼付し、周りに沈線により、平行線文・弧線文を表出する。	接・無し
707-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 金雲母・白色鉱物	口縁部は内湾し、横位隆帯間に斜行する連続平行押引文を充填する。4500と同一個体。	接・無し
707-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 金雲母・白色鉱物	内湾する波状口縁。半裁竹管による連弧文を施す。	接・無し
707-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 金雲母・白色鉱物	口縁部は内湾し、横位隆帯間に斜行する連続平行押引文を充填する。4499と同一個体。	接・2点
707-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 金雲母・白色微粒子	縦位に刻みを持つ付文を貼付し、付文の両側に横位の低い刻隆帯を施す。	接・無し
707-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10YR8/2 金雲母・白色鉱物	口縁上半部を欠損。隆帯直上に半裁竹管の押引文。下位に半裁竹管の波状文を施す。	接・無し
707-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 金雲母・白色鉱物	半裁竹管の連続刺突により波状文を表出する。直下に縦位の沈線文を施す。	接・無し
707-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。褐灰10YR4/1 金雲母・白色微粒子	外傾して立ち上がった口縁部が更に開く。内面は丸味を帯びる。文様の施文はない。	接・無し
707-16	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍褐10YR7/3 金雲母・白色鉱物・白色微粒子	波状口縁(4単位か)。口縁部は「く」の字状に外傾。波頂部直下に付文を貼付。	接・無し
707-17	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・2.4	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 赤褐色粒子・白色微粒子	環状の把手か。縁辺に刻みを施し、片側部に半裁竹管の刺突を鱗片状に施文する。	接・無し
707-18	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 金雲母・白色鉱物	開きながら立ち上がる胴部片。2段に半裁竹管による波状文が認められる。	接・無し
707-19	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 砂粒・白色粒子	細い隆帯により渦巻文・円文等を施し、一部にキャタピラ文を施す。	接・無し
707-20	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐灰10YR4/1 白色微粒子・金雲母	比較的開き立ち上がる。浅鉢の可能性もある。連続爪形文を横位に施文する。	接・無し
707-21	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 金雲母・白色鉱物	強いくびれを有して立ち上がる口縁部。文様の施文は認められない。	接・無し
708-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 赤褐色粒子・白色粒子・砂粒	口縁部の把手部の破片。縦位に5条の沈線を施し、左右に三叉文を配する。	接・無し
708-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/8 セリサイト・白色粒子・砂粒	口唇部直下に横線を巡らせ、下位に縦位に長い連弧文を押引文で施文する。	接・無し
708-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色鉱物・粗粒砂	横位隆帯内に楕円隆帯を施し、端部にキャタピラ文を施す。	接・無し
708-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。赤褐5YR4/6 金雲母・ダイヤサイト・白色鉱物	横位隆帯に交互刺突文を施す。	接・無し
708-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。明褐7.5YR5/6 白色鉱物・砂粒・黒色鉱物粒	無文帯を介する横位隆帯内に楕円区画の隆帯を4重に施文する。	接・無し

1区低地

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
708-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 白色粒子・石英	縦位の刻隆帯の際に爪形文を施文する。	接・無し
708-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色鉱物・白色微粒子	横位の隆帯の下端にキャタピラ文を施文。	接・無し
708-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 デイサイト・セリサイト	幅が広く低い隆帯上に、縦位の沈線文(?) を施文する。	接・無し
708-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 デイサイト・細礫	キャタピラ文・押引文を施文する。	接・無し
708-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 デイサイト・セリサイト	横位の隆帯区画内に三角形に隆帯を施文 し、下端に連続爪形文を施す。	接・無し
708-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。橙7.5YR6/6 デイサイト・砂粒	弧線状に隆帯を施し、下端にキャタピラ文を 施す。キャタピラ文端部に半裁竹管を押捺。	接・無し
708-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 細砂粒・白色鉱物	低い横位の隆帯の下端にキャタピラ文を施 し、更に内側に連続爪形文を施す。	接・無し
708-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/6 白色鉱物・白色粒子	横位隆帯区画内に三角形の隆帯区画文を施 し、隆帯に刻みを施す。	接・無し
708-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 細砂粒・白色鉱物	低い横位の隆帯の下端にキャタピラ文を施 し、更に内側に連続爪形文を施す。	接・無し
708-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 シルト粒・セリサイト	横位の隆帯区画に楕円隆帯区画文を施し、 下・右端に連続爪形文を施す。	接・無し
708-16	縄文土器 深鉢	1区低地	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 白色鉱物・細砂粒	半裁竹管の連続刺突により左巻き渦巻文を 表出する。	接・無し
708-17	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。赤褐5YR4/6 白色鉱物・白色粒子・粗粒砂	口縁部は「く」の字状に内傾する。肩部に小 単位に波状隆帯を表出する。	接・無し
708-18	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.6	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色微粒・白色鉱物・角粒粗砂	内湾する波状口縁。隆帯により弧線文等を 表出し、RL原体を充填する。	接・無し
708-18	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 赤褐色粒・角粒粗砂・細砂粒	内湾する口縁部。隆帯区画内に RL 原体を横 位充填する。	接・無し
708-19	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 赤褐色粒子・角粒粗粒砂	低い波状隆帯の下端にキャタピラ文を施し、 縦位にキャタピラ文を施す。	接・無し
708-20	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 白色鉱物・角粒粗砂・白色粒子	肩がやや張り気味。口縁部は短く内傾する。 口縁部直下に孔を穿つ。	接・無し
708-21	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。橙7.5YR6/6 赤褐色粒子・白色微粒子	内湾する口縁部。隆帯区画内に RL 原体を横 位充填する。	接・無し
708-22	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 赤褐色粒子・白色粒子・細砂粒	内湾する波状口縁。隆帯により弧線文等を 表出し、RL原体を充填する。	接・無し
708-23	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙7/3 赤褐色粒・白色微粒・細砂粒	内湾する波状口縁。隆帯文による区画を施し、 隆帯区画内に RL 原体を充填する。	接・無し
708-24	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。黄灰2.5Y6/1 赤褐色粒子・砂粒・白色粒子	内湾する波状口縁。隆帯文による区画を施す。 区画内は風化により原体施文は不詳。	接・無し
709-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 褐色粒子・砂粒・白色粒子	内湾する口縁部。隆帯区画内に RL 原体を横 位充填する。	接・無し
709-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄2.5Y6/3 白色微粒子	口縁部は内湾する。隆帯の区画内に LR 原体 を充填する。	接・無し
709-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 シルト縞・砂粒	内湾する波状口縁。沈線により弧線文等を 表出し、RL原体を充填する。	接・無し
709-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 シルト縞・白色微粒・赤褐色粒	内湾する波状口縁。沈線により弧線文等を 表出し、RL原体を充填する。	接・無し
709-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 シルト粒・白色微粒子	内湾する波状口縁。隆帯により弧線文等を 表出し、RL原体を充填する。	接・5点
709-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。褐灰10YR4/1 赤褐色粒子・白色微粒子	内湾する波状口縁。沈線により弧線文等を 表出し、RL原体を充填する。	接・無し
709-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR6/6 シルト縞・細粒角礫・赤褐色粒	内湾する波状口縁。沈線により弧線文等を 表出する。風化顕著。	接・無し
709-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙5Y6/4 シルト縞・白色鉱物・角粒粗砂	小単位の内湾する波状口縁部。沈線文による 弧線文等を表出し、LR原体を充填させる。	接・無し
709-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 白色微粒子・細砂粒	緩やかに外傾する口縁部。口唇部直下に横線 を巡らせ、直下に多条 LR 原体を充填させる。	接・無し

1 区低地

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量 目 (g)	焼 調 ・ 色 調 ・ 胎 土	形 状 ・ 技 法 等 の 特 徴	摘 要
709-10	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 赤褐色粒子・細砂粒	4 単位の波状口縁か。波頂部から口唇部に沿 い太い沈線を施し、直下に RL 原体を充填。	接・無し
709-11	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 赤褐色粒子・細砂粒	4548 と同一個体。	接・無し
709-12	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。褐灰10YR5/1 赤褐色粒子・角粒粗砂・白色鈹物	口唇部に大きい刺突文を施す。平行する隆帯 で右巻きの渦巻文を表出し、LR 原体を充填。	接・無し
709-13	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.7	酸化・並。黄灰2.5Y5/1 チャート・白色鈹物・白色粒子	左巻きの渦巻き隆帯。	接・無し
709-14	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。明褐7.5YR5/6 チャート・白色微粒子・細砂粒	地紋原体は LR。縦位に隆帯を施し、沈線によ り弧線文を表出する。	接・無し
709-15	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 赤褐色粒子・角粒粗砂	風化が顕著。平走する隆帯により連弧文を表 出し、連弧文から垂下する平行隆帯を施文。	接・無し
710-1	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 角粒粗砂・石英・シルト縞	横位の隆帯を介し、上位は無文。下位に懸垂 文を垂下させ、RL 原体を縦位充填する。	接・無し
710-2	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。明褐7.5YR5/6 細砂粒・TYT	半裁竹管整形に隆帯を弧線文を表出し、半裁 竹管による平行沈線を施し、RL 原体を施す。	接・無し
710-3	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 砂粒・黒色鈹物粒・白色鈹物	胴部無文帯を介し上下に、平走する隆帯によ り弧線文を表出し、RL 原体を充填する。	接・無し
710-4	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰5Y6/1 シルト質・白色微粒子	隆帯により弧線文を表出する。 器面が風化が顕著。	接・無し
710-5	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白10YR7/1 赤褐色粒子・白色鈹物・砂粒	微隆帯を施し、周囲に RL 原体を充填させる。	接・無し
710-6	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 白色粒子・細砂粒	平走する隆帯により弧線文を表出し、RL 原 体を縦位充填する。	接・無し
710-7	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 細砂粒・白色鈹物	隆帯による弧線文を入り組ませ、RL 原体を 縦位充填する。	接・無し
710-8	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白10YR7/1 砂粒・白色鈹物	RL 原体を充填する擦消縄文を施文する。	接・無し
710-9	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 赤褐色粒子・白色微粒子	4565 と同一個体。	接・無し
710-10	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 赤褐色粒子・白色微粒子	RL 原体を充填する擦消縄文を施文し、懸垂 文間に加飾を施す。	接・無し
710-11	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色粒子	縦位に微隆帯を平走させ、RL 原体を縦位充 填する。	接・無し
710-12	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・黒色鈹物粒	幅の狭い微隆帯を平走させ周囲に RL 原体を 充填する。	接・無し
710-13	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 赤褐色粒子・白色微粒子	縦横の隆帯区画内に RL 原体を充填する。	接・無し
711-1	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰白 Y7/1 白色鈹物・黒色粒子	胴部括れ部を境に縦位の細長い弧線文を施 し、RL 原体を縦位充填する。	接・4 点
711-2	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 白色微粒・赤褐色粒・細砂粒	RL 原体を縦位充填する擦消縄文を施文す る。	接・無し
711-3	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色鈹物・粗粒砂	口唇部直下に微隆帯を施し、直下に横位に条 痕文を施す。	接・無し
711-4	縄文土器 覆土内	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y8/2 白色鈹物・チャート・粗粒砂	横位隆帯を施文し、縦位に条痕文を施す。	接・無し
711-5	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄2.5Y7/4 シルト粒・細砂粒	RL 原体を縦位充填する擦消縄文を施文す る。	接・無し
711-6	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰7.5Y4/1 白色粒子・粗粒砂	10 本異端にの条痕文を縦位に施す。	接・無し
711-7	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y7/2 角粒粗砂・白色鈹物	風化顕著。9 + α 本 1 単位の条痕文を縦位に 施す。	接・無し
711-8	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂角粒砂	10 本 1 単位の波状文を縦位に施す。	接・無し
711-9	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.7	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 シルト縞・赤褐色粒子・粗粒砂	RL 原体を縦位充填する擦消縄文を施文す る。	接・無し
711-10	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。橙7.5YR6/8 赤褐色粒子・白色粒子・角粒砂	風化顕著。7 + α 本 1 単位の条痕文を斜位気 味に施す。	接・無し

1区低地

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
711-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 角粒砂・白色鈹物	胴部片。4 + α 本1単位の波状文を横位に施す。	接・無し
711-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白5Y8/1 赤褐色粒子・角粒粗粒砂	10本1単位の波状文を斜位気味に施す。	接・無し
711-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・波。灰黄橙2.5YR7/2 角粒砂・赤褐色粒子・白色粒子	縦位に条痕文を施す。	接・無し
711-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰5Y5/1 シルト粒・角粒粗粒砂・白色粒	12本1単位の条痕文を斜位気味に施す。	接・無し
712-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色微粒子・細砂粒	口縁部は内湾する。縦位に長い沈線楕円区画を施し、RL原体を充填する。	接・2点
712-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。暗褐色7.5YR5/4 白色微粒子・細砂粒	小把手を有する。口縁に沿い沈線を巡らし、平行沈線の楕円区画を表出。RL原体を充填。	接・無し
712-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.5	酸化・並。橙YR7/6 白色粒・赤褐色粒・白色鈹物	口縁部は内湾する。沈線により2重の楕円区画を表出し、RL原体を充填する。	接・無し
712-4	縄文土器 深鉢	1区低地破片	厚・0.6	酸化・並。灰白5Y8/1 角粒粗粒砂・赤褐色粒子	口縁部は内湾し無文帯を有する。沈線による弧線文で区画し、RL原体を充填する。	接・無し
712-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 粗粒砂	内外面共に縦位の篋撫で施す。文様は認められない。	接・3点
712-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰白2.5Y7/1 赤褐色粒子・白色微粒子	平行沈線文を施し、外側にRL原体を充填する。	接・無し
712-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰10Y4/1 赤褐色粒子・白色粒子・細砂粒	口縁部は外傾する。沈線により弧線文を表出し、周囲をRL原体を充填する。	接・無し
712-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰7.5YR6/1 赤褐色粒子・細砂粒	口縁部は内湾する。沈線により楕円区画を表出し、RL原体を充填する。	接・無し
712-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。暗褐10YR3/3 白色鈹物・角粒粗粒砂・白色粒	口縁部は内湾し小把手を有する。平行沈線で弧線文を表出し、周囲にRL原体を充填する。	接・無し
712-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y7/1 角粒粗粒砂・白色鈹物	口縁部は小さく内湾し無文帯を有する。平行沈線により弧線文を描き、RL原体を充填。	接・無し
712-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。橙2.5YR7/6 細砂粒・黒褐・白色鈹物	口縁部は内湾する。平行沈線により弧線文を描き区画とし、RL原体を充填する。	接・無し
712-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。橙7.5YR7/5 赤褐色粒・白色微粒・細砂粒	口縁部は内湾する。RL原体を充填する。	接・無し
712-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR7/5 シルト縞・赤褐色粒・白色微粒	口縁部は内湾する。横位の隆帯区画で口縁部無文帯を形成。隆帯間をRL原体を充填する。	接・無し
712-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。黒10Y2/1 角粒粗粒砂・白色粒子	縦位に細い隆帯を施し区画文を構成し、内側にLR原体を充填させる。	接・無し
712-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.5	酸化・並。灰白5Y7/1 角粒粗粒砂・黒色鈹物粒	口縁部は内湾し、横位の隆帯により無文帯を形成。下位にRL原体を充填する。	接・無し
712-16	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐灰10YR4/1 角粒砂・白色鈹物・白色微粒子	口縁部は内湾気味。口縁部無文帯を有し、細い隆帯の縦横の区画し、LR原体を充填。	接・無し
713-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。暗褐10YR3/3 角粒粗粒砂・白色鈹物	横位の2条に隆帯を施し、隆帯間に連続刺突文を施す。下位にLR原体を充填させる。	接・無し
713-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。橙5YR6/8 角粒粗粒砂・白色粒・白色鈹物	口縁部は内傾する。口縁部無文帯を有し、横位の隆帯、直下にLR原体を充填させる。	接・無し
713-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 赤褐色粒・角粒粗粒砂	口縁部は内傾する。口縁部無文帯を有し、横位の隆帯、直下にLR原体を充填させる。	接・無し
713-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白7.5Y8/1 細砂粒・白色微粒子	口縁部は内傾気味に立ち上がり、端部は短く外反する。無文帯にLR原体を充填させる。	接・無し
713-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 チャート・角粒粗粒砂	口縁部は内傾する。口縁部無文帯を有し、横位の隆帯、直下にLR原体を充填させる。	接・無し
713-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。橙5YR7/6 角粒粗粒砂・白色微粒	口縁部は内傾気味。幅の広い無文帯下に横位の隆帯を施す。	接・無し
713-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・波。鈍赤褐5YR5/3 白色微粒子	口唇部はやや肥厚する。文様は認められない。器外面に赤褐色顔料が認められる。	接・無し
713-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。灰10YR4/1 角粒粗粒砂・白色鈹物	耳状把手。文様は認められない。	接・無し
713-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰白5Y8/1 角粒粗粒砂	口唇部は肥厚する。口唇部からやや広い耳状の把手を配する。	接・無し

1区低地

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
713-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/8 白色鈹物・角粒粗粒砂	楕円区画の隆帯の間に耳状の把手を具備する。隆帯内はLR原体を横転施文する。	接・無し
713-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白5Y8/2 角粒粗粒砂・細粒角礫	沈線区画の「X」字状文内に刺突文を配する。	接・無し
713-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y8/2 角粒粗粒砂・白色鈹物	口唇部は肥厚し横線を施す。口縁部は、沈線の区画文が認められる。	接・無し
713-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白5Y8/2 粗粒砂・黒色鈹物粒	沈線区画内に粗い列点文を配する。	接・無し
713-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白5Y8/1 細粒角礫・角粒粗粒砂	沈線区画内に粗い列点文を配する。	接・無し
713-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色鈹物・白色微粒子	口唇部に低い加飾を施し、直下に弧線文を施す。	接・無し
714-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐10YR4/4 角粒粗粒砂・細粒角礫	口唇部は肥厚し珠点文を配する。口縁部に2条の横線が認められる。	接・無し
714-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y8/1 角粒粗粒砂・白色鈹物	口唇部は肥厚し連続の珠点文を配する。口縁直下に列点を伴う「X」字状文を施す。	接・無し
714-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。暗褐10YR3/3 細砂粒・白色微粒子	口唇部に刻みを施し、直下に平行列点を施す。	接・無し
714-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。灰7.5Y3/1 白色鈹物・角粒粗粒砂	口唇部は肥厚し横線を施す。口唇部。直下は沈線が「T」字状に区画する。	接・無し
714-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y8/2 粗粒砂・白色粒子	口唇部直下に「8」の字貼付文を施す。	接・無し
714-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白5Y8/2 赤褐色粒子・角粒粗粒砂	沈線区画の「X」字状文。	接・無し
714-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。灰白5Y7/2 白色粒子・チャート・細砂粒	沈線区画の「X」字状文。	接・無し
714-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y8/2 チャート・白色粒子	沈線区画の「X」字状文間に刺突文を施す。	接・無し
714-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 細砂粒・白色粒子・白色鈹物	口縁に平走する沈線の下位に弧線帯縄文を施す。LR原体を施文するが、風化で不明。	接・無し
714-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙7.5YR6/3 砂粒・石英・白色鈹物	沈線区画の弧線文が入り組む。	接・無し
714-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10YR7/1 角粒粗粒砂・白色粒子	沈線区画の巖手文を施す。	接・無し
714-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 角粒粗粒砂・白色鈹物	刻隆帯に添え沈線を施し、左右に弧線文を施す。	接・無し
714-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.5	酸化・。灰黄褐10YR4/2 白色微粒子・細砂粒	4単位の波状口縁。波状口縁部の三角形をなす帯縄文。	接・無し 安行III a
715-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 角粒粗粒砂・白色鈹物	沈線区画の「X」字状文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 角粒粗粒砂・白色微粒子	「J」字状帯縄文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10YR7/1 角粒粗粒砂・白色粒子	沈線区画の巖手文を施す。	接・無し
715-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・硬。灰7.5YR4/1 白色粒子・角粒粗粒砂	弧線帯縄文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 チャート・白色粒子	弧線帯縄文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 白色粒子・角粒粗粒砂	弧線帯縄文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 細砂粒	沈線区画の「X」字状文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 白色粒子・細砂粒	波頂部を環状に施し、刻み隆帯を垂下させる。隆帯に沿ってLR原体を充填する帯縄文を施す。	接・無し
715-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色鈹物・粗粒砂	連弧文の上下に巖手文を施し、連弧文を除く部分に不規則に刺突文を施す。	接・無し
715-10			厚・1.2			

1区低地

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
715-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・硬。灰白10YR8/1 白色微粒子・白色鋳物	舌状の把手の中央を窪め、口縁に沿って平行沈線 を施し、器面全体にLR原体を充填させる。	接・無し
715-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・硬。浅黄橙7.5YR8/6 白色粒子・細砂粒	波頂部周辺の破片。帯縄文にLR原体を充填 させる。	接・無し
715-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 細砂粒	沈線区画の「X」字状文内にLR原体を充填さ せる。	接・無し
715-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。7.5YR4/2 雲母・粗粒砂	波頂部から大きな「8」の字状貼付文を施し、 端部から刺突隆帯を施文。LR原体で加飾。	接・無し
716-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白2.5YR8/2 粗粒砂・赤褐色粒子	深鉢の把手部片。波状を呈し、3孔を有す る。	接・無し
716-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR6/6 シルト粒・白色鋳物・砂粒	隆帯を組み手状に加飾し、隆帯下端に刺突文 を施す。	接・無し
716-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 細砂粒・白色粒子	深鉢の把手部片。山形状の中央に孔を穿ち、 周辺を刺突文等で加飾する。	接・無し
716-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色粒子・砂粒	把手部片。隆帯を組み手状に波頂部に配し、 隆帯の下端に刺突文を配し、LR原体を施す。	接・無し
716-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR6/6 シルト粒・白色鋳物・砂粒	隆帯を組み手状に加飾し、隆帯下端に刺突文 を施す。	接・無し
716-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。灰白10YR8/1 チャート・白色鋳物・細砂粒	把手冠部を「の」字に加飾し、下位に孔を穿 ち、器内面に三ツ星状に円管刺突文を施す。	接・無し
716-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙5YR7/6 砂粒	口縁部の把手片か。	接・無し
716-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・硬。10YR8/3 微粒砂	冠状把手の破片。	接・無し
716-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰褐5YR6/2 細砂粒・白色鋳物	把手冠部を馬蹄形状に加飾する。冠部直下に 孔を穿ち、左右に弧線文を配す。	接・無し
716-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・軟。浅黄5YR8/4 シルト質・細砂粒・白色鋳物	大形個体であるが器厚は薄い。口縁部の耳状 の把手。沈線区画の刺突文を施す。	接・無し
716-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR1/2 砂粒・白色鋳物	把手冠部を面違環状に加飾する。	接・無し
716-12	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y8/2 チャート・細粒角礫・粗粒砂	釘刺突文を上下に配し、釘文間に弧線文を施 す。	接・無し
716-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。灰白5YR8/2 細砂粒	把手冠部を「8」字に加飾し、下位に孔を穿 ち、冠部から「Y」字状に刻隆帯を垂下する。	接・無し
716-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。7.5Y7/6 粗粒砂	深鉢把手部の破片。ヒトの耳状の形状を呈す る。	接・無し
716-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。灰白7.5YR8/2 細砂粒	把手冠部の渦巻き状の加飾。冠部直下に孔を 穿ち縁辺に弧線文を施す。	接・無し
717-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 白色粒子・細砂粒・	列点刺突文を横走させ、下位にLR原体を斜 位に充填させる。	接・無し
717-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR7/6 白色粒子・砂粒・白色微粒子	丸味を帯びて立ち上がり、胴部に外反して向 かう。文様は弧線文が結束する。	接・無し
717-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。黄灰2.5Y6/1 粗粒砂・白色鋳物・白色粒子	4単位の波状口縁か。波頂部に刺突を施す。	接・無し
717-4	縄文土器 鉢類	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄橙10YR8/4 赤褐色粒子・白色鋳物・細砂粒	内湾する口縁。口径は比較的小さい。焼調前 の穿孔が2カ所が認められる。	接・無し
717-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 白色鋳物・角粒粗粒砂	外傾擦る口縁の口唇直下に横線を施し、末端 にメガネ文を配する。	接・無し
717-6	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 白色粒子	文様の施文は認められない。斜位の強い撫で を施す。器面が風化が顕著。	接・無し
717-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR7/6 白色粒子・砂粒・白色微粒子	丸味を帯びて立ち上がり、胴部に外反して向 かう。文様は弧線文が結束する。	接・無し
717-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐灰10YR6/1 赤褐色粒子・白色粒子	波状把手を1カ所に配する。波頂部直下に8 の字文を貼付。胴部にLR原体を横転施文。	接・無し
717-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 シルト縞・円粒チャート	内湾する口縁。文様の施文は認められない。 器面が風化が顕著。	接・無し
717-10	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR7/6 シルト縞・白色粒子	外傾する口縁。文様の施文は認められない。 斜位の強い撫でを施す。器面が風化が顕著。	接・無し

1区低地

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
717-11	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 赤褐色粒子・角粒砂・白色粒子	文様の施文は認められない。斜位の強い撫でを施す。器面が風化が顕著。	接・無し
717-12	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄2.5Y8/3 赤褐色粒子・円粒チャート	文様の施文は認められない。斜位の強い撫でを施す。器面が風化が顕著。	接・無し
717-13	縄文土器 粗製深鉢か	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・明赤褐5YR5/6 シルト粒多・デイサイト	文様の施文は認められない。器面が風化が顕著。	接・無し
717-14	縄文土器 深鉢	1区低地	厚・1.2	酸化・硬。褐灰10YR4/1 細砂粒・白色鉱物	網代圧痕。網代は1本送り3本潜り4本越え。	接・無し
717-15	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。橙5YR6/6 チャート・白色鉱物・赤褐色粒	文様の施文は認められない。斜位の強い撫で整形。器面が風化が顕著。	接・無し
717-16	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・5.9	酸化・並。鈍橙5YR7/3 角粒砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。底部は上げ底。	接・無し
717-17	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。2.5YR4/1 白色鉱物・白色粒子	文様の施文は認められない。斜位の強い撫でを施す。器面が風化が顕著。	接・無し
717-18	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・軟。橙5YR6/6 デイサイト・微粒雲母	口唇部を内屈させ、器内面に交互刺突文状の加飾を2段に施す。	
717-19	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。灰白2.5Y8/2 シルト粒・白色鉱物	文様の施文は認められない。斜位の強い撫でを施す。器面が風化が顕著。	接・無し
718-1	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 白色鉱物・粗粒角粒砂	文様の施文は認められない。強い斜位気味の撫でを施す。器面が風化が顕著。	接・無し
718-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 白色微粒子・白色鉱物・細砂粒	4単位の波状口縁。口唇部直下に帯縄文を3条(RL)施し、瘤状の付文を貼付する。	接・無し
718-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 デイサイト・白色鉱物	丸味を帯外傾する口縁。太い隆帯を弧線状に貼付。口唇部直下にLR原体の押捺がある。	接・無し
718-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 シルト粗粒	外傾する口縁。縦位に深い沈線を施文。	接・無し
718-5	縄文土器 鉢	1区低地 破片	口・(25.2) 最・(26.8)	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/4 細砂粒・白色微粒子	内湾する口縁に2条の隆帯を横位に施文し、丸味の強い橋条把手を付す。	接・無し
718-6	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 白色鉱物・粗粒角粒砂	文様の施文は認められない。強い斜位気味の撫でを施す。器面が風化が顕著。	接・無し
718-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・(10.2)	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色粒子・砂粒	RL原体を横転施文する。	接・無し
718-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底(8.0)	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 含繊維・白色鉱物(白色石英)	R原体を横転施文する。底部は上げ底。	接・無し
718-9	縄文土器 鉢	1区低地 破片	底・(10.2)	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 含繊維・白色鉱物(白色石英)	RL原体を横転施文する。	
718-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・5.9	酸化・並。鈍橙5YR7/3 角粒砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。底部は上げ底。	接・無し
718-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・12.5	酸化・並。明褐灰7.5YR7/2 金雲母・白色鉱物(白色石英)	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-12			厚・1.0			
718-13	縄文土器 ミニチュア	1区低地 口縁欠損	底・3.5	酸化・並。灰白5YR8/2 微粒砂・白色粒子	風化顕著。下半部に原体施文が認められるが、原体は不明瞭(RLか)。	接・無し
718-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・(14.4)	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 角粒粗粒砂	文様は認められない。	接・無し
718-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・12.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 金雲母・白色鉱物(白色石英)	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-16	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・4.7	酸化・軟。橙7.5YR7/6 赤褐色粒子・白色鉱物粒子	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-17	縄文土器 注口土器か	1区低地 破片	底・(8.2)	酸化・並。明赤褐5YR5/6 白色鉱物・砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-18	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	底・(9.2)	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗粒砂	文様施文は認められない。器面の風化顕著。底面に網代圧痕。	接・無し
718-19	縄文土器 深鉢	1区低地 底部破片	底・(6.6)	酸化・並。灰白2.5Y8/1 白色鉱物・粗粒砂・細礫	文様の施文は認められない。	接・無し
718-20	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・7.2	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 赤褐色粒子・シルト縞	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し

1区低地

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
718-21	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・5.9	酸化・軟。灰白10YR8/1 角粒砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-22	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	底・(10.0)	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 角粒粗粒砂	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・6.2	酸化・並。灰白10YR7/1 白色粒子・長石・細砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。 底部は丸底気味。	接・無し
719-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・7.2	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 白色鉱物粒子・粗粒砂	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・10.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 白色鉱物・黒色鉱物・細砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・8.5	酸化・並。灰白色10YR8/1 粗粒砂・赤褐色粒子	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・9.6	酸化・並。灰白10YR7/1 白色鉱物粒子・細砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・9.2	酸化・並。灰白10YR8/1 砂粒・赤褐色粒子・白色鉱物	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・9.0	酸化・並。灰白10YR7/1 暗赤褐色粒子・粗粒砂	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・7.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 白色鉱物粒子・粗粒砂	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・7.2	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 赤褐色粒子・シルト縞	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-10	土偶	1区低地 一部欠損	高・6.7 幅・3.1	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 白色粒子・細砂粒	板状土偶。舌状を呈する。手部は返り状に小さく短い。目は刺突、口は穿孔により表出する。	接・無し
719-11	木製品 木端	1区低地 破片	自然木 長・10.3	周囲は旧時の状態である。	薄い木端状態は人為に見える。刃傷、切り跡見えず。	
720-1	石器 剥片石器	1区低地 完存	黒曜石 重・5.74	長・2.05。幅・2.95。 厚・1.2。黒曜石	端部に刃部加工を施し、側縁に使用痕が見られる。	
720-2	石器 剥片石器	1区低地 完存	チャート 重・3.1	長・3.1。幅・2.05・厚・0.7 チャート	1側縁に刃部加工を施す。	
720-3	石器 剥片石器	1区低地 完存	チャート 重・9.03	長・4.05。幅・3.0。厚・0.9 チャート	端部に刃部加工を施し、側縁に使用痕が見られる。	
720-4	石器 剥片石器	1区低地 完存	チャート 重・22.7	長・4.6。幅・4.0。厚・1.3 チャート	1側縁に刃部加工を施す。	
720-5	石器 剥片石器	1区低地 完存	チャート 重・32.15	長・5.15。幅・4.95。厚・1.2 チャート	縁辺に刃部加工を施す。	
720-6	石器 打製石斧	1区低地 完形	ホルンフェルス 150	長・10.2。幅・4.9。厚・2.1 ホルンフェルス	撥形。表裏面に平坦剥離面を残す。側部の調整が顕著で、基部に潰れが認められる。	
720-7	石器 打製石斧	1区低地 1/2	ホルンフェルス 321	残存長・9.6。幅・10.2 厚・2.5。ホルンフェルス	片面に礫面を残し、裏面に剥離平坦面を顕著に残す。周辺加工は裏面側で顕著。	
720-8	石器 打製石斧	1区低地 完存	砂質頁岩 58	長・8.2。幅・4.1。厚・1.6 砂質頁岩	小型撥形。剥離平坦面を残す。欠損品の再調整の可能性も考えられる。	
720-9	石器 打製石斧	1区低地 完存	変質安山岩 110	長・12.0。幅・5.1。厚・2.0 変質安山岩	分銅形基調か。片面に礫面を残し、裏面に剥離平坦面を残す。側部調整はやや繰り込む。	
720-10	石器 打製石斧	1区低地 完形	黒色頁岩 118	長・13.0。幅・4.5。厚・2.0 ホルンフェルス	短冊基調。側部が鎌状に弧を描く。刃部に使用痕が認められる。	
720-11	石器 打製石斧	1区低地 完存	ホルンフェルス 450	長・14.5。幅・8.0。厚・3.8 ホルンフェルス	撥形基調。片側に礫面を残し、裏面に剥離平坦面を顕著に残す。右側辺に再調整がある。	
720-12	石器 打製石斧	1区低地 完存	ホルンフェルス 912	長・16.5。幅・8.5。厚・5.7 ホルンフェルス	分銅形基調か。一部に礫面を残す。器厚は厚く、側部調整が顕著で基部の刃込みは少ない。	
721-1	石器 打製石斧	1区低地 完存	変珪岩 重・121	長・10.25。幅・6.75 厚・1.95。変珪岩	分銅形。片岩使用のため扁平。基部の刃込みは高く深い。	
721-2	石器 打製石斧	1区低地 完存	ホルンフェルス 698	長・13.6。幅・11.1。厚・3.5 ホルンフェルス	分銅形。表裏面に礫面を残し、周縁加工は内側までは達していない。	
721-3	石器 打製石斧	1区低地 完存	砂岩 501	長・12.6。幅・9.3。厚・4.2 砂岩	撥形。刃部の欠損が認められる。側部は入念に剥離を行った痕跡が認められる。	
721-4	石器 打製石斧	1区低地 完存	ホルンフェルス 345	長・14.8。幅・6.1。厚・3.1 ホルンフェルス	撥形基調か。刃部の右側に再調整痕が認められる。片面に礫面を残す。	

1区低地

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
721-5	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・110	長・7.1。幅・6.0。厚・2.3。 粗粒輝石安山岩	礫面の扁平面を利用する。両面の中央部に集中打痕を残す。	
721-6	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・226	長・8.8。幅・6.7。厚・2.8 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面は磨滅し、敲打痕が認められる。	
721-7	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・441	長・7.0。幅・6.0。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	礫面の平坦面側が磨滅し、表面は孔を1カ所穿ち、裏面は集中打痕により窪む。	
721-8	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・431	長・9.7。幅・8.0。厚・4.2 粗粒輝石安山岩	両面野中央部に孔を施し、小口・側部に敲打痕が認められる。器面の風化顕著。	
721-9	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・437	長・10.5。幅・8.6。厚・3.4 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面は磨滅し、敲打痕が認められる。	
721-10	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・551	長・10.8。幅・8.3。厚・4.5 粗粒輝石安山岩	表面の平坦面は磨滅し、集中打痕が認められる。	
722-1	石器 擦石	1区低地 完存	溶結凝灰岩 重・350	長・10.9。幅・5.9。厚・4.2 溶結凝灰岩	表面の平坦面側が磨滅し、側部側に強い打痕が認められる。	
722-2	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・668	遺存長10.0。幅・8.3。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に孔を施し、側部に敲打痕が認められ、稜立つ状態。	
722-3	石器 叩石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・376	長・11.0。幅・5.8。厚・4.7 粗粒輝石安山岩	両面に孔を施し、敲打痕認められる。側部は、括れが生ずる状態で集中打痕が認められる。	
722-4	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・623	長・10.1。幅・9.1。厚・4.9 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面は磨滅し、敲打痕が認められる。	
722-5	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・649	長・12.5。幅・7.6。厚・4.5 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に孔を施し、両面・小口・側部にも敲打痕が認められる。	
722-6	石器 叩石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・368	長・11.3。幅・8.6。厚・4.0 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、両面共に孔・敲打痕が多量に認められ、小口・側部も顕著。	
722-7	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・567	長・10.6。幅・8.2。厚・4.7 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に孔を施す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
722-8	石器 擦石	1区低地 完存	溶結凝灰岩 重・518	長・12.6。幅・6.7。厚・4.1 溶結凝灰岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に縦列状に孔を施し、小口・側部に敲打痕が認められる。	
722-9	石器 叩石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・650	長・13.0。幅・8.5。厚・4.2 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面中央部に集中打痕が認められる。器面の風化顕著。	
722-10	石器 擦石	1区低地 完存	溶結凝灰岩 重・674	長・14.1。幅・7.3。厚・4.6 溶結凝灰岩	裏面の平坦面側が磨滅する。	
723-1	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・574	長・12.1。幅・9.0。厚・4.5 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
723-2	石器 小形石皿	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 430	長・10.6。幅・8.5。厚・3.1 粗粒輝石安山岩	隅丸方形状を呈し、使用面は楕円形状を呈する。出土品中最も小形。	
723-3	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・748	長・13.4。幅・8.6。厚・4.4 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に孔を施し、両面・小口・側部にも敲打痕が認められる。	
723-4	石器 擦石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・868	長・14.9。幅・10.1。厚・5.2 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕・孔を施す。全面に打痕が認められる。	
723-5	石器 石皿	1区低地 破片	粗粒輝石安山岩 重・150	遺存長・11.5。厚・2.3。 粗粒輝石安山岩	底面の曲率はやや強いが、器内面は比較的緩やかで、強く立ち上がる。外面側に敲打成形痕を残す。	
723-6	石器 石皿	1区低地 破片	粗粒輝石安山岩 820	遺存長・13.5。厚・3.0。 高・4.5。粗粒輝石安山岩	器内面は緩やかに立ち上がる。底面は平坦で孔を8カ所に穿つ。側縁・底面に敲打成形痕を残す。風化顕著。	
723-7	石器 石皿	1区低地 1/2	粗粒輝石安山岩 重・1200	残存長・11.9。幅・14.2 厚・5.7。粗粒輝石安山岩	小形な石皿。形状は隅丸胴張方形を呈すると考えられる。	
723-8	石器 石皿	1区低地 破片	粗粒輝石安山岩 2700	遺存長・19.0。厚・5.4。 粗粒輝石安山岩	器内面の立ち上がりは強い。底面は磨き整形、側縁に敲打成形痕を残す。底面に孔を4箇所穿つ。	
724-1	石器 石皿	1区低地 3/2	粗粒輝石安山岩 2190	遺存長19.5。幅・19.1。 厚・4.8。粗粒輝石安山岩	器内面・側縁には敲打成形痕を残す。底面は磨き整形で孔を7箇所穿つ。	
724-2	石器 多孔石	1区低地 2/3	粗粒輝石安山岩 重・1900	長・20.2。残存幅・14.4 厚・5.7。粗粒輝石安山岩	表裏面の中央寄りに孔が認められ、全体に集中打痕が認められる。	
724-3	石器 多孔石	1区低地 1/2	粗粒輝石安山岩 重・1510	長・19.0。残存幅・12.3 厚・5.5・粗粒輝石安山岩	表面に孔が認められ、裏面に多量の集中打痕が認められ、全体に敲打痕が認められる。	
724-4	石器 多孔石	1区低地 一部欠損	粗粒輝石安山岩 重・5300	長・20.3。幅・16.9。厚・14.6 粗粒輝石安山岩	表裏面に孔が認められる。	
724-5	石器 多孔石	1区低地 1/3	粗粒輝石安山岩 重・6560	長・16.6。幅・22.8。厚・14.2 粗粒輝石安山岩	表裏面の中央寄りに、集中打痕が認められ、表面側の中央部が磨滅する。	

遺構外出土遺物

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
725-1 213-20	縄文土器 深鉢	1区表土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 含繊維・白色微粒子	付加条第2種 LR+2Rを横転施文する。	接・無し
726-1			厚・0.7			
726-2	縄文土器 深鉢	1-18Gr 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 繊維・白色微粒・雲母石英片岩	羽状縄文を施文する。頸部に連続爪形文を施文する。	接・4点
726-3	縄文土器 深鉢	1-18Gr 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
726-4	縄文土器 深鉢	落ち込み 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR6/4 砂粒・含繊維・白色微粒子	付加条第3種原体を施文する。	接・無し
726-5	縄文土器 深鉢	1区表土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 含繊維・白色微粒子	付加条第2種 LR+2Rを横転施文する。	接・無し
726-6	縄文土器 深鉢	1-76・77・96・97 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/3 細礫・角粒粗粒砂・白色粒子	口縁部は強く外傾し、横位の条痕を施す。口唇部・口縁部に貼付文を施文する。	接・無し
726-7	縄文土器 深鉢	落ち込み 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 金雲母・粗粒砂・細礫	胴部上半部は横位の条痕。口縁部は「く」字に内傾し縦位の条痕を施す。	接・無し
726-8	縄文土器 深鉢	落ち込み 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 粗粒砂・黒色鉾物粒・透明鉾物	口縁部は内湾気味、口唇部は平坦。沈線による三角形の区画文内に LR 原体を充填施文。	接・無し
726-9	縄文土器 深鉢	落ち込み 破片	厚・1.5	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・細礫・白色粒子	横位の粗大な綾杉文を施文する。	接・無し
726-10	縄文土器 深鉢	32号住覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色微粒子	縦位の平行沈線文に刺突文を施し、弧線状の平行沈線文 (S字状文か) も刺突文を施す。	接・無し
726-11	縄文土器 深鉢	32号住覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。浅黄橙10YR8/4 白色微粒子・砂粒	X字状沈線文の一部。X字状文の傍らに縦位の沈線文を施し、間隙に LR 原体を充填する。	接・無し
726-12	土製品 円盤	1区表土 完存	長・2.6 幅・2.2	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 砂粒	文様の施文は認められない。深鉢の胴部片を転用する。	接・無し
726-13	石器 磨製石斧	1区低地 1/2	ホルンフェルス 45	残存長・5.1。幅・3.9。 流紋岩	定角磨製石斧。頭部側半分を欠損。裏面側に叩き成形の痕跡を残す。	
726-13	石器 打製石斧	1区低地 完形	ホルンフェルス 290	長・12.9。幅・8.0。厚・2.25 ホルンフェルス	分銅形。基部は大きい。片面に礫面を残す。刃部・端部共に丸い。器面が風化が顕著。	
727-1 727-2 727-3	縄文土器 深鉢	2-20Gr 破片	口・(16.6)	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 砂粒・含繊維・白色微粒子	底部から胴部は直線的に立ち上がり、口縁部直下でやや内湾し、口縁部は直下する。文様は無節L原体を横転施文する。6点同一個体。	接・2点 接・無し 接・3点
727-4	縄文土器 深鉢	2-20Gr 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 含繊維・白色微粒子	胴部は強く外反する。無節L原体の縦転とL LR 原体の横転を交互に施文する。	接・無し
727-5	縄文土器 深鉢	2-20Gr 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 含繊維・白色微粒子	円筒刺突文を3段に施文し、LR (?) 原体を横転施文施文する。	接・無し
727-6	縄文土器 深鉢	2-20Gr 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 粗粒砂・白色鉾物	波状「く」字口縁部口縁。口唇部は短く外反する。5本1単位の条痕による施文。	接・無し
727-7	縄文土器 深鉢	2-300Gr 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 砂粒	横位・斜位の平行沈線を施文する。	接・無し
727-8	縄文土器 深鉢	49溝覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。暗灰黄2.5Y5/2 白色粒子・粗粒砂	左上からの綾杉沈線文を施す。	接・無し 加曾利B3
727-9	縄文土器 深鉢	2-75P 覆土内 破片	厚・1.6	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色粒子	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚し丸い。口唇直下に RL 原体を縦位施文する。	接・無し
727-10	縄文土器 深鉢	2-20Gr 破片	厚・0.5	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 細砂粒・黒色鉾物粒	細かい RL 原体を横転施文する。	接・無し 弥生か
727-11	石器 打製石斧	2区338GR	黒色頁岩 重・43	残存長・9.1。幅・3.9 厚・1.2。黒色頁岩	短冊形か。片面に礫面を残す。欠損は調整の失敗か。	
727-12	石器 剥片石器	2-17Gr 破片	黒曜石 重・5.19	長・2.1。幅・2.4。厚・1.1	剥片の対称的な位置に刃部加工を施す。	
728-1	石器 打製石斧	2区2井戸 完存	ホルンフェルス 重・68	長・9.7。幅・4.95。厚・1.0 ホルンフェルス	撥形。一部に礫面を残す。一部に磨減痕が残る。全体の再調整により、長さが短い。	
728-2	石器 打製石斧	2区2井戸 完存	黒色頁岩 重・220	長・11.2。幅・6.3。厚・3.0 黒色頁岩	撥形基調。片面に礫面を残す。刃部は片面からの調整。端部は丸い。	
728-3	石器 打製石斧	2区38グリッド	粗粒輝石安山岩 重・75	長・9.8。幅・4.9。厚・1.45 粗粒輝石安山岩	撥形。片面に礫面を残す。刃部は使用に伴う磨減が顕著。基部に剝離調整が有る。	

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
728-4	石器 石器	2区2井戸 完存	ホルンフェルス 重・234	長・11.3。幅・7.7。厚・2.7 ホルンフェルス	分銅形。片面に礫面を残す。基部の削込みは強い。刃部は丸い。	
728-5	石器 打製石斧	2区2井戸 完存	変珪岩 重・305	長・11.2。幅・8.6。厚・3.1 変珪岩	分銅形。基部の削込みは大きい。片面に礫面を残す。刃部整形は4面構成。	
728-6	石器 石皿	2区2井戸 破片	粗粒輝石安山岩 重・400	遺存長9.9。残存幅・9.8。 厚・4.9。粗粒輝石安山岩	細片のため詳細不詳。底面を多孔石として利用する。	
729-1	縄文土器 深鉢	3-11土坑覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。暗灰黄2.5Y5/2 砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位充填する。	接・無し
729-2	石器 石核	3区1井戸	チャート 重・755	長・12.5。幅・11.6。厚・4.5 チャート	節理が夥しく見られる灰色チャートを素材。4側面を顕著に使用。	
729-3	石器 剥片石器	3-28土坑覆土内 完存	チャート 重・6.56	長・3.8。幅・2.6。厚・0.9	縦長剥片の1側縁に加工を施す。	
730-1	縄文土器 深鉢	4区166Gr 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄2.5YR6/2 含繊維・白色微粒子・白色粒子	LR・RL原体の菱形構成。口唇部直下にルーブ文を施文する。	接・2点
730-2	縄文土器 深鉢	4区III層 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	上段に無節R原体、下段に多条RL原体を横転施文する。	接・無し
730-3	縄文土器 深鉢	4区III層 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 含繊維・砂粒・白色微粒子	肋骨文を施文する。	接・無し
730-4	縄文土器 深鉢	4区III層 破片	厚・1.1	酸化・並。オリーブ褐2.5YR 4/3。含繊維・白色微粒子	半裁竹管による楕円区画及び鋸歯状施文に、竹管の刺突を施す。	接・無し
731-1	縄文土器 深鉢	4-43・47Gr III層 破片	口・(24.2)	酸化・並。暗赤褐2.5YR3/4 角粒粗粒砂	胴部は緩やかに外傾して開き、口縁部はキャリパー状になる。多条LR原体を充填させる。	接・3点
731-2	縄文土器 深鉢	4区III層 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 細粒角礫・粗粒砂	横位に隆帯を施文し、隆帯上に円形刺突を施し、直下にLR原体を縦転施文する。	接・無し
731-3		4区III層	厚・1.1			
731-4	縄文土器 深鉢	4区III層 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 白色粒子・赤褐色粒子・砂粒	6本1単位の櫛歯波状文を縦位に施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
731-5	縄文土器 深鉢	4区45Gr 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 細砂粒・白色微粒子	「の」字状の沈線文を施す。	接・無し
731-6	縄文土器 深鉢	4-166Gr 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒・白色微粒子	口縁部は内湾気味で口唇部は肥厚する。口縁を施文し、LR原体を縦転施文する。	接・無し
731-7	縄文土器 深鉢	4-48Gr 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄2.5YR8/3 粗粒砂・白色粒子	口縁部は外傾し、口唇部は内側に折れる。外面は強い撫でを施す。無文。	接・無し
731-8	縄文土器 深鉢	4-166Gr 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細粒角礫・粗粒砂・赤褐色粒子	「X」字状縄文を施文する。原体はLRを回転施文する。	接・無し
731-9	縄文土器 深鉢	4-68Gr 1/4	括・(5.2) 最・(9.0)	酸化・並。鈍黄橙10Y5/4 細粒白色微粒子・砂粒	上下に波状弧線文を配し、把手部を中心に三叉文を削込む。器内面に網代痕を残す。	調査時の欠損有り。
731-10	石器 剥片石器	4-41Gr 完存	チャート 重・19.4	長・4.6。幅・3.6。厚・1.3	楕円形状の剥片の1側縁に刃部加工を施す。	
731-11	施釉陶器 塊	4-08G 破片	底・8.8	還元。締。釉透明調(灰釉)。 胎土灰。	内外面に施釉あり。外面に轆轤目あり、内面滑らか。	東海搬入
732-1	縄文土器 深鉢	5-341Gr 破片	厚・1.3	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色微粒子・赤褐色粒子	半裁竹管による3条の連続爪形文を施す。	接・無し
732-2	縄文土器 深鉢	5-342Gr 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 細砂粒・細粒白色微粒子	縦位の半裁竹管による隆帯施文。	接・無し
732-3	縄文土器 深鉢	5-343G 破片	厚・1.2	酸化・軟。褐7.5YR4/3 粗粒砂・白色微粒子・赤褐色粒子	隆帯の縁辺に3本1単位の押引を施す。	接・無し
732-4	縄文土器 深鉢	5-244P覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄2.5Y6/4 粗粒砂	器面の風化顕著。RL原体を縦位施文する。	接・無し
732-5	縄文土器 深鉢	5-363G 破片	厚・1.1	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色微粒子・赤褐色粒子	地文にRL原体を縦位施文し縦位の懸垂文を施し、縄文を擦り消す。	接・無し
732-6	縄文土器 深鉢	5-230P覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。暗褐10YR3/3 砂粒・黒色微粒子	LR原体を縦転施文する。	接・無し
732-7	縄文土器 深鉢	5-81Gr 破片	底・10.2 厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 粗粒砂・細粒・白色微粒子	底部底面に網代圧痕が認められる。	接・無し
732-8	縄文土器 深鉢	2-16溝 破片	厚・0.6	酸化・並。暗褐10YR3/3 粗粒砂・細粒・白色微粒子	刻みによる口唇加飾を施し、口唇直下に入り組三叉文を斜位に施す。	接・無し
732-9	石器 石鏃	48溝覆土 形状	チャート 重・1.25	長・2.48。幅・1.66。厚・0.45	無茎長平根三角形抉式。	接・無し

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
732-10	石器 剥片石器	5-274Gr 完存	チャート 重・0.42	長・1.8。幅・1.3。厚・0.25	無茎長平根三角形式。	
733-1	石器 石鏃	46溝 完存	チャート 重・2.82	長・2.7。幅・1.9。厚・0.7	無茎式。	
733-2	深鉢 剥片石器	5-384Gr 完存	チャート 重・6.05	長・3.4。幅・2.4。厚・1.0	縦長剥片の1側縁に加工を施す。	
733-3	石器 剥片石器	5-364Gr 不詳	チャート 重・4.76	長・3.3。幅・2.3。厚・0.8	縦長剥片の1側縁に加工を施す。	
733-4	石器 打製石斧	5-139坑覆土内 完存	ホルンフェルス 重・163	長・10.3。幅・7.2。厚・2.2 ホルンフェルス	撥形。刃部は直刃。基部は若干削込む。片面に礫面を残す。	
733-5	石器 打製石斧	旧河道 刃部一部欠損	ホルンフェルス 重・302	残存長・10.6幅・9.4 厚・3.0。ホルンフェルス	分銅形。片面に礫面を残す。剝離調整は4面構成。刃部欠損は調整の失敗か。	5区292Gr
733-6	土師器 土坏	5号竪穴覆土 破片	口 (10.4)	酸化・並・橙7.5YR6/6・並、 やや重。白粒・灰鈹物含、他少。	型作りか。体部に型膚。口縁部・内面は横撫。 内・外ハゼ多。	2片
733-7	土師器 中型器種	5号竪穴覆土 底部のみ	底 (7.0)	酸化・並・にぶい橙7.5YR6/4。 並、やや重。白・褐粒含。他含。	壺・甕・鉢か。底面に砂付着。内面剥落多。 割れ口消耗大。	
733-8	土師器 台付甕	12号堀立覆土 脚のみ1/2	底 (11.0)	酸化焙。並。にぶい赤褐2.5YR 4/4。並、軽。金雲母含、鈹物少。	内・外面に横撫あり。外面の台部端を尖らせる 特徴あり。上方は甕部との接合面残す。	6片 被熱色変
733-9	須恵器 土坏	5-60G 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰N5/0。並、やや軽。 白粒多、黒粒含、他少。	轆轤成形。わずかに底面残存。割れ口消耗少 ない外面底際に挽き出しの稜あり。	笠か。
733-10	施釉陶器 碗	20号住覆土 破片	底 (5.0)	中～還。締。釉茶褐色鉄、天目 釉。胎土茶灰。	内面と外面上方に光沢の弱い古様な感の鉄釉 あり削り目は轆轤左回転か。	国産か不明
733-11	磁器 染付	5-158G 破片	厚・0.5	締。白。明青花	明青花。呉須は発色良く精製呉須を使用する。	
733-12	石製品 砥石	5-255G 表土 破片	砂岩 重70.60g	遺存長・7.2。残存幅・4.8。 厚・1.2	砥面の表面は平坦で裏面は浅く皿状に窪む状 態。研磨主体は蛤刀状か。手持砥。	
734-1	縄文土器 深鉢	15号井戸覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色粒子・粗粒砂・白色鈹物	器面の内外面条痕文を施文する。内面は横位 に、器外面は斜位に施文する。	接・無し
734-2	縄文土器 深鉢	6区表土 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色微粒子	縦位気味の平行沈線を施し、無節L・RL 原体 を羽状施文する。	接・無し
734-3	縄文土器 深鉢	6-317倒木 破片	厚・1.0	酸化・並。明黄褐10YR7/6 角粒粗粒砂・白色鈹物	斜位の強い篋撫でを施す。	接・無し
734-4	縄文土器 深鉢	6-317倒木 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍褐5/4 白色鈹物・砂粒・赤褐色粒子	横位の帯縄文を施文する。原体 LR。	接・無し
734-5	縄文土器 深鉢	6区確認面 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色鈹物	逆「T」字状の帯縄文を施文する。原体は LR。	接・無し
734-6	石器 石鏃	6区表土 鏃先欠損	チャート 重・1.95	長・2.22。幅・2.11。厚・0.6	無茎平根三角形抉式。	接・無し
734-7	石器 石鏃	6-325G 完形	チャート 0.35g	長・1.4。幅・1.4。厚・0.2	無茎平根三角形抉式。	接・無し
734-8	埴輪 朝顔	6区覆土 破片	厚・1.3	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 並、やや重。白・褐粒含、他含。	外面に回転力(轆轤か)のある横の刷毛目、 内面に紐作接合面2段。割れ口少し消耗。	粘。
734-9	土師器 土坏	旧市道 1/2	口・(13.7) 高・(5.4)	酸化。硬。にぶい黄橙10YR6/3。 褐粒含。鈹物少。	口縁部に粘土帯接合痕。底部・体部は篋削り。 口縁部・内面は横撫で。内面墨痕様付着。	接合2片
734-10	須恵器 土坏	64号溝覆土 破片	底・(8.0)	還元。並。淡黄5Y8/3。密、重。 白・黒粒含、他少。	底面に轆轤右回転篋削りあり。さらに「主」墨 字あり。内面に工具条痕あり。	笠か 墨書-163
734-11	須恵器 土坏	14号竪穴覆土 破片	厚・0.6	還元・軟・灰白5Y7/1。並、軽。 白粒含、他鈹物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後回転 篋削りと「主」の墨字あり。内面使用摩耗。	笠か 墨書-164
734-12	土師器 土坏(平底)	121号溝覆土 底1/3	厚・0.7	酸化・並。明赤褐5YR5/6。 並、軽。白粒含、他少。	底部は篋削り不明墨字。内面は横撫で割れ口 消耗大。	墨書-165
734-13	須恵器 土坏	64号溝覆土 1/2	口・(12.5) 底・8.2	還元。並。淡黄5Y8/3。密、重。 白・黒粒、他鈹物少。	底部は轆轤右回転糸切り、回転篋削り。さらに 「主」墨字。口縁部下外面に重ね焼吸炭あり。	笠か 墨書-166
734-14	須恵器 鉢	旧市道下 破片	底・(8.4)	還。締。灰5Y5/1。密。	上半旧欠。底部は粘土板で糸切(右か)。外面 に自然釉。内面に使用摩耗あり。	東海
735-1	須恵器 土坏	14号井戸覆土 底部片	底 (8.0)	酸化。軟。灰黄7.5YR6/2。 並、軽。褐粒多含、他少。	口縁部は欠損する。底部は轆轤右回転篋削形 形。割れ口の消耗少ない。	粘。
735-2	須恵器 蓋か	表土旧市道下 破片	口・(15.2)	還元。並。灰5Y5/1。並、軽。 白・褐粒含。他少。	外面上方に轆轤目、内面にも轆轤目。割れ口 消耗大。	粘。
735-3	軟質陶器 鉢	6区表土 破片	底・(10.0)	中性。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 並、軽。白・褐粒含。他鈹物少。	紐作り後轆轤整形(左回転か)。内面に卸目。	

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
735-4	軟質陶器 火燵し	旧市道下 破片	口・(15.6) 高・(5.2)	還元。並。黒2/0。粗、軽。 白・褐粒含、鉍物少。	型作りで裏面は全面石目状の型膚。内面轆轤 目。持手は割り込み接合、焼成5層気味。	接合1片 小泉焼か
735-5	陶器 碗	6区表土	口・(12.1)	還元。締。釉透明調(灰釉)。 胎土灰。	内外面に施釉あり。外面に轆轤目あり、内面 滑らか。器肉薄作。割れ口消耗微。	東海搬入
735-6	施釉陶器 播鉢	6-235G 表土 破片	口・(29.0)	中性。締。釉褐灰10YR5/1。 (鉄釉錆調)。胎土黄灰。	内外面に鉄釉錆調の釉あり。口縁部旧時の摩 耗あり。内面下方の摩耗不明瞭。	18C 美濃
735-7	軟質陶器 鉢	旧市道下 破片	口・(29.2)	中性。並。灰5Y5/1。粗、やや軽。 鉍物含。	内面に雲母状の粒子と光沢、研磨。外面に回 転笠削と撫。口縁小ハゼ。焼成5層気味。	小泉焼か
735-8	軟質陶器 火鉢	6区覆土 破片	最大径・(40. 2)	中～還元。並。オリーブ黒5Y3/ 1。並、やや軽。褐粒含、鉍物少。	内面に右回転の轆轤目。外面に麻葉様の印文 施文あり。焼成は芯灰色、外面燻の5層。	小泉焼か
735-9	軟質陶器 不明	旧市道下 破片	厚・2.2	還元。硬。灰黄褐10YR4/2。 並、軽。鉍物微、シルト質。	表面・側面に撫あり。他の面は旧時欠損。燻 かかり、焼成5層気味。割れ口消耗。	17C以降
735-10	施釉陶器 小形香炉	6区 破片	口・5.3	還元。締。釉透明調。胎土灰。	外面下方から底にかけ露胎。前出し高台で轆 轤右回転。	18・19C 瀬戸か
735-11	施釉陶器 仏花瓶	6区 破片	厚・0.6	中性。締。釉黒褐茶(外)、 淡褐(内)。胎土黄灰。	外面に光沢の弱い鉄釉、内面に薄い透明調の 褐釉あり。双耳か。割れ口旧欠。	18C 美濃
735-12	陶胎染付 碗	6区確認面 2/3	口・7.7 底・3.7			
735-13	施釉陶器 鉄釉	1号井戸 底部	底・(11.0)	中性。締。釉茶褐(鉄釉)。 胎土黄灰。	内面10～15条を1単位とする卸目、顕著な使 用摩耗あり。内外面施釉。底右回転糸切。	17・18C 瀬戸美濃
735-14	軟質陶器 鉢か	旧市道下 破片	厚・1.0	還元。並。オリーブ黒7.5Y2/2。 粗、軽。白粒含、他含。	内面に卸目状の条線刻み、摩耗あり。内外黒 色燻かかる。割れ口消耗あり。	18C以降 小泉か
735-15	土製品 円盤	6区表土 完存	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 金雲母・白色鉍物	深鉢胴部片の転用。文様は認められない。	接・無し
736-1	石製品 砥石	旧市道下 完形	流紋岩 85g	長・11.4 幅・3.0	虎砥本山様に目がつみ、淡茶の縞入る。使用 旧、表・裏、小口、側部の6面。形は刃付様。	
736-2	石製品 砥石	6区確認面 1/2	流紋岩 90g	長・8.1 幅・4.2	小口は先尖り、上方は旧欠。使用表・裏と側 部の4面。質は目がつみ細かい中砥。	中砥
736-3	瓦 女瓦	表土 破片	厚・2.0	還～酸化。並。灰黄褐10YR6/2。 並、軽。白・黒・褐粒、鉍物多。	全体に消耗大。被熱あり。色調差あり。側部 面取り2面。整形状態消耗。	中世瓦か
736-4	瓦 本瓦か棧瓦	6区 破片	厚・1.5	還元。硬。灰5Y6/1。並、重。 灰粒含、鉍物少。	黒色燻しがかかる。表面は丁寧なで整形。 裏面は荒い型膚。	
736-5	瓦 棧瓦	6区 破片	厚・1.4	還元。硬。灰5Y6/1。並、重。 灰粒含、鉍物少。	表面に雲母状光沢。裏面に型状の痕跡と横撫 痕。	
736-6	瓦 棧瓦・軒丸	旧市道下 1/3	縦・(8.5) 横・(20.2)	還元。並。灰5Y5/1。並、やや重。 灰色粘土粒含、鉍物少。	表面に銀化状、雲母粒あり。右隅部に角欠き あり。焼成は黒色燻があり3層気味。	近代以降 深谷か
736-7	瓦 棧瓦・軒丸	6区 1/4	厚・1.3	還元。並。灰5Y5/1。並、やや重。 灰色粘土粒含、鉍物少。	宇部残存。意匠は均整唐草文。巴部を欠損。 表面に銀化状、雲母粒あり。巴ぶを欠損。	
736-8	瓦 棧瓦	旧市道覆土 1/2	長・21.7+ α 巾・18.9+ α	還元。硬。灰5Y6/1。並、重。 灰粒含、鉍物少。	表面に雲母状光沢。裏面に型状の痕跡と横撫 痕。隅部切り取りは長い。焼成3層気味。	深谷か
737-1	須恵器	14号井戸覆土 1/2	口・(12.0) 底・(6.0)	中性。軟。にぶい黄2.5Y6/4。 並、軽。白粒含、鉍物少。	底部は右回転糸切り。内面に「丁□」、外面に 不明墨字あり。	墨書-167 粘
737-2	須恵器	14号井戸覆土 1/3	口・(13.0) 底・(6.4)	還元。締。灰N5/0。並、やや軽。 白粒含、鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。口縁部に重焼色変あり。	粘
737-3	須恵器	3号井戸覆土 1/4	口・(13.8) 底・(7.2)	中性。並。黄灰2.5YR5/1。並、 やや軽。白粒含、他鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転笠整形。内外とも燻。	粘
737-4	施釉陶器 播鉢	7-378G 表土 破片	口・(37.1)	還～酸化。締。暗赤褐5YR3/4。 密、重。白鉍物多、他鉍物含。	口縁部に歪み、片口部至近。内面に卸目摩耗 微。口縁部旧摩耗。外面轆轤目と指圧痕。	16～18C 信楽か
737-5	石製品 砥石	7-314G 覆土 完形	デイサイト 270g	長・14.1 幅・4.9	旧材は、原材割れと、転石の面あり。使用は 主として表・裏・少左側部。刃付砥か。	古代～中 世か
737-6	石製品	7-359G 覆土 石白、下白 1/3	粗粒輝石安山岩 4500g	径・(32.0)	石質は重く、硬い。表面に8条前後を1単と し、全体で推定6分割目あり。軸穴あり。	
738-1	縄文土器 深鉢	8-2126P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR6/3 砂粒・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位施文する。	接・無し
738-2	縄文土器 小形浅鉢か	8区15住覆土 破片	厚・0.4	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 白色鉍物・黒色鉍物	RL原体を施文。	
738-3	石器 石鏃	17号住覆土内 完存	チャート 重・0.9	長・1.9。幅・1.5。厚・0.4	無茎平根三角形状式。	
738-4	石器 剥片石器	17号住覆土内 完存	チャート 重・3.56	長・2.4。幅・2.2。厚・0.8	縁辺の一部に加工が認められる。	

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
738-5	石器 剥片石器	18号住覆土内 完存	珪質変質岩 重・2.92	長・2.6。幅・1.9。厚・0.8	隅丸の三角形状を呈する。表面の縁片に刃部加工が認められる。	
738-6	石器 石鏃	15号住覆土内 完存	チャート 重・5.56	長・2.9。幅・2.5。厚・0.9	無茎平根五角形抉式。	26住居跡の可能性
739-1	石器 ドリル	96号住覆土内 先端欠損	チャート 重・6.47	長・3.15。幅・2.0。厚・1.4	剥片の頭部側に刃部加工を施す。	
739-2	石器 剥片石器	95号住覆土内 完存	チャート 重・12.3	長・4.32。幅・2.9。厚・1.0	表面の一部に加工が認められる。	
739-3	石器 磨製石斧	8-101G 覆土内 一部欠損	蛇紋岩 重・18.72	長・5.2。幅・2.7。厚・1.05	刃部側の半分を欠損する。表面に不定方向の削痕が認められる。	
739-4	埴輪 朝顔	8-51G 表土 破片	厚・2.0	酸化。並。橙2.5YR6/8。並、やや重。白・褐粒含、他多。	外面に刷毛目、突帯あり。内面に接合痕あり。突帯後の刷毛目。焼成単一気味。	粘、陶
739-5	埴輪 円筒	8-29G 表土 破片	底・(24.3)	酸化。並。橙7.5YR7/6。並、重。白・褐粒含、他鉱物少。	基部は粘土帯か、上方は紐作か。外面に刷毛目突帯剥落。内面は指掻き、紐作痕、焼成3層。	粘、小穴 繊維か
739-6	須恵器 甕	99号住覆土 破片	厚・0.8	還元。硬。灰10Y5/1。密、やや重。白粒、白鉱物多。	紐作り後叩き整形。外面は格子叩き、内面当具は青海波文。	太田
739-7	土師質土器 皿	8区 一部欠損	口・7.8 底・6.0	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/6。軽。鉱物少。	轆轤成形。内外に条痕あり。	
739-8	磁器 碗	8-28G 破片	厚・0.3	還元。締。釉明青灰5BG7/1(青磁釉)。胎土白。	内外面に粘土の厚い貫八のある青磁釉。外面側鑿花卉。内面使用傷少。消耗少。	13C 龍泉窯
739-9	石製品 砥石	10号住	珪質粘板岩 重・0.66g	遺存長・1.6 幅・1.0 厚・0.3	図右平面の左側部側に切り込み割りの痕跡あり。それを除き砥石とすべき点なし。	合砥級
740-3 740-2 740-1	縄文土器 深鉢	110号住覆土内 破片 破片 破片	厚・0.6~0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維・白色粒子	刺突を伴う沈線区画を主文とする。鶴ヶ島台式、3点は同一個体。	接・無し
740-4	縄文土器 深鉢	3号堅穴覆土内 破片	厚・0.8	酸化・硬。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	微隆帯区画内に平行沈線文を施文する。	
740-5	縄文土器 深鉢	15号井戸埋土 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 含繊維・白色微粒子	尖底土器の底部。内外面に条痕を施す。	接・無し
740-6	縄文土器 深鉢	15号井戸埋土 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	内外面に条痕文を施し、外面に竹管による小単位の沈線文を施す。	接・無し
740-7	縄文土器 深鉢	9-289G 表土 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・細粒白色鉱物	口縁部波内湾する。口縁部隆帯を施し、RL原体を充填施文する。	接・無し
740-8	縄文土器 深鉢	93号土坑表土 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・細粒白色鉱物	口縁部波内湾する。口縁部隆帯を施し、RL原体を充填施文する。	接・無し
740-9	軟質陶器 不明	7号地下式覆土 体部片	径・(10.0)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。粗、軽。鉱物粒多。	焼物種を胎土から見ると15世紀以降の軟陶に近い。全体の成りは径10cm前後で小さい。	
740-10	土師器 脚付皿	92号住No25 底部片	口・(10.2)	酸化。硬。橙7.5Y6/6。粗、軽。白・褐粒含、他含。	全体に消耗大。坏部上面は剥落のようにも見える。脚部内面は無整形。	
740-11	軟質陶器 内耳焙烙	7号地下式覆土 底部片	厚・0.7	酸化。並。浅黄2.5Y7/4。粗、軽。白・褐粒含、他鉱物含。	底面に石目状の型膚あり。内面撫。割れ口消耗大。焼成芯黒色で3層気味。	17C以降 小泉焼か
740-12	縄文土器 鉢	9区旧河道 破片	厚・1.2	酸化・並。褐7.5YR4/3 細礫・角粒粗粒砂・白色粒子	肩部に細い隆帯で同心円を施す。	
740-13	石器 石鏃	9-201Gr 完存	チャート 重・0.70	長・1.95。幅・1.8。厚・0.35	無茎平根三角形抉式。	
740-14	石器 石鏃	142住覆土 完存	チャート 重・0.92	長・2.25。幅・1.4。厚・0.4	無茎平根三角形抉式。	
740-15	石器 石鏃	9号堅穴覆土内 完存	チャート 重・2.28	長・2.7。幅・1.9。厚・0.6	無茎平根三角形形式。	
740-16	石器 石鏃	148住覆土 完存	黒色頁岩 重・2.31	長・3.35。幅・2.15。厚・0.5	有茎平根三角形抉式。	
741-1	石器 石鏃	9-20井戸埋土 先端欠損	チャート 重・1.99	長・1.7。幅・0.7。厚・0.3	縦長剥片の先端側及び1側縁に加工を加える。	
741-2	石器 剥片石器	114号住覆土内 1/2か	チャート 重・9.47	遺存長3.3。幅・2.9。厚・1.1	剥片の片面側に剥離による面調整が施され、刃部加工が施される。	
741-3	石器 剥片石器	9区表土 完存か	頁岩 重・22	長・4.5。幅・3.6。厚・1.1	土端以外に刃部加工痕が認められる。刃部は鋭利ではない。	
741-4	石器 打製石斧	485土坑覆土内 完存	ホルンフェルス 重・107	長・10.1。幅・5.2。厚・1.7 ホルンフェルス	表面は礫面を顕著に残す。側部に小単位の加工が施されている。	

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
741-5	石器 打製石斧	注記漏れ 完存	ホルンフェルス 重・118	長・13.4。幅・5.6。厚・2.2 ホルンフェルス	短冊形。冠部は丸味を帯びる。基部は直線的 だが、剥離調整は顕著。	
741-6	石器 打製石斧	9区14井戸 完存	ホルンフェルス 重・498	長・13.8。幅・8.7。厚・3.2 ホルンフェルス	撥形。刃部は曲刃。片面に礫面を残す。刃部・ 基部調整は、裏面側からが顕著。	
741-7	石器 打製石斧	9区2井戸 完存	ホルンフェルス 重・867	長・20.3。幅・11.2。厚・4.1 ホルンフェルス	撥形基調。刃部は曲刃で先端は尖る。基部調 整は比較的顕著。片面に礫面を残す。	
741-8	石器 打製石斧	9区内 スクレイパー	黒色頁岩 重・58	長・7.6。幅・4.0。厚・1.5 黒色頁岩	均整のとれた長楕円形状。片面に礫面を残す。 刃部調整は片面側のみに認められる。	
741-9	石器 打製石斧	9区2井戸 完存	ホルンフェルス 重・1032	長・17.9。幅・9.7。厚・5.5 ホルンフェルス	器厚も厚く、刃部・基部の調整が不完全で、 未製品と考えられる。片面に礫面を残す。	
741-10	石器 磨斧	102号溝 刃部欠損	蛇紋岩 重・239	遺存長・9.9。幅・5.3 厚・3.25	刃部は一撃により欠損している。	
741-11	石器 磨製石斧	1号堀 1/2	変質安山岩 重・293	遺存長・10.0。幅・3.4。 厚・2.3。変質安山岩	定角磨製石斧。刃部側を欠損。	
742-1	埴輪 形象人	14号井戸覆土 一部破片	—	酸化。並。にぶい橙5YR7/3。並。 やや軽。褐粒多、白粒少、他少。	形象人物の頭部か。外面に刷毛目あり。下方 に続く接合面あり。全体に浅いハゼあり。	6C
742-2	埴輪 円筒	9区	厚・1.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含。	外面突帯と、回転による横刷毛目。内面紐作 痕、割れ口消耗。	
742-3	埴輪 円筒	9区1号溝覆土	最大径・(29.4)	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。並。 やや重。石英含、他鉱物含。	外面突帯と、回転による横刷毛目。内面紐作 痕、横・斜刷毛目。割れ口消耗。	粘
742-4	土師器 埴輪円筒	(162住内?) 胴部片	厚・1.9	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや軽。白・褐粒含。	外面刷毛目。突帯剥落痕。内面に刷毛目とその 工具痕。粘土接合痕。外面消耗。割れ口消耗大。	粘
742-5	埴輪 円筒	26号井戸覆土 体部片	厚・1.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含。	外面刷毛目。突帯付近横撫。内面刷毛目、粘 土接合面。焼成芯黒で3層気味。消耗少。	
742-6	埴輪 円筒	26号井戸覆土 体部	厚・1.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 金雲母、白粒含、他鉱物少。	外面突帯と横撫。内面指などの掻ナラシ整形、 紐作痕。割れ口消耗少。焼成芯黒3層。	
742-7	埴輪 形象	26号井戸覆土 体部	厚・1.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・黒・褐粒含、他含。	内外面に刷毛目あり。内面に紐作痕あり。割 れ口の消耗大。	金雲母含
742-8	埴輪 円筒	14号井戸覆土 破片	厚・1.2	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。 やや重。白・黒粒含、他含。	外面に突帯あり、その剥落下に刷毛目あり。 内面刷毛目あり、割れ口の消耗大。	
742-9	埴輪 円筒	14号井戸覆土 破片	厚・1.4	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。 やや重。白粒・白鉱物含、他含。	外面刷毛目、突帯、撫。内面横撫。割れ口紐 作痕。割れ口消耗大。外面煤様附着。	焼成単一 気味
743-1	石器 擦石	9区51グリッド	溶結凝灰岩 重・657	長・10.5。幅・7.7。厚・5.8 溶結凝灰岩	所謂スタンプ形石器。裁断面を平坦に調整後 に使用している。	
743-2	石器 石皿	1号堀 破片	粗粒輝石安山岩 重・1990	残存長・15.6。幅・17.3 厚・7.7。粗粒輝石安山岩	中央が皿状に窪む。打痕も内面まで磨滅する。 裏面も広範囲に磨滅する。	
743-3	埴輪 形象	26号井戸覆土 体部	厚・1.3	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含、他含。	内外刷毛目。外面上方に突帯下の横撫らしき 撫痕。割れ口に紐作痕。焼成芯黒3層。	
743-4	土錘	9-316G表土 完形	長・5.0 重・15.34g	酸化。並。橙7.5YR6/5。並。 やや重。鉱物少。	外面滑らか。小口の面揃えは篋撫。条孔は円 形気味。	
743-5	土錘	9区表土 完形	長・4.6 重・9.62g	酸化。並。にぶい褐7.5YR6/4。 並。夾雑物少、白・黒・褐含。	表面滑らか。少し使用摩耗あり。穿孔正円。 消耗少あり。	
743-6	土師器 坏	9区覆土 破片	口・(11.6)	酸化。軟。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	底面は篋削。体部外面中位に型膚あり。割れ 口消耗。口縁部の内外面に横撫。	
743-7	土師器 坏	9区覆土 1/4	口・(12.8)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	底面に篋削。外面中位に型膚。口縁周辺から 体部にかけて横撫。割れ口少し消耗。	
743-8	土師器 坏か	26号井戸 破片	底・(6.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並、軽。褐粒含、鉱物微。	外面篋削目あり。内面横撫目あり。篋削目立 ち、坏ではないかもしれない。薄作。	
743-9	土師器 坏	9区覆土 破片	口・(12.9)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 金雲母含、褐粒多、他少。	底面に篋削。外面中位に型膚。口縁部周辺に 横撫。割れ口新鮮。	
743-10	土師器 坏	9区 破片	脚端8.1	酸化。硬。橙2.5YR6/8。並。 やや軽。褐粒含、他含。	口縁部は横撫。体部・底部は篋削。内面撫は 破立つ。体部外面に「長」の墨字。	墨書-168
743-11	土師器 坏	表土旧市道下 破片	口・(14.1)	酸化。並。にぶい橙5YR6/3。	口縁部の内・外面横撫。底面篋削。体部外面 型膚。割れ口少し消耗。	
743-12	須恵器 坏か	6号堅穴覆土 破片	厚・0.4	還元。並。暗灰黄2.5Y5/2。並。 少し重。白粒含、他鉱物少。	口縁部は欠失。轆轤成形。体部外面に「太」 かの墨字あり。割れ口消耗少。	笠か 墨書-169
743-13	土師器 埴	9-394グリッド 部分欠損	口・14.0 底・7.1	酸化。並。浅黄橙10YR8/4。 粗。軽。鉱物微。	口縁部は外傾する。篋削整形。付け高台。 底部に回転撫整形。内面ハゼ多い。	
743-13-2	須恵器 坏か	9-28グリッド 破片	厚・0.3	中性。並。にぶい黄橙10YR6/3。 密、やや重。鉱物微。	口縁外面に不詳墨字。	墨書-170

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
743-14	土師器 器台	9-334G 表土 台部片	最径 (5.6)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/3。 並、重。白・褐色粒含、他少。	外面に細い、少ない研磨様あり。内面篋撫。 透し4穴か。割れ口消耗。	
743-15	土師器 台付甕	188号住No 5 脚部周辺	底・8.1	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/4。 並、やや軽。白・褐粒微、他微。	外面体部は篋削り、内面体部は篋撫で。脚部 内・外面轆轤状横撫で。外面被熱色変。	接合10片
743-16	須恵器 坏小形	8号竪穴覆土 破片	口 (10.5)	還元。締。灰7.5Y5/1。密、 やや重。白・鉍物含、他微。	小形は稀少。口縁部は外傾する。轆轤成形轆 轤目あり。割れ口消耗少ない。	太田か
743-17	須恵器 坏	188号住No 4 3/4	口・(13.5) 底・6.8	還元。硬。灰5Y4/1。密、重い。 白色粒微、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。底面少し摩耗。	接合3片 県外か
743-18	須恵器 坏	188号住No 5 ほぼ完形	口・14.0 底・8.0	中性。並。にぶい黄橙10YR6/3。 密、やや重。鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面の口縁部に漆付着。	接合8片 笠・太か
743-19	須恵器 碗	9-148G 破片	口・(14.4)	中性。軟。黄灰2.5Y。粗、軽。 白・褐粒含、他微、シルト質。	轆轤成形(右回転)。底部は高台貼付後の撫。 内面に後代傷あり。	接合2片 粘
743-20	須恵器 坏	4号竪穴覆土 底のみ	底 (4.5)	還元。並。灰5Y6/1。並、軽。 白・黒粒含、他少。	口縁部欠損。底部は轆轤右回転糸切り。割れ 口消耗。	粘
743-21	須恵器 坏か	9-148グリッド 破片	口・16.2	還元。並。暗灰黄2.5Y5/2。並、 少し重。白粒含、他鉍物少。	底部欠損。内面ハゼ多い。	
743-22	須恵器 碗	(162住内) 口縁部	厚・0.5	還元。軟。黄灰2.5Y5/1。粗、軽。 白粒多、他含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。割れ口消耗大。	粘
743-23	須恵器 坏蓋	9区表土 1/4	摘 (4.1)	中性。軟。浅黄2.5Y7/3。並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	摘み貼り付け、周囲横撫。外面上方轆轤右回 転篋削。割れ口消耗。	
743-24	須恵器 坏蓋	9区表土 破片	縁 (16.1)	中性。並。暗灰黄2.5Y5/2。並、 やや軽。白粒含、他鉍物含。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。内 面轆轤目多い。割れ口少し消耗。	接合2片
743-25	須恵器 坏蓋	9区表土 破片	蓋縁 (18.0)	還元。硬。灰5Y6/1。密、やや重。 白粒多、褐粒少、他少。	外面上方にろくろ右回転の篋削。端部尖り甘 い。外面に突端あり。	笠か
743-26	須恵器 鉢	9-48・49G 表土 破片	厚・0.9	還元。締。褐灰10YR5/1。密、 重。黒粒含、他少。	鉄鉢形。内面自然釉と横撫。外面轆轤目。割 れ口の消耗大。	西毛〜埼 玉
743-27	須恵器 瓶	9区覆土 破片	口・(18.1)	還元。締。灰オリープ5Y5/2。密、 重。白・黒鉍物含。他少。	内外面に自然釉。割れ口消耗あるが、旧割れ と使用小穴との区別無理。口付近小穴多。	東海搬入 〜西毛
744-1	須恵器 長頸瓶	9区覆土 首部破片	首部 (5.3)	還元。締。淡黄2.5Y8/4。密、重。 白粒微、他鉍物少。	内面に頸部3段接合面あり。外面自然釉。胎 土緻密。割れ口消耗微。	東海〜西 毛〜埼玉
744-2	須恵器 瓶	9-366表土 破片	厚・0.8	還元。締。灰5Y6/1。密、重。 白鉍物多、黒鉍物少。	外面に自然釉。内面轆轤目と頸部3段接合面 らしき箇所あり。割れ口消耗少。	西毛〜埼 玉
744-3	須恵器 広口壺	9-336G 破片	口 (17.4)	中性。硬。灰 N5/0。密、重。 白・黒粒含。	外面黒褐色の自然釉かかり、2条、1条の沈 線あり。内面轆轤右回転の轆轤目あり。	接合2片 産不詳
744-4	須恵器 甕	9-148G 口縁部破片	口・(30.8)	還元。軟。灰白5Y7/1。並、軽。 褐粒含、シルト質。	内外面回転条痕あり。内面に小ハゼあり。割 れ口少し消耗。	接合2片 粘
744-5	須恵器 羽釜	9区覆土 破片	口・(27.6)	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや重。褐粒多、他鉍物含。	紐作り後右回転轆轤整形。体部外面に紐作痕 と工具による整形条痕あり。内面撫。	粘・陶
744-6	須恵器 羽釜	9区覆土 口縁破片	口 (21.0)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。並、 やや重。褐粒含、他含。	内外面轆轤。内面紐作痕。割れ口に鈔貼付痕 見え。内面に被熱吸炭あり。	粘・陶
744-7	須恵器 甕	9-148G 破片	口・(25.6)	還元。軟。浅黄2.5Y7/3。並、軽。 暗褐粒多、他鉍物少。	内外面に回転条痕多い。割れ口消耗あり。外 面被熱色変あり。	1片 粘
744-8	須恵器 甕	87号溝覆土 口縁部片	厚・0.9	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並、 やや重。白・褐粒含、他含。	外面、口縁部以下に横撫、鏝以下不定方向の 撫。内面斜方向の撫。割れ口消耗少。	粘
744-9	須恵器 甕	9-148G 破片	厚・0.9	還元。軟。灰黄2.5Y7/2。並、軽。 暗褐粒多、他鉍物少。	内外面に回転条痕多い。割れ口消耗あり。外 面被熱色変あり。	粘
744-10	須恵器 甕	80溝覆土、C点 破片	底・(21.0)	還〜中性。硬。暗灰黄5Y5/2。粗、 軽。黒粒多、白粒少、他微。	轆轤成形(右回転)。内面竹管状の棒差し込み 穴あり。内外面被熱ハゼ、内面紐痕。焼成5層。	内外面煤 あり
745-1	須恵器 甕	9-169G 覆土	厚・1.2	還元。締。黒10YR2/1。密、重。 白鉍物多、他含。	紐作り後叩き整形。外面に波状文、4段見え る。内面に自然釉かかる？	太田
745-2	須恵器 甕	9-366G 表土 破片	厚・1.0	酸〜還、並。褐灰7.5YR5/1。 密、やや重。白鉍物含、他少。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩き。内面は 当て目撫で消し。割れ口消耗少。	太田
745-3	須恵器 甕	9-148G 表土 破片	厚・1.8	還元。締。浅黄2.5Y7/3。密、重。 白鉍物多、黒鉍物他微。	外面に自然釉、平行叩。内面に同心円文、紐 作痕。欠損後の利用か、内面に浅い摩耗。	西毛か
745-4	軟質陶器 甕	69住東カマド、覆 破片	厚・1.3	還元。並。黒7.5Y2/1。粗、軽。 白・褐粒含、他鉍物微。	内面ハゼ剥落。外面紐作の凹凸とハゼ。割れ 口には紐作痕。焼成5層。	中・近世 か不明
745-5	軟質陶器か 壺か瓶	188号住No 1 破片	底・(16.9)	中性。軟。灰黄2.5Y6/2。並、軽。 微白粒多、他鉍物少。	須恵器かも。内・外面ハゼ多、剥落。外面に 指の整形痕、紐接合痕。内面撫整形痕。	接合2片
745-6	土師器 甕材か	147号住覆土 破片	厚・2.95	酸化。軟。明赤褐5YR5/6。並。 白・褐粒含、他鉍物微。	粘土板か。一部を除き旧欠。内外面の整形痕 不明瞭。粘土目筋は水平気味。	

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
745-7	須恵器 硯	102溝覆土 破片	長・11.0+ α	還元。硬。灰N6/0。密、やや重。 白鈹物多、他少。	風字硯で表面に使用の光沢、摩耗あり、墨液 見えず。外周部に自然釉光沢。割れ口摩耗少。	太田か
746-1	施釉陶器 瓶	9区 破片	口・11.6	還元。締。釉明緑灰7.5G7/1。 (灰釉)。胎土淡灰。	外面の口縁部付近から内面全面厚く施釉。	東海搬入
746-2	施釉陶器 段皿	9区 破片	口・(15.6)	還元。締。釉明緑灰7.5G7/1。 (灰釉)。胎土淡灰。	外面の口縁部付近から内面全面厚く施釉。外 面に回転条痕。割れ口消耗あり。	東海搬入
746-3	施釉陶器 皿	9区 破片	底(8.0)	還元。締。釉灰白2.5YR7/1 (灰釉)。胎土灰。	内面のみ灰釉厚く施釉、使用摩耗あり。高台 小作りで古様。割れ口少し消耗。	9Cか
746-4	瓦 瓦塔屋蓋	15号井戸覆土 破片	長・5.0+ α	還元。硬。灰10Y5/1。密、重。 白粒含、他鈹物少。	屋蓋部片。棟表現か竹管で施され、接する女 瓦表現が窶でなされる。塔屋根でないらしい。	産県内～ 近県
746-5	本瓦 女瓦	14号井戸覆土 破片	長・7.4+ α 幅・7.3+ α	還元。硬。灰10Y5/1。密、 やや重。白鈹物多、他含。	表面に布目痕あり、粘土剥ぎ取り条痕見えず。 表面に撫痕あり。小口篋削り2回面取。	太田か
746-6	本瓦 女瓦	89溝覆土 破片	長・5.6 幅・6.7	還元。硬。灰オリーブ5Y5/2。 並、やや重。白粒多、他含。	表面に撫。表面に布圧痕、粘土板剥取条痕あ り。色調の還元は芯まで。割れ口少し消耗。	9C 陶
746-7	瓦 女・椀瓦	9区表土 破片	最巾(7.0)	還元。並～軟。灰5Y6/1。粗、軽。 黒鈹物多、他少。	表面滑らかで撫あり。表面に撫あるものの凹 凸多い。割れ口消耗。焼成は煤なし。	小泉か 中～近代
746-8	土師質土器 小皿	9区 部分欠損	口・6.4 底・3.1	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/3。 粗、軽。鈹物少、シルト質。	轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口消耗あ り。底面板目あつ痕あり。	14・15C
746-9	軟質陶器 火鉢角形	9-450G表土 破片	長・20.8+ α	還元。硬。灰白N7/0。粗、 やや軽。白・褐粒含、他少。	外面研磨、平縁部研磨。内面撫。内・外煤あ り。内面側に被熱色変あり。焼成5層気味。	接合2片 小泉か
746-10	軟質陶器 内耳鍋	69住東カマド、覆 破片	底・(41.0)	還元。並。黒2/0。並、やや重。 白粒含、鈹物少。	外面下方に、底部粘土板の接合面、中位に撫や 整形探痕、その上方横撫。内面研磨と燻あり。	接合2片 小泉か
746-11	陶器 鉢	9-6G攪乱 口縁部	口・(32.2)	還元。締。灰N5/0。密、重。 石英やや多く、黒粒、他鈹物含。	内外面轆轤回転条痕あり。内面の使用摩耗微。 内面から口縁にかけ自然釉。	13Cか 常滑系
746-12	軟質陶器 鉢か	9-184G表土 破片	厚・1.0	酸化。軟。灰黄2.5Y6/2。並、軽。 白・黒褐粒含、他含。	内外・割れ口とも消耗大。わずか外面側に撫 痕見える。	19Cか
746-13	施釉陶器 小碗か	9区遺構外 4/5	口・7.4 底・4.0	中性焰。締。釉灰オリーブ5Y 6/2。胎土淡灰。	体部外面下方、高台裏を除き鉛釉を施釉。体 部外面に篋削目あり。	18・19C 瀬戸美濃
746-14	施釉陶器 小碗	9区遺構外 2/3	口・7.8 底・4.0	中性。締。釉灰オリーブ5Y6/2。 胎土灰。	外面下方、高台裏に鉛釉が掛けられる。体部 外面に篋削目。	18・19C 瀬戸美濃
746-15	磁器 小坏	9-6G攪乱 1/2	口・(7.8) 高・(4.0)	還元。締。釉透明調。胎土灰。	外面下方から底にかけ露胎。前出し高台で轆 轤右回転。	18・19C 瀬戸か
747-1	施釉陶器 変形皿	148住カマド、覆土 破片	厚・0.7	還元。締。釉淡黄緑(灰釉調、 透明感)。胎土灰白7.5Y7/1。	内・外に施釉(淡い御深井調)。内面に轆轤目。 外面に劃文と小円形刺突文。割れ口消耗。	美濃 18C
747-2	施釉陶器 瓶・徳利	162号住覆土 肩部片	厚・0.7	中性。締。釉灰釉調でやや厚い が古代灰釉陶かも。胎土黄灰。	外面に轆轤目と施釉。内面に紐作様の接合面 様ヒビ。外面の釉は青みがかる細穢あり。	美濃
747-3	施釉陶器 鉢	9-183グリッド 破片	厚・1.2	中性焰。締。釉灰オリーブ5Y 6/2。胎土淡灰。	口唇部は平端。内面の使用摩耗微。	美濃 18C
747-4	石造品 石版	9区表土内農道 破片	重・13.09g	長・5.1+ α 厚・0.35	図表・裏・脚部のみ旧時面。割れは旧欠で、 欠損部に消耗少。	
747-5	石製品 砥石	9-244G	凝灰質砂岩 95g	長・6.1 幅・3.0	使用は表・裏と両側部の4面。両小口のうち 片側が旧時欠損、他方が旧小口か。	中～荒砥
747-6	石造品 五輪、地輪	9区遺構外 完形	粗粒輝石安山岩 820g	長・18.3 幅・18.3	表・裏・側部計6面に整形のナラシ後の研磨 あり。裏面に荒い整形残る。石質重いが軟。	
747-7	木製品 杭	9区表土 消耗大	広葉樹 長さ・20.0	図平面側と左側部のみ旧状あ り、他は自然消耗で極めて不良。	杭先に削目あり。削り方は荒くない。自然消 耗部はスポンジ状となる。	
748-1	縄文土器 深鉢	10-26土坑Na1 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 金雲母・白色鈹物	文様の施文は認められない。	接・無し
748-2	土師器 土坏	5号地下式覆土 口縁部	厚・0.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6。	外面口縁部は横撫。	
748-3	土師器 土坏(平底)	5号地下式覆土 破片	口・(12.2) 底・(7.6)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。褐粒多、他含。	口縁部は外傾する。底部は篋削り、口縁部・ 器内面は横撫で。外面吸炭。	2片
748-4	須恵器 土坏	5号地下式覆土 底部片	厚・0.9	酸化。並。明褐7.5YR5/6。	底面は回転様の篋削り、ハゼ多い。内面底は回 転撫あり。割れ口少し消耗。	
748-5	須恵器 塊	10区西側 部分欠損	口・(20.0)	還元。硬。オリーブ黒5Y3/1。 並。軽。白色粒含、鈹物含。	口縁部は肥厚する。轆轤成形。高台部は欠損 する。内・外面黒色化。	粘
748-6	須恵器 瓶	10区覆土 胴部片	厚・0.6	還元。締。釉淡暗緑(灰釉か自 然釉)。胎土暗褐灰。	外面に古様な灰釉か自然釉あり、内面無釉で 轆轤目あり。釉は淡緑色がかり美しい。	東海搬入
748-7	須恵器 瓶	10-383G 破片	厚・0.6	還元。締。オリーブ黒5Y3/2。 密、重。白鈹物含、他少。	外面に暗黒オリーブ色の自然釉あり。内面に 轆轤目あり。薄作。割れ口消耗少。	東海搬入

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
748-8	磁器 皿	10-363G 整地層 破片	底・(7.2)	還元。縮。釉淡青～濃青(染付)、 青白(淡青白)。胎土白。	内面に玉獅子の一端、外面に唐草文の染付あり。透明釉は青白磁様。高台生掛削り。	16C 後 景德鎮
748-9	軟質陶器 内耳鍋	10区表土 破片	口・(35.6) 底・(32.0)	酸化。並。黒褐10YR3/1。並、 軽。白粒含、鉍物含。	口縁部外面下に接合面、外面に横撫、指圧痕、 石目状の型腐煤、内面に撫痕内耳あり。	小泉か
749-1	須恵器 坏	出土地不明 1/4	口・(12.4) 底・(7.2)	還元。硬。灰7.5Y5/1。並、やや 重。黒・白粒含。他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺 を回転篋調整。口縁部に重ね焼色変。	笠か
749-2	須恵器 坏	出土地不明 破片	口・(13.0)	還元。硬。5Y 灰6/1。密、軽。 黒粒含、他微、シルト質。	内・外面轆轤目あり、条数少ない。体部外面 に「主」力墨字あり。消耗ほとんどない。	粘・陶 墨書-171
749-3	須恵器 坏	出土地不明 破片	底・(8.0)	還元。硬。10Y 灰白7/1。並。 白粒微、黒粒含、他鉍物微。	底部回転糸切り後轆轤右回転の篋削り、さら に不明の墨字。内面摩耗微。割れ口消耗。	墨書-172
749-4	須恵器 蓋	表採外 摘部	厚・1.8	中性。軟。灰白5Y7/2。並、 やや軽。白・黒粒微、他微。	轆轤成形。消耗大。摘みはキノコ状で端部尖 り古様。摘み形態は県内例中特異。	近接県か
749-5	施釉陶器 播鉢	覆土 破片	底・(10.0)	酸化。硬。釉暗褐(鉄釉錆調)。 胎土黄灰。	錆調のにおい光沢の鉄釉が内外に施釉され る。内面に12+ α 条、単位の卸目少し摩耗。	17・18C 美濃
749-6	石製品 砥石	確認面 破片	流紋岩 35g	長・6.0 幅・2.8	使用は表・裏と両側部の4面。両側部は、製 作時の猫掻状ナラシ整形痕あり。	中砥級
749-7	木製品 杭	出土地不明 上方欠損	ウツギ 長・14.8+ α	上方は調査時欠損。先端一部調 査時欠損。単年木で芯抜ける。	先端部は刃物による削りあり。樹皮の残存なく、 当初の作業らしい。	
749-8	木製品 杭	出土地不明 上方欠損	ウツギ 長・23.2+ α	上方は調査時以降の欠損。軟化 し、芯は抜ける。単年材。	先端部に削り目あり。部分的に炭化し、熱処 置か。樹皮は見え、当初の作業か。	
749-9	木製品 棒	出土地不明 端部欠損	アカマツ 長・25.8+ α	端部は調査時欠損。中途小欠も 同様。	外面は樹皮を削り剥いたらしく、細かな長い 削目多数、図中の削りは模式。幼年木	
749-10	木製品 杭状道具	出土地不明 欠損少	エゴノキ属 長・36.0	平面図裏面にわずか樹皮が残さ れるが、旧状は剥して加工か。	両端を削り、さらに中央に削り部あり、中央 部に摩耗あり。道具らしい。	
749-11	木製品 杭	出土地不明 上方欠損	トネリコ属 長・51.6+ α	上方は調査時欠損。全体に自然 消耗強く、年輪浮き出す。	先端に削り目が見えるが、自然消耗のため削り 面は曖昧である。樹皮は残されていない。	
750-1	木製品 加工品	出土地不明 旧状残存	ケンボナシ属 長・32.8	部分的な調査時欠損微。全体に 細かな散孔材の木目発達。軟。	四周端部は丸みおび、使用摩耗の感あり。さ らに後出の削り目あり、別目的に利用か。	
750-2	木製品 棒	出土地不明	クリ 杭	上方のくびれ部は調欠かもしれ ない。樹皮残る。	端部は長軸に対しほぼ直角に面取りされ、小 さな節は削られている。機能不明。	

財群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第257集

東長岡戸井口遺跡
《第1分冊・本文編》

東長岡住宅団地建設工事に
伴う埋蔵文化財調査報告書

平成11年12月20日 印刷
平成11年12月25日 発行

編集／財群馬県埋蔵文化財調査事業団
〒377-0061 勢多郡北橘村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511 (代表)

発行／群馬県考古資料普及会
〒377-0061 勢多郡北橘村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511 (代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社